

多賀城市子どもの生活に関する実態調査
報告書

平成31年3月
多賀城市

目 次

I	調査の概要	3
1.	調査の目的	3
2.	調査対象及び回収状況	3
3.	調査方法及び調査期間	4
4.	調査内容	4
5.	分析の方法	5
6.	報告書の見方	6
7.	参考	6
II	調査結果の概要と考察	9
1.	回答者の属性	9
2.	生活の状況	10
3.	保護者の状況	13
4.	子どもの状況	17
5.	要望する支援	21
III	調査結果	25
1.	保護者	25
(1)	回答者の状況	25
(2)	世帯の状況	27
(3)	保護者の就労状況	38
(4)	経済状況	46
(5)	子どもの進学について	59
(6)	子どもの普段の生活について	63
(7)	子どもとの関わりや悩み	73
(8)	制度やサービス等について	106
2.	子ども	115
(1)	回答者の状況	115
(2)	学校の授業、進学について	118
(3)	普段の生活について	122
(4)	家での生活	134
(5)	悩んでいること	142
(6)	友人や自分自身のことについて	147

IV	自由意見	155
	1. 保護者の自由意見	155
	2. 子どもの自由意見	157
V	資料編	161
	1. 参考資料	161
	(1) 平成30年度子どもの貧困対策関連事業	162
	(2) 子どもの貧困対策に関する支援者アンケート結果	168
	2. 調査票	173
	(1) 保護者票	173
	(2) 子ども票	173
	(3) 子どもの貧困対策に関する支援者アンケート	173

I . 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

国民生活基礎調査によると、2012年（平成24年）の子どもの貧困率は16.3%でしたが、2015年（平成27年）の子どもの貧困率は13.9%と、2.4ポイント下がったものの、子どもの貧困に係る問題については、全国的に取り上げられている重要課題となっています。そのような状況下で、本市の子どもや家庭の生活の実態把握と支援ニーズの調査・分析を行うことで、子どもの健全な成長を促し、子どもの可能性を大きく広げるための施策につなげることを目的として、子どもの生活に関する実態調査を実施しました。

2. 調査対象及び回収状況

アンケートの調査対象及び回収状況は、以下のとおりです。

区分	対象者	調査票 送付人数	回収数 (人)	回収率	配布・ 回収方法	備考
保護者	就学前児童保護者	1,447	717	49.6%	郵送	対象の50%
	小学1年生から4年生の保護者	719	646	89.8%	学校を通じて	各小学校各学年1クラス
	小学5年生保護者	394	331	84.0%	学校を通じて	各小学校2クラス
	中学2年生保護者	288	253	87.8%	学校を通じて	各中学校2クラス
	16歳～17歳の子どもの保護者	636	265	41.7%	郵送	対象全員
小計		3,484	2,212			
子ども	小学5年生児童	394	328	83.2%	学校を通じて	各小学校2クラス
	中学2年生生徒	288	252	87.5%	学校を通じて	各中学校2クラス
	16歳～17歳の子ども	636	254	39.9%	郵送	対象全員
小計		1,318	834			
合計		4,802	3,046	63.4%		

※本報告書において「回収数」とは、有効回収数を指し、回収されたが全くの白紙回答であったものを除き、集計を行った件数をいいます。

3. 調査方法及び調査期間

アンケートの調査方法及び調査期間は、以下のとおりです。

調査対象		調査方法	調査期間
就学前児童	保護者	郵送による配布・回収	平成31年1月10日～平成31年1月29日
小学1～4年生	保護者	学校を通じた配布・回収	平成31年1月11日～平成31年1月29日
小学5年生	保護者		
	児童		
中学2年生	保護者		
	生徒		
16～17歳の子ども	保護者	郵送による配布・回収	平成31年1月10日～平成31年1月29日
	子ども		

4. 調査内容

アンケートの調査内容は、以下のとおりです。

保護者向け	子ども向け
1. 回答者について	1. 回答者について
2. 世帯の状況について	2. 学校のことについて
3. 就労状況、経済状況について	3. 普段の生活について
4. 子どもの進学について	4. 悩みや相談相手について
5. 子どもの普段の生活について	5. アンケートの感想、大人に言いたいこと等について
6. 子どもとの関わりや悩み等について	
7. 制度やサービスの利用について	
8. アンケートの感想、市への要望等について	

5. 分析の方法

本調査においては、貧困の状況にあると考えられる方を把握するにあたり、本市の「貧困線」を設定した上で、『貧困線未満』と『貧困線以上』の世帯の違いについて比較分析を行いました。

本調査では、世帯人数と可処分所得の回答結果のみで『貧困線未満』と『貧困線以上』を区分しており、『貧困線未満』にあてはまる世帯を貧困の状態にあると想定していますが、『貧困線未満』にあてはまる世帯すべてが、実際の生活に困難を抱えていると断定するものではありません。

なお、この調査結果は今回の調査方法による限られた回答から算出したものであり、本市すべての状況ではないことに注意が必要です。

※貧困線…生活に必要なものを購入できる最低限の収入を表す指標

(それ以下の収入では、一家の生活を支えることが困難であると考えられています。)

貧困線未満の世帯で生活する子どもの割合を「子どもの貧困率」と言いますが、個別訪問で実施している国民生活基礎調査を基にした国の「子どもの貧困率」とは算出方法が異なっています。

【世帯人数ごと可処分所得による貧困区分】

世帯人数	貧困線未満	貧困線以上	(参考) 国における 貧困線の基準
2人世帯	175万円未満	175万円以上	173万円
3人世帯	210万円未満	210万円以上	211万円
4人世帯	245万円未満	245万円以上	244万円
5人世帯	275万円未満	275万円以上	273万円
6人世帯	300万円未満	300万円以上	299万円
7人世帯	325万円未満	325万円以上	323万円
8人世帯	345万円未満	345万円以上	345万円
9人以上世帯	365万円未満	365万円以上	366万円

- 留意点：保護者アンケートの回収数 2,212 世帯のうち、世帯人数と可処分所得の不明・無回答が 363 世帯あったことから、貧困区分が明確となった件数は 1,849 世帯でした。これらの分析の結果、本調査において保護者の『貧困線未満』は 92 世帯でした。

貧困線未満の世帯の割合は、5.0%

本市の貧困線未満の世帯の割合は、等価可処分所得が貧困線未満の世帯の割合のことをいいます。

計算式：調査全数 2,212 世帯－無回答 363 世帯（世帯人数・可処分所得のいずれかが未記入）

＝1,849 世帯

92 世帯（貧困線未満の世帯数）/1,849 世帯（上記を母数）＝4.98%≒5.0%

※等価可処分所得とは、世帯の手取り収入を世帯人員数で調整した所得（預金や現物給付は含みません。)

貧困線未満の世帯で生活する子どもの割合（子どもの貧困率）は、5.0%

本市の貧困線未満の世帯で生活する子どもの割合(子どもの貧困率)は、貧困線未満の世帯を抽出後、その世帯に属する子どもの人数を算出し、全体の子どもの人数で除した割合のことをいいます。

※全体の子どもの人数 = 保護者アンケートで回答された子どもの人数を合計したもの。世帯人数・可処分所得のいずれかが未記入の場合は集計に含めません。

計算式：調査全数 4,581 人－無回答 731 人（世帯人数・可処分所得のいずれかが未記入）
 =3,850 人（全体の子どもの人数：貧困線未満、貧困線以上の世帯かの区分が明確な人数）
 194 人（貧困線未満の世帯に属する子どもの人数） / 3,850 人（上記を母数）
 =5.03%≒5.0%

6. 報告書の見方

- ① 調査数「n（n = Number of cases）」は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示しています。
- ② 回答の構成率は百分率（%）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合があります。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、すべての選択肢の比率を合計すると 100.0%を超える場合があります。
- ③ 図表および本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合があります。
- ④ 調査数「n」が小数の場合は、統計上、回答構成比の信頼数が低いため、文章中の分析では参考として掲載している、もしくは言及していない場合があります。

7. 参考

『貧困線未満』と『貧困線以上』の世帯の違いについて比較分析を行うにあたり、次の質問をしました。

問 17 あなたの世帯全体の、平成 30 年における年間の手取り収入（可処分所得）について教えてください。（回答欄におおよその金額を記入）

* 世帯全体の1年間（平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の収入は、給与や事業の売上、年金や各種の給付・手当などの収入の総計から、所得税や住民税等の税金、健康保険料や年金保険料等の社会保険料などを除いた、手取り収入（可処分所得）になります。
 * (2) (3) に該当する収入が無い場合は、(2) (3) の回答欄は空欄でも構いません。

	年間金額
(1) 主たる生計維持者の年収	万円
(2) その他の収入を得ている 18 歳以上の家族の年収合計	万円
(3) その他の収入（各種給付・手当、実家からの仕送り、年金など）の合計	万円
世帯収入の合計（(1) + (2) + (3)）	万円

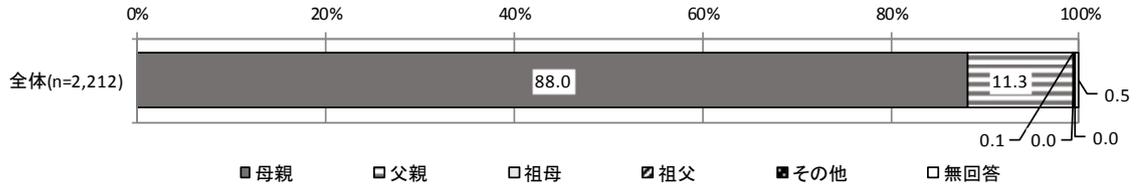
Ⅱ．調査結果の概要と考察

II 調査結果の概要と考察

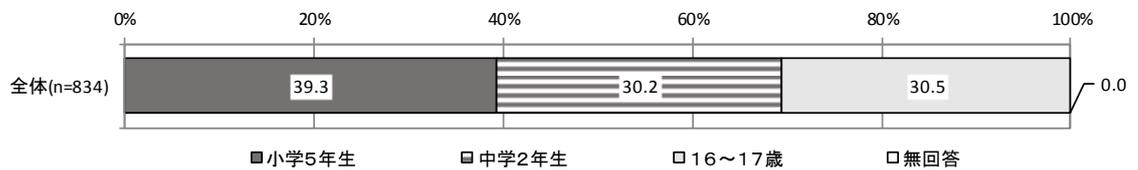
1. 回答者の属性

①回答者

【保護者】

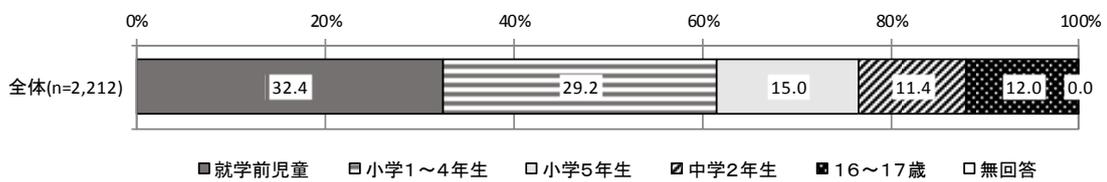


【子ども】

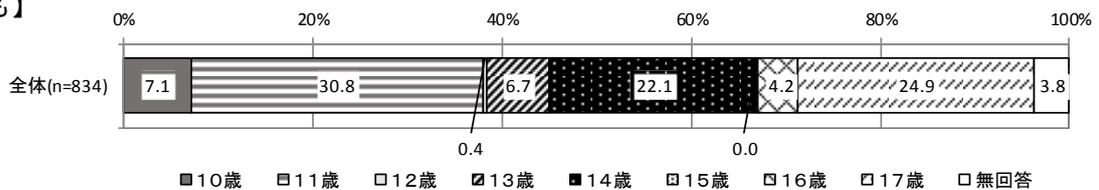


②子どもの学年・年齢・人数

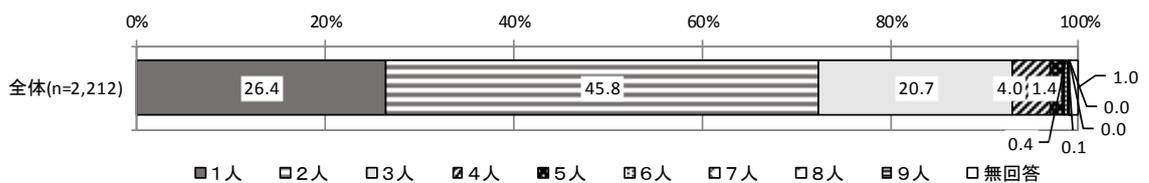
【保護者】



【子ども】



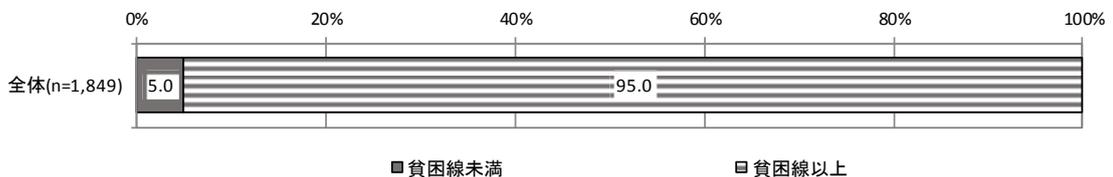
【子どもの人数】



2. 生活の状況

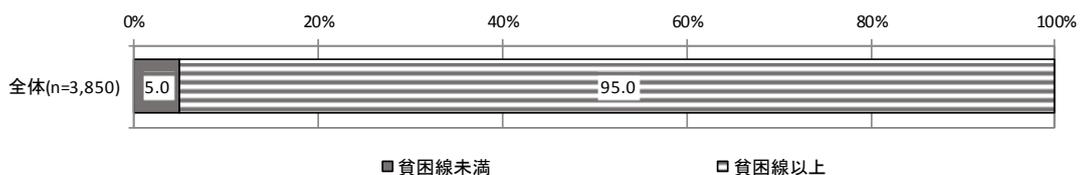
- 『貧困線未満』に該当する世帯は5.0%。貧困線未満の世帯で生活する子どもの割合は5.0%。
- 『貧困線未満』で、「貧困もしくは貧困に近い状況にある」と感じているのは3割以上。
- 住居の状況は、『貧困線未満』では「持家以外」が5割以上。
- 子どもを医療機関で受診させなかったことは、『貧困線未満』では「ある」が2割。
- 経済的理由で進学を諦める、学校を中退またはその可能性について、『貧困線未満』では「これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う」が5割以上。
- 『貧困線未満』では、経済的理由から食費や衣料品、散髪代、娯楽費などの支出を控えたり、各種支払いが滞ったりした割合が『貧困線以上』に比べて高い。

① 貧困線未満の世帯の割合 ※無回答を除く



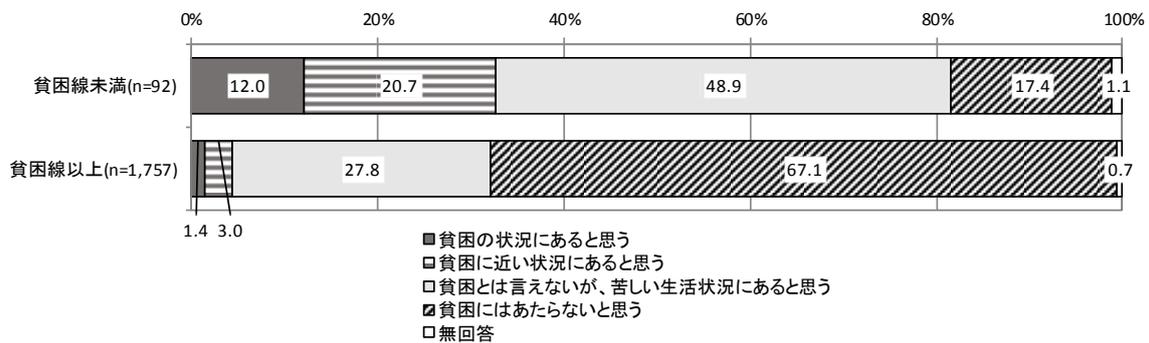
世帯人数と1年間の可処分所得から、上述した区分表の『貧困線未満』に該当する世帯は5.0%、『貧困線以上』に該当する世帯は95.0%となっています。

② 貧困線未満の世帯で生活する子どもの割合（子どもの貧困率） ※無回答を除く



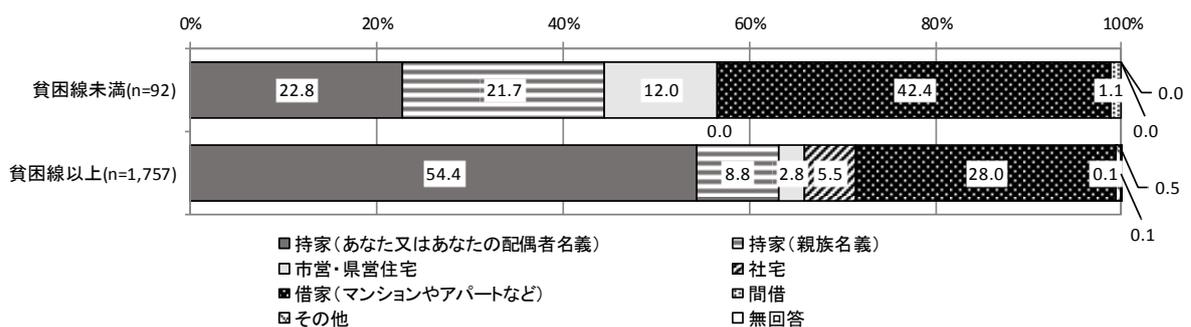
前述の『貧困線未満』の世帯に属する子どもの割合は5.0%（194人）となっています。『貧困線以上』に属する子どもの割合は95.0%（3,656人）となっています。

③ 貧困の状況にあるか



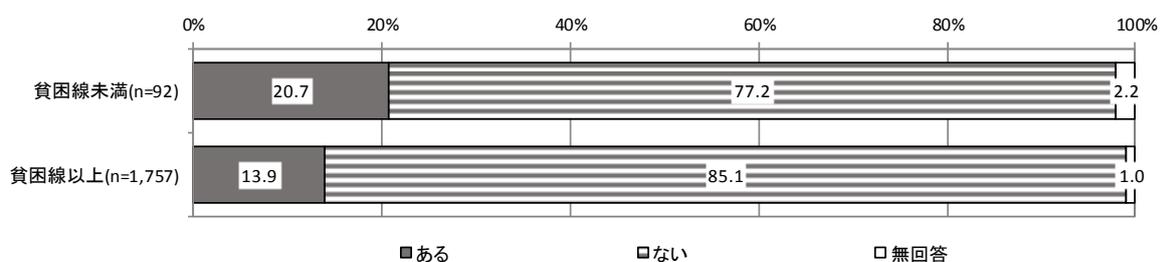
『貧困線未満』では「貧困とは言えないが、苦しい生活状況にあると思う」が48.9%と最も多く、「貧困の状況にあると思う」は12.0%、「貧困に近い状況にあると思う」は20.7%となっています。

④ 住居の状況



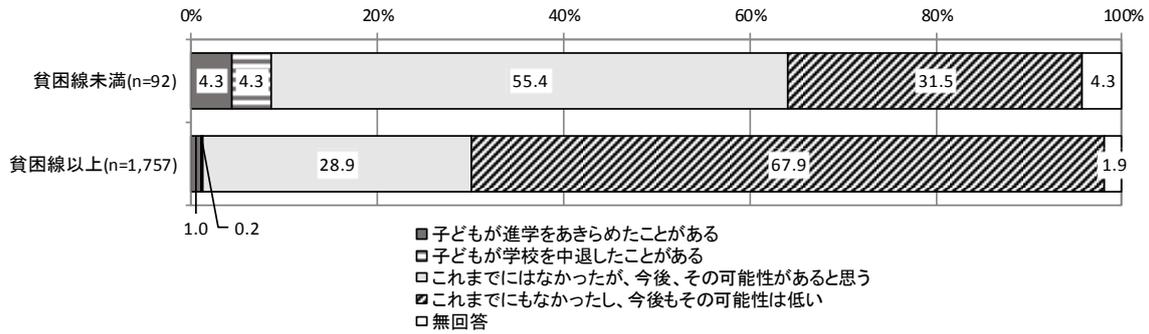
『貧困線未満』では『貧困線以上』に比べ、「借家(マンションやアパートなど)」が14.4ポイント多い42.4%と最も多くなっています。《持家》については『貧困線以上』では63.2%であるのに対し、『貧困線未満』では44.5%と、半数以上が《持家以外》になっています。

⑤ 医療機関で受診させなかったことの有無



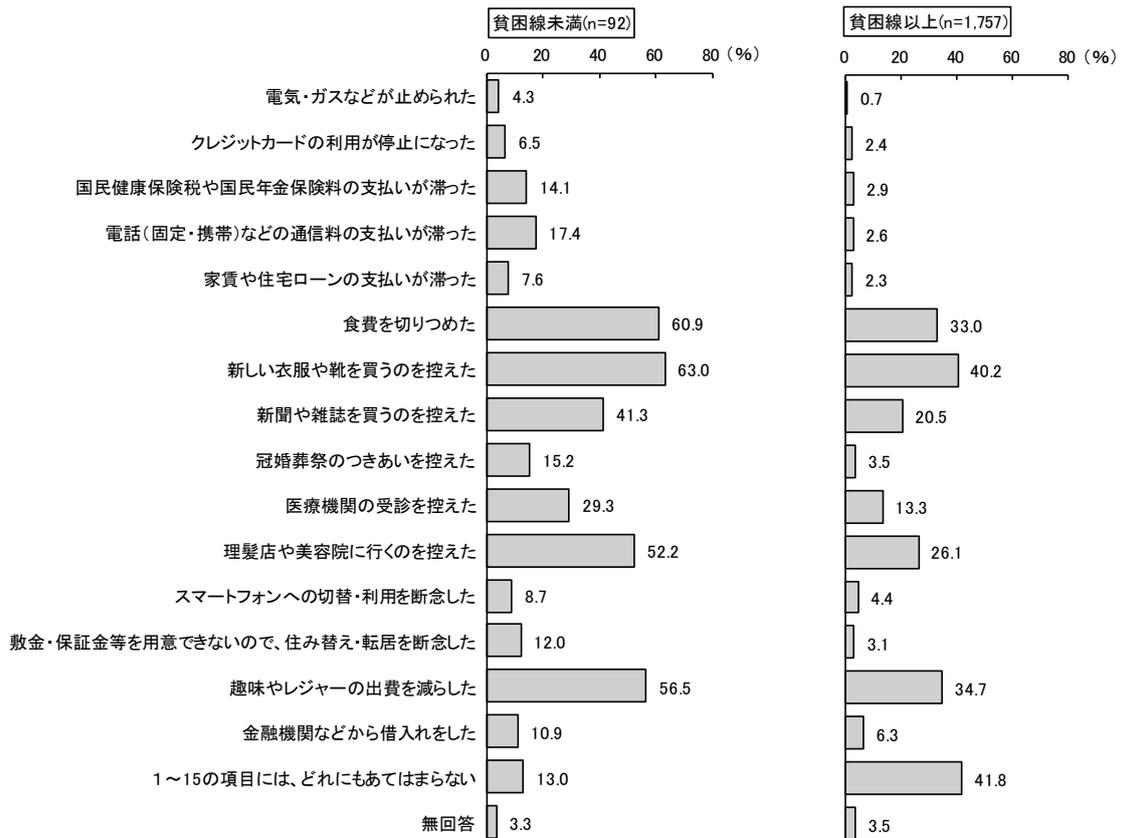
『貧困線未満』では『貧困線以上』に比べ、「ある」が6.8ポイント多い20.7%となっています。

⑥経済的理由で進学を諦める、学校を中退またはその可能性



『貧困線未満』では『貧困線以上』に比べ、「これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う」が26.5ポイント多い55.4%と最も多くなっています。また実際に、子どもが進学をあきらめたことや学校を中退したことがある割合は8.6%となっています。

⑦過去半年間に経済的な理由でした経験

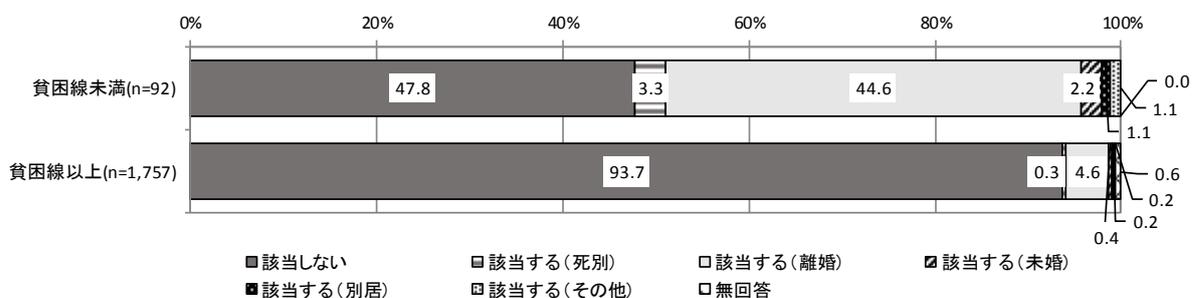


『貧困線未満』では経済的理由で支払いが滞ったり、出費を切りつめた割合が高く、特に、「食費を切りつめた」と「新しい衣服や靴を買うのを控えた」は6割以上、「理髪店や美容院に行くのを控えた」と「趣味やレジャーの出費を減らした」は5割以上となっています。

3. 保護者の状況

- ひとり親世帯は『貧困線以上』では5.7%だが、『貧困線未満』では52.2%と高い。
- 保護者の就労状況は、『貧困線未満』では「正社員・正規職員」の割合が低く、『貧困線以上』の約半数にとどまる。
- 保護者の最終学歴について、『貧困線未満』の父親では「高等学校卒業」と「大学卒業」の割合が、母親では「大学卒業」の割合が『貧困線以上』と比べ、いずれも低い。
- 『貧困線未満』では、自分が育った家庭で何らかの困難を経験した割合が高い傾向にある。
- 悩んでいることは、『貧困線未満』では「子どもの教育費のことが心配である」と「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」がともに4割以上。
- 友人・知人について、『貧困線未満』と『貧困線以上』では傾向にそれほど差はない。
- 『貧困線未満』では、近所づきあいの程度は、『貧困線以上』に比べ少ない傾向にある。

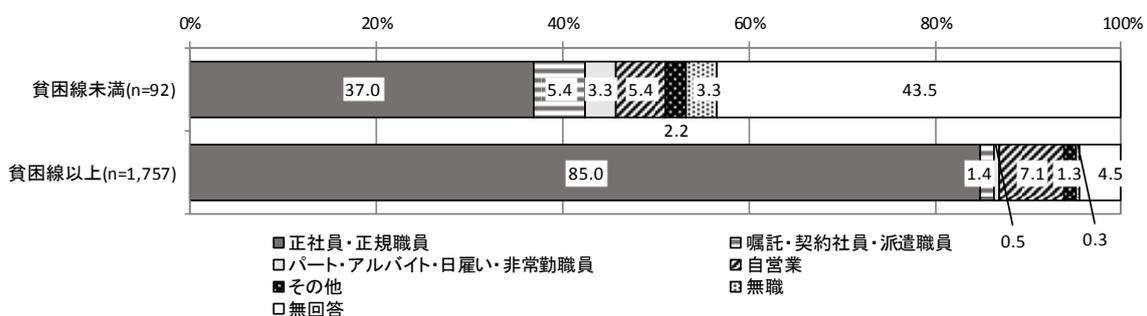
①「ひとり親世帯」の該当



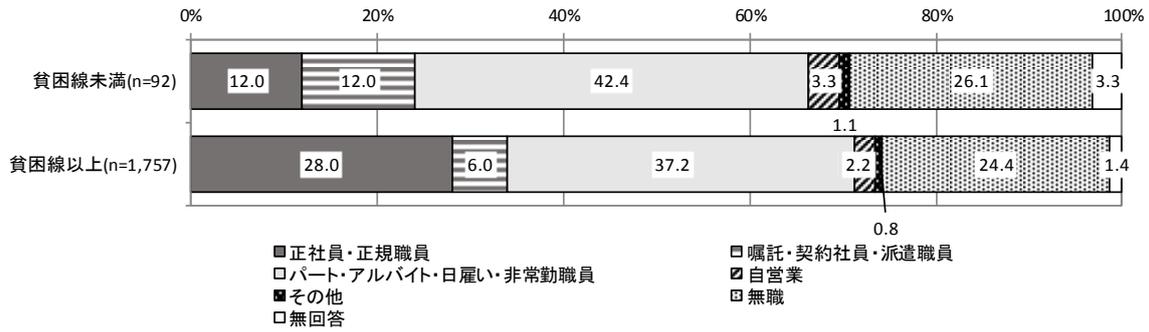
『貧困線以上』では「該当する」が5.7%であるのに対し、『貧困線未満』では52.2%と、高くなっています。

②保護者の就労状況

【父親の職業形態】



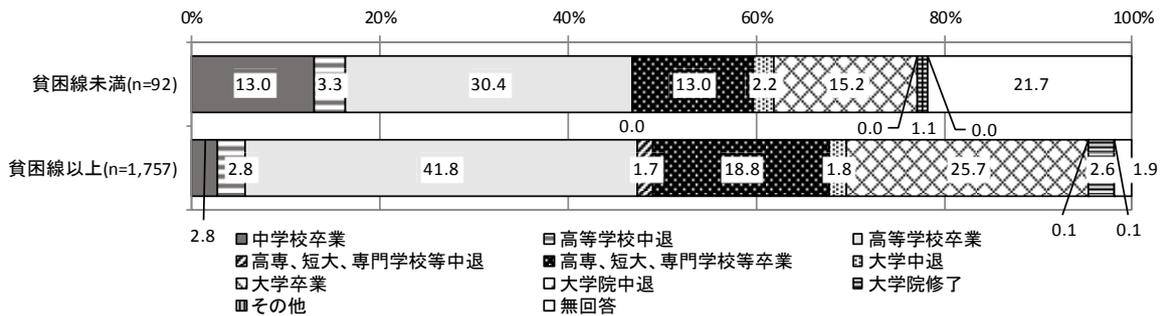
【母親の職業形態】



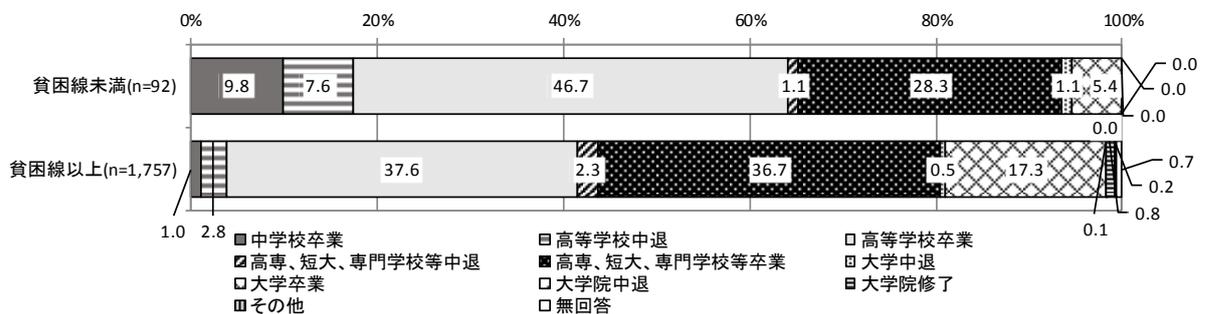
『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「正社員・正規職員」の割合が父親では 48.0 ポイント、母親では 16.0 ポイント低くなっています。

③保護者の最終学歴

【父親の最終学歴／貧困線別】



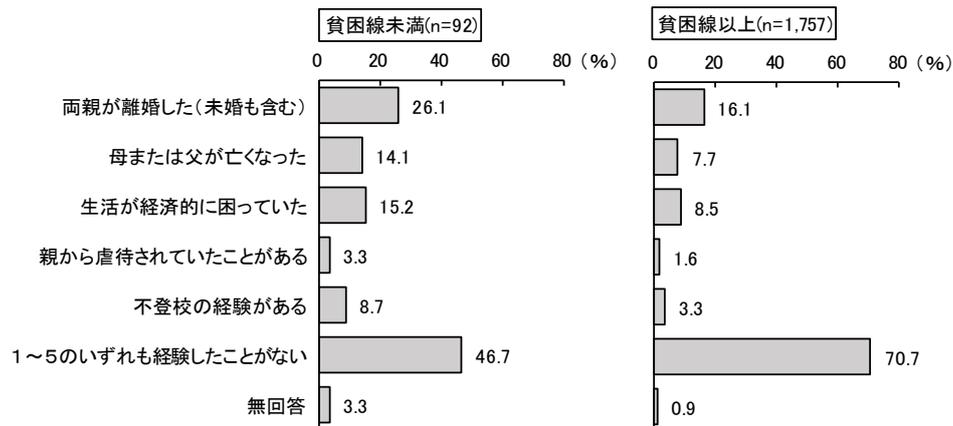
【母親の最終学歴／貧困線別】



『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』の父親では「高等学校卒業」が 11.4 ポイント、「大学卒業」が 10.5 ポイント少なくなっています。

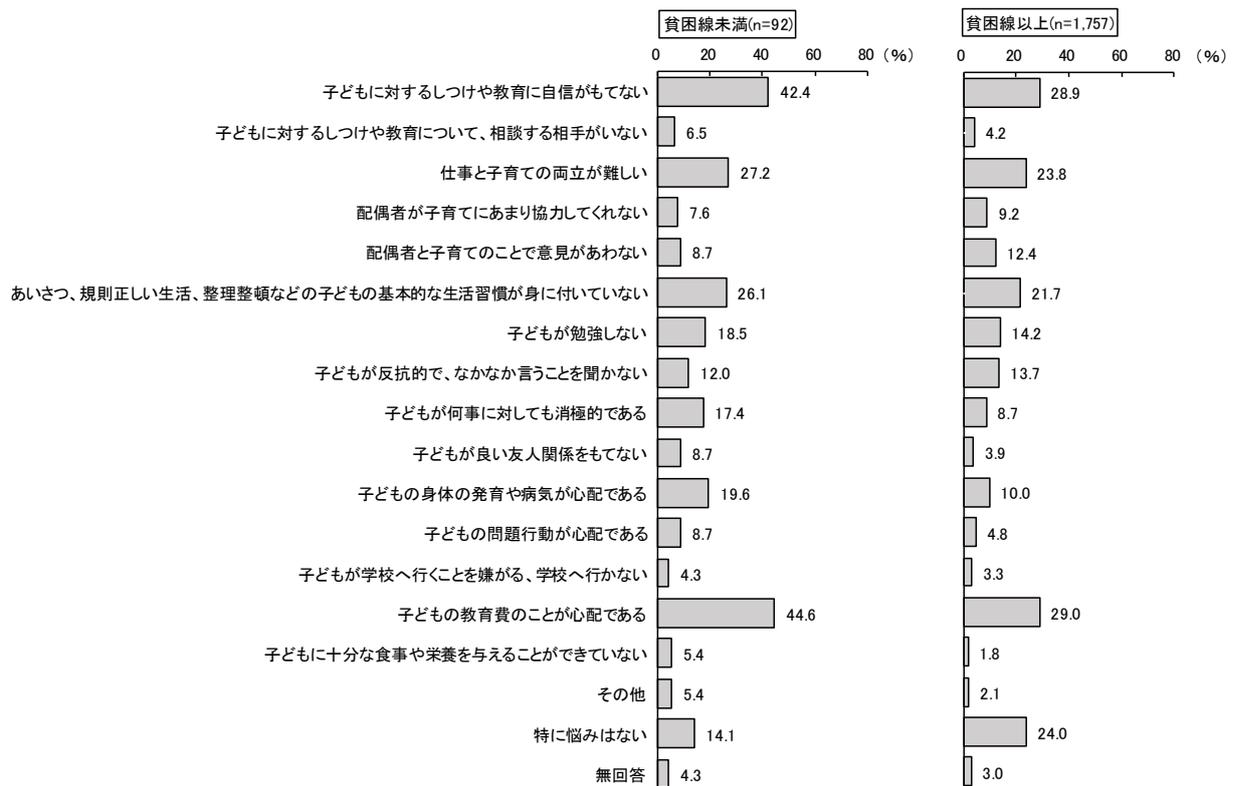
『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』の母親では「大学卒業」が 11.9 ポイント少なくなっています。

④両親の成人する前の家庭での経験



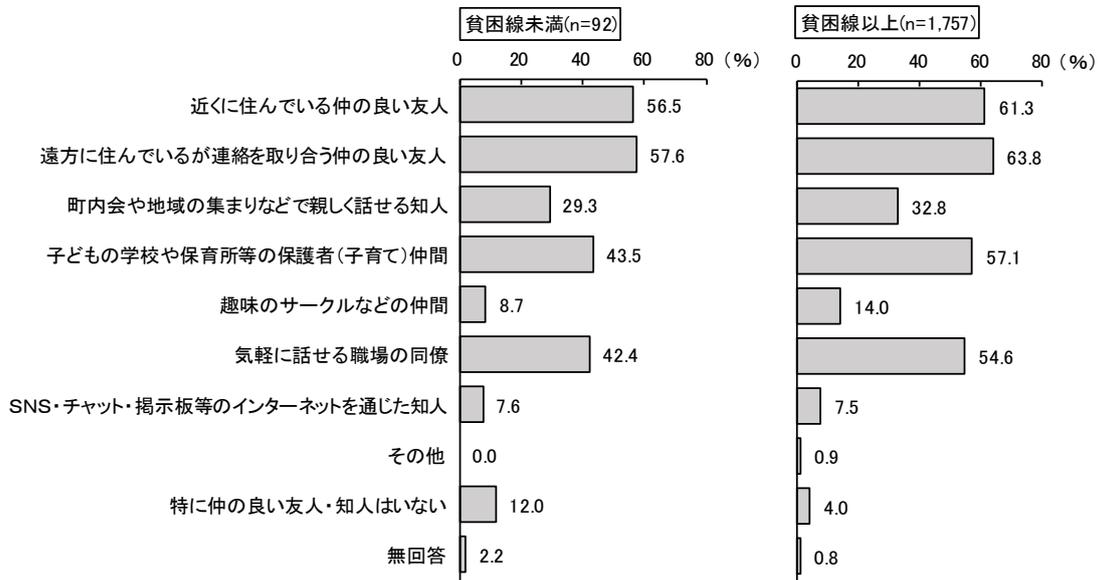
『貧困線未満』では「1～5のいずれも経験したことがない」に次いで「両親が離婚した(未婚も含む)」が26.1%と多く、『貧困線以上』に比べ、両親の離婚や経済的な困窮などを経験した割合が高くなっています。

⑤悩んでいること



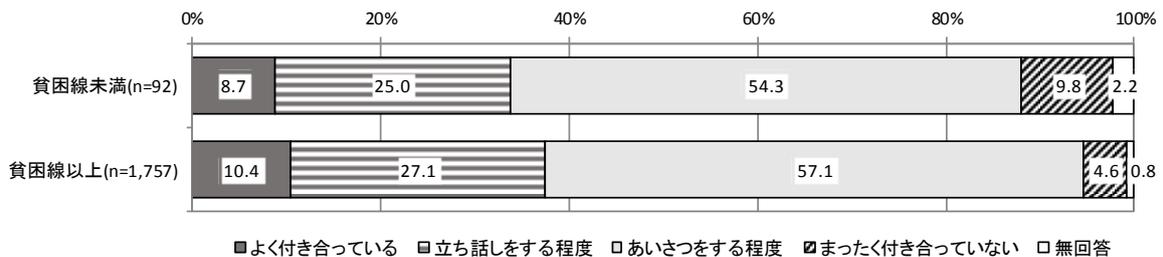
『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「子どもの教育費のことが心配である」が最も多くなっていますが、『貧困線以上』では29.0%であるのに対し、『貧困線未満』では44.6%となっています。『貧困線未満』では「子どもに対するしつけや教育に自信がない」も42.4%と多くなっています。

⑥友人・知人



『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「遠方に住んでいるが連絡を取り合う仲の良い友人」が最も多くなっています。『貧困線未満』と『貧困線以上』を比べると、各項目の傾向はそれほど変わりありません。

⑦近所付き合いの程度

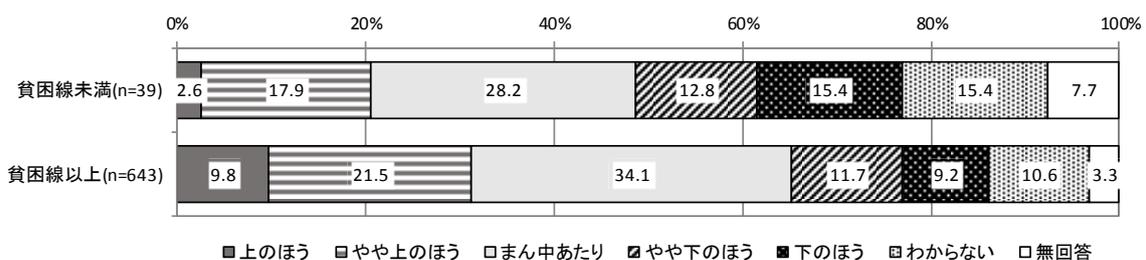


『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「あいさつをする程度」が最も多くなっています。『貧困線未満』と『貧困線以上』を比べると、近所づきあいの傾向にほとんど差はありません。

4. 子どもの状況

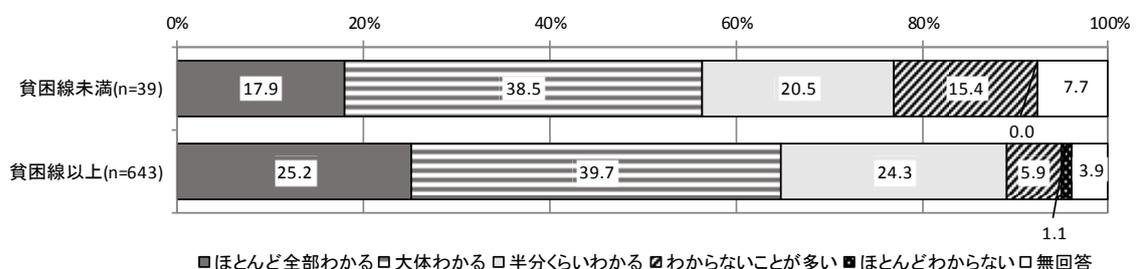
- 学校の成績は、『貧困線未満』では『貧困線以上』に比べ、低い傾向にある。
- 授業の理解度は、『貧困線未満』では『貧困線以上』に比べ、低い傾向にある。
- 将来の進学希望は、大学希望が保護者、子どもともに最も多いが、『貧困線以上』では保護者6割、子ども4割であるのに対し、『貧困線未満』ではその割合が15～25ポイントほど低い。
- 健康状態について、『貧困線未満』では「良い」が4割と、『貧困線以上』に比べ10ポイント程度低い。
- 虫歯の有無については、『貧困線未満』では「ない」が約4割と、『貧困線以上』に比べ14.8ポイント低い。
- 自分自身についての「不安に感じることはない」の設問において、「あてはまらない」と回答した人の割合は、『貧困線未満』では5割以上。
- 悩みごとの相談先は、『貧困線未満』では「親」、「学校のともだち」、「兄弟・姉妹」、「担任の先生」など、身近な大人や家族、友人に相談する割合が高い。

①学校の成績



学校の成績については、学年の中で「上のほう」と「やや上のほう」を合わせた《上のほう》は、『貧困線未満』では20.5%、『貧困線以上』31.3%となっています。「やや下のほう」と「下のほう」を合わせた《下のほう》は、『貧困線未満』では28.2%、『貧困線以上』では20.9%となっています。

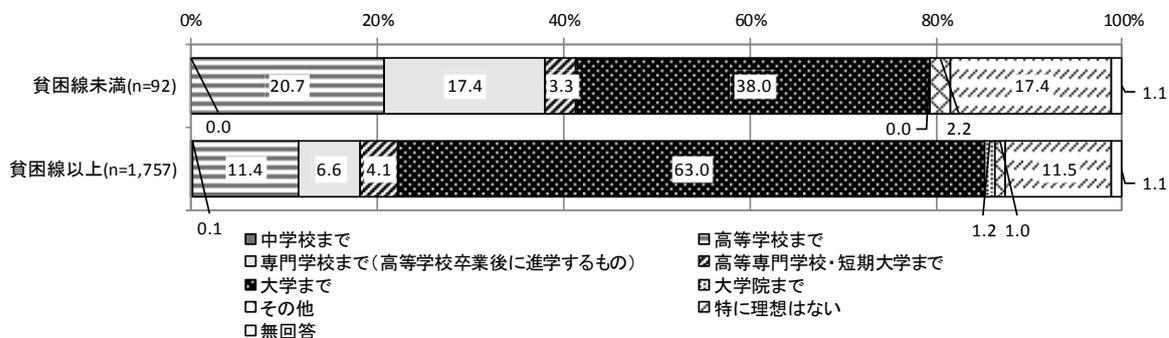
②授業の理解度



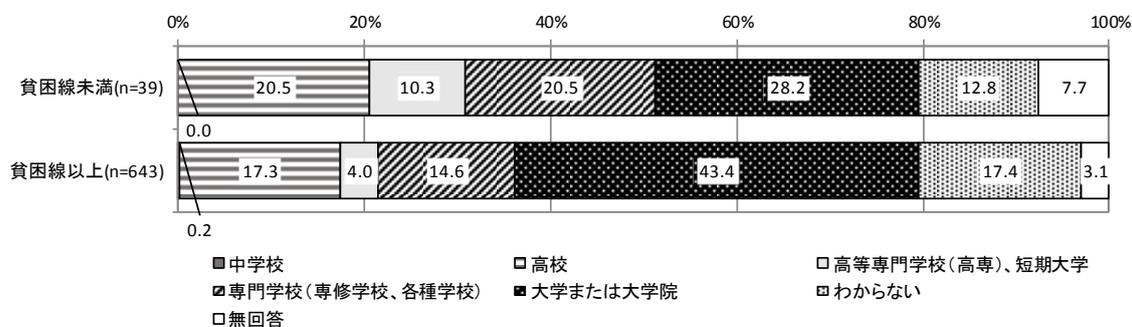
授業の理解度については、「ほとんど全部わかる」と「大体わかる」を合わせた《わかる》は『貧困線未満』では56.4%、『貧困線以上』では64.9%となっています。「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を合わせた《わからない》は『貧困線未満』では15.4%、『貧困線以上』では7.0%となっています。

③将来の進学希望

【(保護者) どの段階の学校まで進んでほしいか】

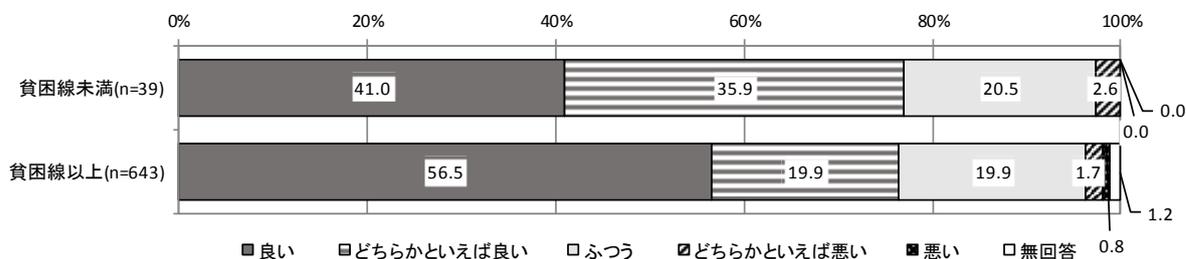


【(子ども) 将来どの学校まで進学したいか】



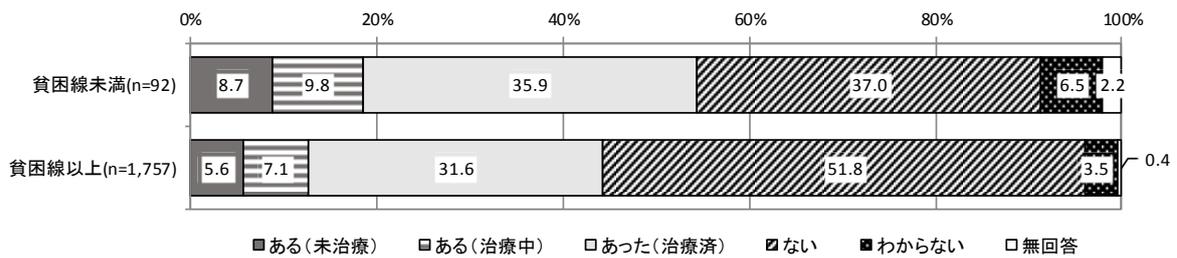
保護者の『貧困線未満』では『貧困線以上』に比べて「大学まで」が25.0ポイント少なく、子どもの『貧困線未満』でも「大学または大学院」が『貧困線以上』に比べて15.2ポイント少なくなっています。

④健康状態について



健康状態について、「良い」と「どちらかといえば良い」を合わせた《良い》は『貧困線未満』で76.9%、『貧困線以上』では76.4%とほぼ変わりませんが、『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「良い」が15.5ポイント少なくなっています。

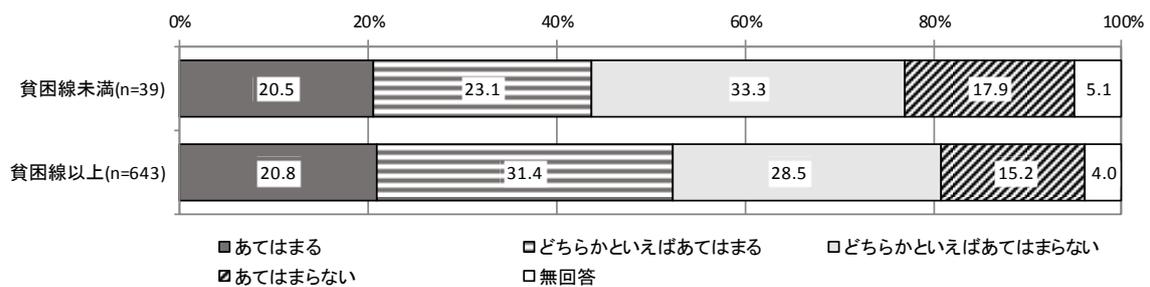
⑤虫歯の有無



虫歯の有無については、『貧困線未満』では「ない」が37.0%と、『貧困線以上』に比べ14.8ポイント低くなっています。

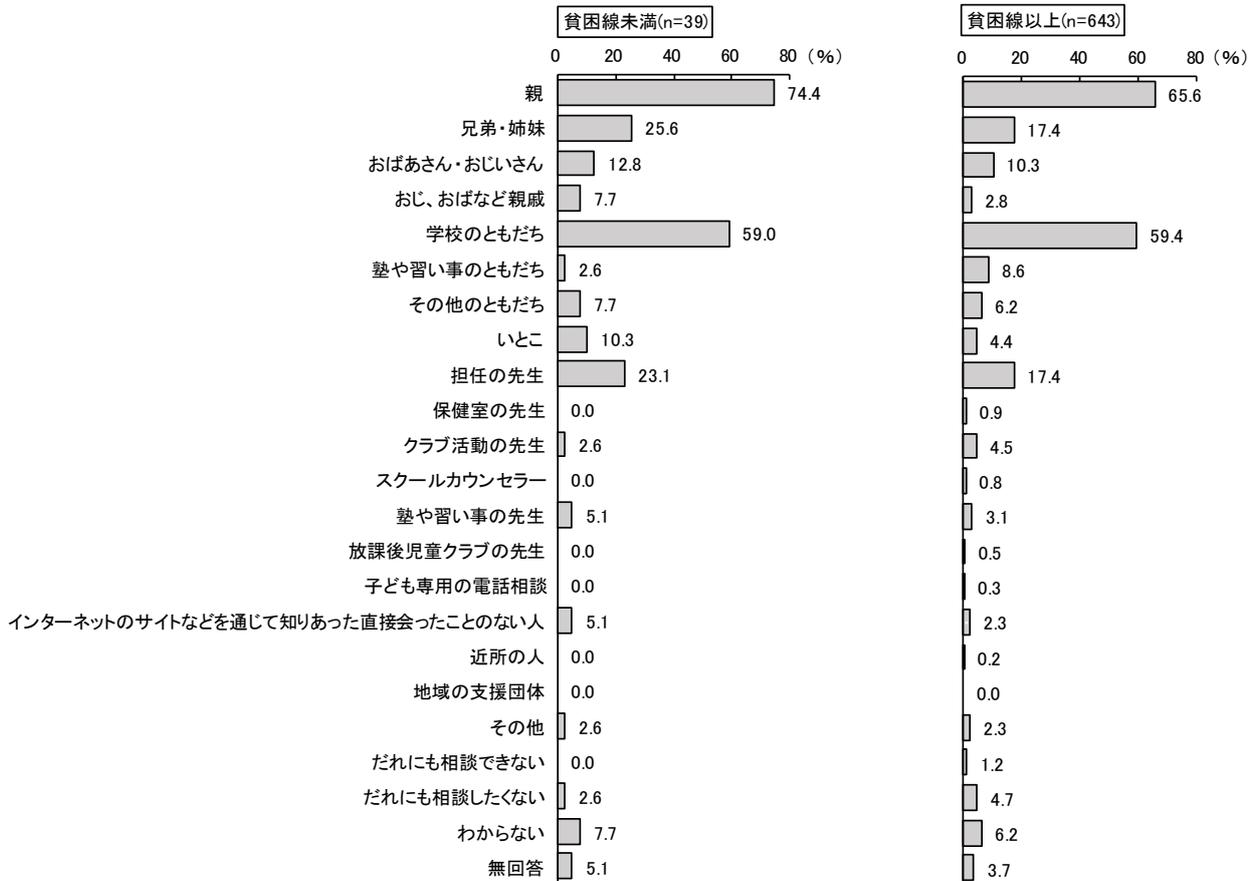
⑥自分自身について

【不安に感じることはない】



不安に感じることはないかについては、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた《あてはまる》は、『貧困線未満』では43.6%、『貧困線以上』では52.2%となっています。「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた《あてはまらない》は、『貧困線未満』では51.2%、『貧困線以上』では43.7%となっています。

⑦ 悩みの相談先

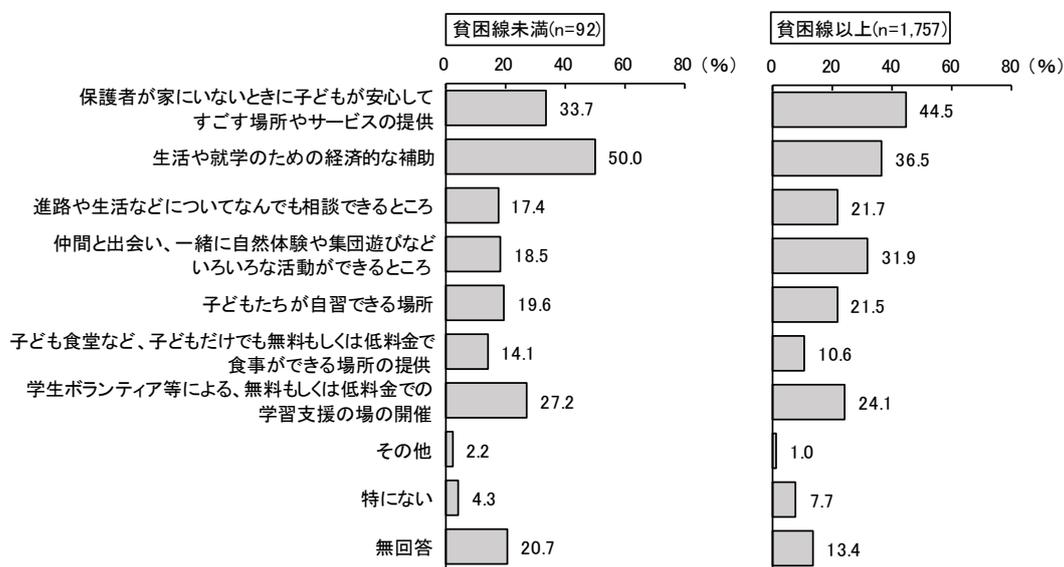


『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「親」が最も多く、それぞれ74.4%、65.6%、次いで「学校のともだち」59.0%、59.4%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「親」、「兄弟・姉妹」、「担任の先生」など、身近な大人や家族、友人に相談する割合が高くなっています。

5. 要望する支援

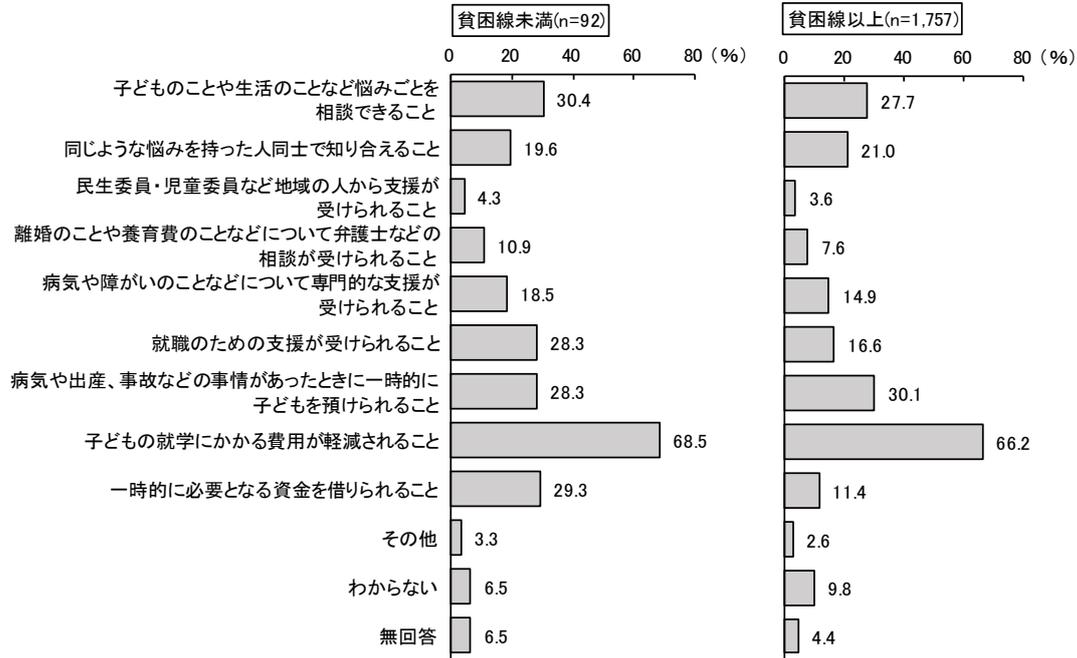
- 現在または将来的に利用したい支援は、『貧困線未満』では「生活や就学のための経済的な補助」が5割。
- 現在必要としていること、重要だと思う支援は、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が最も多く6割以上。
- 必要な支援を受けられるようにするために重要なことは、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」が最も多く5割以上。

①現在または将来的に利用したい支援



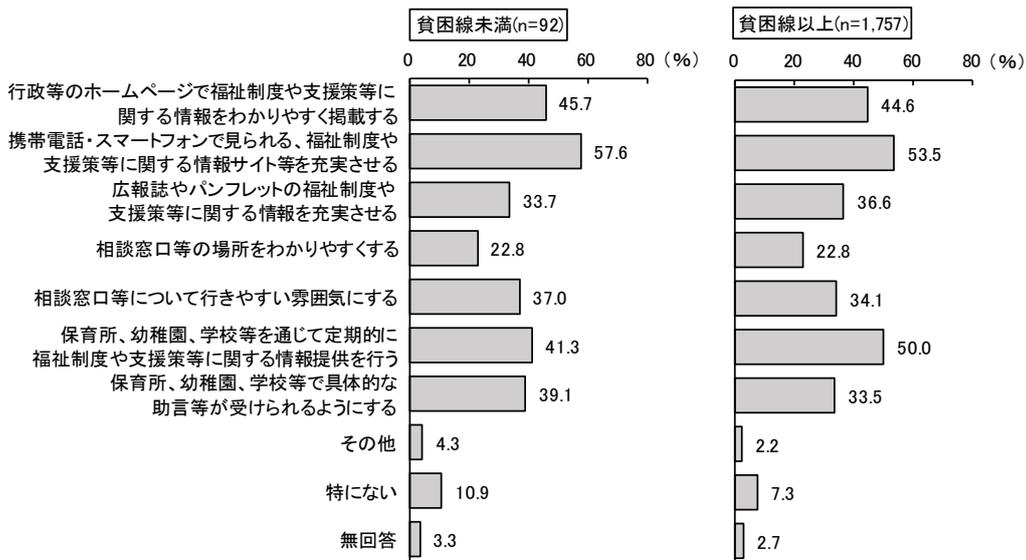
『貧困線未満』では「生活や就学のための経済的な補助」が50.0%、『貧困線以上』では「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごす場所やサービスの提供」が44.5%と最も多くなっています。

②現在必要としていること、重要だと思う支援



『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が最も多く、それぞれ 68.5%、66.2%となっています。

③必要な支援を受けられるようにするために重要なこと



『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」が最も多く、それぞれ 57.6%、53.5%となっています。

Ⅲ. 調查結果

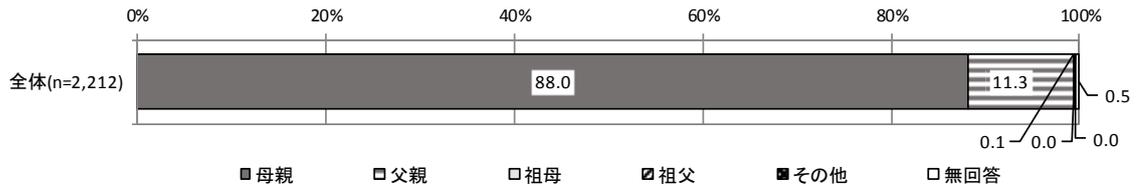
Ⅲ 調査結果

1. 保護者

(1) 回答者の状況

① 子どもからみた回答者の続柄

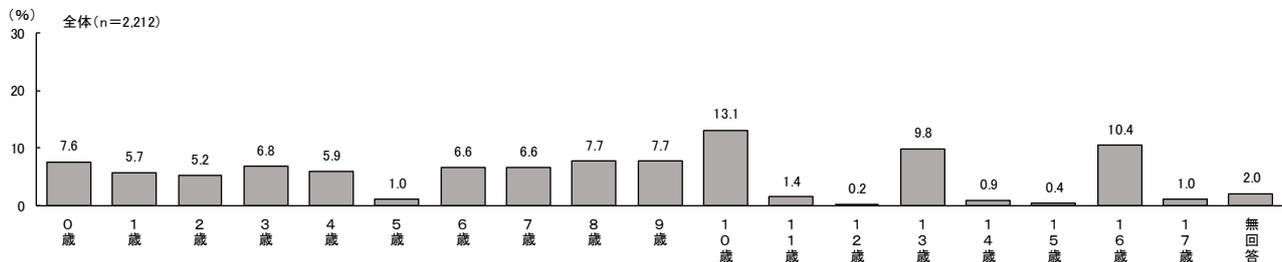
問1 お子さんからみた、あなた（回答者）の続柄について教えてください。（1つに○）



子どもからみた回答者の続柄については、「母親」が88.0%と最も多く、以下「父親」(11.3%)、「祖母」(0.1%)となっています。

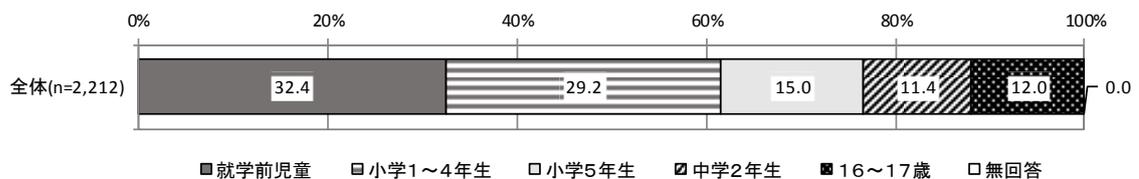
② 子どもの年齢

問3 お子さんの生年月日（西暦）を教えてください。



子どもの年齢について生年月日から算出すると、「10歳」が13.1%と最も多く、以下「16歳」(10.4%)、「13歳」(9.8%)、「8歳」と「9歳」(ともに7.7%)となっています。

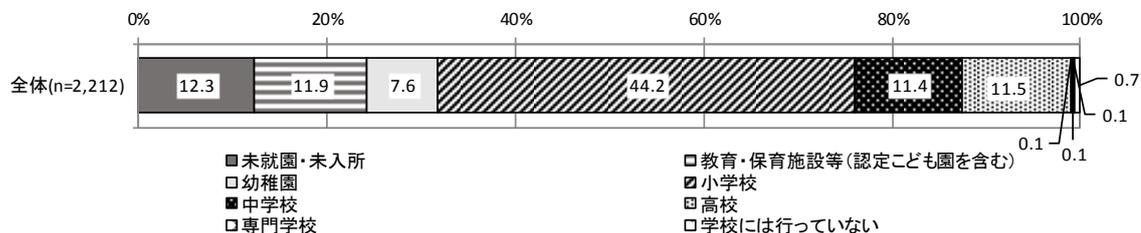
③ 子どもの年齢（5区分）



子どもの年齢については、「就学前児童」が32.4%と最も多く、以下「小学1～4年生」(29.2%)、「小学5年生」(15.0%)となっています。

④子どもが通っている学校

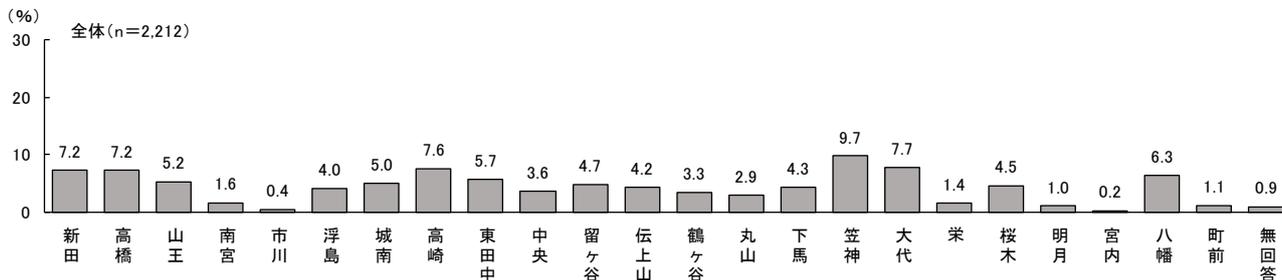
問3 お子さんが現在通っている学校教育機関等を教えてください。(1つに○)



子どもが通っている学校については、「小学校」が44.2%と最も多く、以下「未就園・未入所」(12.3%)、「教育・保育施設等 (認定こども園を含む)」(11.9%)、「高校」(11.5%) となっています。

⑤居住地

問5 あなたがお住まいの地域を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

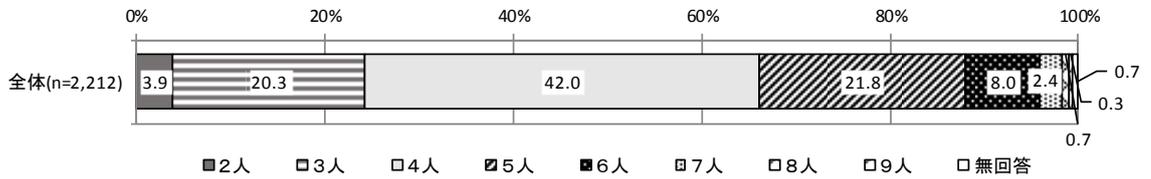


居住地については、「笠神」が9.7%と最も多く、以下「高崎」(7.6%)、「新田」と「高橋」(ともに7.2%) となっています。

(2) 世帯の状況

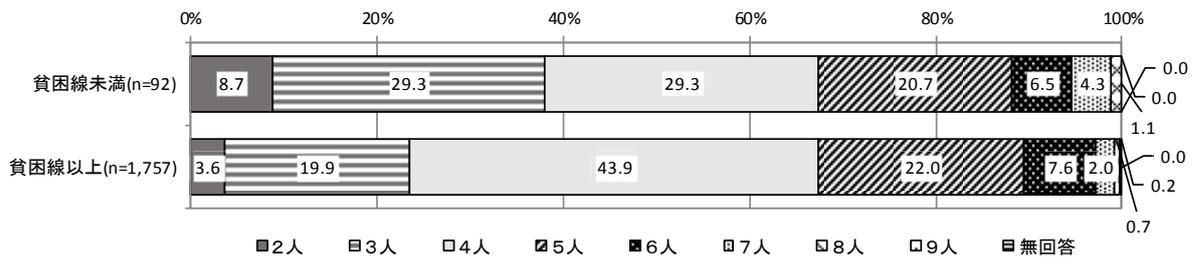
① 生計を共にしている世帯員の人数

問6 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方(世帯員)はあなたを含めて何人ですか。



生計を共にしている世帯員の人数については、「4人」が42.0%と最も多く、以下「5人」(21.8%)、「3人」(20.3%)、「6人」(8.0%)となっています。

【生計を共にしている世帯員の人数／貧困線別】

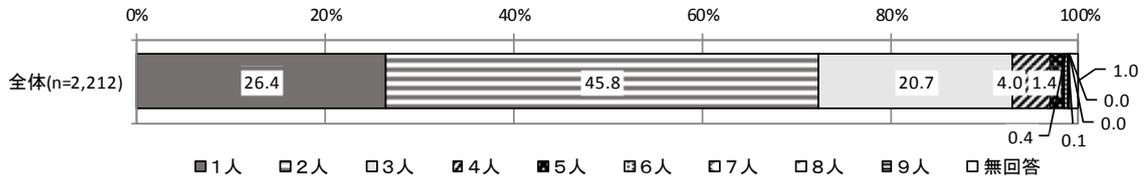


貧困線別にみると、『貧困線未満』では「3人」と「4人」がともに29.3%と最も多く、『貧困線以上』では「4人」が43.9%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「3人」が9.4ポイント多くなっています。

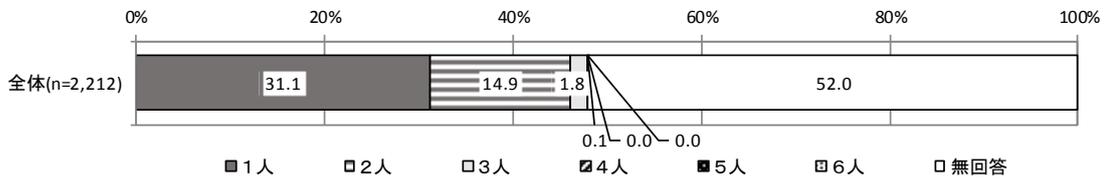
②世帯員のうち子どもの人数

問7 世帯員のうち、お子さんの人数を、年齢別に教えてください。

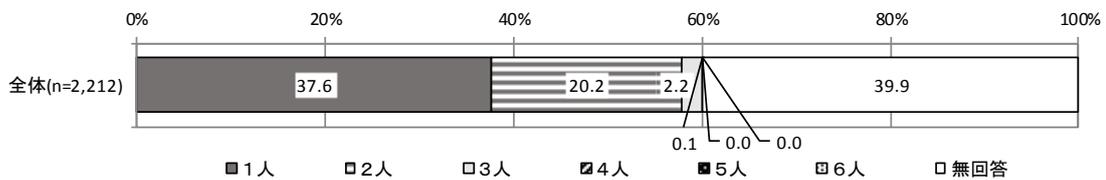
【お子さんの人数（全体）】



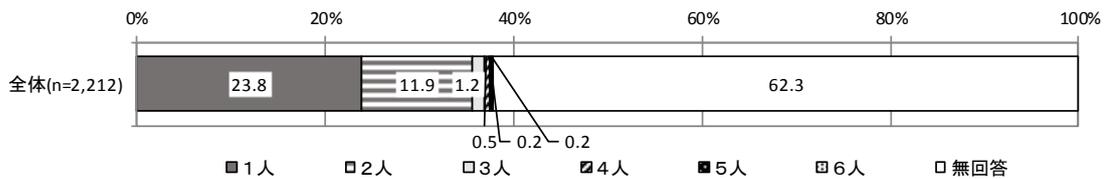
【未就学児】



【小学生】



【中学生以上】



世帯員のうち子どもの人数について、全体では、「2人」が45.8%と最も多く、以下「1人」(26.4%)、「3人」(20.7%)、「4人」(4.0%)となっています。

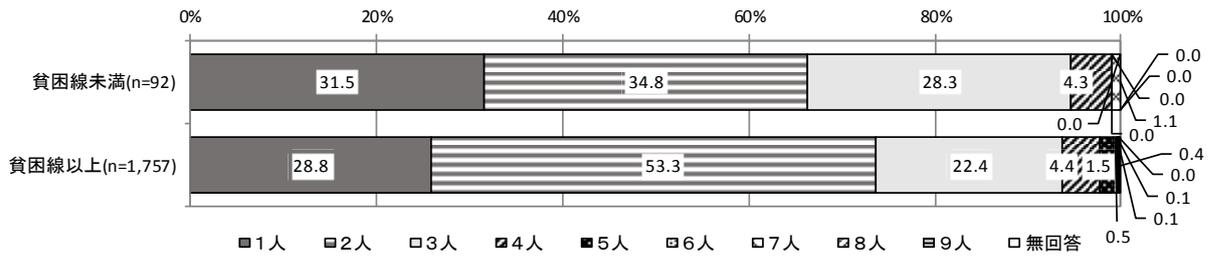
未就学児については、「1人」が31.1%と最も多く、以下「2人」(14.9%)、「3人」(1.8%)、「4人」(0.1%)となっています。

小学生については、「1人」が37.6%と最も多く、以下「2人」(20.2%)、「3人」(2.2%)、「4人」(0.1%)となっています。

中学生以上については、「1人」が23.8%と最も多く、以下「2人」(11.9%)、「3人」(1.2%)、「4人」(0.5%)となっています。

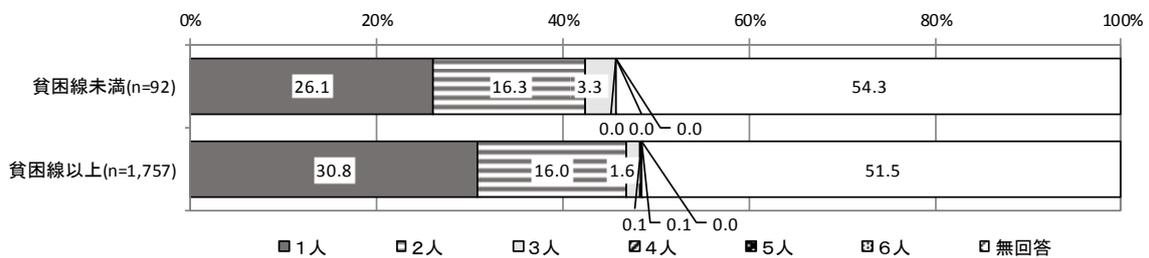
【世帯員のうち子どもの人数／貧困線別】

【全体】



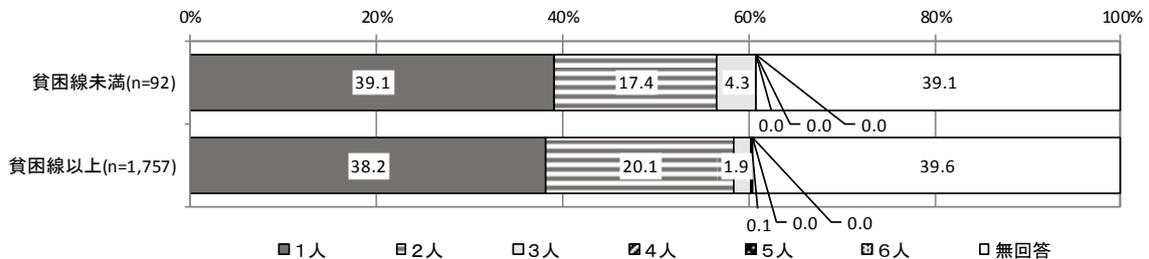
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「2人」が最も多く、それぞれ 34.8%、53.3%となっています。

【未就学児】



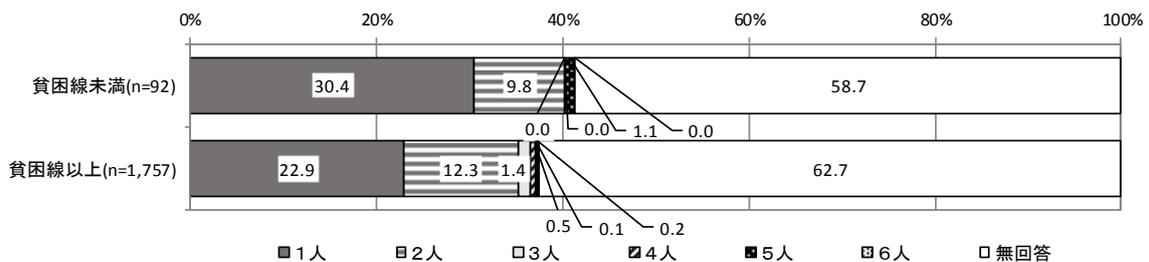
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「1人」が最も多く、それぞれ 26.1%、30.8%となっています。

【小学生】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「1人」が最も多く、それぞれ 39.1%、38.2%となっています。

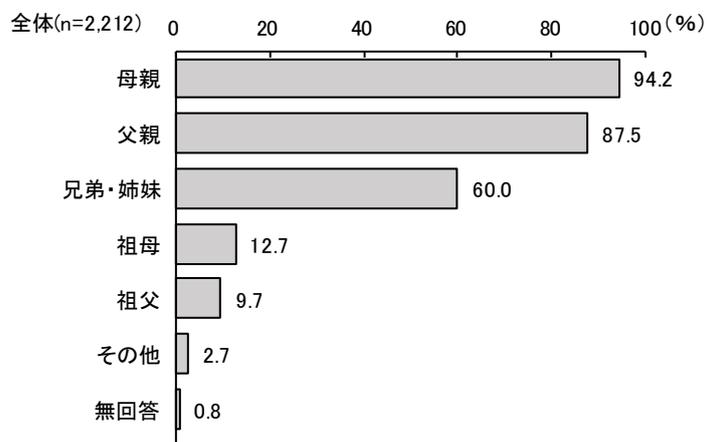
【中学生以上】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「1人」が最も多く、それぞれ 30.4%、22.9%となっています。

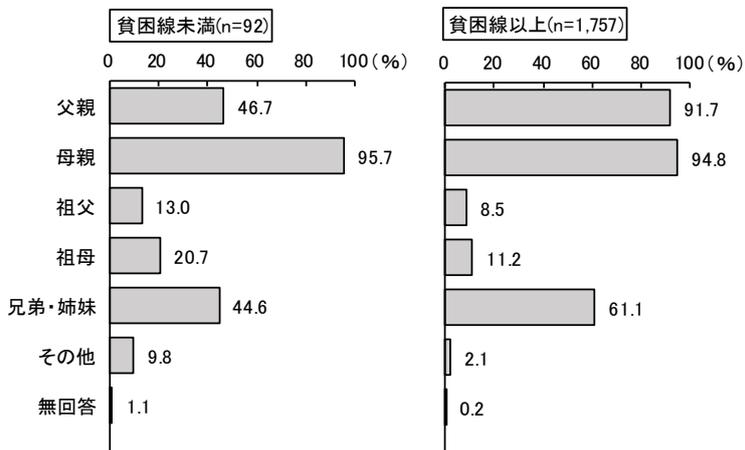
③世帯員構成

問8 あなたの世帯に含まれる方全員の、お子さんからみた続柄について教えてください。(あてはまるものすべてに○)



世帯員構成については、「母親」が94.2%と最も多く、以下「父親」(87.5%)、「兄弟・姉妹」(60.0%)、「祖母」(12.7%)となっています。

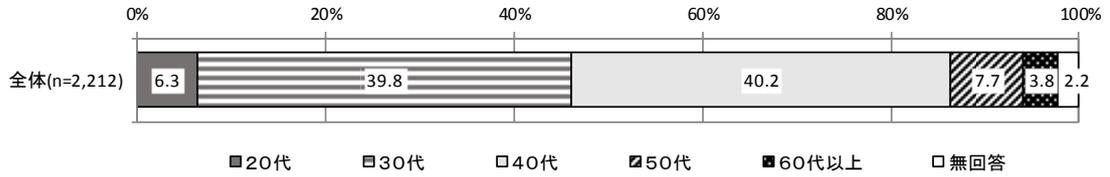
【世帯員構成／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「母親」が最も多く、それぞれ95.7%、94.8%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「父親」が45.0ポイント少なくなっています。

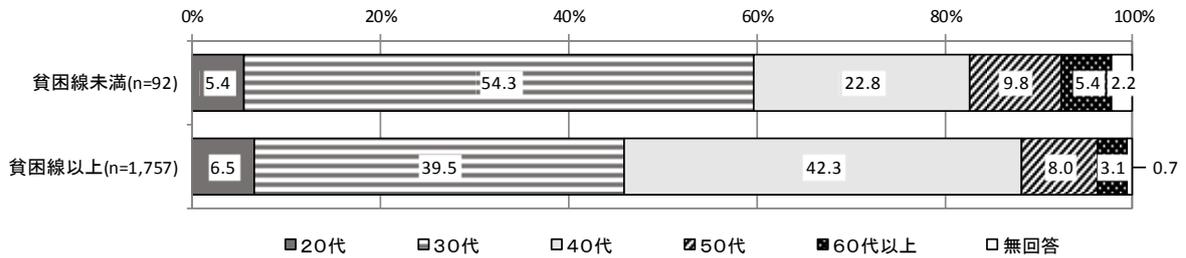
④世帯主の年代

問2 あなたの世帯主の方の生年月日（西暦）を教えてください。



世帯主の年代について生年月日から算出すると、「40代」が40.2%と最も多く、以下「30代」(39.8%)、「50代」(7.7%)、「20代」(6.3%)となっています。

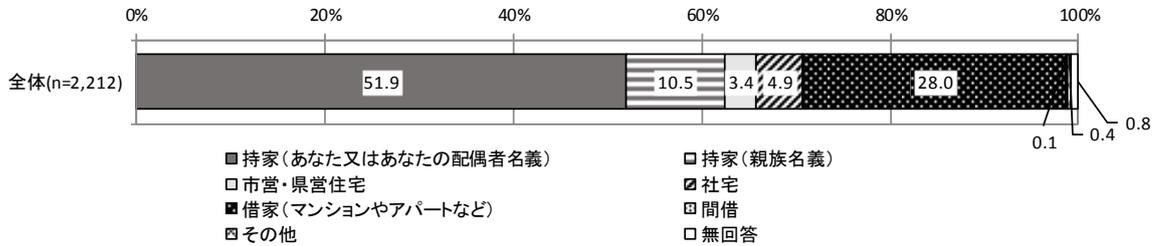
【世帯主の年齢／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「30代」が54.3%と最も多く、『貧困線以上』では「40代」が42.3%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「30代」が14.8ポイント多くなっています。

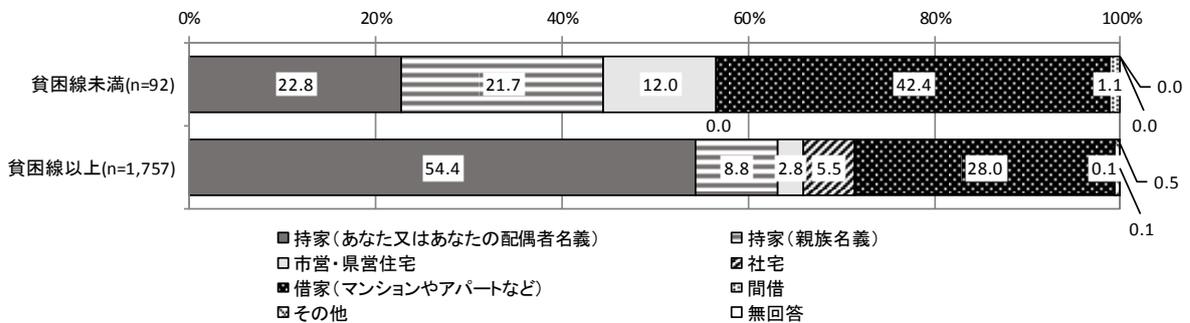
⑤住居の状況

問9 現在の住居の状況について教えてください。(1つに〇)



住居の状況については、「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」が51.9%と最も多く、以下「借家（マンションやアパートなど）」（28.0%）、「持家（親族名義）」（10.5%）、「社宅」（4.9%）となっています。

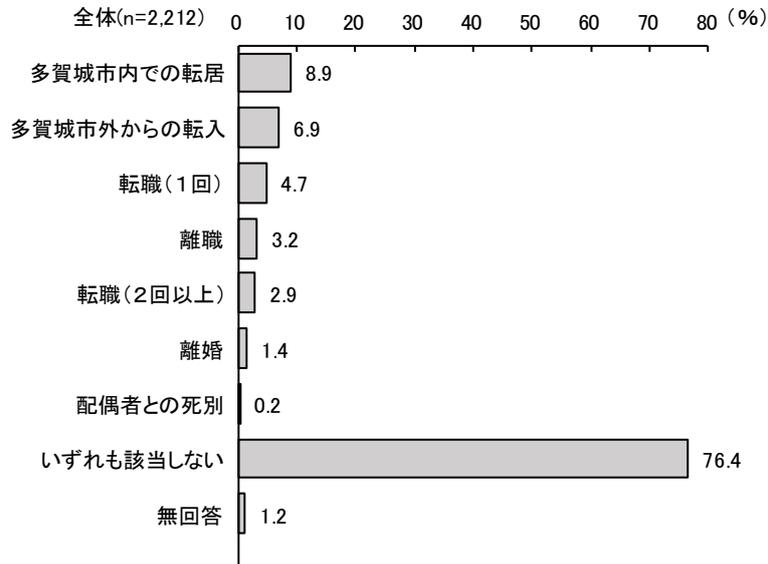
【住居の状況／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「借家（マンションやアパートなど）」が42.4%、『貧困線以上』では「持家（あなた又はあなたの配偶者名義）」が54.4%と最も多くなっています。「持家」については『貧困線以上』では63.2%であるのに対し、『貧困線未満』では44.5%と、半数以上が「持家以外」になっています。

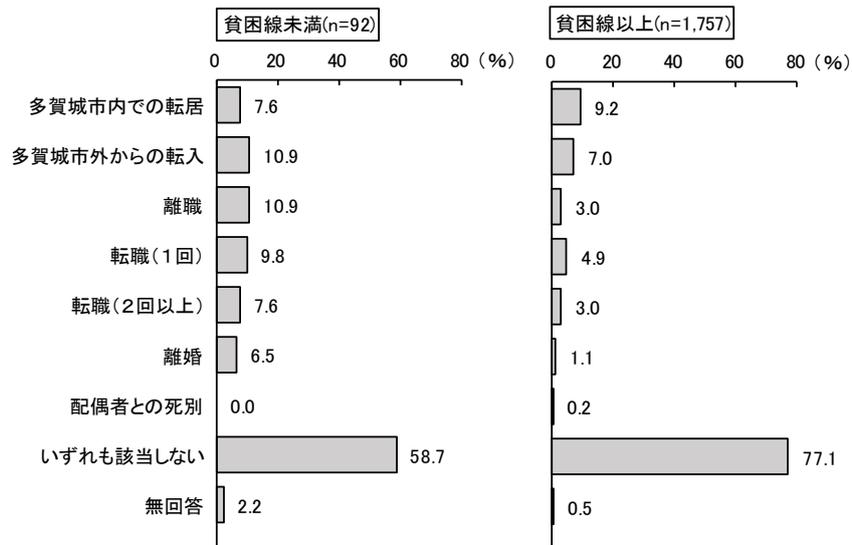
⑥東日本大震災の影響で経験したこと

問10 東日本大震災の影響により、次のようなことを経験しましたか。(あてはまるものすべてに○)



東日本大震災の影響で経験したことについては、「いずれも該当しない」が76.4%と最も多く、以下「多賀城市内での転居」(8.9%)、「多賀城市外からの転入」(6.9%)、「転職(1回)」(4.7%)となっています。

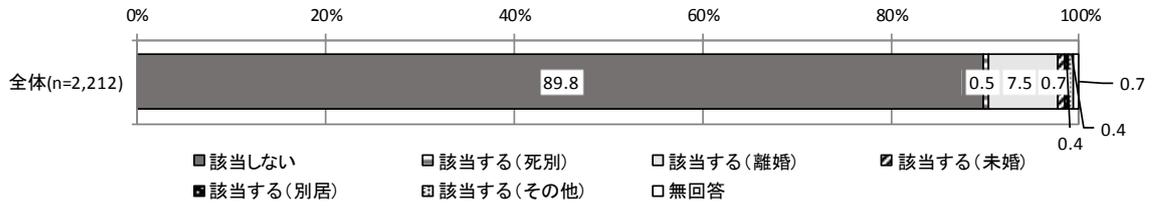
【東日本大震災の影響で経験したこと／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「多賀城市外からの転入」と「離職」がともに10.9%、『貧困線以上』では「多賀城市内での転居」が9.2%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では東日本大震災の影響が多い傾向にあります。

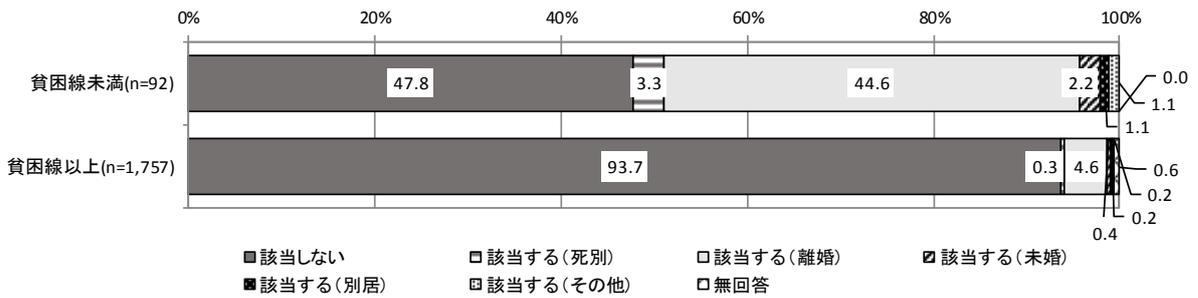
⑦ 「ひとり親世帯」の該当

問 1 1 あなたの世帯は、「ひとり親世帯」に該当しますか。(1つに○)



「ひとり親世帯」に該当するかについては、「該当しない」が89.8%と最も多く、以下「該当する（離婚）」(7.5%)、「該当する（未婚）」(0.7%)、「該当する（死別）」(0.5%)となっています。

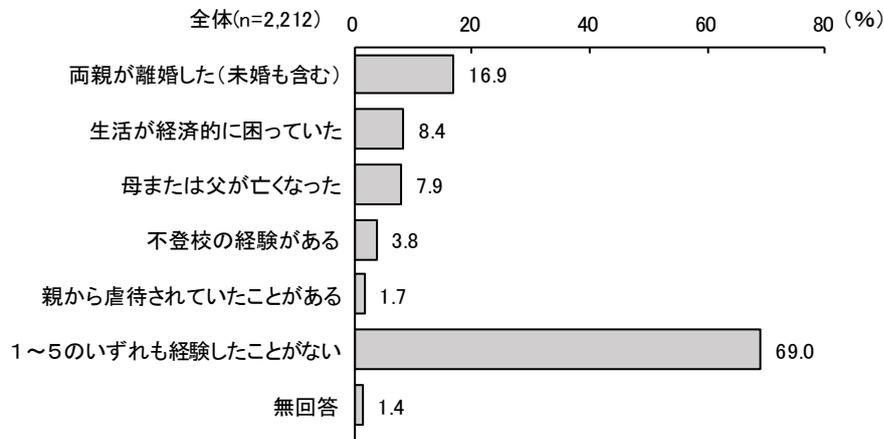
【「ひとり親世帯」の該当／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「該当する（離婚）」が44.6%、『貧困線以上』では「該当しない」が93.7%と最も多くなっています。

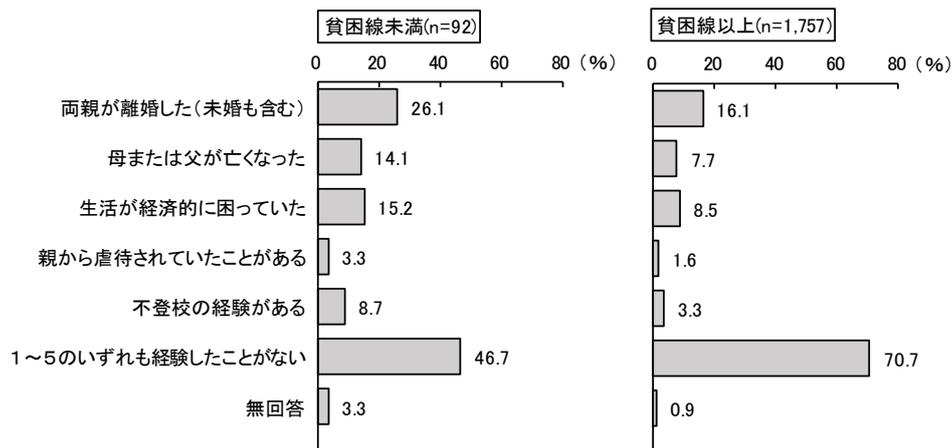
⑧両親の成人する前の家庭での経験

問12 あなたまたは配偶者の方は、成人する前、以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)



両親の成人する前の家庭での経験については、「両親が離婚した(未婚も含む)」が16.9%と最も多く、以下「生活が経済的に困っていた」(8.4%)、「母または父が亡くなった」(7.9%)、「不登校の経験がある」(3.8%)となっています。なお、「1~5のいずれも経験したことがない」は69.0%となっています。

【両親の成人する前の家庭での経験／貧困線別】

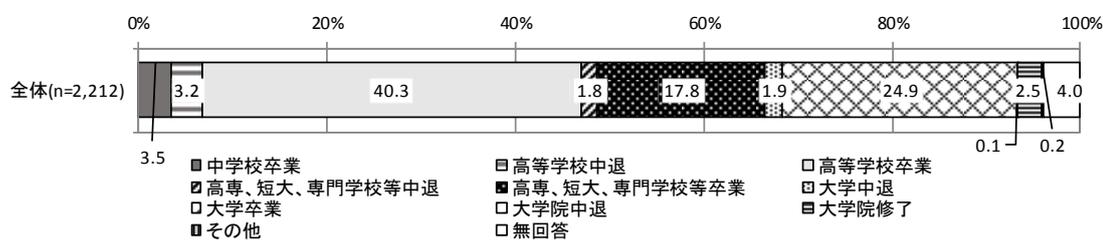


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「両親が離婚した(未婚も含む)」が最も多く、それぞれ26.1%、16.1%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では経験したことがある項目の割合が高くなっています。

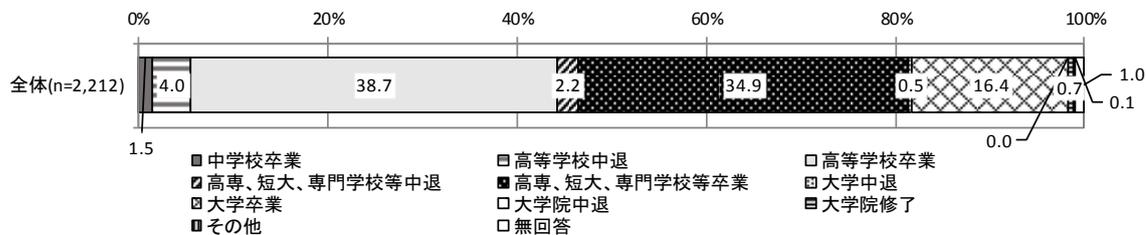
⑨両親の最終学歴

問 1 3 お子さんの父親・母親の最終学歴について教えてください。(それぞれ1つに○)

【父親】



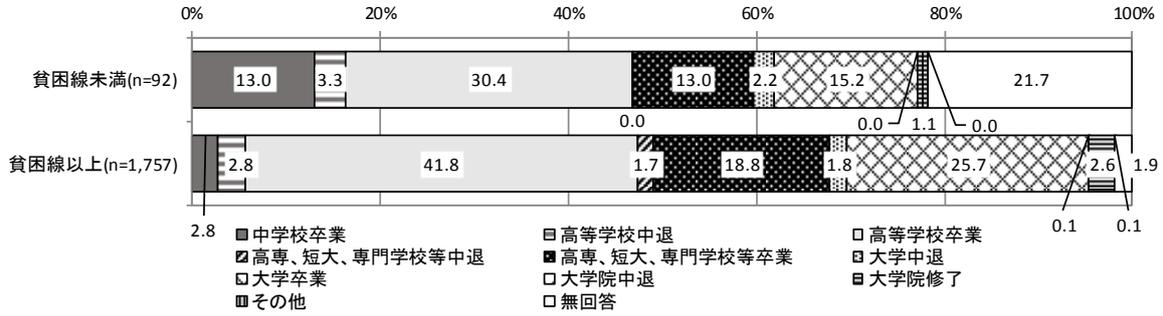
【母親】



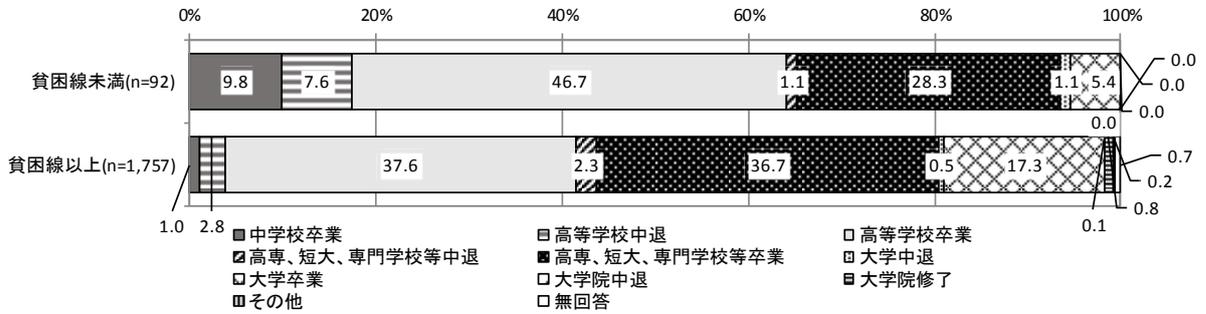
父親の最終学歴については、「高等学校卒業」が40.3%と最も多く、以下「大学卒業」(24.9%)、「高専、短大、専門学校等卒業」(17.8%)、「中学校卒業」(3.5%)となっています。

母親の最終学歴については、「高等学校卒業」が38.7%と最も多く、以下「高専、短大、専門学校等卒業」(34.9%)、「大学卒業」(16.4%)、「高等学校中退」(4.0%)となっています。

【父親の最終学歴／貧困線別】



【母親の最終学歴／貧困線別】



貧困線別にみると、父親の最終学歴は『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「高等学校卒業」が最も多く、それぞれ30.4%、41.8%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「高等学校卒業」が11.4ポイント、「大学卒業」が10.5ポイント少なくなっています。

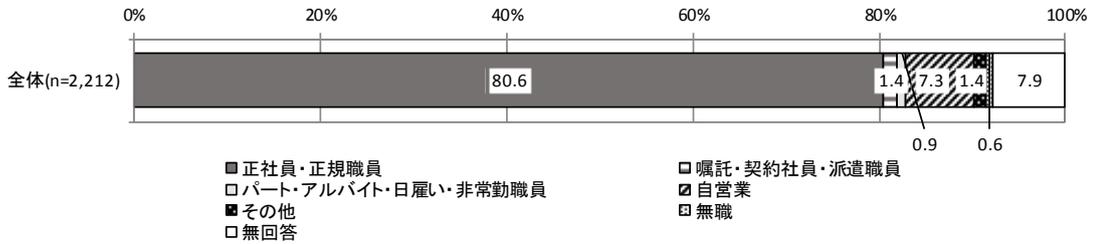
母親の最終学歴は『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「高等学校卒業」が最も多く、それぞれ46.7%、37.6%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「大学卒業」が11.9ポイント少なくなっています。

(3) 保護者の就労状況

問14 お子さんのご両親（またはご両親に代わる方）の就労状況についてあてはまるもの1つに○をつけてください。また、働いている人については休日や夜勤の有無についても教えてください。

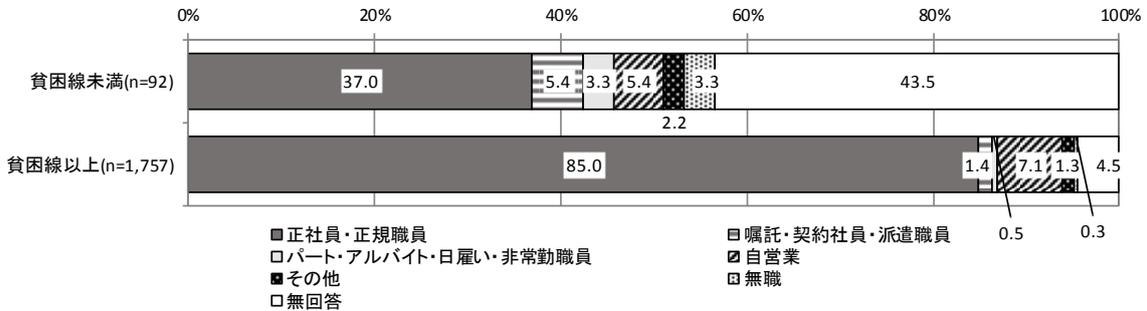
①父親（または父親に代わる方）の就労状況

ア. 職業形態



父親の職業形態については、「正社員・正規職員」が80.6%と最も多く、以下「自営業」(7.3%)、「嘱託・契約社員・派遣職員」(1.4%)となっています。

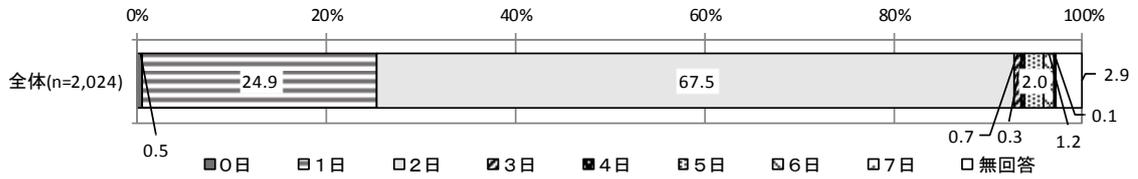
【父親の職業形態／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「正社員・正規職員」が最も多く、それぞれ37.0%、85.0%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「正社員・正規職員」が48.0ポイント少なくなっています。

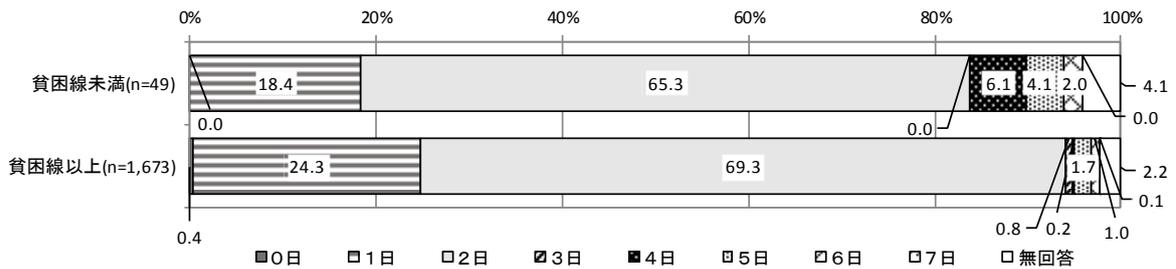
イ. 休日

※問14の①で「1」～「5」のいずれかに回答した方のみ



父親の休日については、「2日」が67.5%と最も多く、以下「1日」(24.9%)、「5日」(2.0%)、「6日」(1.2%)となっています。

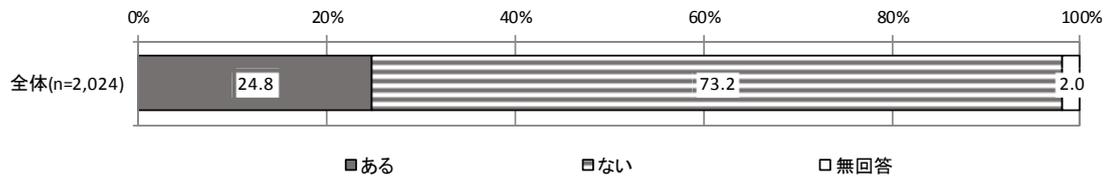
【父親の休日／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「2日」が最も多く、それぞれ65.3%、69.3%となっています。

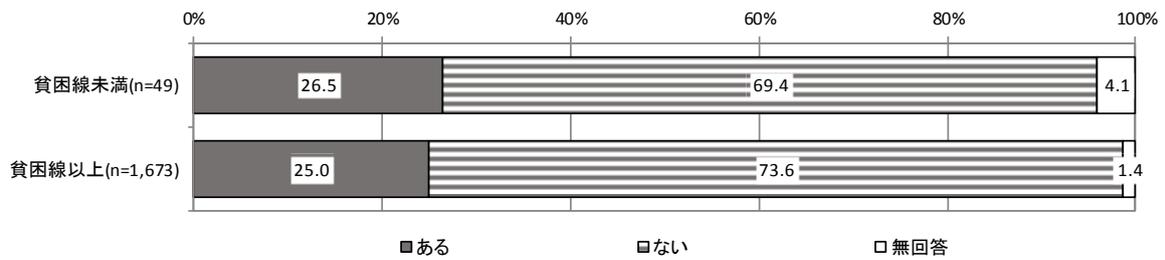
ウ. 夜勤の有無

※問14の①で「1」～「5」のいずれかに回答した方のみ



父親の夜勤の有無については、「ない」が73.2%、「ある」が24.8%となっています。

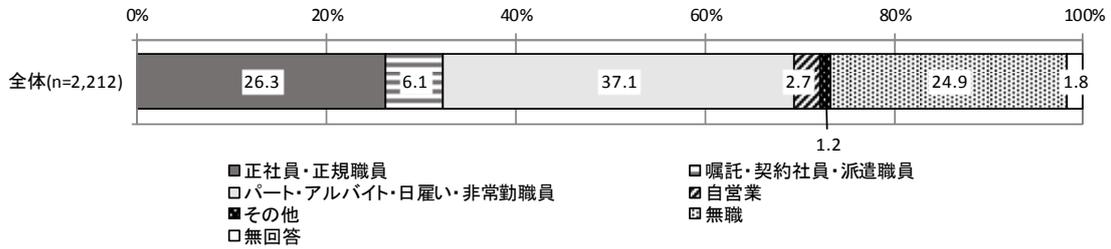
【父親の夜勤の有無／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ69.4%、73.6%となっています。

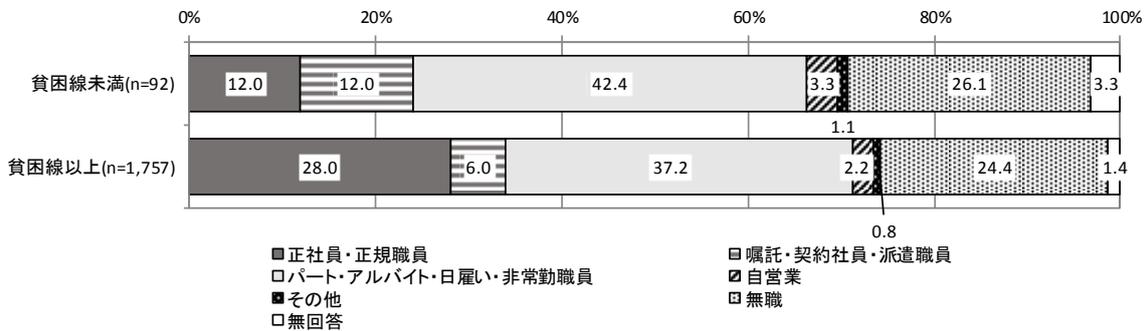
①母親（または母親に代わる方）の就労状況

ア. 職業形態



母親の職業形態については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 37.1%と最も多く、以下「正社員・正規職員」(26.3%)、「無職」(24.9%)、「嘱託・契約社員・派遣職員」(6.1%)となっています。

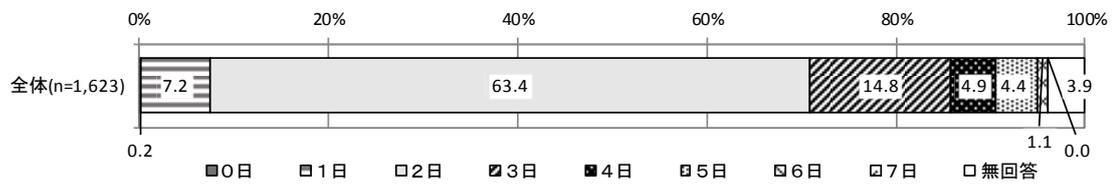
【母親の職業形態／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が最も多く、それぞれ 42.4%、37.2%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「正社員・正規職員」が 16.0 ポイント少なくなっています。

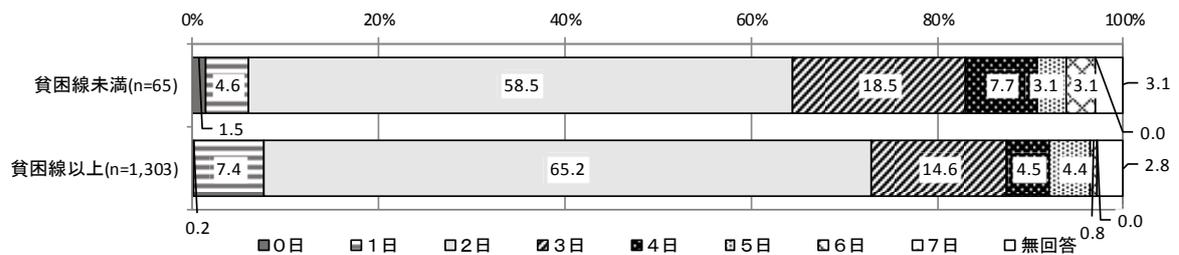
イ. 休日

※問14の①で「1」～「5」のいずれかに回答した方のみ



母親の休日については、「2日」が63.4%と最も多く、以下「3日」(14.8%)、「1日」(7.2%)、「4日」(4.9%) となっています。

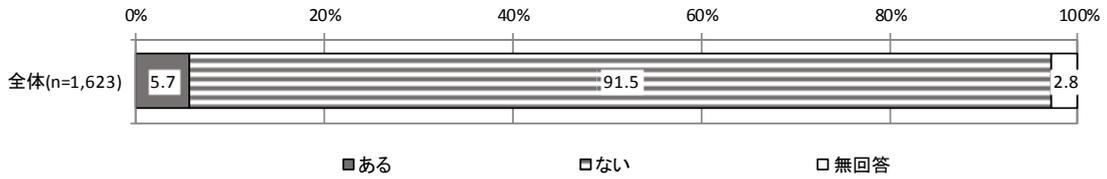
【母親の休日／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「2日」が最も多く、それぞれ58.5%、65.2% となっています。

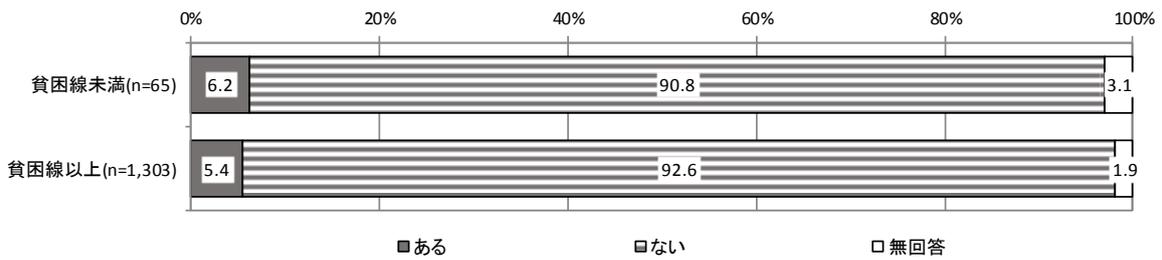
ウ. 夜勤の有無

※問14の①で「1」～「5」のいずれかに回答した方のみ



母親の夜勤の有無については、「ない」が91.5%、「ある」が5.7%となっています。

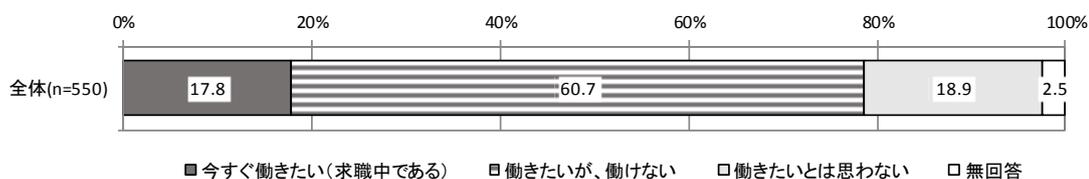
【母親の夜勤の有無／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ90.8%、92.6%となっています。

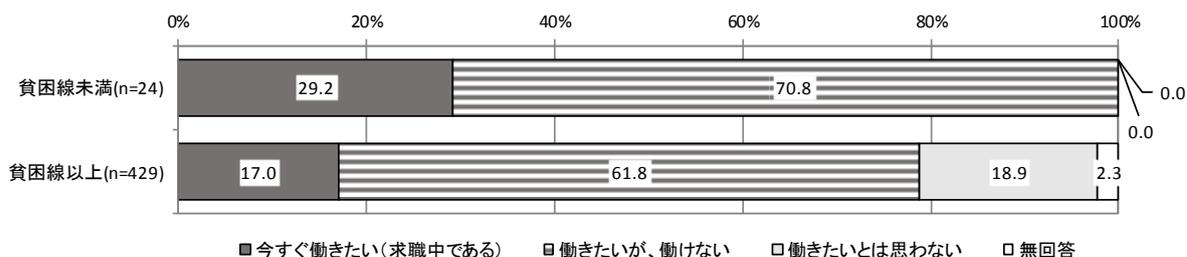
エ. 働いていない母親の就労意向

※問14の①で「6」に回答した方のみ



働いていない母親の就労意向については、「働きたいが、働けない」が60.7%と最も多く、以下「働きたいとは思わない」(18.9%)、「今すぐ働きたい(求職中である)」(17.8%)となっています。

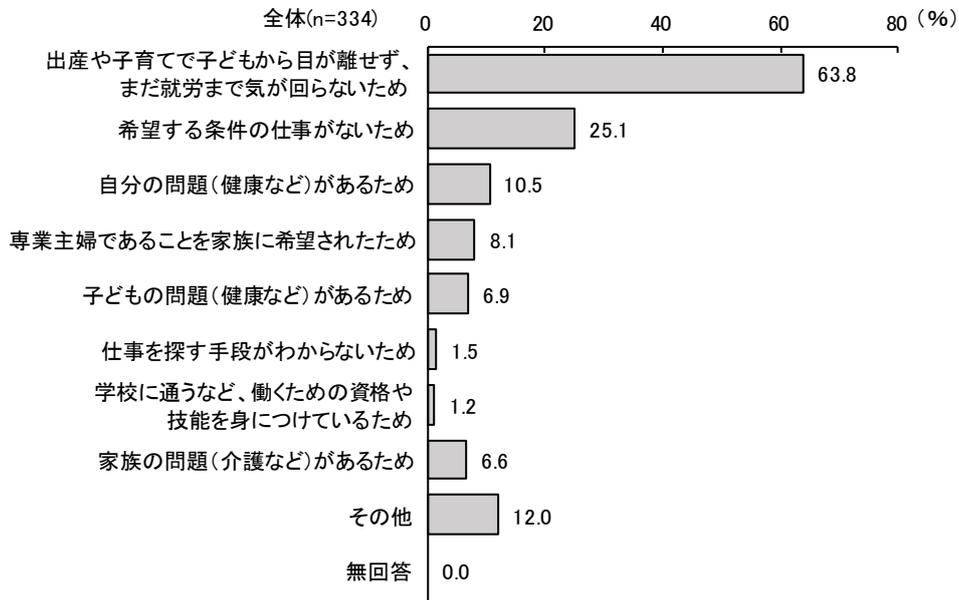
【働いていない母親の就労意向／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「働きたいが、働けない」が最も多く、それぞれ70.8%、61.8%となっています。

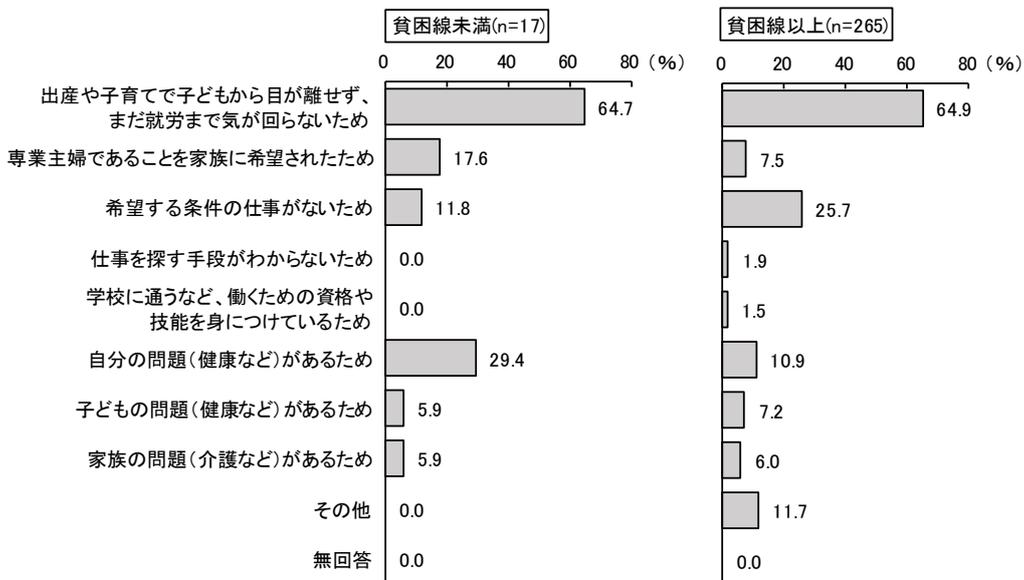
オ. 働けない理由

※問14の④で「2」に回答した方のみ



母親の働けない理由については、「出産や子育てで子どもから目が離せず、まだ就労まで気が回らないため」が63.8%と最も多く、以下「希望する条件の仕事がないため」(25.1%)、「自分の問題(健康など)があるため」(10.5%)、「専業主婦であることを家族に希望されたため」(8.1%)となっています。

【母親の働けない理由／貧困線別】

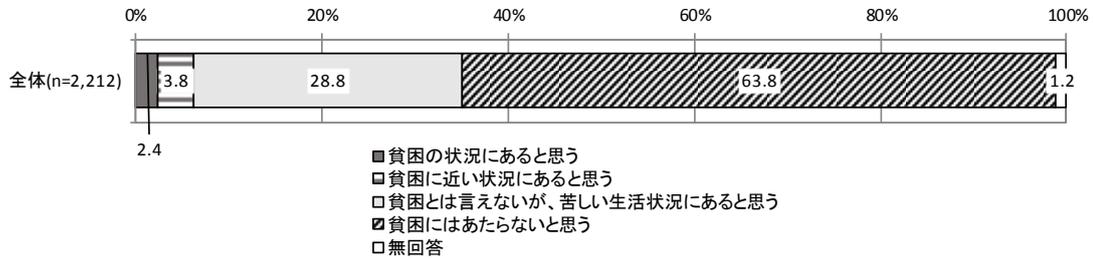


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「出産や子育てで子どもから目が離せず、まだ就労まで気が回らないため」が最も多く、それぞれ64.7%、64.9%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「専業主婦であることを家族に希望されたため」が10.1ポイント、「自分の問題(健康など)があるため」が18.5ポイント多くなっています。

(4) 経済状況

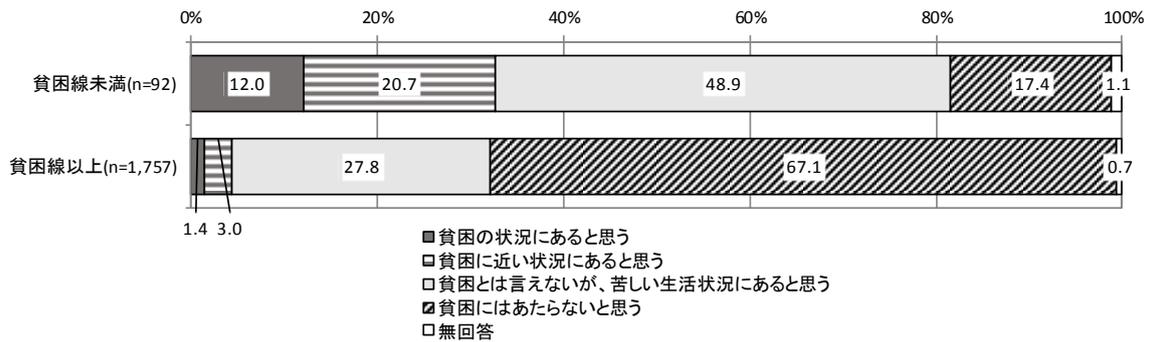
① 貧困の状況にあるか

問15 現在、あなたのご家庭は“貧困”とされる状況にあると思いますか。(1つに○)



家庭が貧困とされる状況にあると思うかについては、「貧困にはあたらないと思う」が63.8%と最も多く、以下「貧困とは言えないが、苦しい生活状況にあると思う」(28.8%)、「貧困に近い状況にあると思う」(3.8%)、「貧困の状況にあると思う」(2.4%)となっています。

【貧困の状況にあるか／貧困線別】

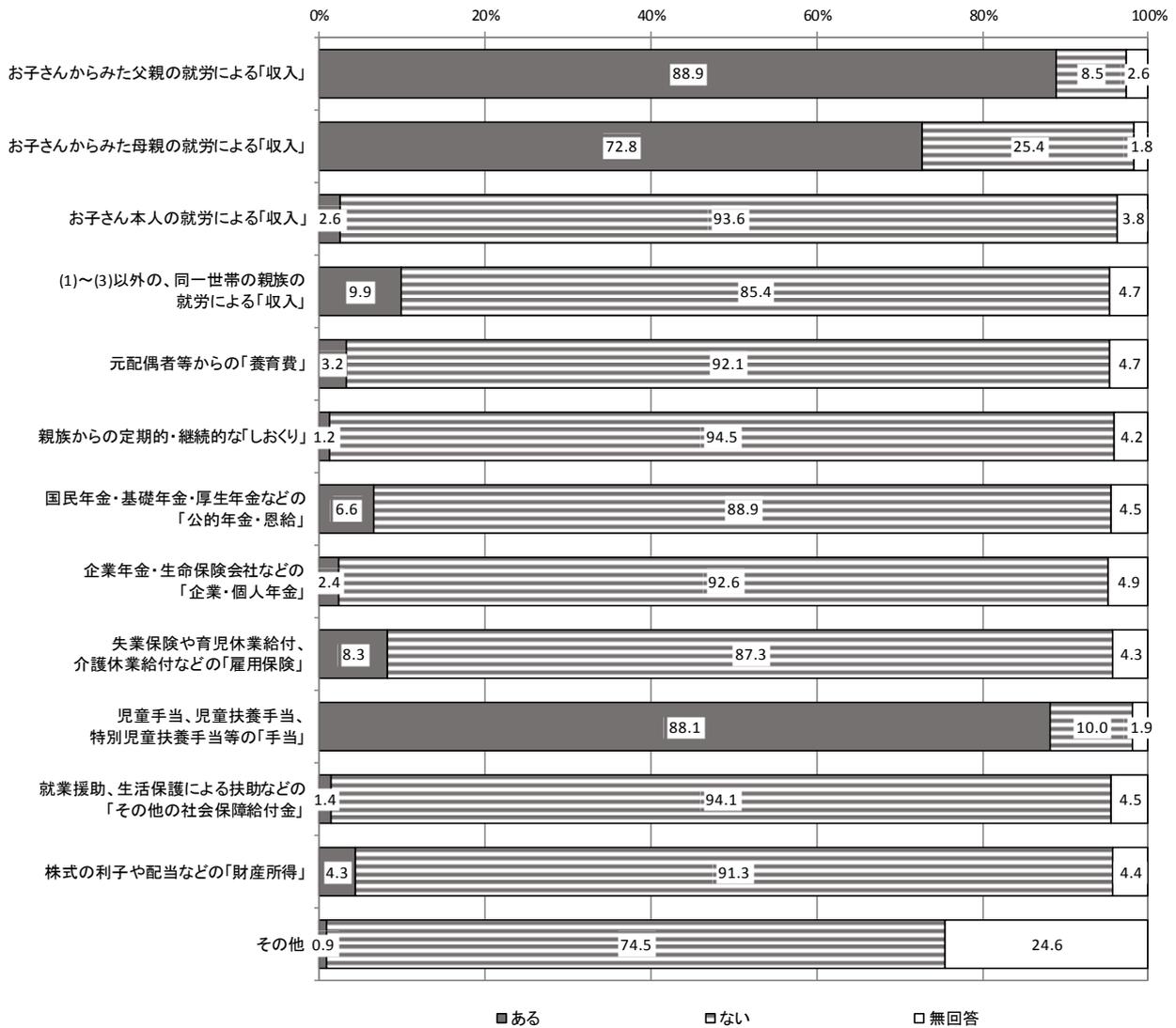


貧困線別にみると、『貧困線未満』では「貧困とは言えないが、苦しい生活状況にあると思う」が48.9%、『貧困線以上』では「貧困にはあたらないと思う」が67.1%と最も多くなっています。

『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「貧困の状況にあると思う」が10.6ポイント、「貧困に近い状況にあると思う」が17.7ポイント、「貧困とは言えないが、苦しい生活状況にあると思う」が21.1ポイントと、それぞれ割合が高くなっています。

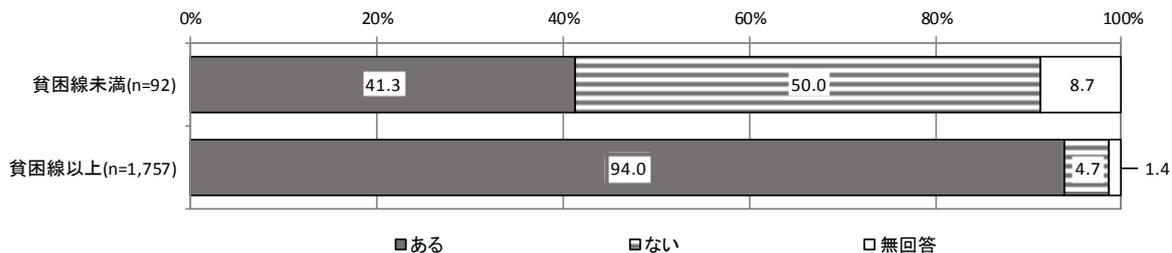
②手当等の受給や所得の有無

問 16 あなたの世帯全体では、1年間に以下の手当等の受給や所得はありましたか。(それぞれ1つに○)



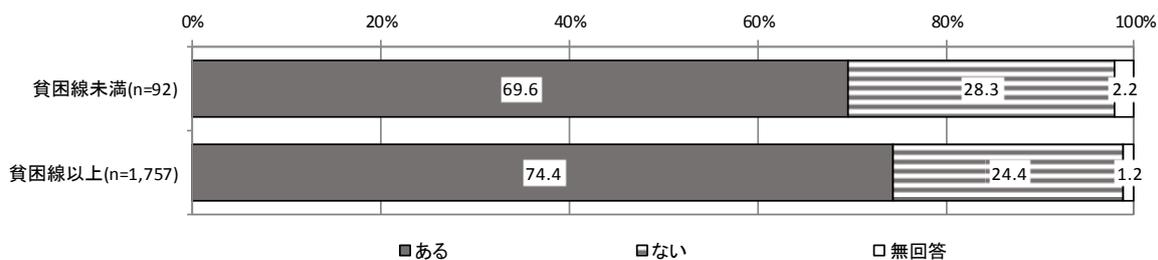
手当等の受給や所得については、『ある』では「お子さんからみた父親の就労による収入」が 88.9% と最も多く、以下「児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等の「手当」(88.1%)、「お子さんからみた母親の就労による収入」(72.8%) となっています。

【お子さんからみた父親の就労による「収入」／貧困線別】



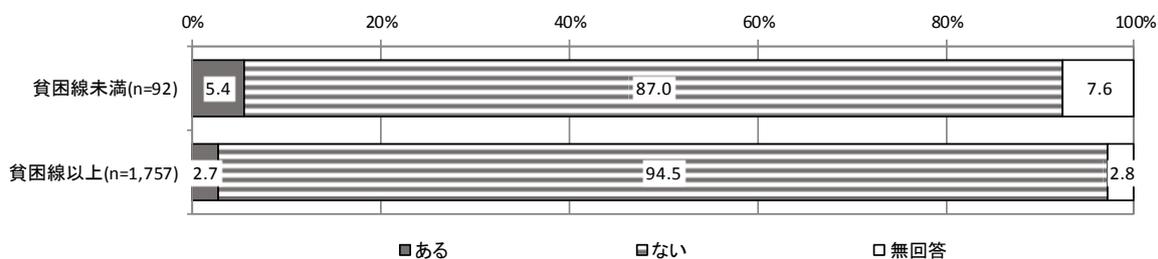
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「ない」が50.0%、『貧困線以上』では「ある」が94.0%となっています。

【お子さんからみた母親の就労による「収入」／貧困線別】



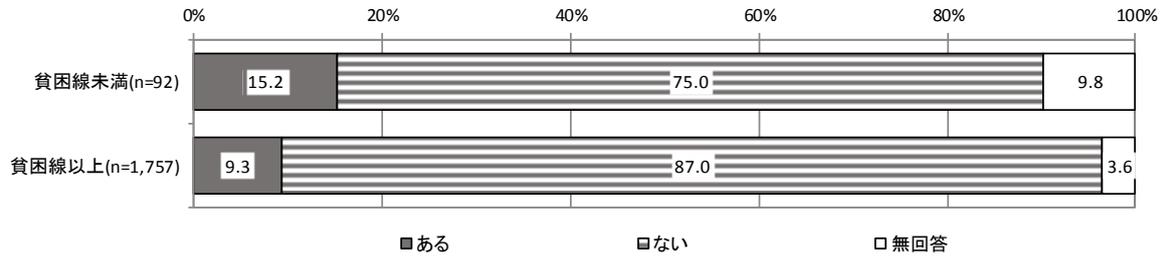
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ある」が多く、それぞれ69.6%、74.4%となっています。

【お子さん本人の就労による「収入」／貧困線別】



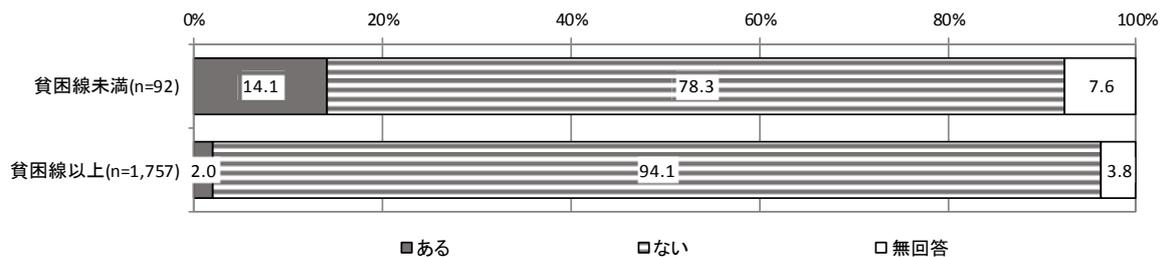
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ87.0%、94.5%となっています。

【(1)～(3)以外の、同一世帯の親族の就労による「収入」／貧困線別】



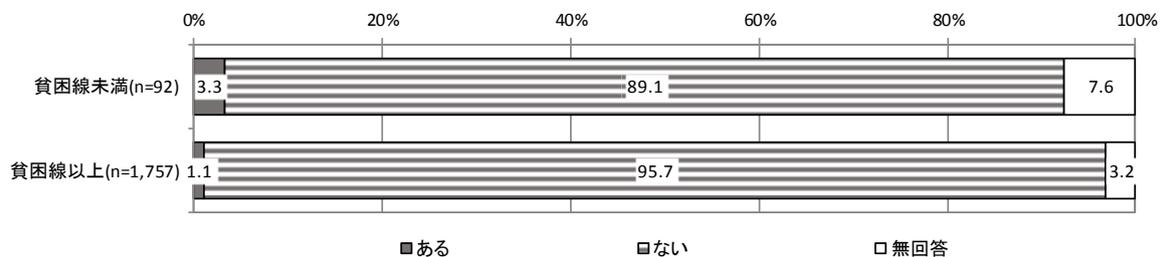
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ75.0%、87.0%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「ある」が5.9ポイント多くなっています。

【元配偶者等からの「養育費」／貧困線別】



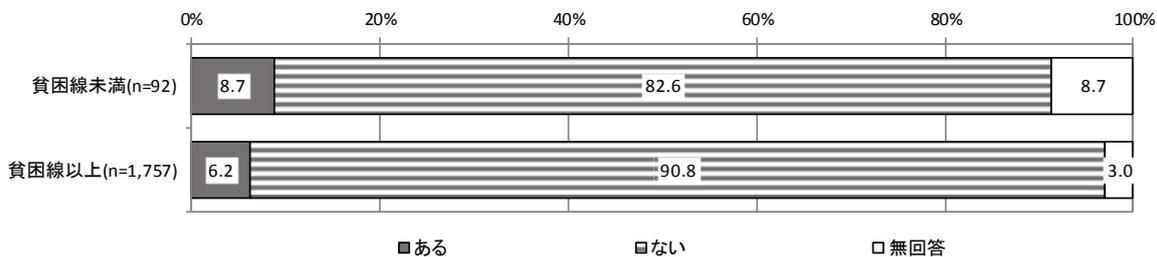
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ78.3%、94.1%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「ある」が12.1ポイント多くなっています。

【親族からの定期的・継続的な「しおり」／貧困線別】



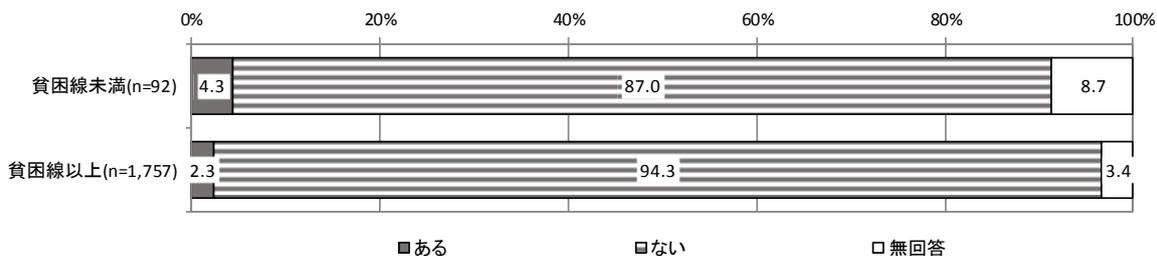
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ89.1%、95.7%となっています。

【国民年金・基礎年金・厚生年金などの「公的年金・恩給」／貧困線別】



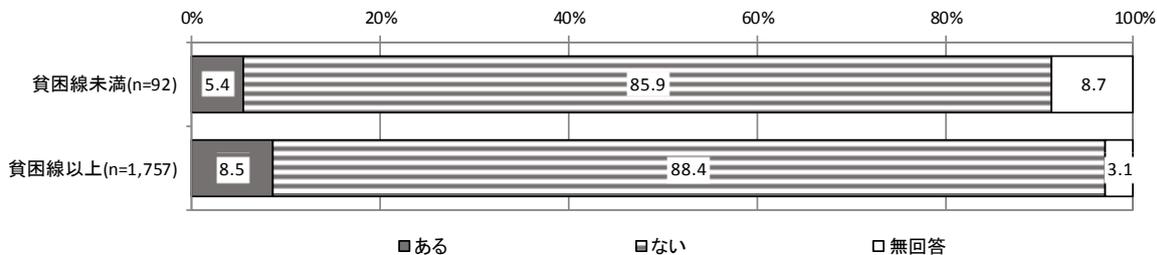
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 82.6%、90.8% となっています。

【企業年金・生命保険会社などの「企業・個人年金」／貧困線別】



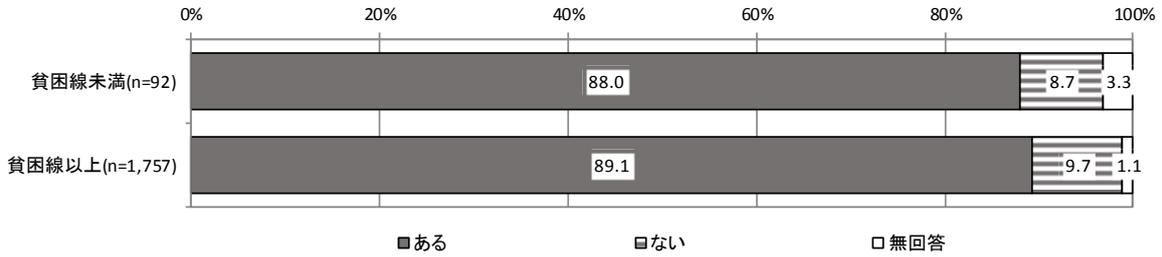
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 87.0%、94.3% となっています。

【失業保険や育児休業給付、介護休業給付などの「雇用保険」／貧困線別】



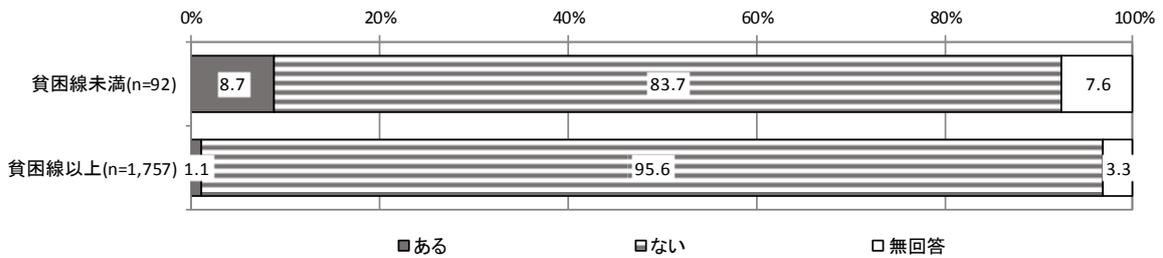
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 85.9%、88.4% となっています。

【児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当等の「手当」／貧困線別】



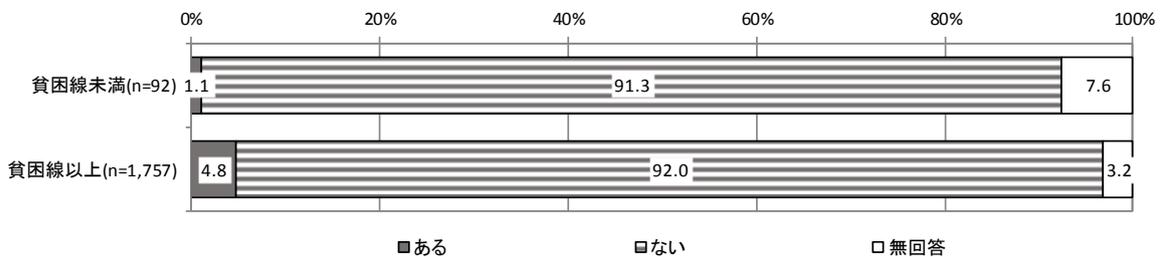
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ある」が多く、それぞれ 88.0%、89.1% となっています。

【就業援助、生活保護による扶助などの「その他の社会保障給付金」／貧困線別】



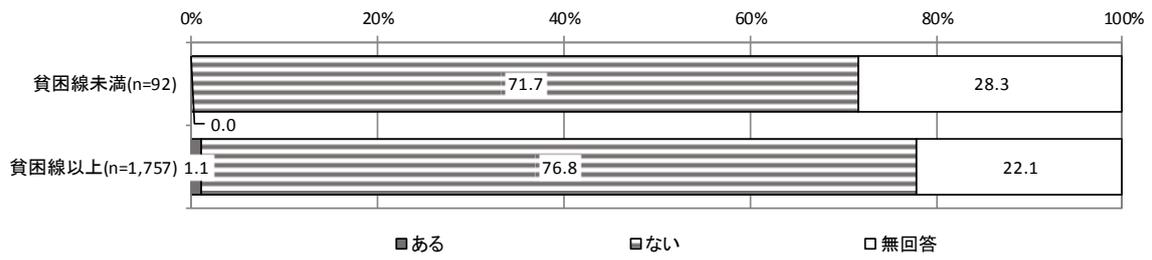
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 83.7%、95.6% となっています。

【株式の利子や配当などの「財産所得」／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 91.3%、92.0% となっています。

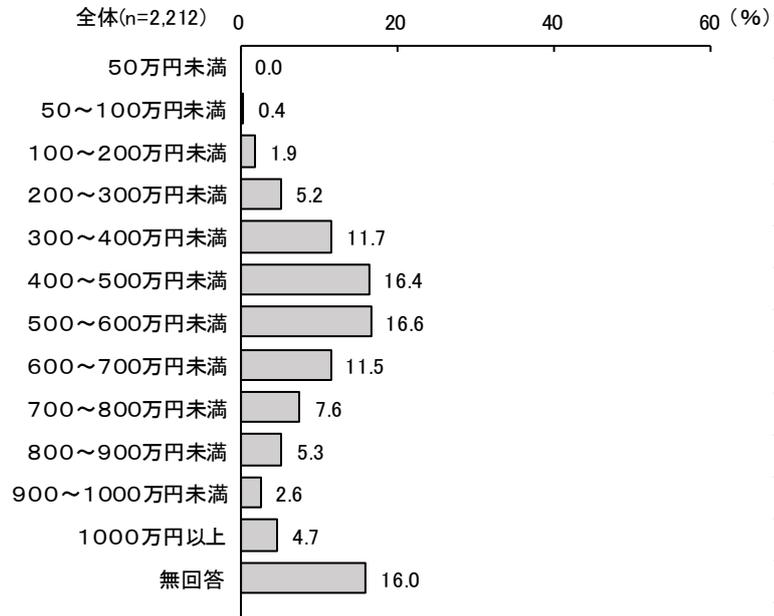
【その他／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 71.7%、76.8% となっています。

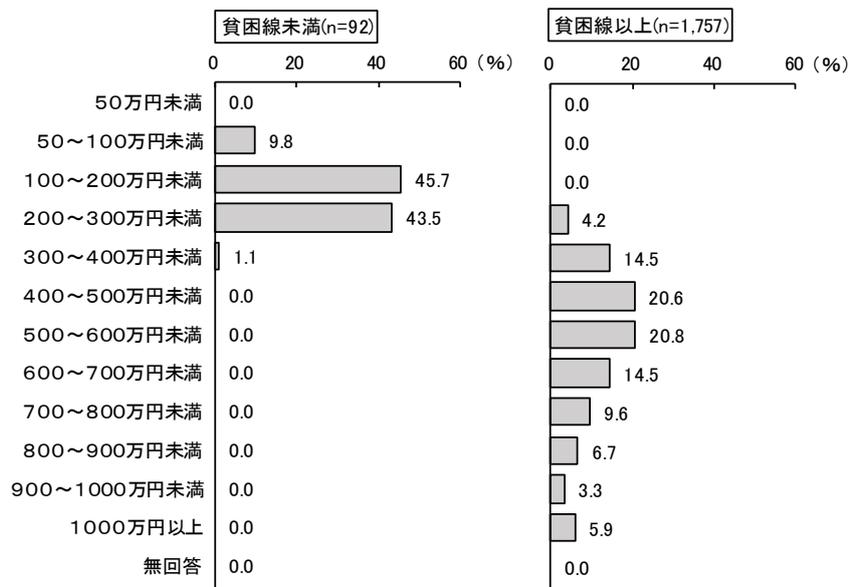
③世帯全体の年間可処分所得

問17 あなたの世帯全体の、平成30年における年間の手取り収入（可処分所得）について教えてください。



世帯全体の年間可処分所得については、「500～600万円未満」が16.6%と最も多く、以下「400～500万円未満」(16.4%)、「600～700万円未満」(11.5%)、「300～400万円未満」(11.7%)となっています。

【世帯全体の年間可処分所得／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「100～200万円未満」と「200～300万円未満」がそれぞれ45.7%、43.5%となっています。

④世帯全体の1か月分の収入

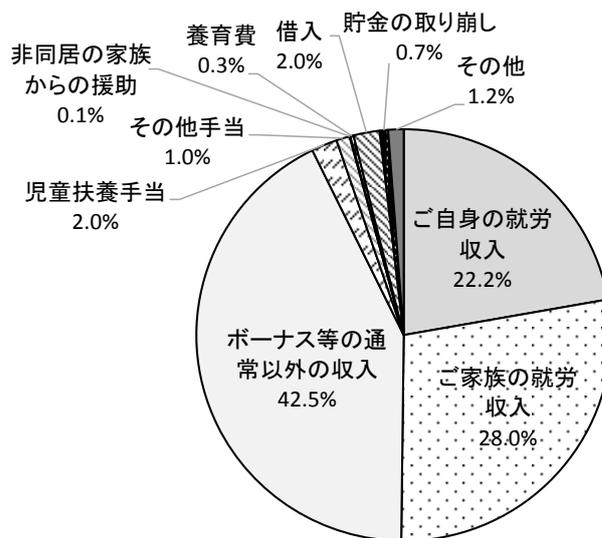
問18 あなたの世帯の、平成30年12月における1か月分の収入（額面）について教えてください。

【平成30年12月の収入（平均値）】

（単位：円）

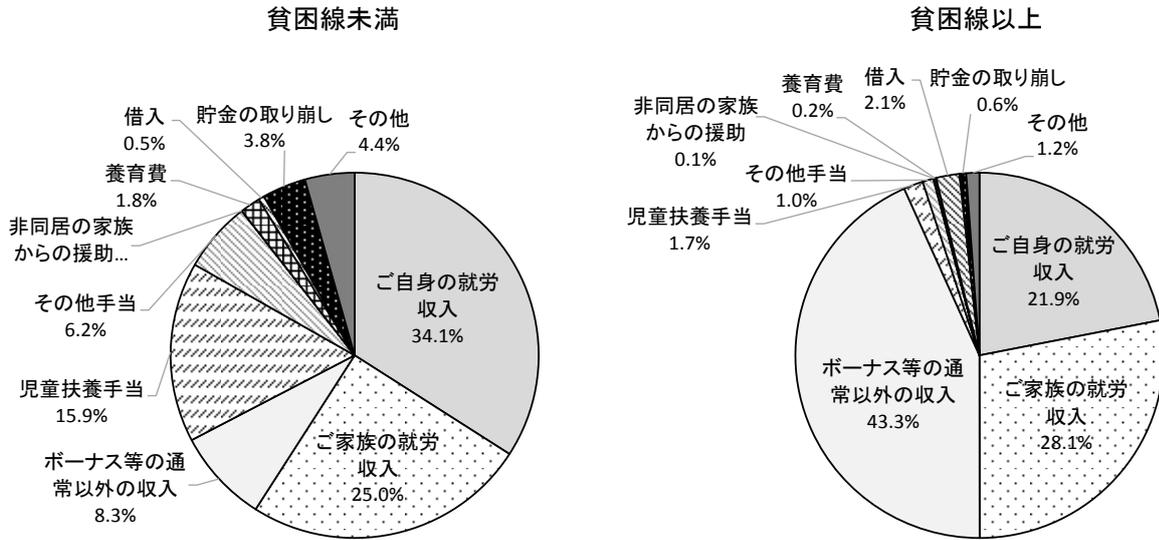
1か月の収入	全体	貧困線未満	貧困線以上
ご自身の就労収入	243,755	118,956	253,244
ご家族の就労収入	306,641	87,081	324,289
ボーナス等の通常以外の収入	466,496	28,889	500,341
児童扶養手当	22,051	55,650	19,808
その他手当	11,424	21,796	11,012
非同居の家族からの援助	640	0	680
養育費	2,853	6,206	2,200
借入	22,329	1,788	23,705
貯金の取り崩し	7,155	13,418	6,723
その他	13,201	15,191	13,340
合計	824,940	288,000	866,488

※借入は、1,000万円以上の回答を除外しています。



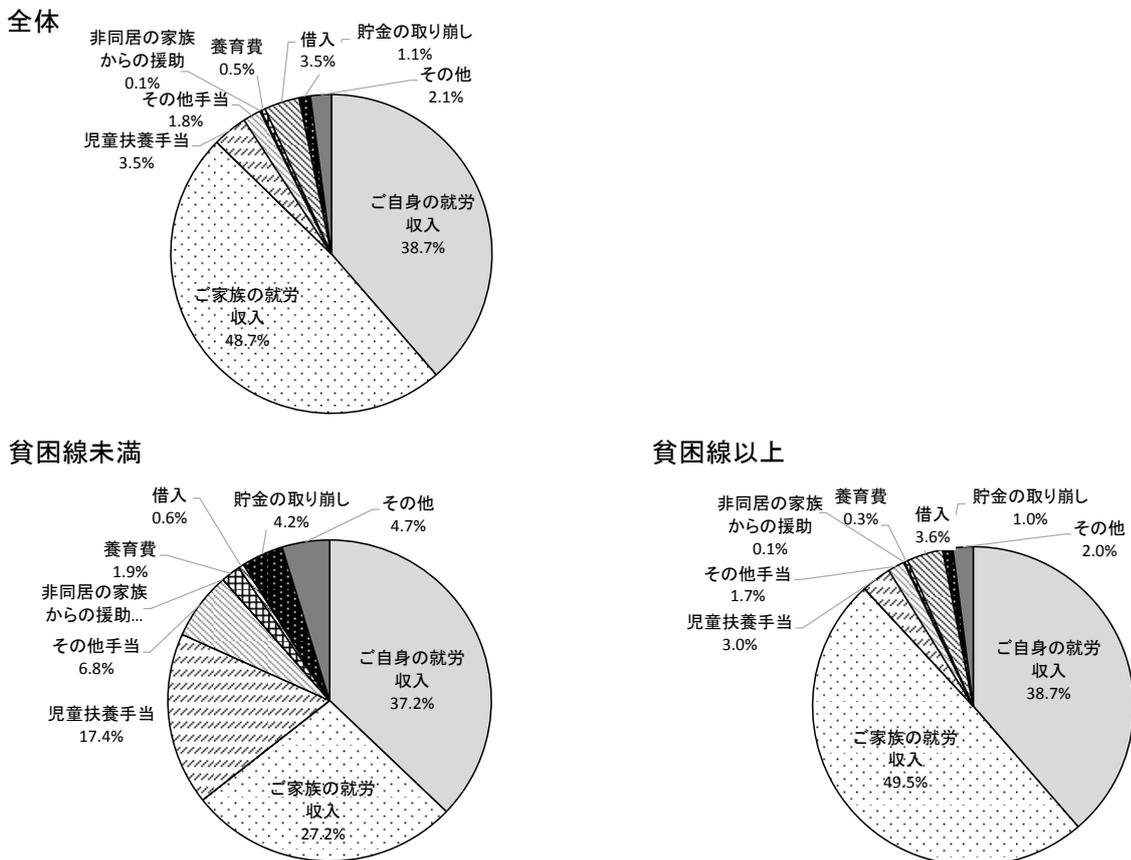
世帯全体の1か月分の収入については、「ボーナス等の通常以外の収入」が42.5%と最も多く、以下「ご家族の就労収入」(28.0%)、「ご自身の就労収入」(22.2%)となっています。

【平成 30 年 12 月の収入／貧困線別】



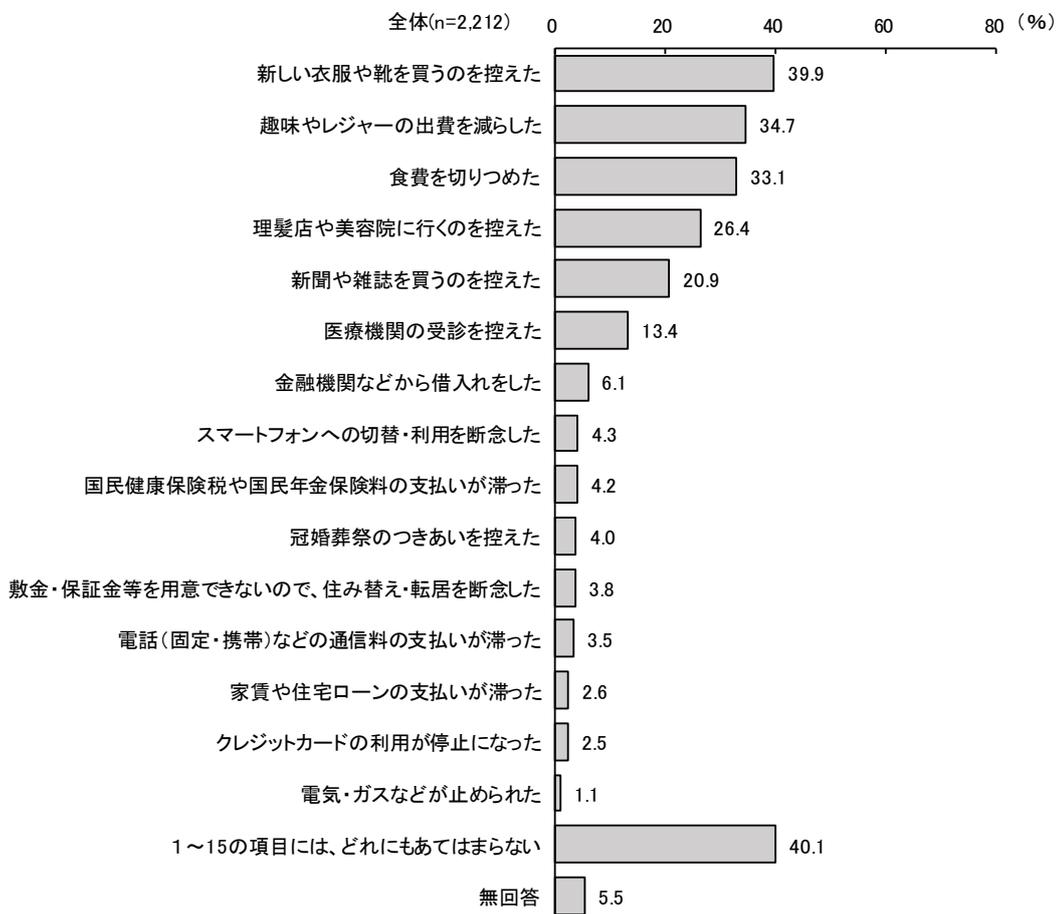
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「ご自身の就労収入」が 34.1%、『貧困線以上』では「ボーナス等の通常以外の収入」が 43.3%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「ボーナス等の通常以外の収入」が 35.0 ポイント、「ご自身の就労収入」が 12.2 ポイント少なくなっています。

【参考：ボーナス等の通常以外の収入を除いた場合】



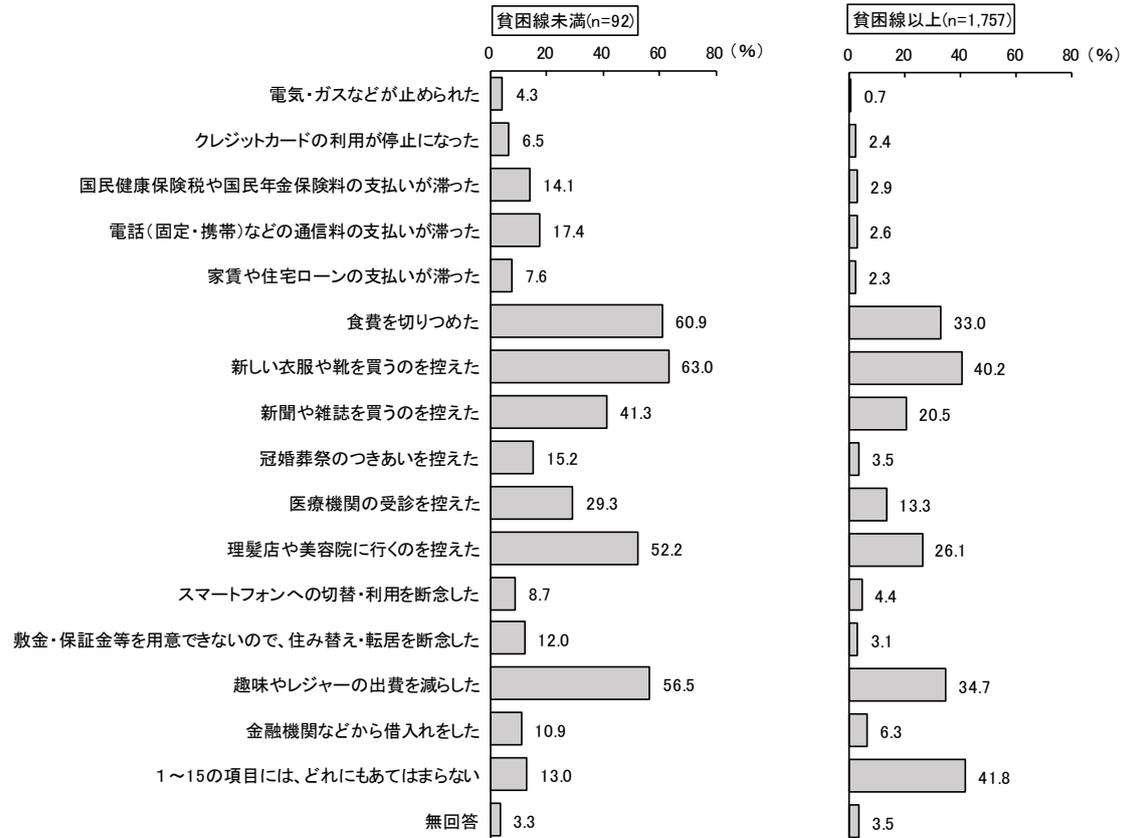
⑤過去半年間に経済的な理由でした経験

問19 あなたの世帯では、概ね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)



過去半年間に経済的な理由でした経験については、「新しい衣服や靴を買うのを控えた」が 39.9%と最も多く、以下「趣味やレジャーの出費を減らした」(34.7%)、「食費を切りつめた」(33.1%)、「理髪店や美容院に行くのを控えた」(26.4%) となっています。

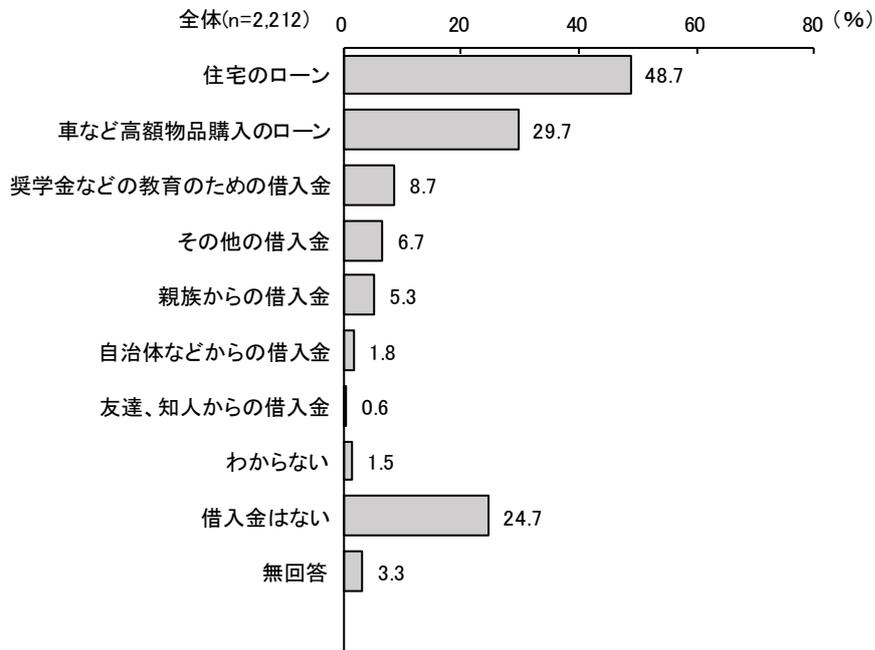
【過去半年間に経済的な理由でした経験／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「新しい衣服や靴を買うのを控えた」が最も多く、それぞれ63.0%、40.2%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では各項目の割合が高い傾向にあります。

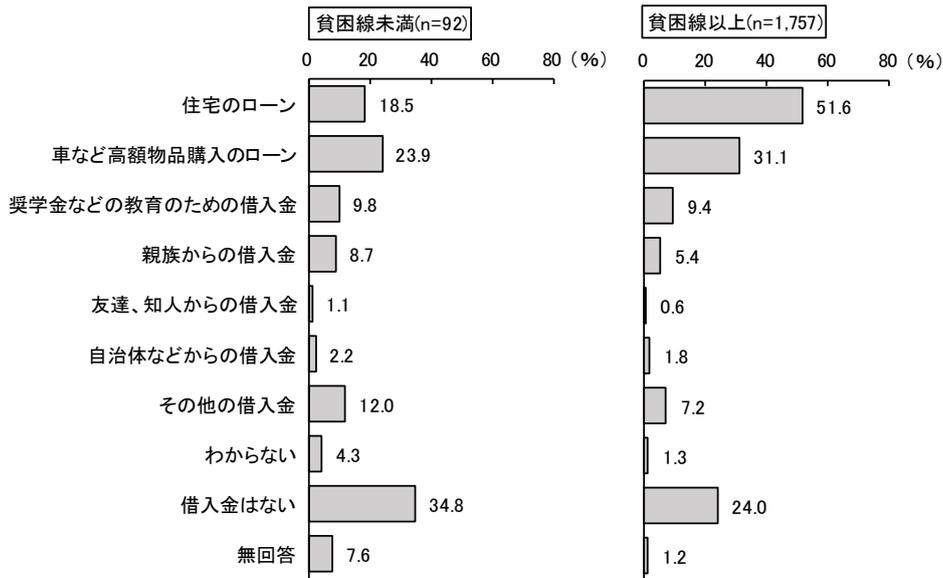
⑥借入金

問20 あなたの世帯には、次のような借入金がありますか。(あてはまるものすべてに○)



借入金については、「住宅のローン」が 48.7%と最も多く、以下「車など高額物品購入のローン」(29.7%)、「奨学金などの教育のための借入金」(8.7%) となっています。なお、「借入金はない」は 24.7%となっています。

【借入金／貧困線別】

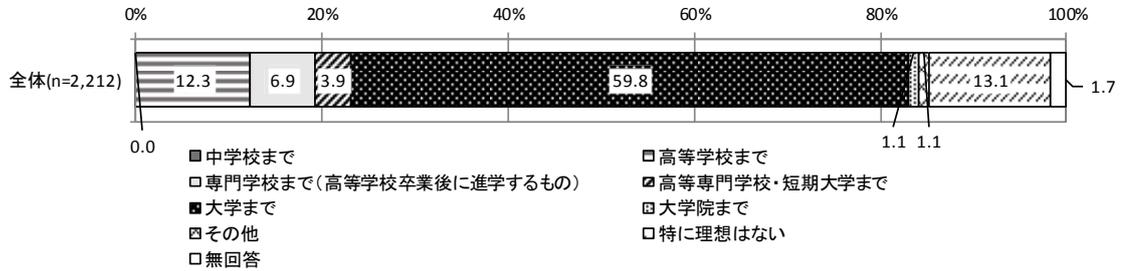


貧困線別にみると、『貧困線未満』では「車など高額物品購入のローン」が 23.9%、『貧困線以上』では「住宅のローン」が 51.6%と最も多くなっています。

(5) 子どもの進学について

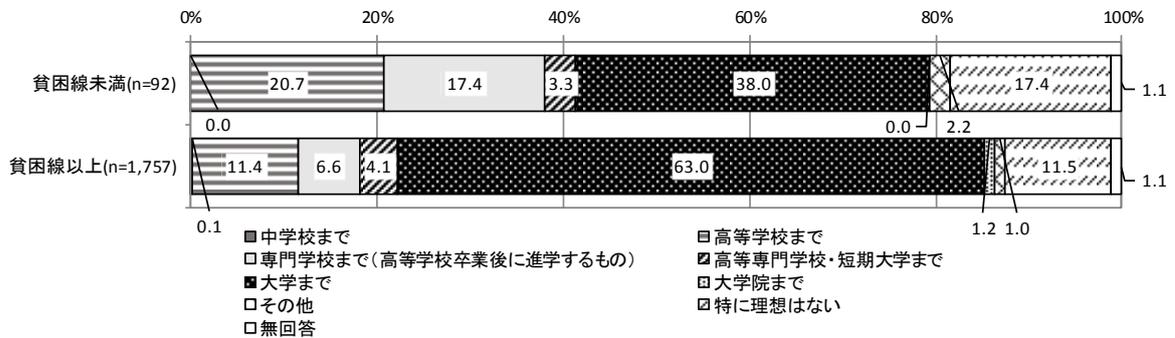
① どの段階の学校まで進んでほしいか

問 2 1 あなたは、お子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。(1つに○)



子どもにどの段階の学校まで進んでほしいかについては、「大学まで」が59.8%と最も多く、以下「特に理想はない」(13.1%)、「高等学校まで」(12.3%)、「専門学校まで(高等学校卒業後に進学するもの)」(6.9%)となっています。

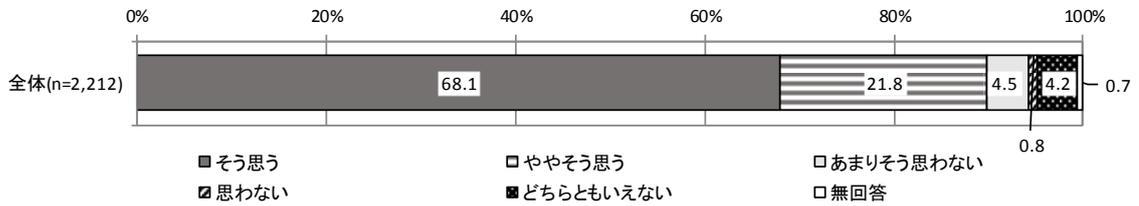
【どの段階の学校まで進んでほしいか／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「大学まで」が最も多く、それぞれ38.0%、63.0%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「大学まで」が25.0ポイント少なくなっています。

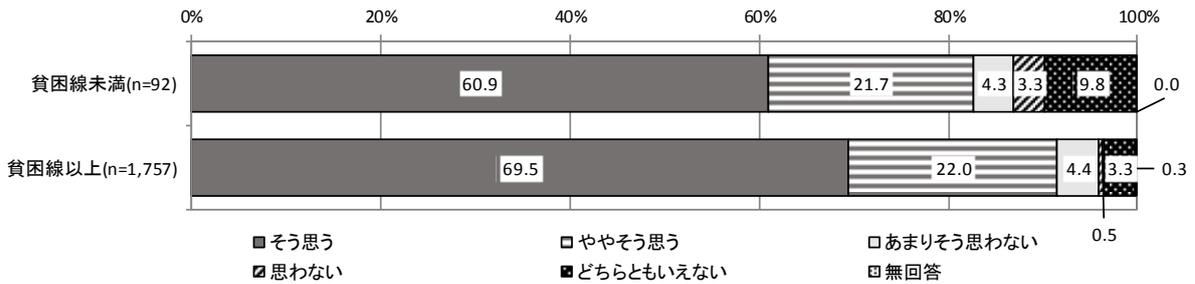
②塾や通信教育などで学ばせたいか

問22 お子さんが塾や通信教育などで学びたいと考えたら、学ばせたいと思いますか。(1つに○)



塾や通信教育などで学ばせたいかについては、「そう思う」が68.1%と最も多く、以下「ややそう思う」(21.8%)、「あまりそう思わない」(4.5%)、「どちらともいえない」(4.2%)となっています。

【塾や通信教育などで学ばせたいか／貧困線別】

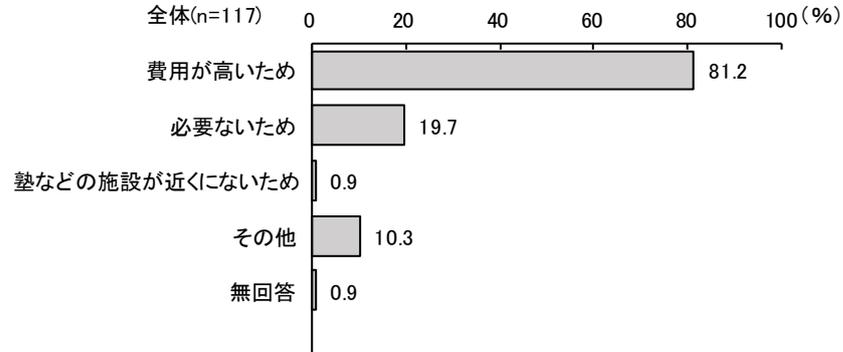


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「そう思う」が最も多く、それぞれ60.9%、69.5%となっています。

③学ばせたいと思わない理由

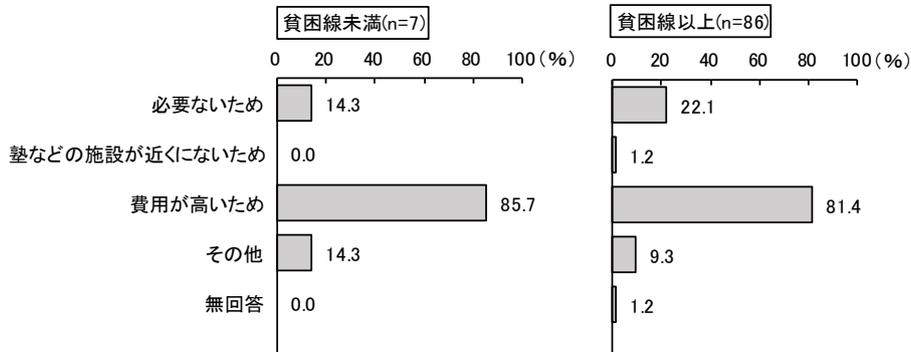
問 2 2 - 1 学ばせたいと思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

※問 2 2 で「3」～「4」のいずれかに回答した方のみ



塾や通信教育などで学ばせたいと思わない理由については、「費用が高いため」が81.2%と最も多く、以下「必要ないため」(19.7%)、「その他」(10.3%)、「塾などの施設が近くにないため」(0.9%)となっています。

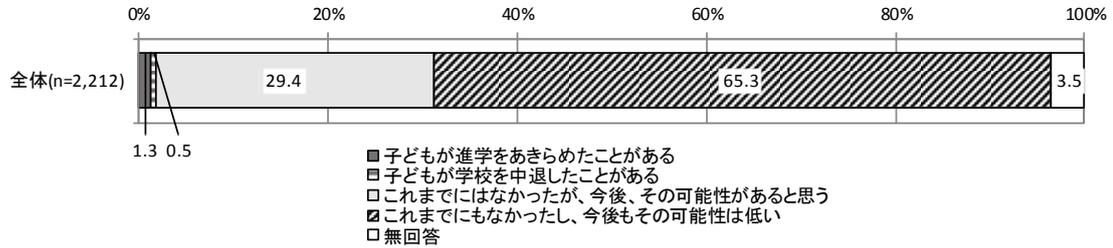
【学ばせたいと思わない理由／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「費用が高いため」が最も多く、それぞれ85.7%、81.4%となっています。

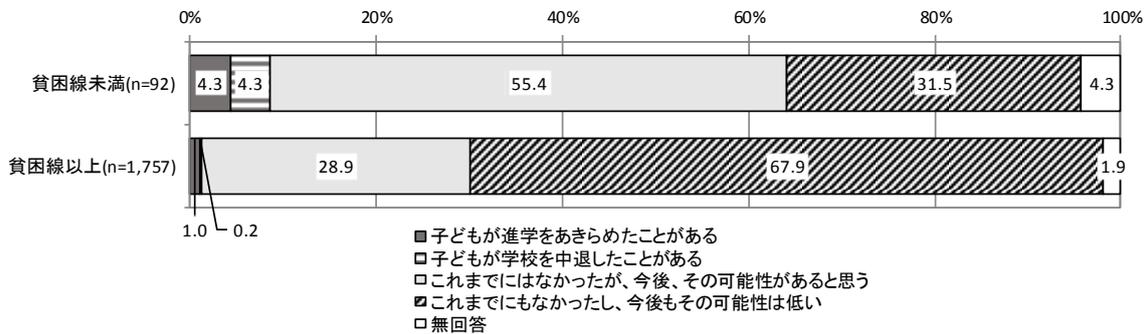
④経済的理由で進学を諦める、学校を中退またはその可能性

問 2 3 あなたの世帯では、経済的な理由により、お子さんが進学を諦めたり、学校を中退したことがある、または、今後その可能性があると思いますか。(1つに○)



経済的理由で進学を諦める、学校を中退またはその可能性があるかについては、「これまでもなかったし、今後もその可能性は低い」が65.3%と最も多く、以下「これまでもなかったが、今後、その可能性があると思う」(29.4%)、「子どもが進学をあきらめたことがある」(1.3%)、「子どもが学校を中退したことがある」(0.5%) となっています。

【経済的理由で進学を諦める、学校を中退またはその可能性／貧困線別】



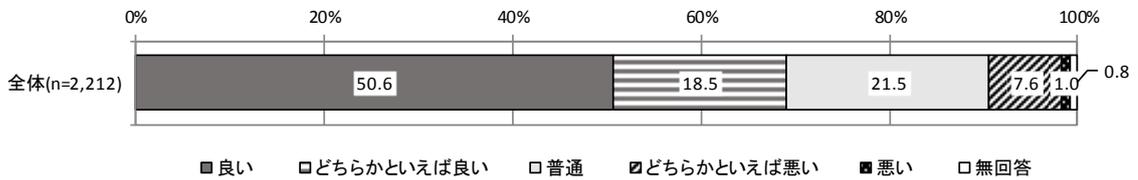
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「これまでもなかったが、今後、その可能性があると思う」が55.4%、『貧困線以上』では「これまでもなかったし、今後もその可能性は低い」が67.9%と最も多くなっています。

(6) 子どもの普段の生活について

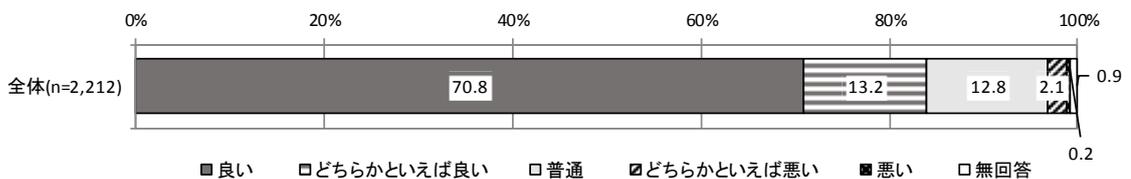
①健康状態

問24 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。(それぞれ1つに○)

【回答者】



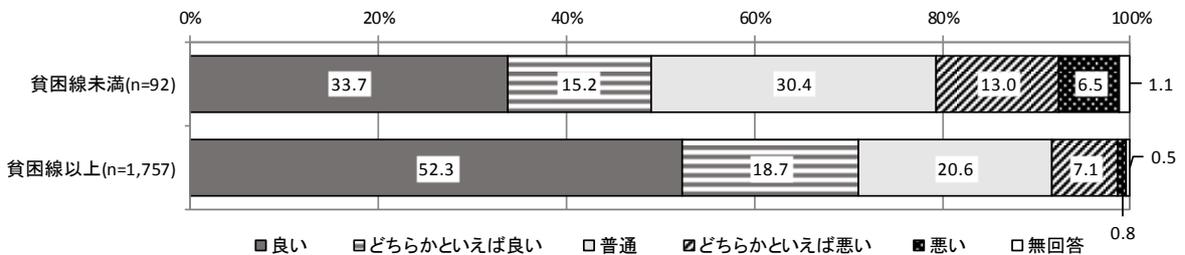
【子ども】



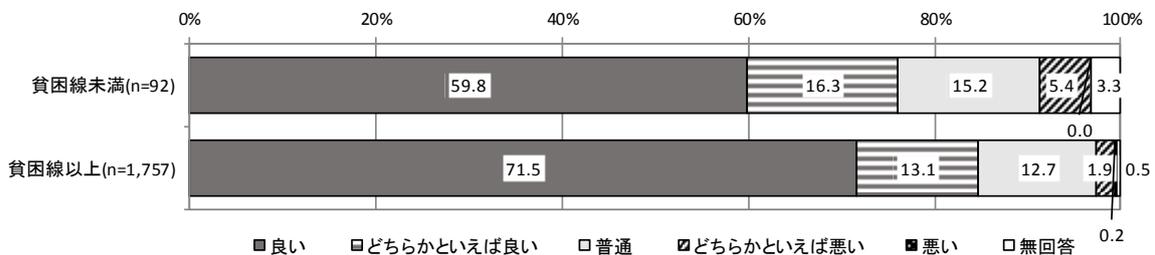
回答者の健康状態については、「良い」が50.6%と最も多く、以下「普通」(21.5%)、「どちらかといえば良い」(18.5%)、「どちらかといえば悪い」(7.6%)となっています。

子どもの健康状態については、「良い」が70.8%と最も多く、以下「どちらかといえば良い」(13.2%)、「普通」(12.8%)、「どちらかといえば悪い」(2.1%)となっています。

【回答者の健康状態／貧困線別】



【子どもの健康状態／貧困線別】



貧困線別にみると、回答者については、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「良い」が最も多く、それぞれ33.7%、52.3%となっています。

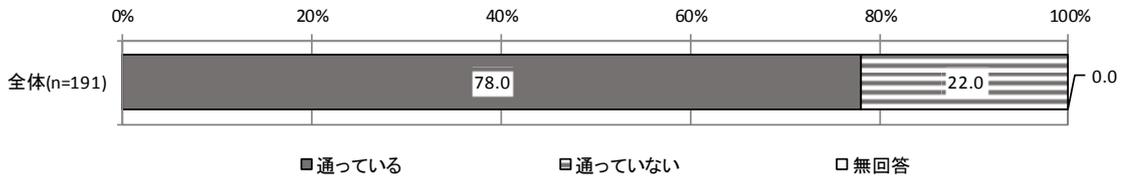
子どもについては、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「良い」が最も多く、それぞれ59.8%、71.5%となっています。『貧困線以上』に比べ『貧困線未満』では「良い」が11.7ポイント少なくなっています。

②通院しているか

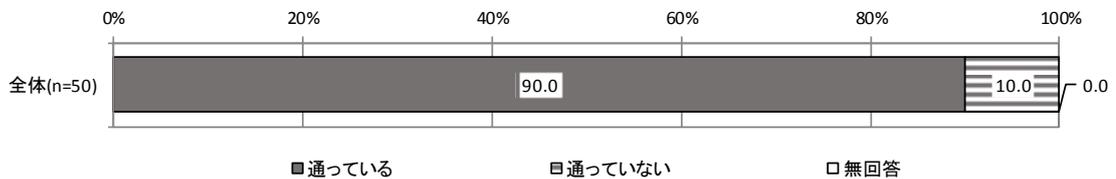
問 2 4 - 1 あなたは、現在、病院や専門的な機関などに、治療や療養のために通っていますか。(1つに○)

※問 2 4 - 1 で「4」～「5」のいずれかに回答した方のみ

【回答者】

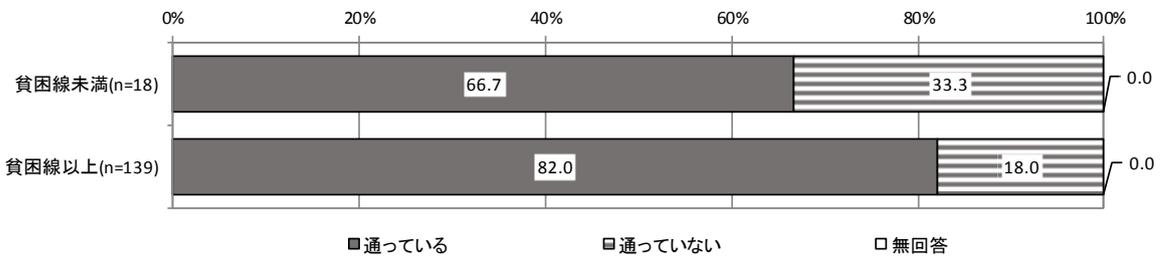


【子ども】

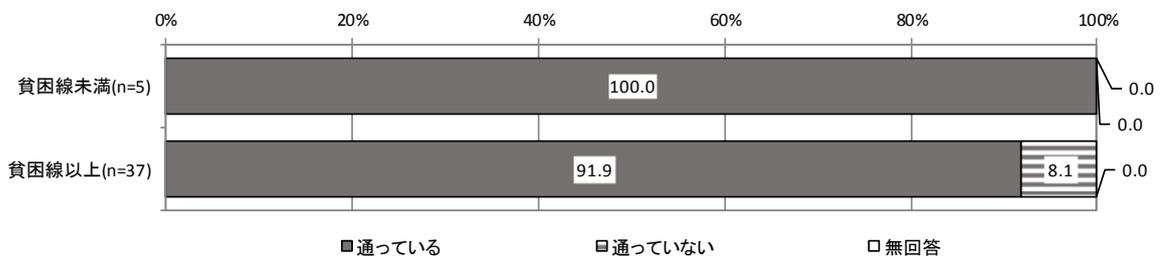


現在通院しているかについては、回答者では「通っている」が78.0%、「通っていない」が22.0%となっています。子どもでは、「通っている」が90.0%、「通っていない」が10.0%となっています。

【回答者が通院しているか／貧困線別】



【子どもが通院しているか／貧困線別】

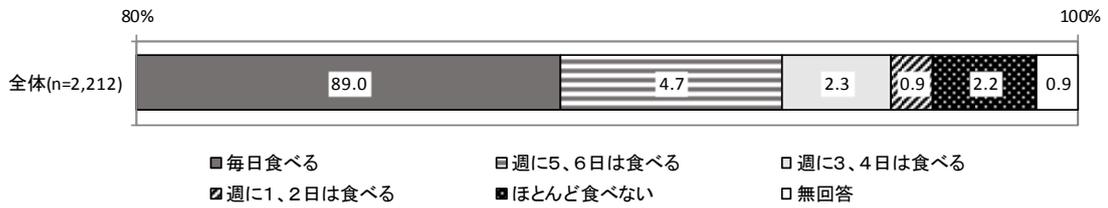


貧困線別にみると、回答者では、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「通っている」が最も多く、それぞれ66.7%、82.0%となっています。

子どもでは、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「通っている」が最も多く、それぞれ100.0%、91.9%となっています。

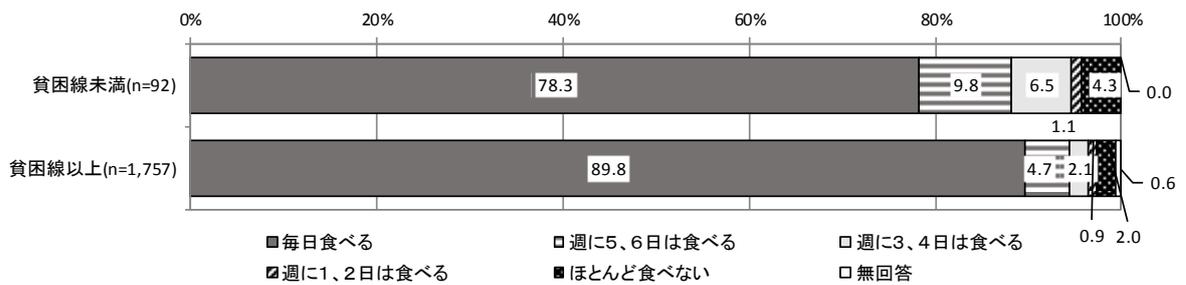
③朝食を食べる頻度

問25 お子さんは朝食を食べていますか。(1つに〇)



子どもが朝食を食べる頻度については、「毎日食べる」が89.0%と最も多く、以下「週に5、6日は食べる」(4.7%)、「週に3、4日は食べる」(2.3%)、「ほとんど食べない」(2.2%)となっています。

【朝食を食べる頻度／貧困線別】

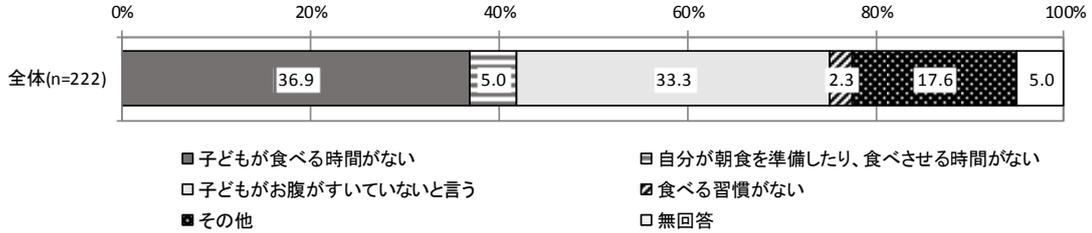


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「毎日食べる」が最も多く、それぞれ78.3%、89.8%となっています。

④子どもが毎日朝食を食べない理由

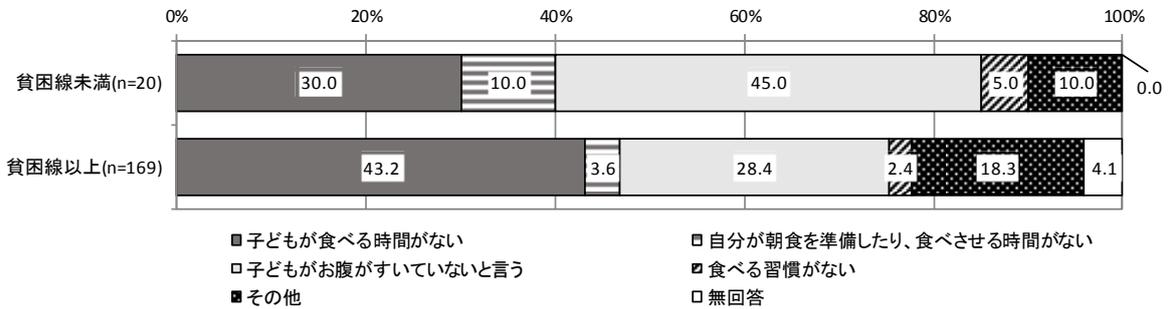
問25-1 お子さんが朝食を毎日食べない理由はなんですか。(1つに○)

※問25で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



子どもが毎日朝食を食べない理由については、「子どもが食べる時間がない」が36.9%と最も多く、以下「子どもがお腹がすいていないと言う」(33.3%)、「その他」(17.6%)、「自分が朝食を準備したり、食べさせる時間がない」(5.0%) となっています。

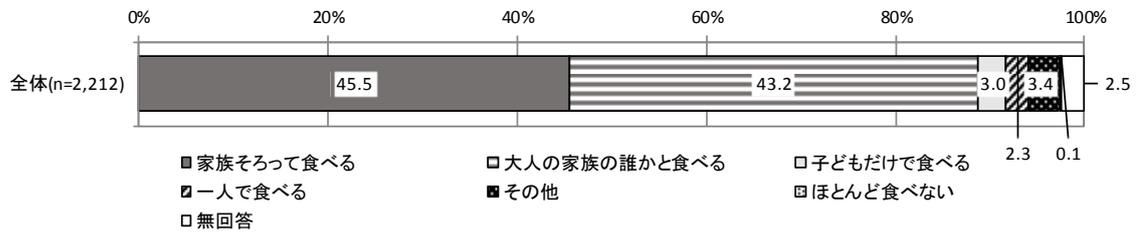
【子どもが毎日朝食を食べない理由／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「子どもがお腹がすいていないと言う」が45.0%、『貧困線以上』では「子どもが食べる時間がない」が43.2%と最も多くなっています。

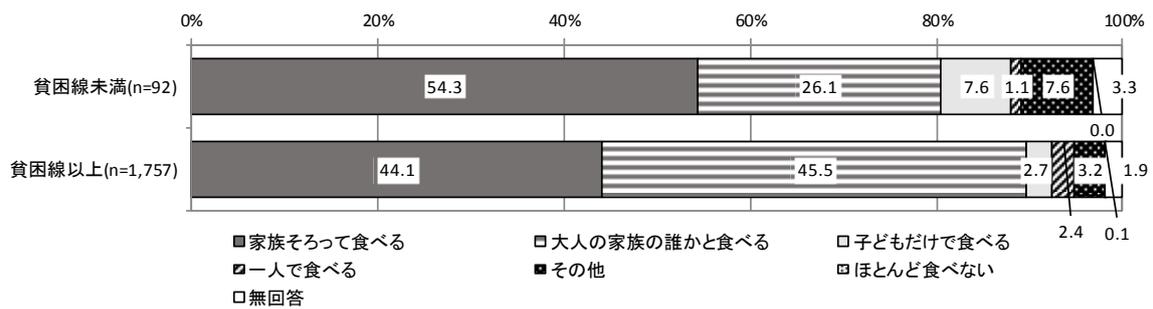
⑤子どもは夕食をどのように食べているか

問26 お子さんの夕食はいつもどのように食事をしていますか。(1つに○)



子どもがいつも夕食をどのように食べているかについては、「家族そろって食べる」が45.5%と最も多く、以下「大人の家族の誰かと食べる」(43.2%)、「その他」(3.4%)、「子どもだけで食べる」(3.0%)となっています。

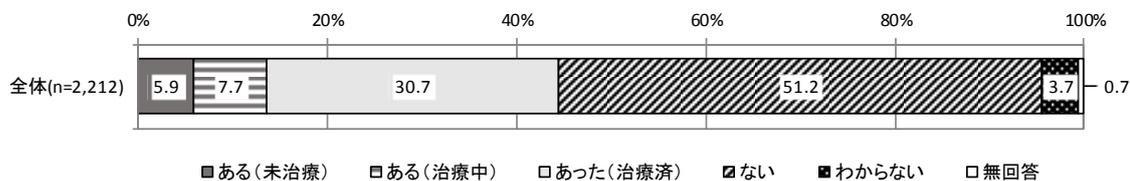
【子どもがいつも夕食をどのように食べているか／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「家族そろって食べる」が54.3%、『貧困線以上』では「大人の家族の誰かと食べる」が45.5%と最も多くなっています。

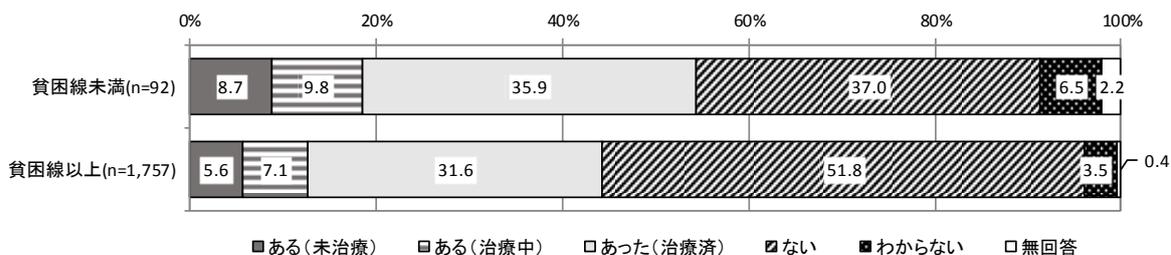
⑥子どもの虫歯の有無

問27 お子さんはむし歯はありますか。(1つに○)



子どもの虫歯の有無については、「ない」が51.2%と最も多く、以下「あった(治療済)」(30.7%)、「ある(治療中)」(7.7%)、「ある(未治療)」(5.9%)となっています。

【子どもの虫歯の有無／貧困線別】

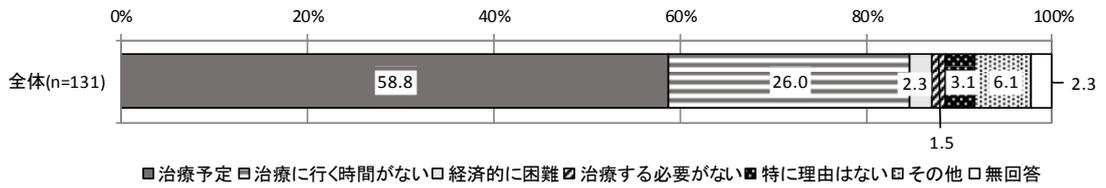


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が最も多く、それぞれ37.0%、51.8%となっています。

⑦虫歯を治療していない理由

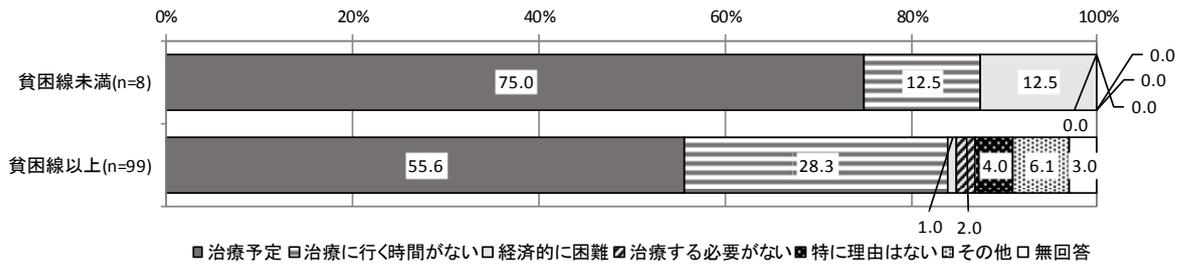
問27-1 治療していない理由はなんですか。(1つに○)

※問27で「1」と回答した方のみ



子どもの虫歯を治療していない理由については、「治療予定」が 58.8%と最も多く、以下「治療に行く時間がない」(26.0%)、「その他」(6.1%)、「特に理由はない」(3.1%)となっています。

【虫歯を治療していない理由／貧困線別】

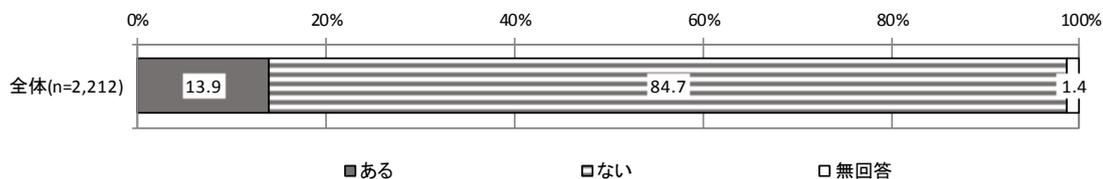


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「治療予定」が最も多く、それぞれ 75.0%、55.6%となっています。

⑧医療機関で受診させなかったことの有無

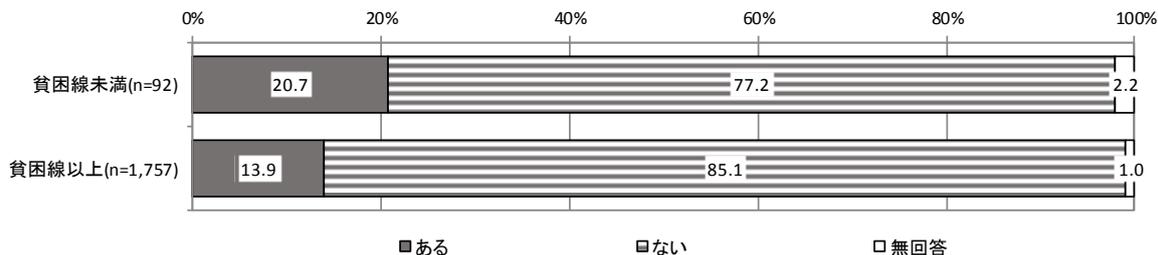
問 2 8 過去 1 年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかった
 ことがありましたか。(1つに〇)

※問 2 5 で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



過去 1 年間に医療機関で子どもを受診させなかったことの有無については、「ない」が 84.7%、「ある」が 13.9%となっています。

【医療機関で受診させなかったことの有無／貧困線別】

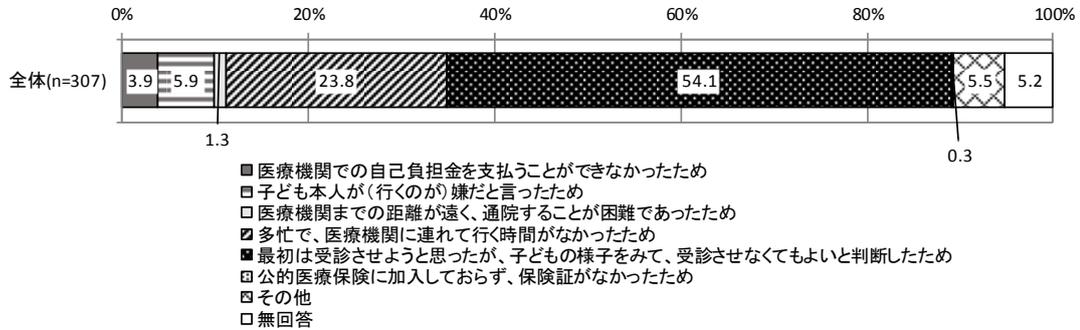


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ない」が多く、それぞれ 77.2%、85.1% となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「ある」が 6.8 ポイント多くなっています。

⑨受診させなかった理由

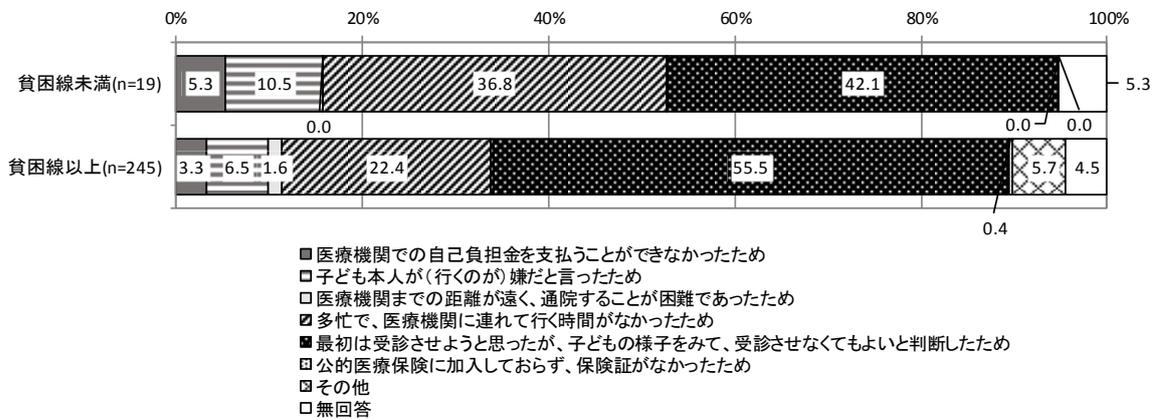
問 2 8 - 1 受診させなかった理由はなんですか。(1つに○)

※問 2 8 で「1」と回答した方のみ



受診させなかった理由については、「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が54.1%と最も多く、以下「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」(23.8%)、「子ども本人が(行くのが)嫌だと言ったため」(5.9%)となっています。

【受診させなかった理由／貧困線別】

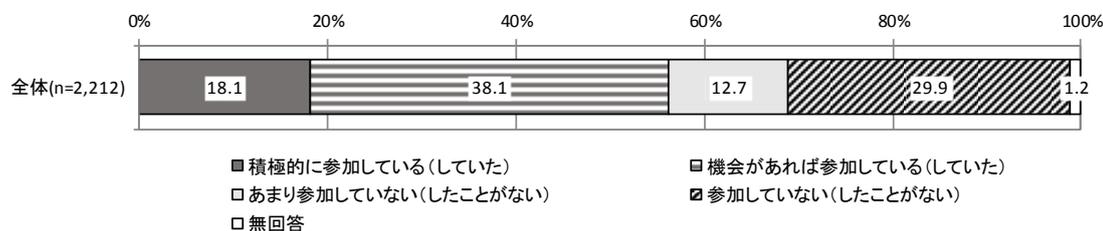


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」が最も多く、それぞれ42.1%、55.5%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が14.4ポイント多くなっています。

⑩子どもの地域活動への参加

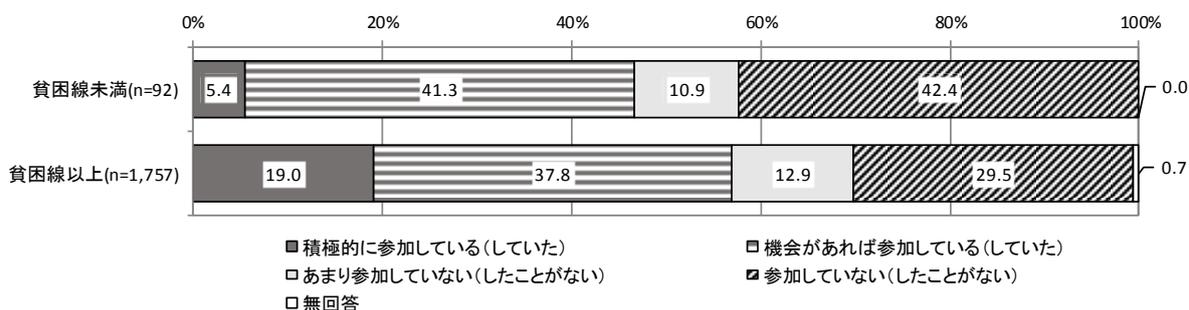
問29 お子さんは地域の活動※に参加してしまいますか（したことがありますか）（1つに○）

※町内会や子ども会の活動、地域ボランティア等で行われる非営利目的の趣味やスポーツ活動



子どもの地域活動への参加については、「機会があれば参加している (していた)」が38.1%と最も多く、以下「参加していない (したことがない)」(29.9%)、「積極的に参加している (していた)」(18.1%)、「あまり参加していない (したことがない)」(12.7%) となっています。

【子どもの地域活動への参加／貧困線別】



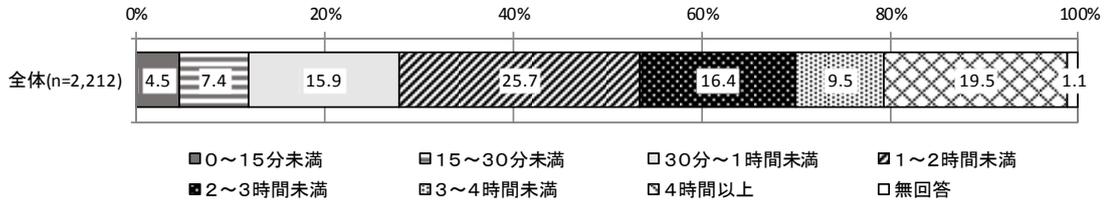
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「参加していない (したことがない)」が42.4%、『貧困線以上』では「機会があれば参加している (していた)」が37.8%と最も多くなっています。

(7) 子どもとの関わりや悩み

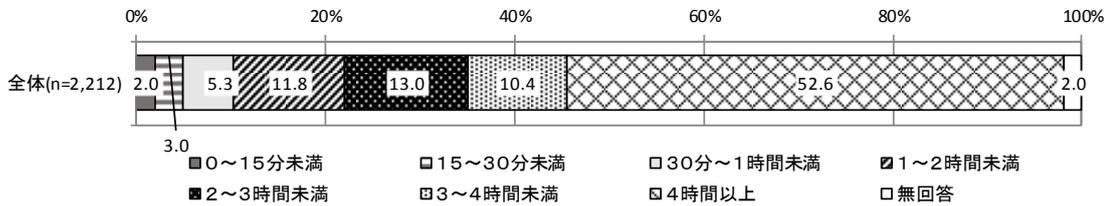
①子どもと接している時間

問30 あなたがお子さんと一緒に何かしたり、相手をしたっている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどれくらいですか。(それぞれ1つに○)

【平日】



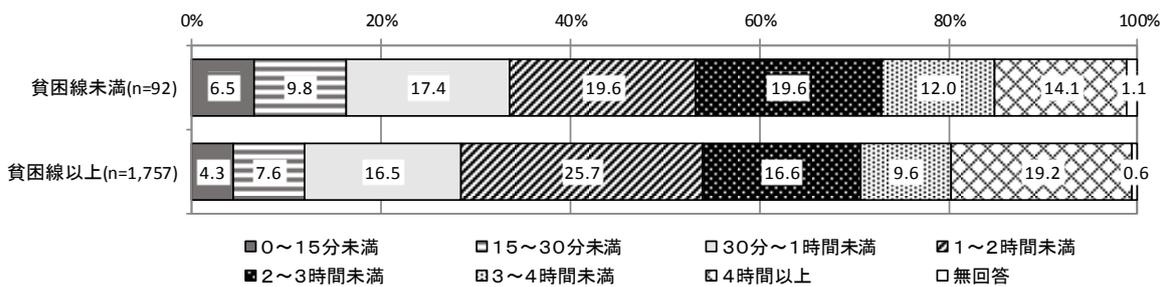
【休日】



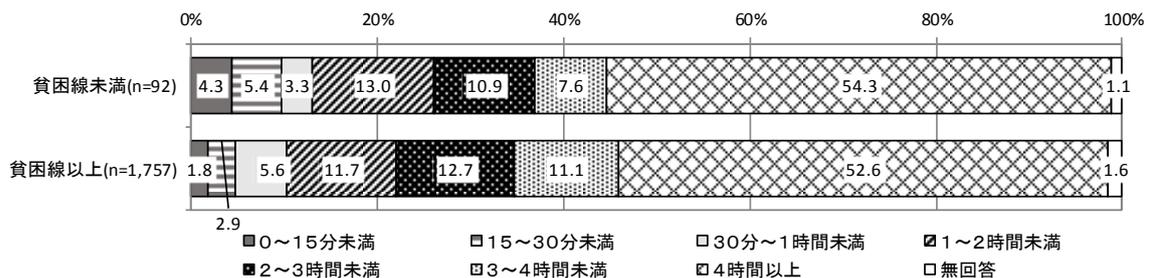
子どもと接している時間について、平日では「1時間～2時間未満」が25.7%と最も多く、以下「4時間以上」(19.5%)、「2時間～3時間未満」(16.4%)、「30分～1時間未満」(15.9%)となっています。

休日では「4時間以上」が52.6%と最も多く、以下「2時間～3時間未満」(13.0%)、「1時間～2時間未満」(11.8%)、「3時間～4時間未満」(10.4%)となっています。

【子どもと接している時間（平日）／貧困線別】



【子どもと接している時間（休日）／貧困線別】

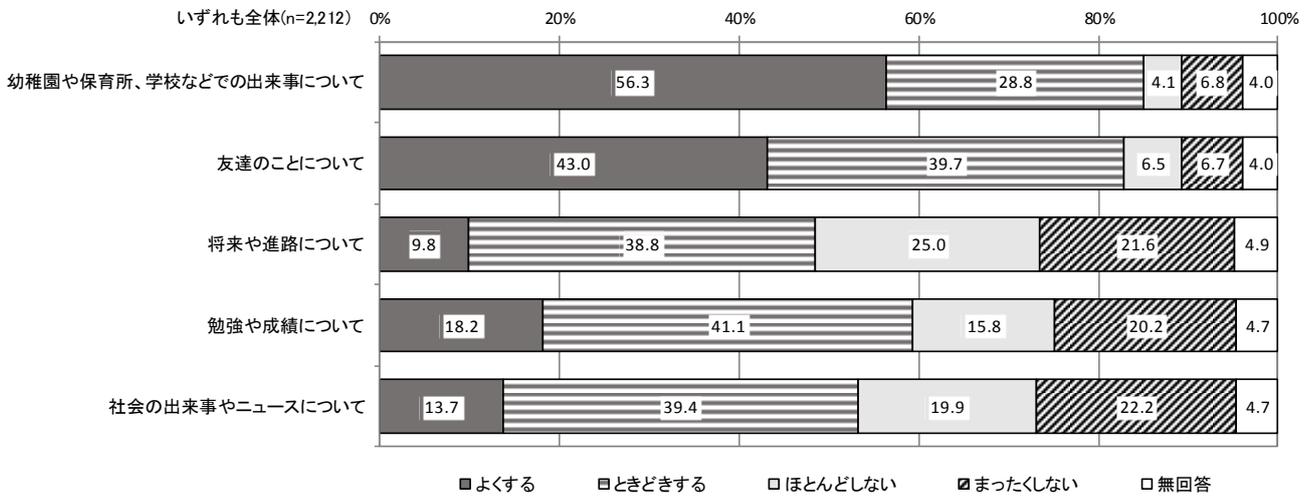


貧困線別にみると、平日は『貧困線未満』では「1時間～2時間未満」と「2時間～3時間未満」がともに19.6%、『貧困線以上』では「1時間～2時間未満」が25.7%と最も多くなっています。

休日は『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「4時間以上」が最も多く、それぞれ54.3%、52.6%となっています。

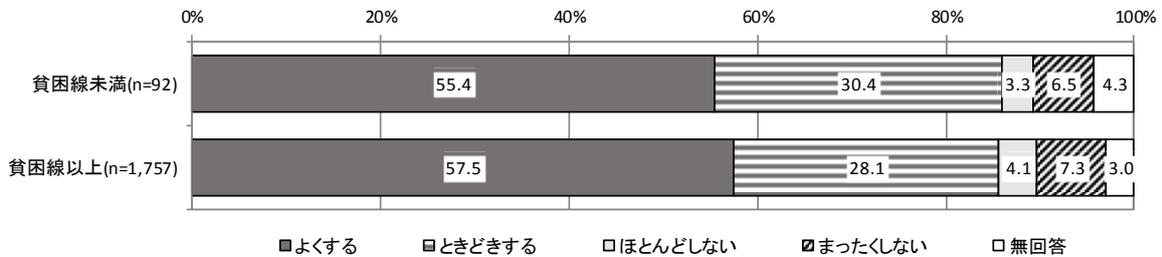
②子どもとの会話

問31 お子さんとの会話について教えてください。(それぞれ1つに○)



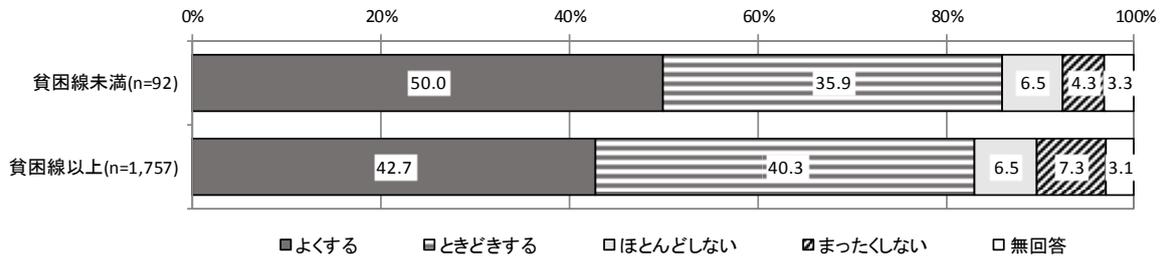
子どもとの会話については、『よくする』は「幼稚園や保育所、学校などでの出来事について」が56.3%、「友達のことについて」が43.0%となっています。

【幼稚園や保育所、学校などでの出来事について／貧困線別】



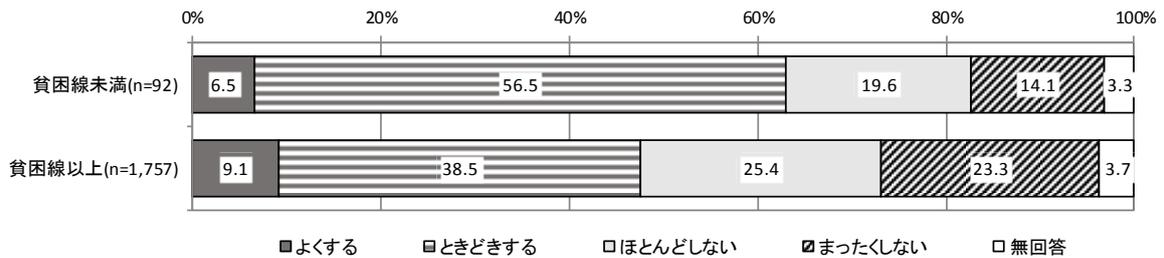
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「よくする」が最も多く、それぞれ55.4%、57.5%となっています。

【友達のことについて／貧困線別】



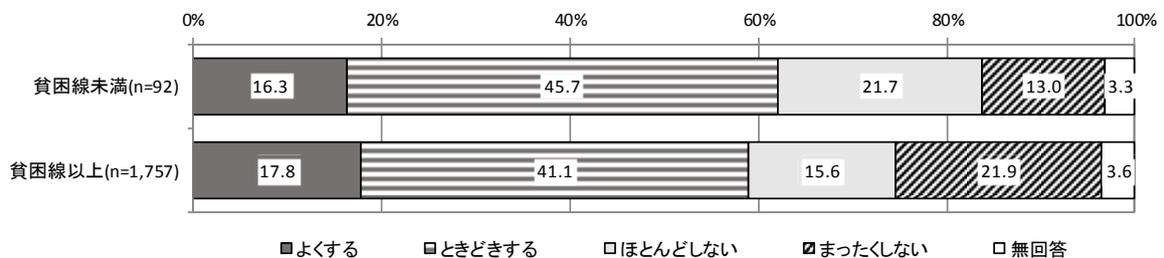
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「よくする」が最も多く、それぞれ 50.0%、42.7%となっています。

【将来や進路について／貧困線別】



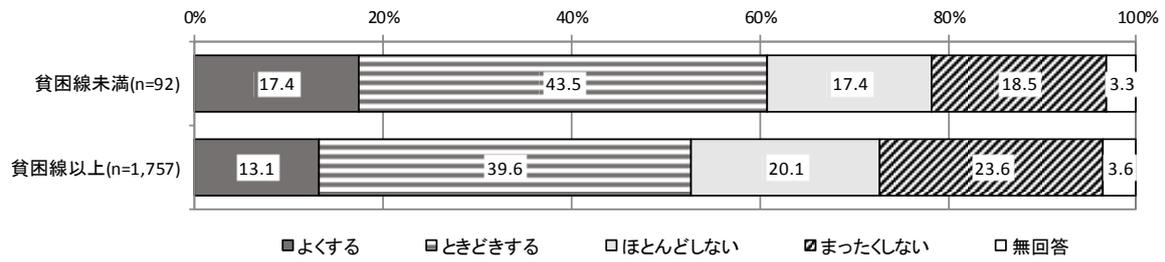
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ときどきする」が最も多く、それぞれ 56.5%、38.5%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「ときどきする」が 18.0 ポイント多くなっています。

【勉強や成績について／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ときどきする」が最も多く、それぞれ 45.7%、41.1%となっています。

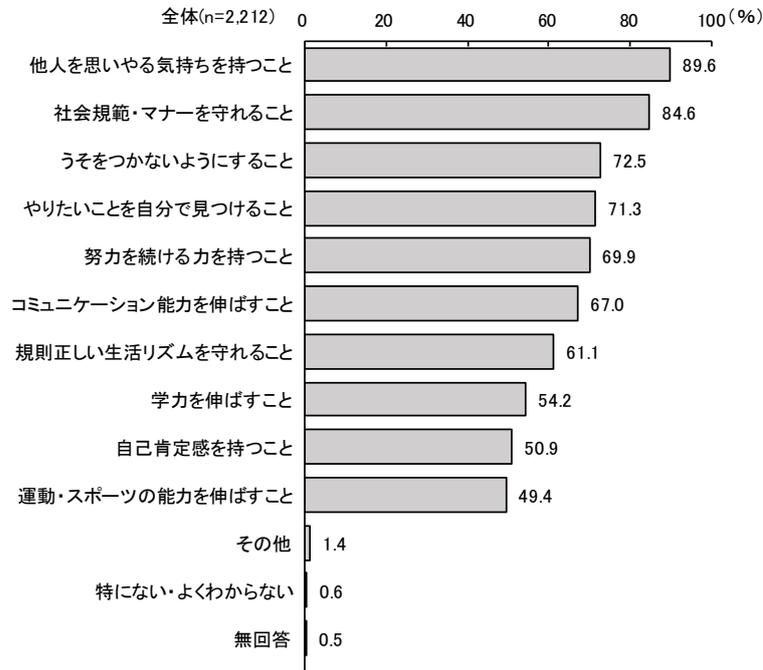
【社会の出来事やニュースについて／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ときどきする」が最も多く、それぞれ 43.5%、39.6%となっています。

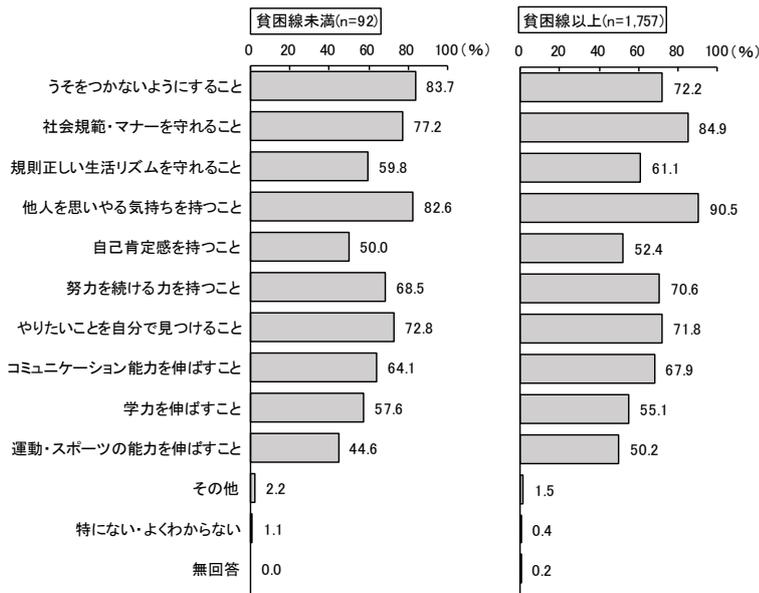
③どのような力を伸ばしたいか

問32 あなたは子育てで、今後も含めて子どものどのような力を伸ばしたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)



子どものどのような力を伸ばしたいかについては、「他人を思いやる気持ちを持つこと」が 89.6%と最も多く、以下「社会規範・マナーを守れること」(84.6%)、「うそをつかないようにすること」(72.5%)、「やりたいことを自分で見つけること」(71.3%)となっています。

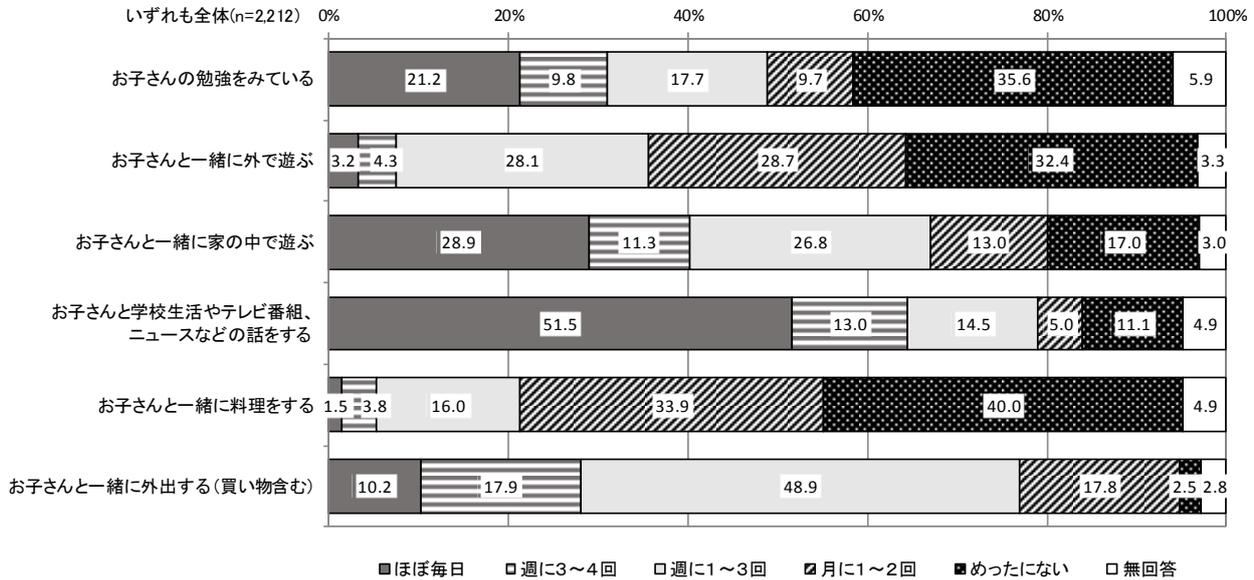
【子どものどのような力を伸ばしたいか／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「うそをつかないようにすること」が 83.7%、『貧困線以上』では「他人を思いやる気持ちを持つこと」が 90.5%と最も多くなっています。

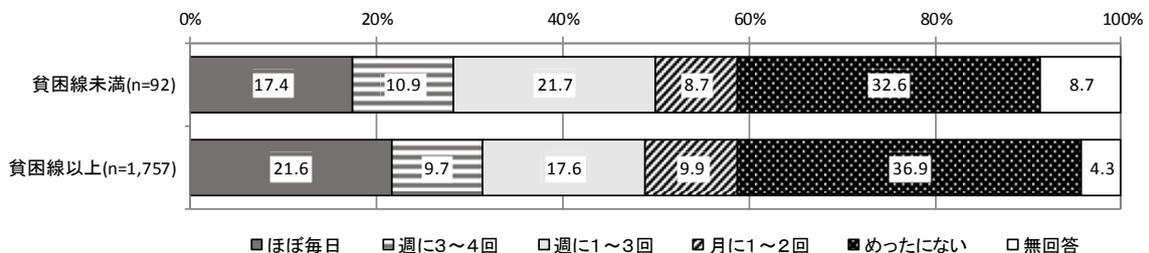
④家族と子どもの関係

問33 あなたを含めた、ご家族とお子さんとの関係についておうかがいします。あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ1つに○)



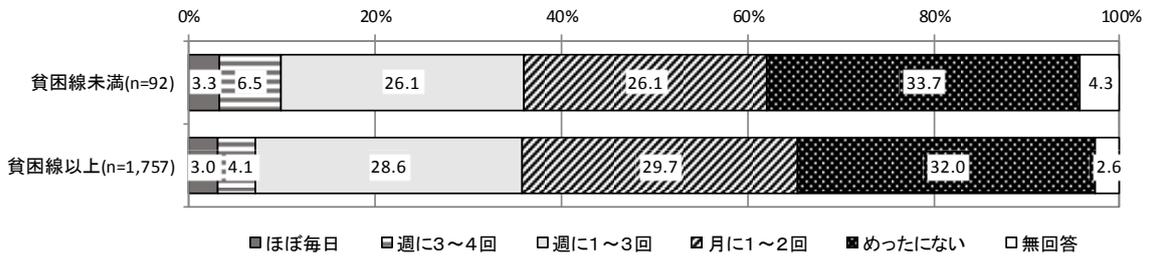
家庭で子どもにしていることについて、『ほぼ毎日』していることは「お子さんと学校生活やテレビ番組、ニュースなどの話をする」が51.5%と最も多く、次いで「お子さんと一緒に家の中で遊ぶ」(28.9%)、「お子さんの勉強をみている」(21.2%)となっています。『週に3~4回』と『週に1~3回』していることでは「お子さんと一緒に外出する(買い物含む)」が多く、『月に1~2回』では「お子さんと一緒に料理をする」が最も多くなっています。『めったにない』ことで最も多いのは「お子さんと一緒に料理をする」で40.0%、以下「お子さんの勉強をみている」(35.6%)、「お子さんと一緒に外で遊ぶ」(32.4%)となっています。

【お子さんの勉強をみている／貧困線別】



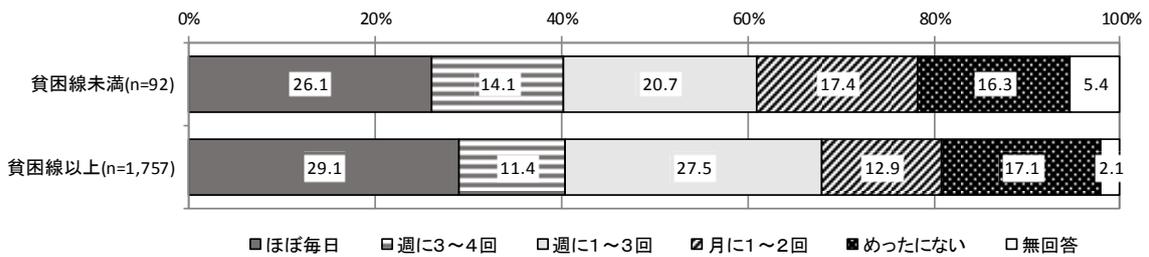
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「めったにない」が最も多く、それぞれ32.6%、36.9%となっています。

【お子さんと一緒に外で遊ぶ／貧困線別】



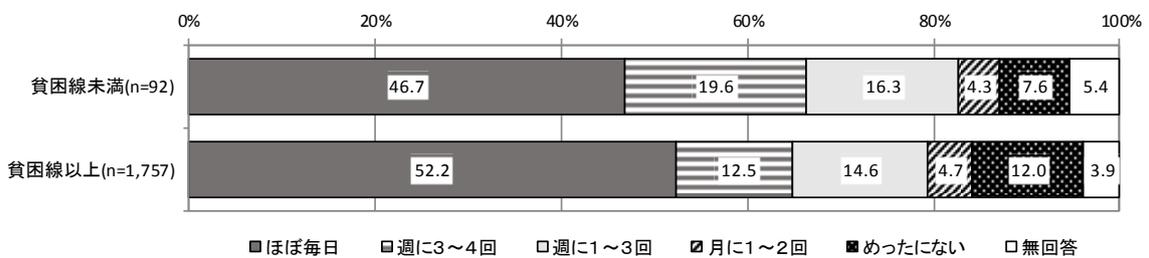
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「めったにない」が最も多く、それぞれ 33.7%、32.0%となっています。

【お子さんと一緒に家の中で遊ぶ／貧困線別】



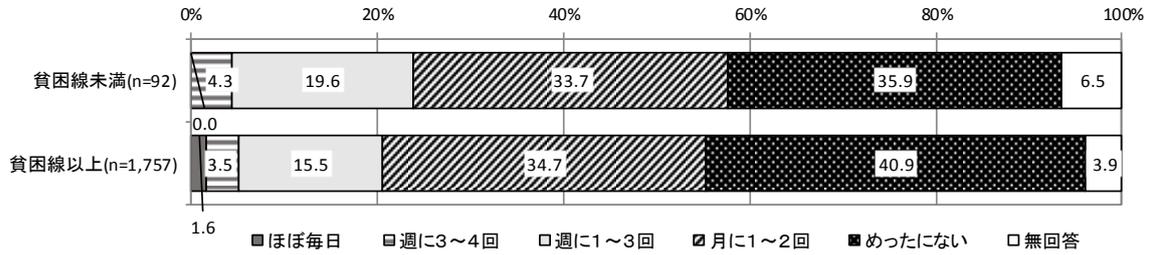
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ほぼ毎日」が最も多く、それぞれ 26.1%、29.1%となっています。

【お子さんと学校生活やテレビ番組、ニュースなどの話をする／貧困線別】



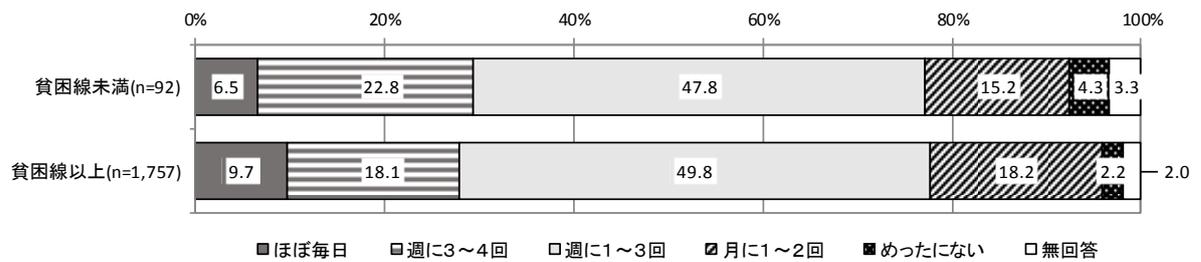
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ほぼ毎日」が最も多く、それぞれ 46.7%、52.2%となっています。

【お子さんと一緒に料理をする／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「めったにない」が最も多く、それぞれ 35.9%、40.9%となっています。

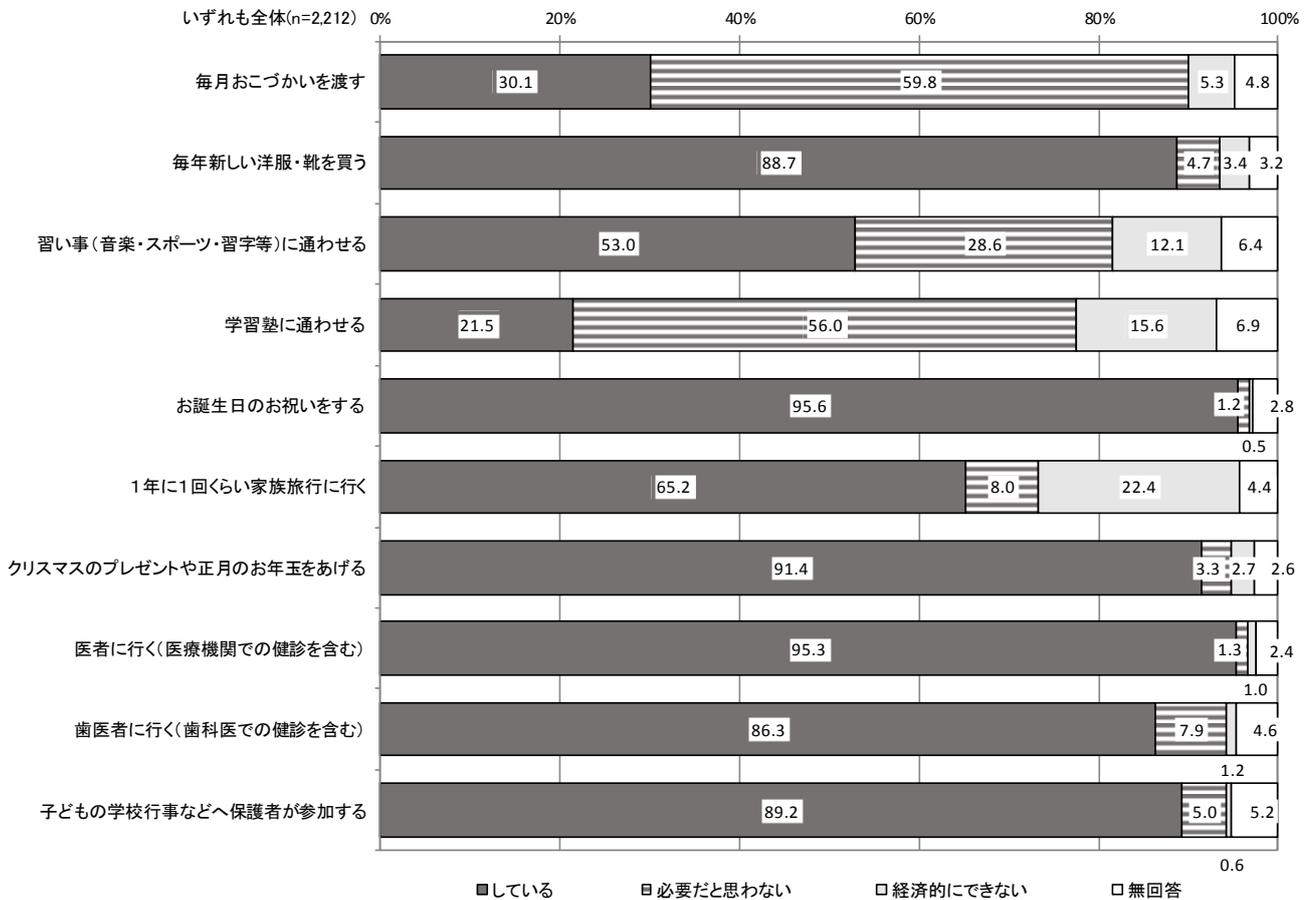
【お子さんと一緒に外出する（買い物含む）／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「週に1～3回」が最も多く、それぞれ 47.8%、49.8%となっています。

⑤家庭で子どもにしていること

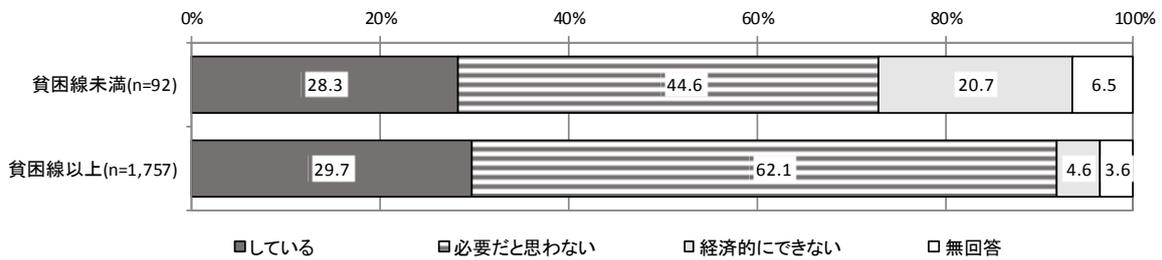
問34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。(それぞれ1つに○)



家庭で子どもにしていることについて、『している』ことでは「お誕生日のお祝いをする」、「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」、「医者に行く（医療機関での健診を含む）」が9割以上、「毎年新しい洋服・靴を買う」、「歯医者に行く（歯科医での健診を含む）」、「子どもの学校行事などへ保護者が参加する」が8割以上となっています。

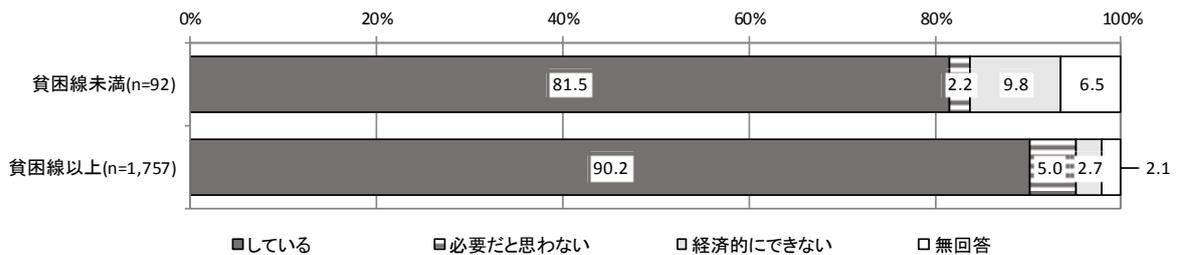
一方、『必要だと思わない』ことは「毎月おこづかいを渡す」、「学習塾に通わせる」が5割以上となっています。また、『経済的にできない』ことは「1年に1回くらい家族旅行に行く」が2割以上、「学習塾に通わせる」、「習い事（音楽・スポーツ・習字等）に通わせる」が1割以上となっています。

【毎月おこづかいを渡す／貧困線別】



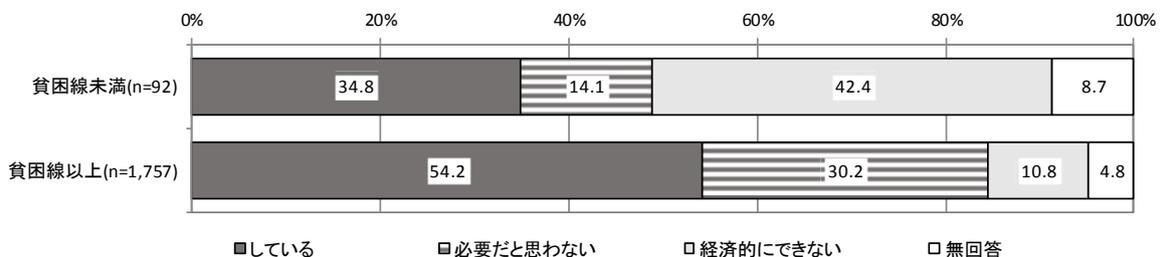
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「必要だと思わない」が最も多く、それぞれ44.6%、62.1%となっています。

【毎年新しい洋服・靴を買う／貧困線別】



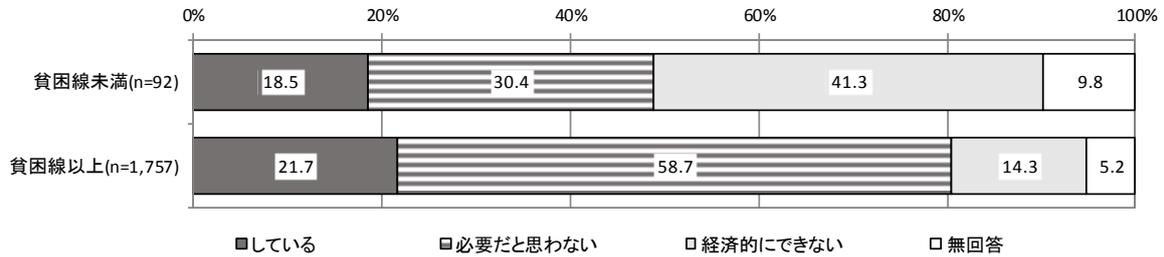
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「している」が最も多く、それぞれ81.5%、90.2%となっています。

【習い事（音楽・スポーツ・習字等）に通わせる／貧困線別】



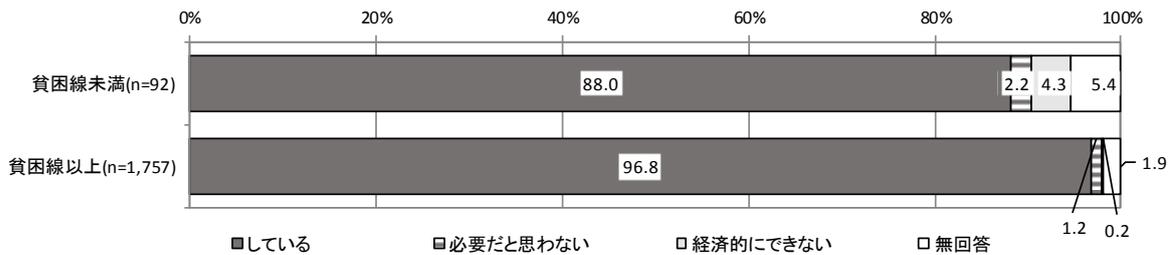
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「経済的にできない」が42.4%、『貧困線以上』では「している」が54.2%と最も多くなっています。

【学習塾に通わせる／貧困線別】



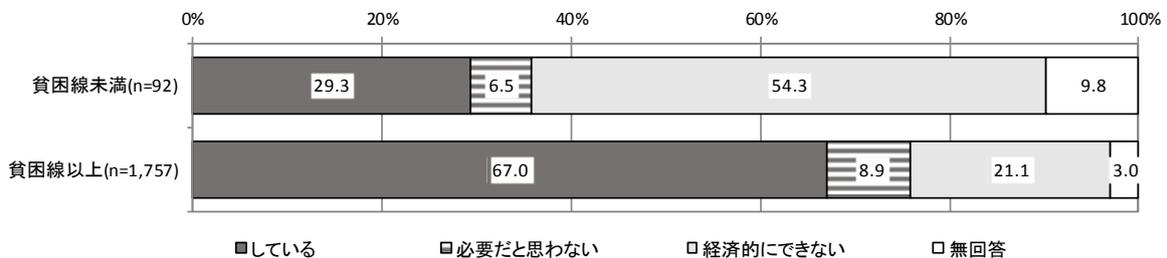
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「経済的にできない」が41.3%、『貧困線以上』では「必要だと思わない」が58.7%と最も多くなっています。

【お誕生日のお祝いをする／貧困線別】



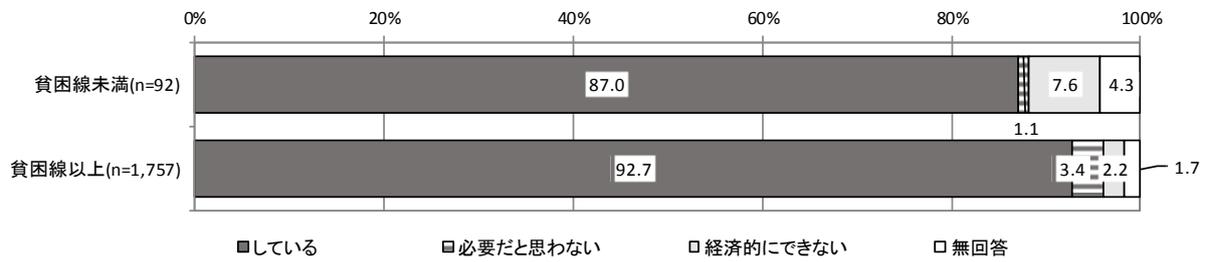
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「している」が最も多く、それぞれ88.0%、96.8%となっています。

【1年に1回くらい家族旅行に行く／貧困線別】



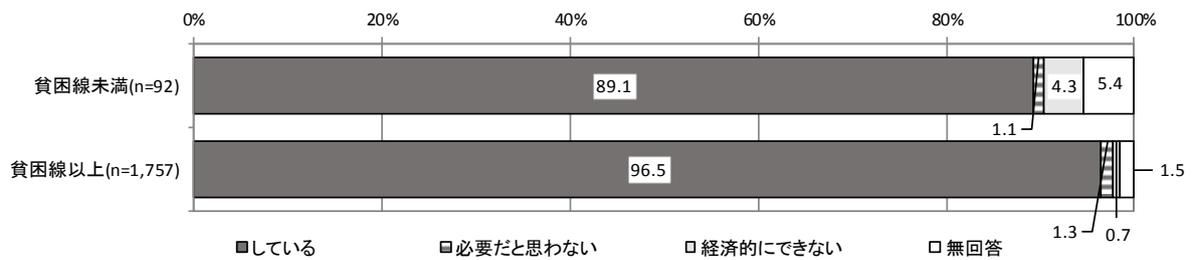
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「経済的にできない」が54.3%、『貧困線以上』では「している」が67.0%と最も多くなっています。

【クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる／貧困線別】



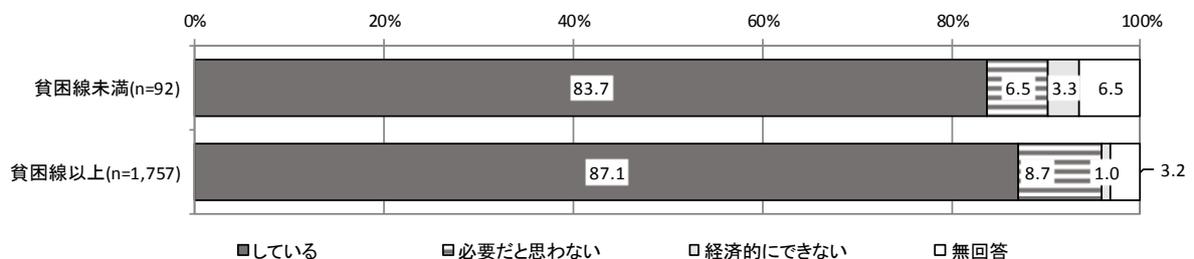
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「している」が最も多く、それぞれ 87.0%、92.7%となっています。

【医者に行く（医療機関での健診を含む）／貧困線別】



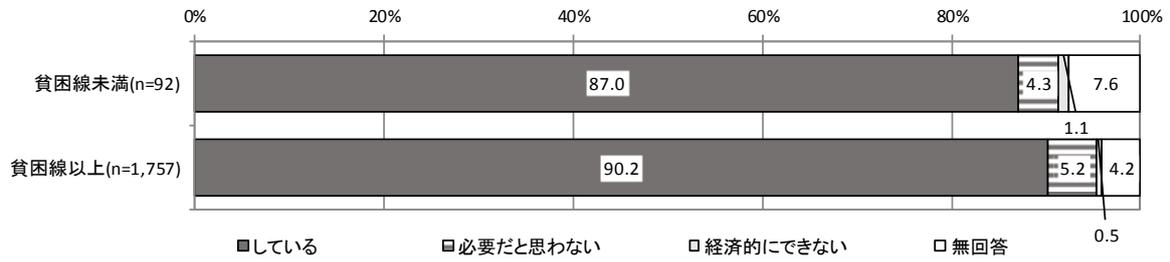
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「している」が最も多く、それぞれ 89.1%、96.5%となっています。

【歯医者に行く（歯科医での健診を含む）／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「している」が最も多く、それぞれ 83.7%、87.1%となっています。

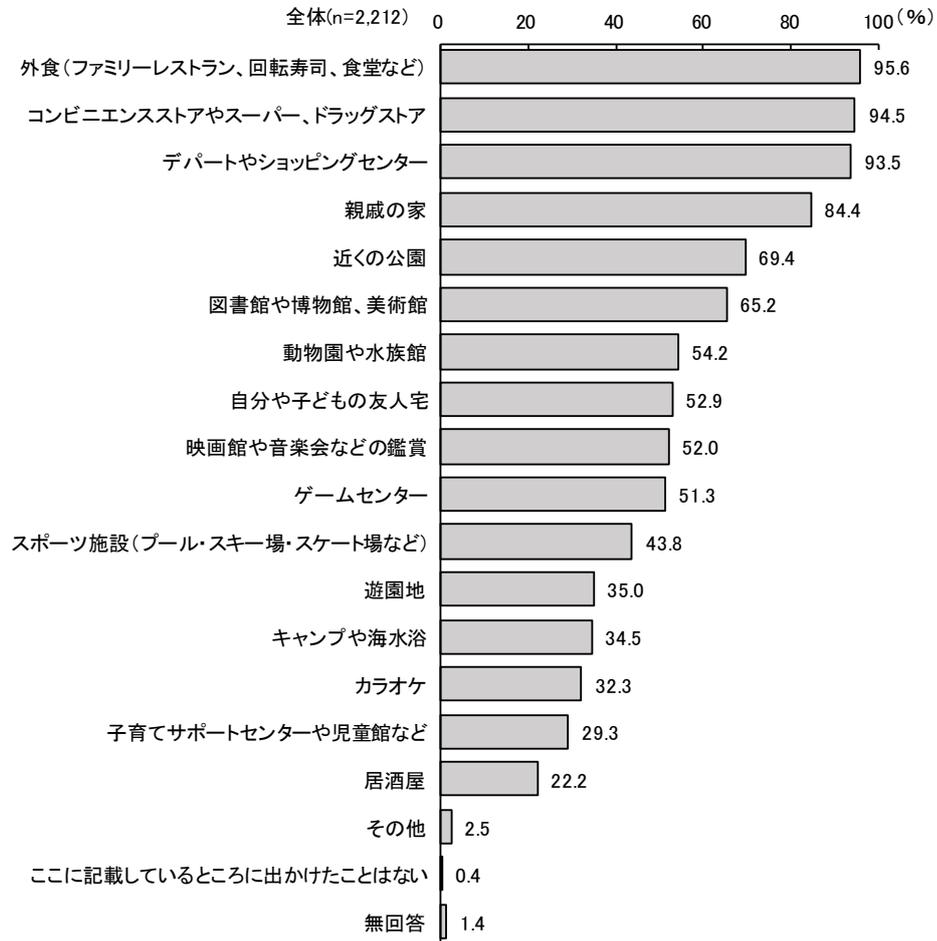
【子どもの学校行事などへ保護者が参加する／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「している」が最も多く、それぞれ 87.0%、90.2%となっています。

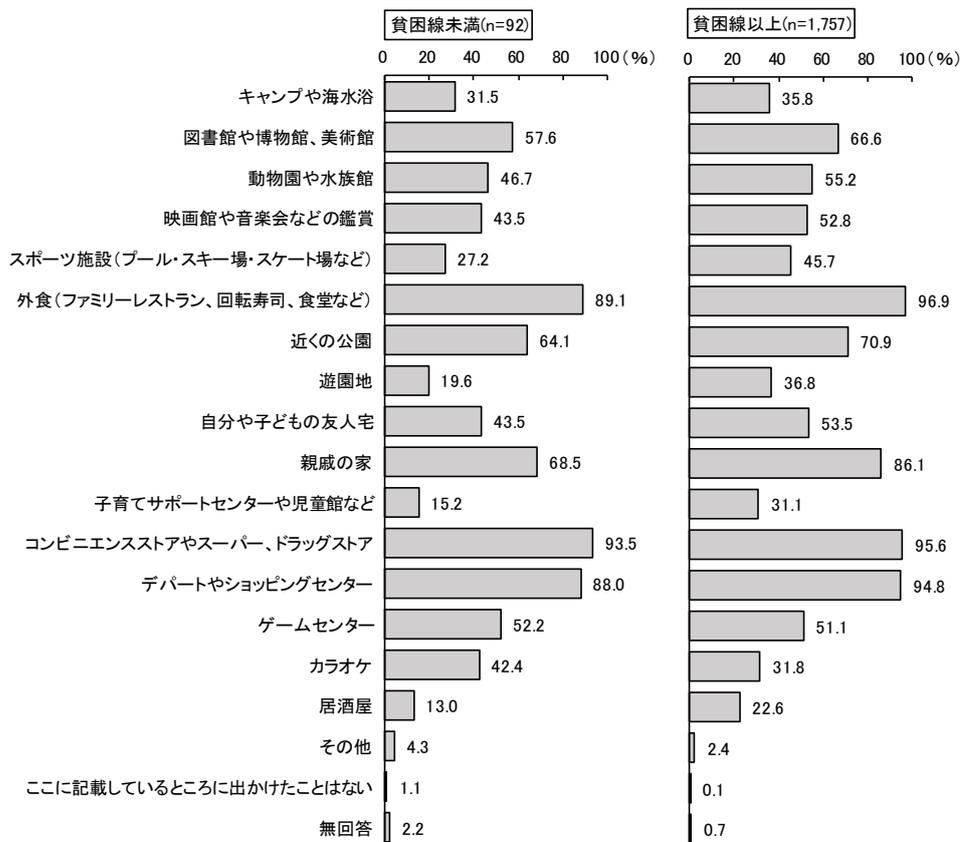
⑥お子さんと出かけたことがある場所

問35 過去1年間に、お子さんと出かけたことがある場所について教えてください。(あてはまるものすべてに○)



過去1年間にお子さんと出かけたことがある場所については、「外食(ファミリーレストラン、回転寿司、食堂など)」が95.6%と最も多く、以下「コンビニエンスストアやスーパー、ドラッグストア」(94.5%)、「デパートやショッピングセンター」(93.5%)、「親戚の家」(84.4%)となっています。

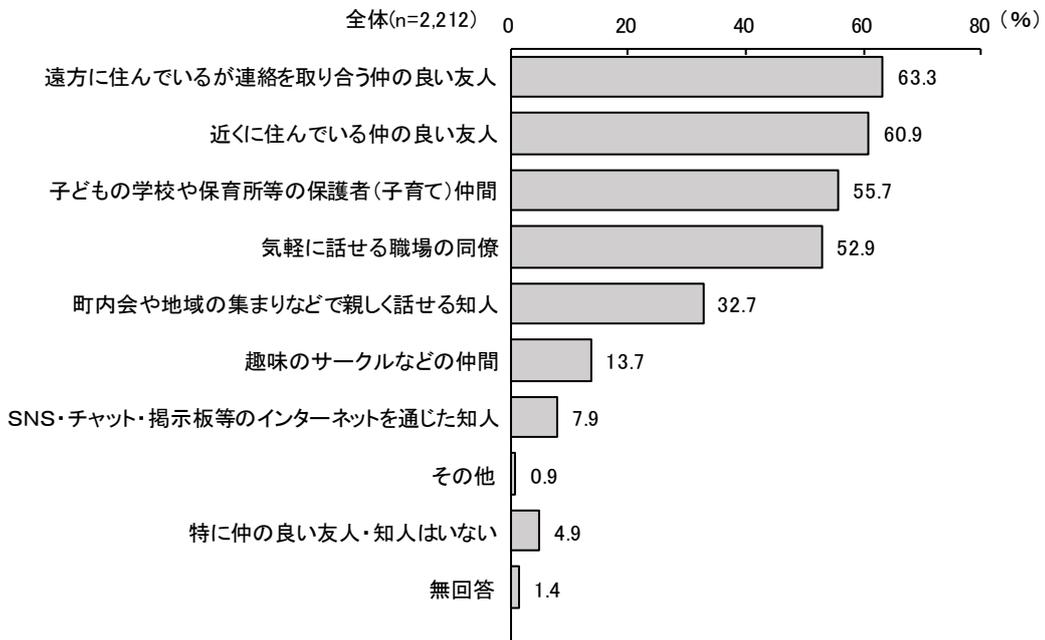
【過去1年間にお子さんと出かけたことがある場所／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「コンビニエンスストアやスーパー、ドラッグストア」が93.5%、『貧困線以上』では「外食（ファミリーレストラン、回転寿司、食堂など）」が96.9%と最も多くなっています。

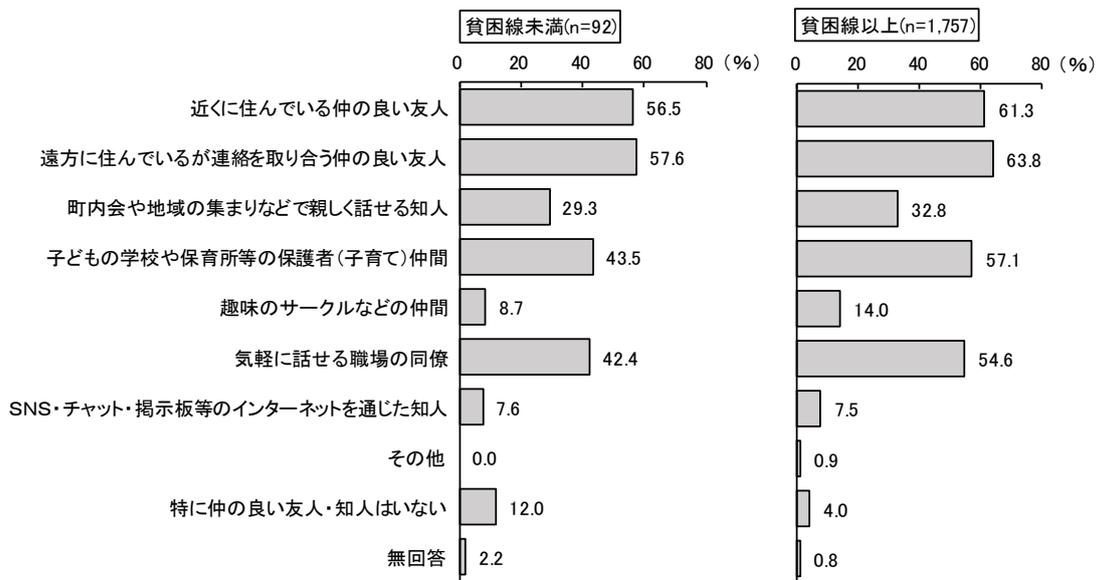
⑦友人・知人

問36 あなたには以下にあげるような友人・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)



友人・知人については、「遠方に住んでいるが連絡を取り合う仲の良い友人」が 63.3%と最も多く、以下「近くに住んでいる仲の良い友人」(60.9%)、「子どもの学校や保育所等の保護者(子育て)仲間」(55.7%)、「気軽に話せる職場の同僚」(52.9%)となっています。

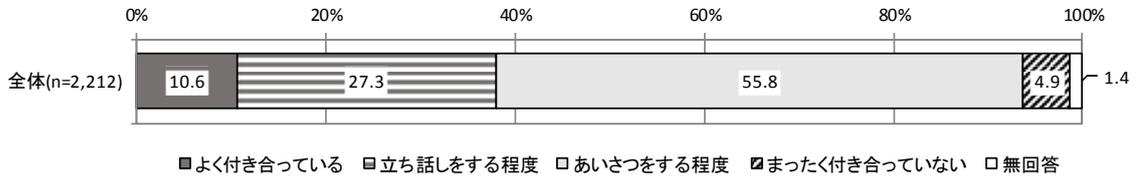
【友人・知人／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「遠方に住んでいるが連絡を取り合う仲の良い友人」が最も多く、それぞれ 57.6%、63.8%となっています。

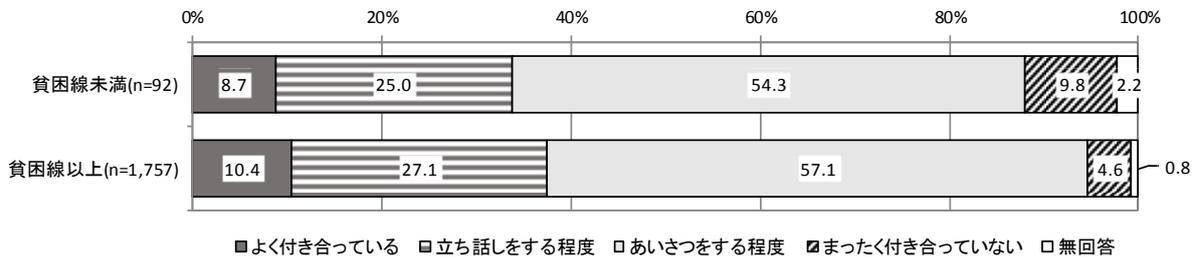
⑧近所付き合いの程度

問37 あなたは、隣近所や町内会の人との付き合いをどの程度していますか。(あてはまるものすべてに○)



近所付き合いの程度については、「あいさつをする程度」が55.8%と最も多く、以下「立ち話しをする程度」(27.3%)、「よく付き合っている」(10.6%)、「まったく付き合っていない」(4.9%)となっています。

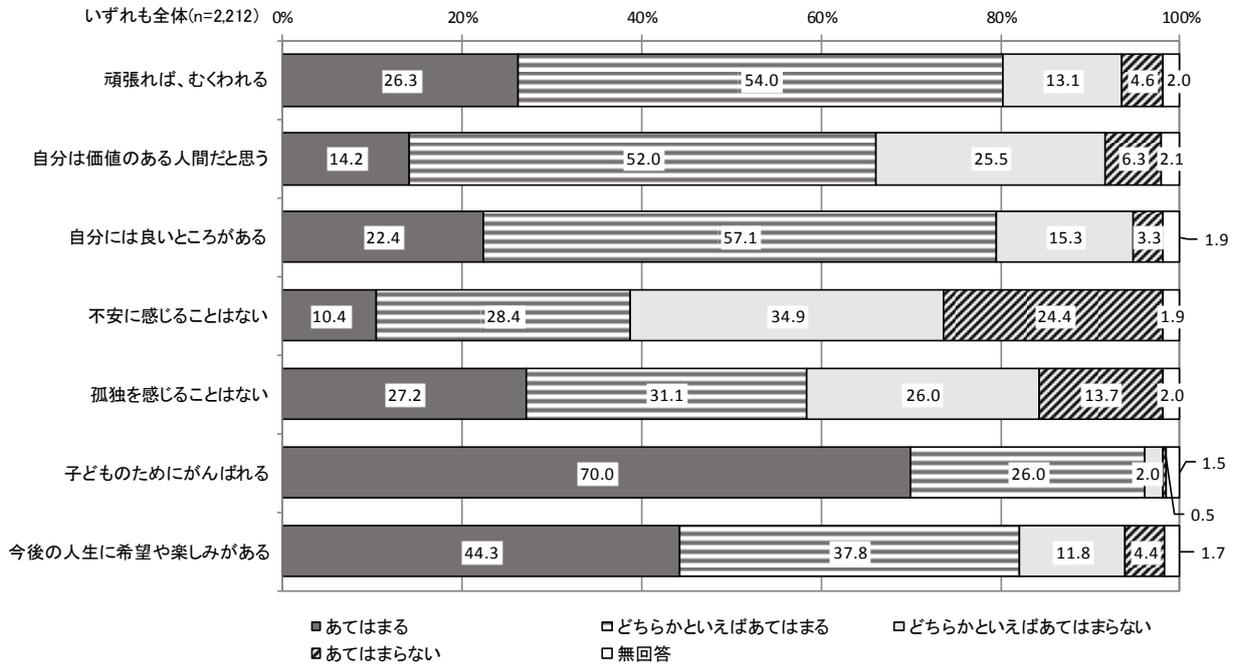
【近所付き合いの程度／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「あいさつをする程度」が最も多く、それぞれ54.3%、57.1%となっています。

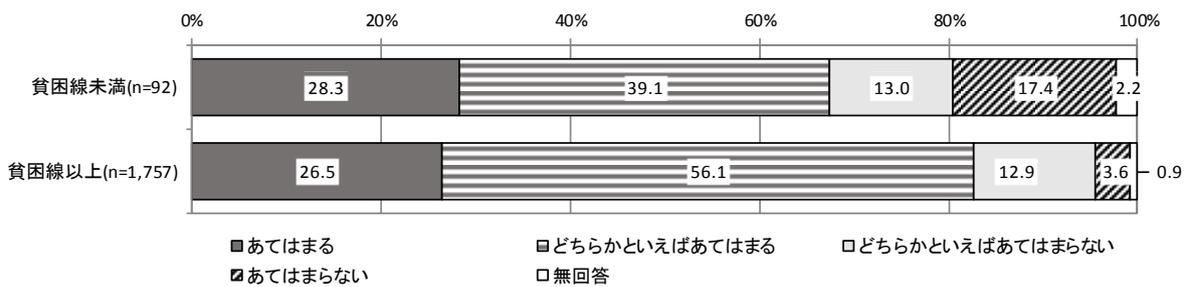
⑨ご自身について

問38 あなたは、自分自身のことをどう思いますか。(それぞれ1つに○)



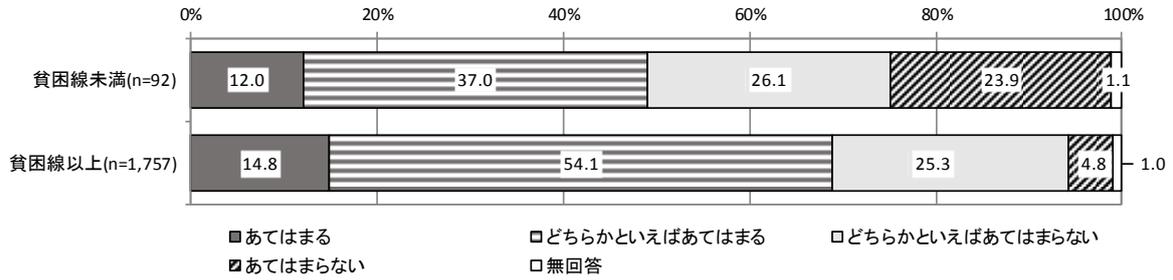
ご自身については、『あてはまる』では「子どものためにがんばれる」が70.0%と最も多く、「今後の人生に希望や楽しみがある」が44.3%となっています。

【頑張れば、むくわれる／貧困線別】



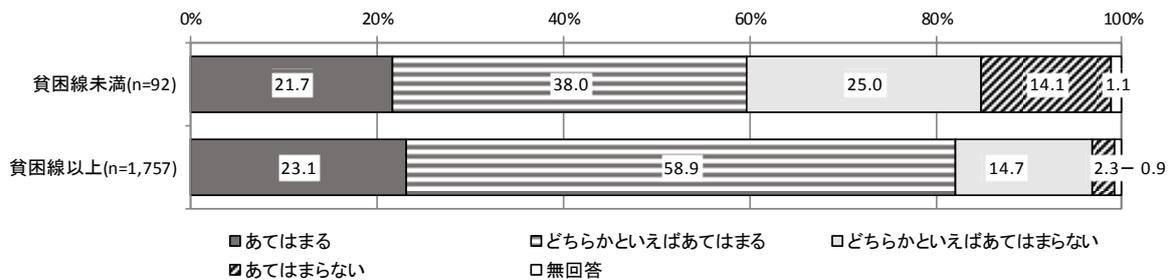
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多く、それぞれ39.1%、56.1%となっています。

【自分は価値のある人間だと思う／貧困線別】



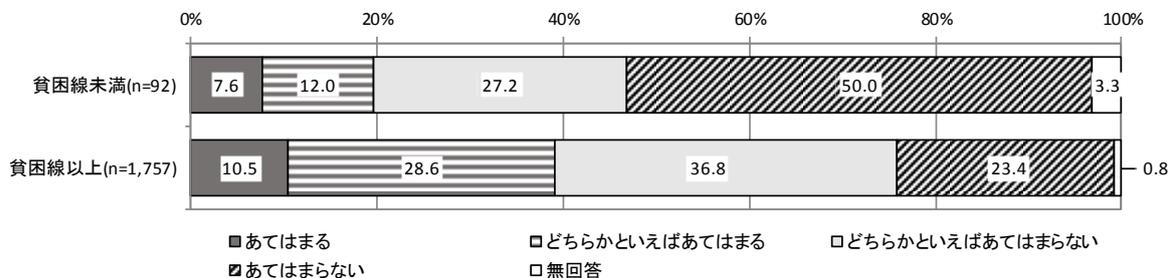
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多く、それぞれ 37.0%、54.1%となっています。

【自分には良いところがある／貧困線別】



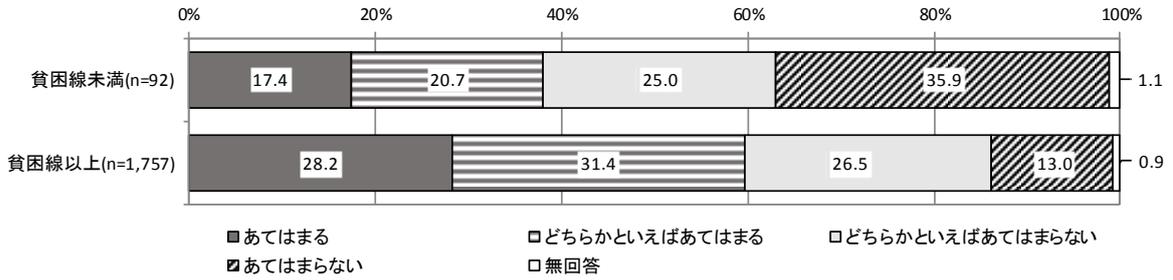
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多く、それぞれ 38.0%、58.9%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまらない」が 10.3 ポイント、「あてはまらない」が 11.8 ポイント多くなっています。

【不安に感じることはない／貧困線別】



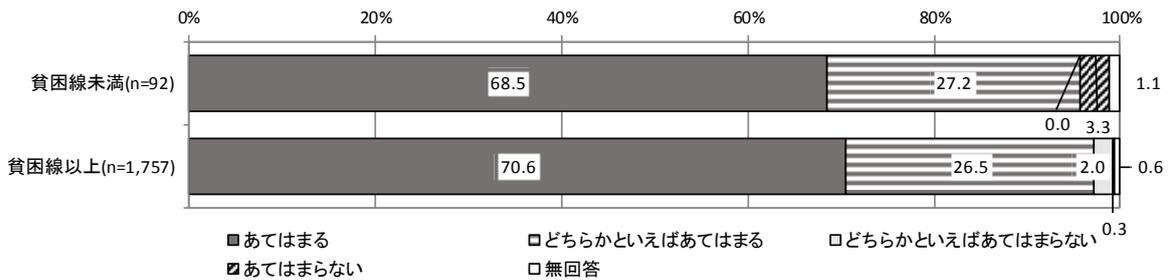
貧困線別にみると、貧困線未満では「あてはまらない」が 50.0%、貧困線以上では「どちらかといえばあてはまらない」が 36.8%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「あてはまらない」が 26.6 ポイント多くなっています。

【孤独を感じることはない／貧困線別】



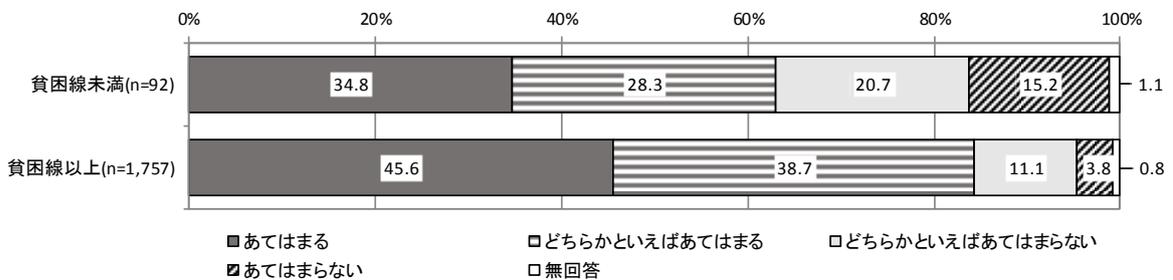
貧困線別にみると、貧困線未満では「あてはまらない」が35.9%、貧困線以上では「どちらかといえ
ばあてはまる」が31.4%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「あては
まらない」が22.9ポイント多くなっています。

【子どものためにがんばれる／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「あてはまる」が最も多く、それぞれ68.5%、
70.6%となっています。

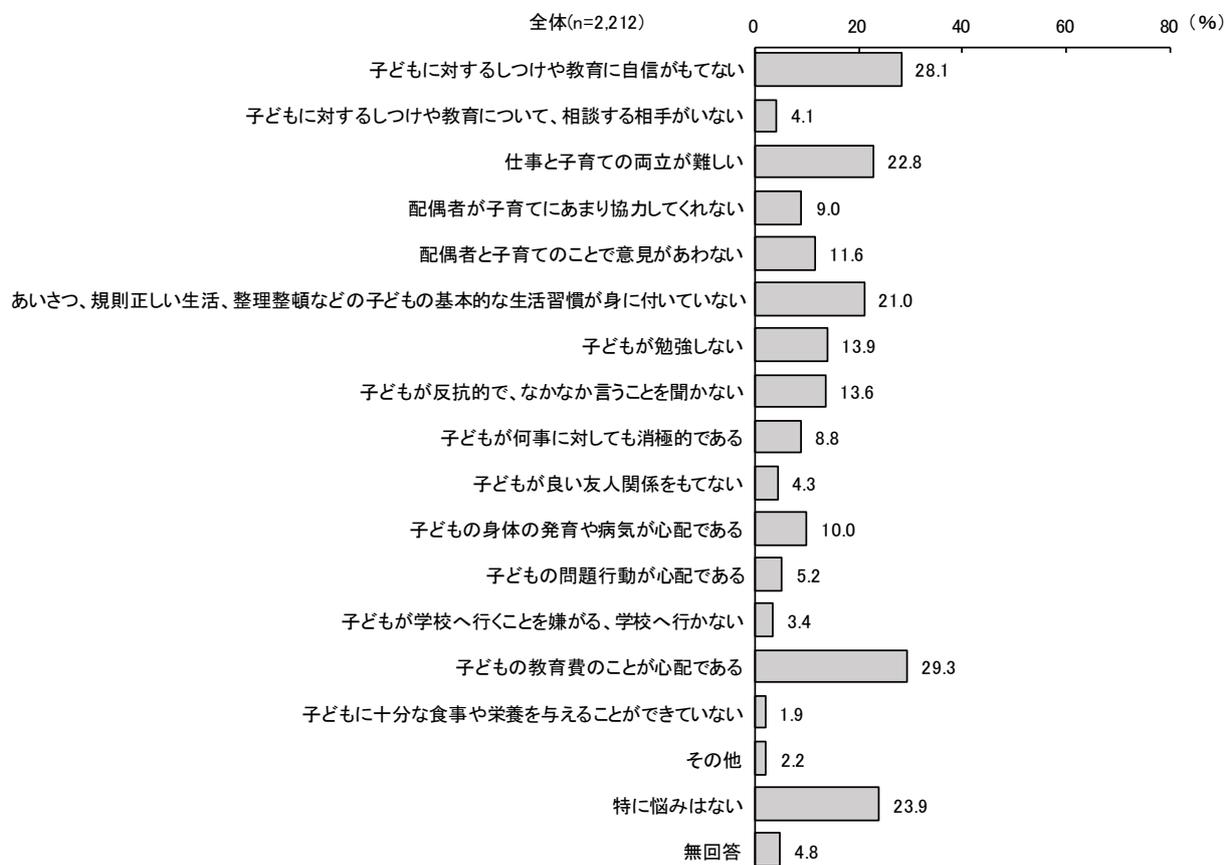
【今後の人生に希望や楽しみがある／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「あてはまる」が最も多く、それぞれ34.8%、
45.6%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「あてはまる」が10.8ポイント少な
くなっています。

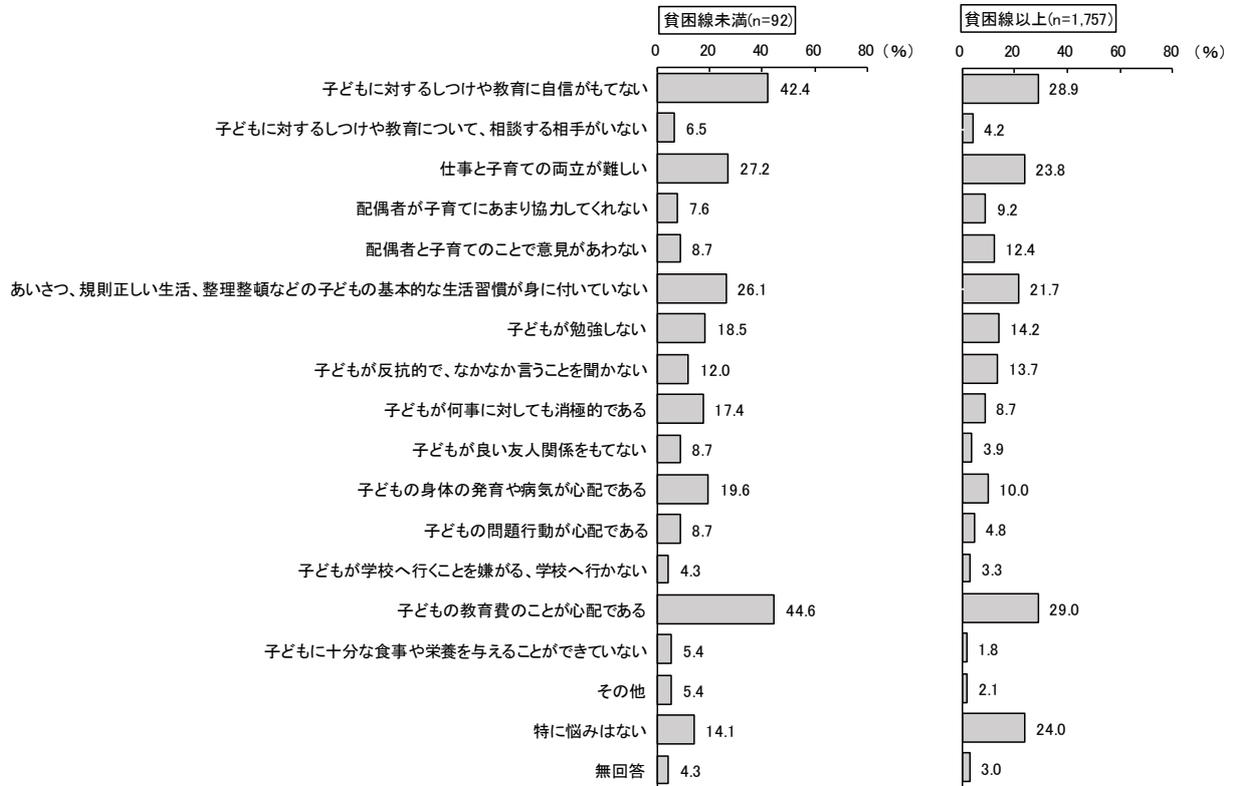
⑩悩んでいること

問39 お子さんや子育てについて、現在悩んでいることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



子どもや子育てで現在悩んでいることについては、「子どもの教育費のことが心配である」が 29.3%と最も多く、以下「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」(28.1%)、「仕事と子育ての両立が難しい」(22.8%)となっています。なお、「特に悩みはない」は 23.9%となっています。

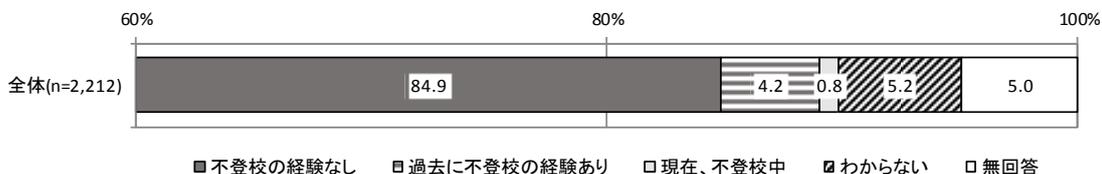
【悩んでいること／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「子どもの教育費のことが心配である」が最も多く、それぞれ44.6%、29.0%となっています。

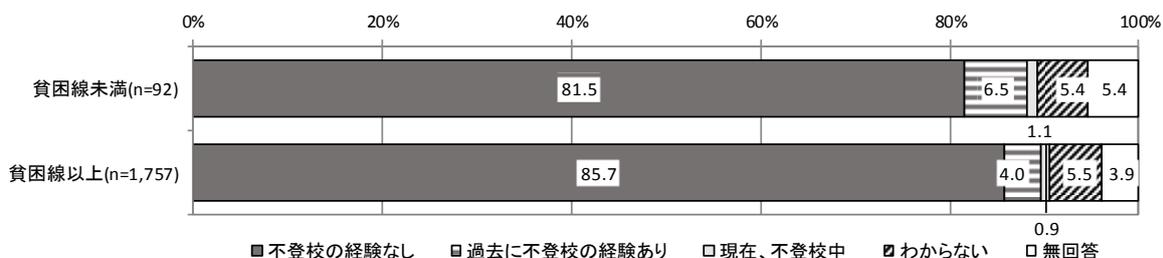
⑪子どもの不登校経験

問40 おさんはこれまで、不登校になったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



子どもの不登校経験については、「不登校の経験なし」が84.9%と最も多く、以下「わからない」(5.2%)、「過去に不登校の経験あり」(4.2%)、「現在、不登校中」(0.8%)となっています。

【子どもの不登校経験／貧困線別】

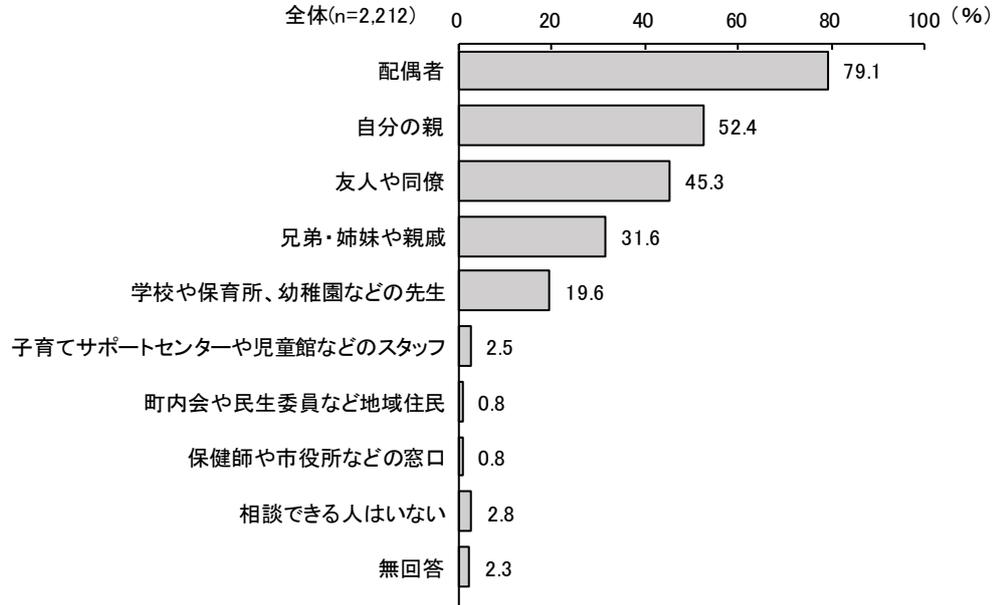


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「不登校の経験なし」が最も多く、それぞれ81.5%、85.7%となっています。

⑫悩みの相談先

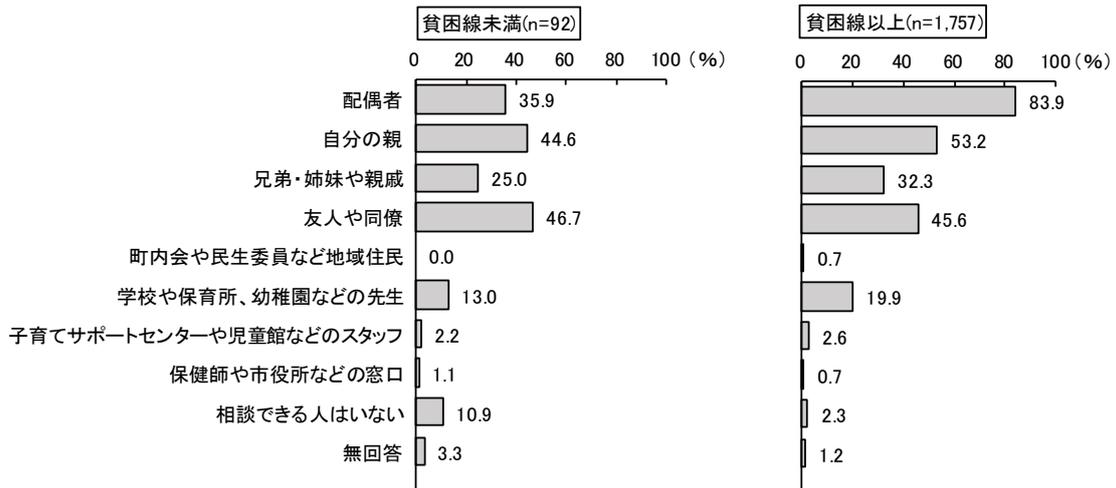
問 4 1 あなたが次のことで相談できる人は誰ですか。(それぞれあてはまるものすべてに○)

【子どもの教育・学習・成績】



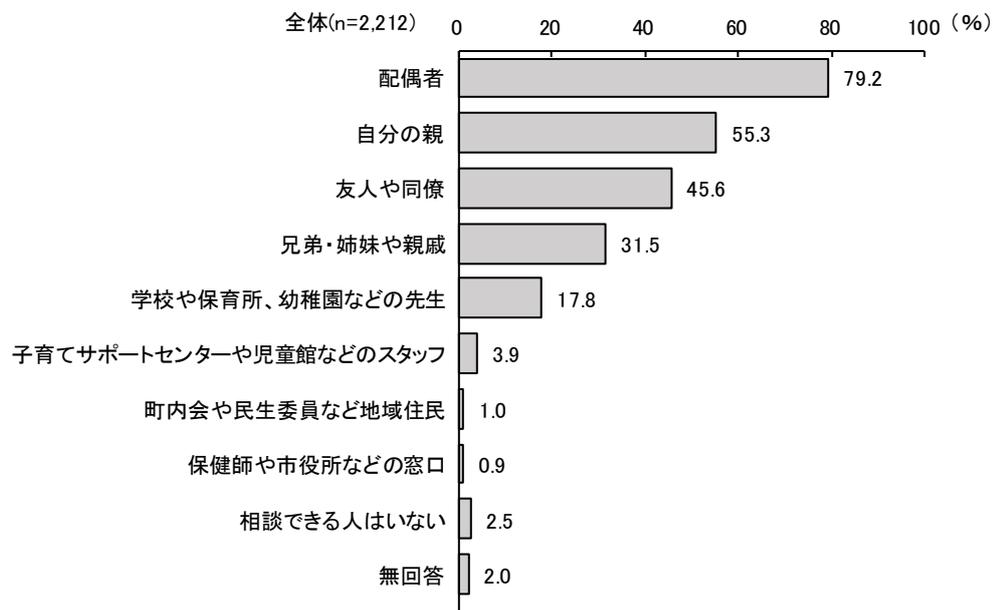
子どもの教育・学習・成績に関する悩みの相談先については、「配偶者」が 79.1%と最も多く、以下「自分の親」(52.4%)、「友人や同僚」(45.3%)、「兄弟・姉妹や親戚」(31.6%) となっています。

【子どもの教育・学習・成績／貧困線別】



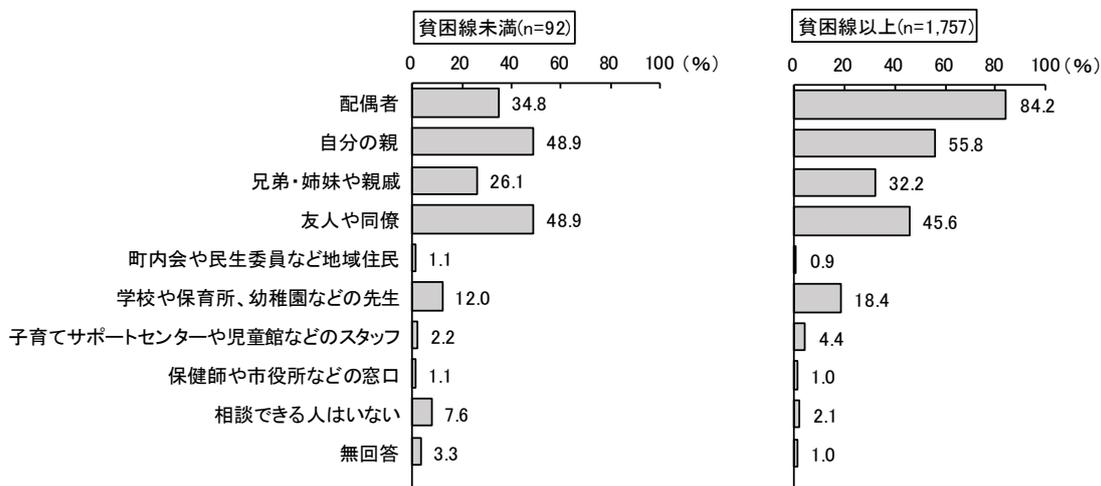
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「友人や同僚」が 46.7%、『貧困線以上』では「配偶者」が 83.9%と最も多くなっています。

【子どもの生活態度やしつけ】



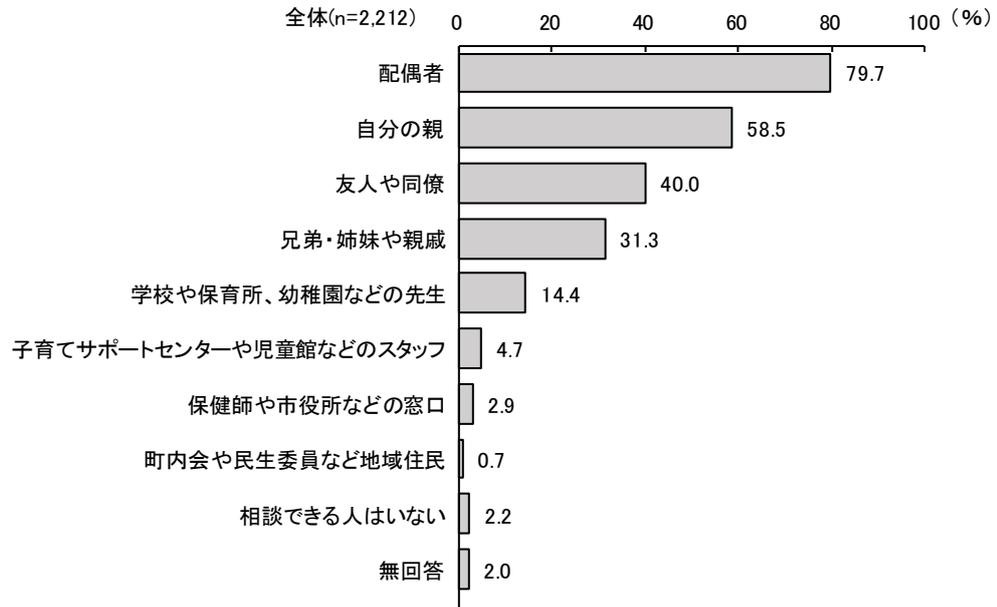
子どもの生活態度やしつけに関する悩みの相談先については、「配偶者」が 79.2%と最も多く、以下「自分の親」(55.3%)、「友人や同僚」(45.6%)、「兄弟・姉妹や親戚」(31.5%)となっています。

【子どもの生活態度やしつけ／貧困線別】



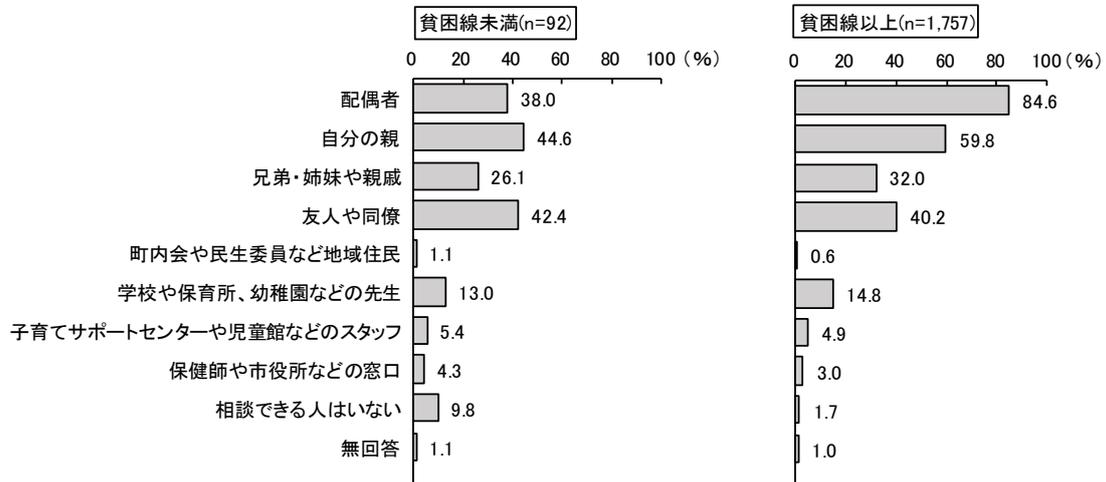
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「自分の親」と「友人や同僚」がともに 48.9%、『貧困線以上』では「配偶者」が 84.2%と最も多くなっています。

【子どもの健康・発育】



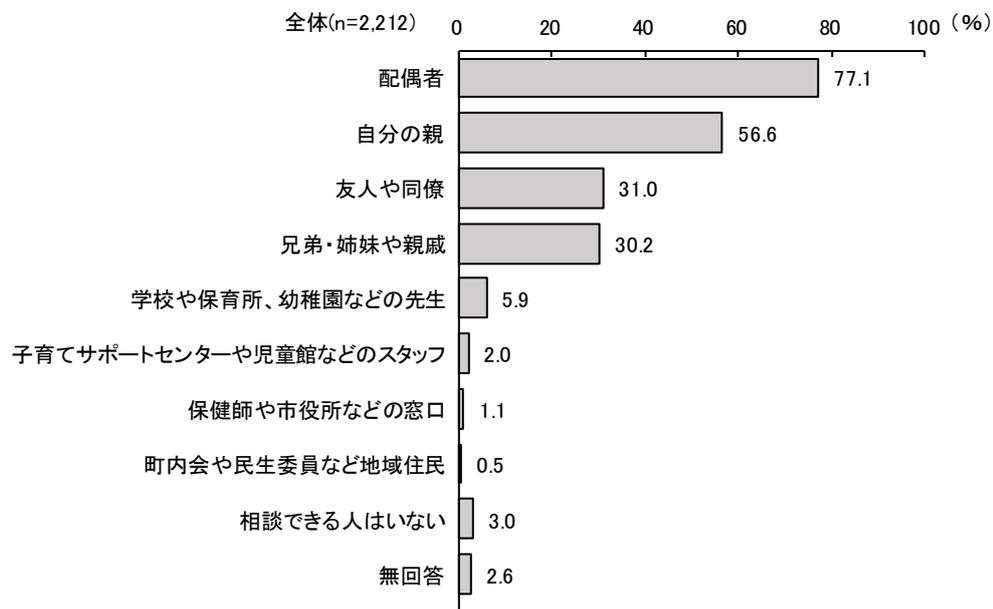
子どもの健康・発育に関する悩みの相談先については、「配偶者」が79.7%と最も多く、以下「自分の親」(58.5%)、「友人や同僚」(40.0%)、「兄弟・姉妹や親戚」(31.3%)となっています。

【子どもの健康・発育／貧困線別】



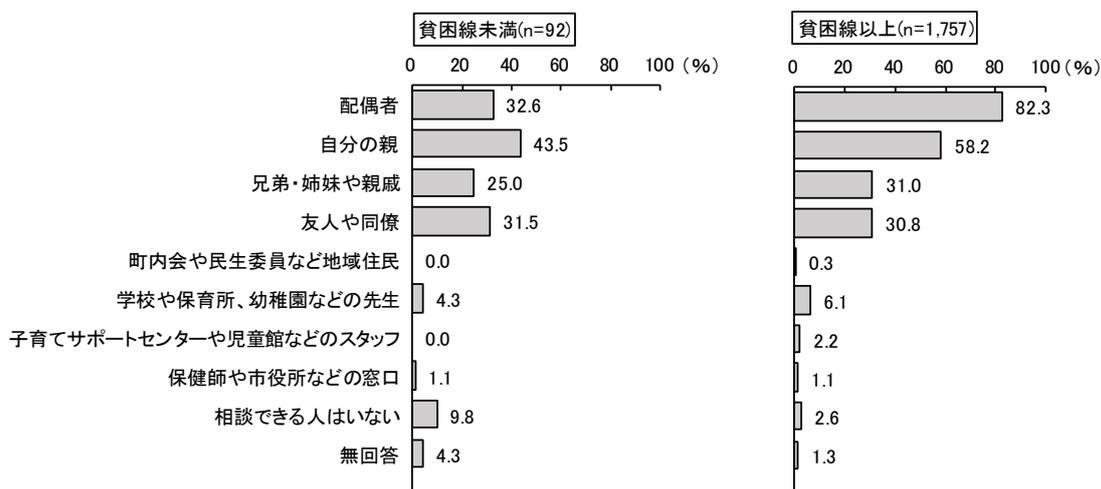
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「自分の親」が44.6%、『貧困線以上』では「配偶者」が84.6%と最も多くなっています。

【看病、介護、子どもの世話】



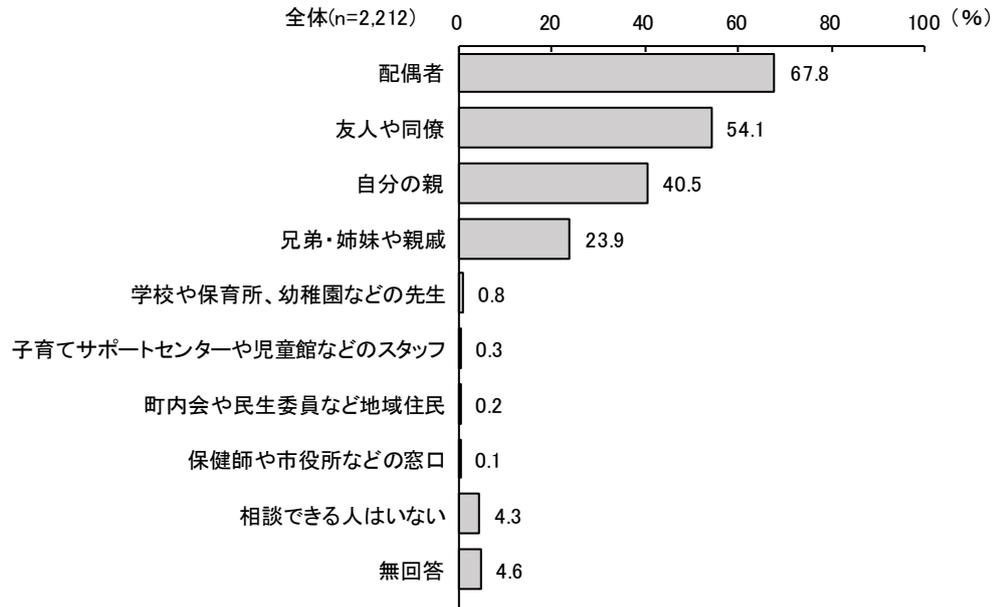
看病、介護、子どもの世話に関する悩みの相談先については、「配偶者」が 77.1%と最も多く、以下「自分の親」(56.6%)、「友人や同僚」(31.0%)、「兄弟・姉妹や親戚」(30.2%) となっています。

【看病、介護、子どもの世話／貧困線別】



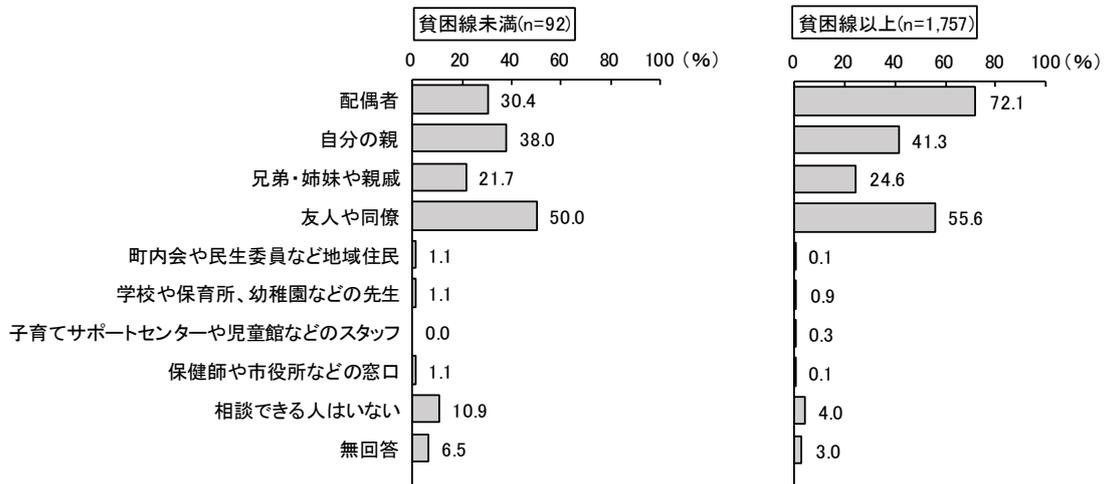
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「自分の親」が 43.5%、『貧困線以上』では「配偶者」が 82.3%と最も多くなっています。

【自分の仕事に関すること】



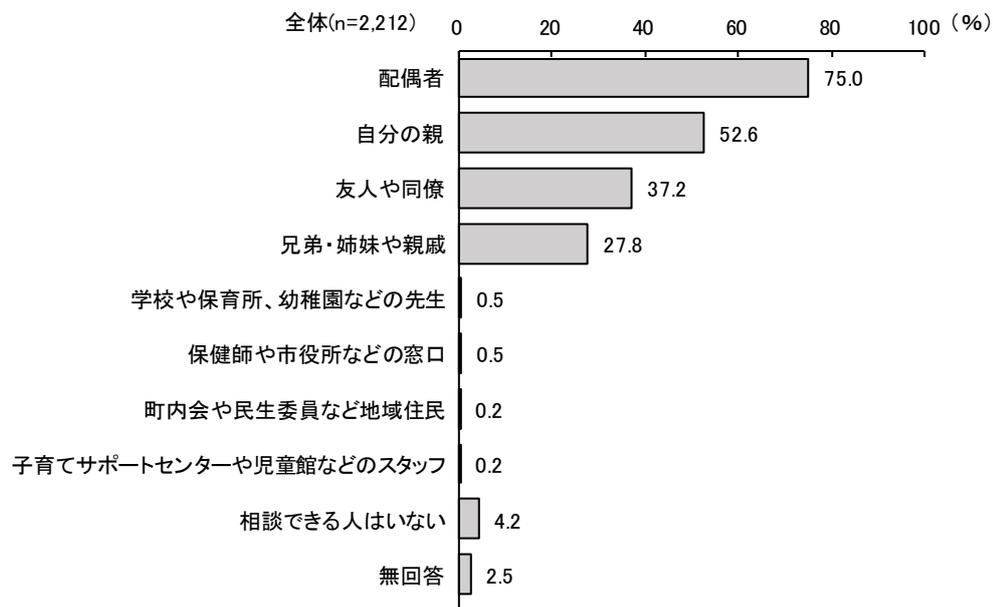
自分の仕事に関する悩みの相談先については、「配偶者」が 67.8%と最も多く、以下「友人や同僚」(54.1%)、「自分の親」(40.5%)、「兄弟・姉妹や親戚」(23.9%) となっています。

【自分の仕事に関すること／貧困線別】



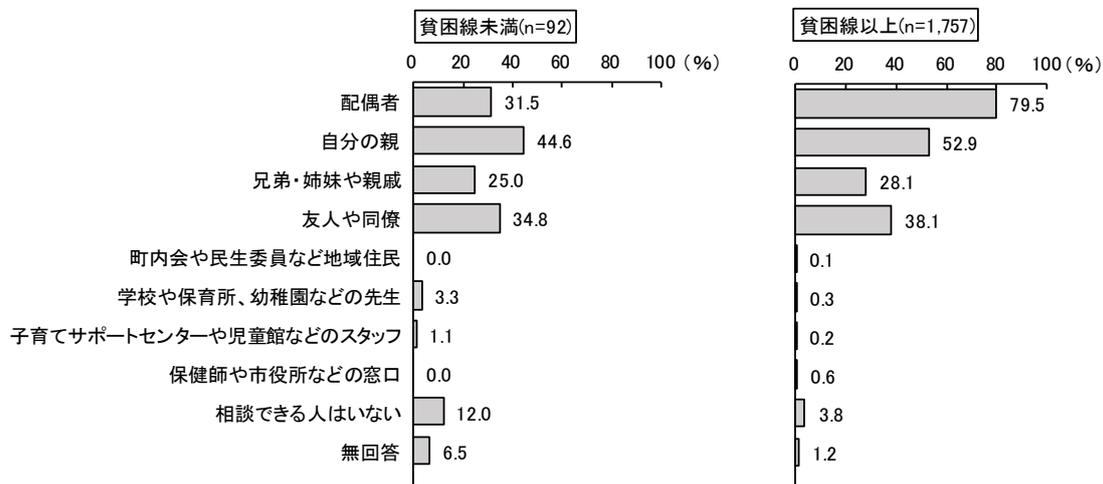
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「友人や同僚」が 50.0%、『貧困線以上』では「配偶者」が 72.1%と最も多くなっています。

【自分の健康や病気に関すること】



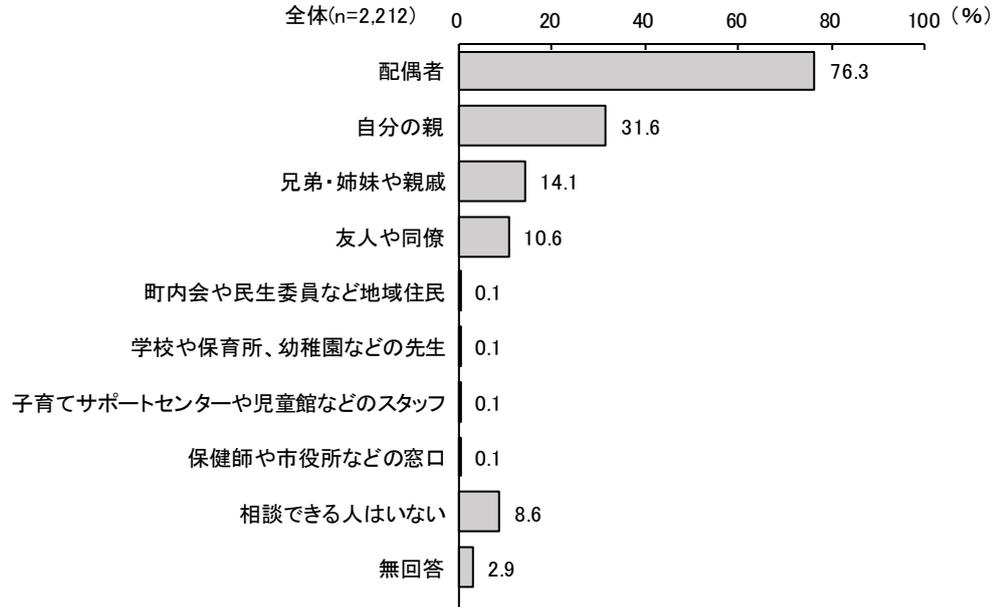
自分の健康や病気に関する悩みの相談先については、「配偶者」が 75.0%と最も多く、以下「自分の親」(52.6%)、「友人や同僚」(37.2%)、「兄弟・姉妹や親戚」(27.8%)となっています。

【自分の健康や病気に関すること／貧困線別】



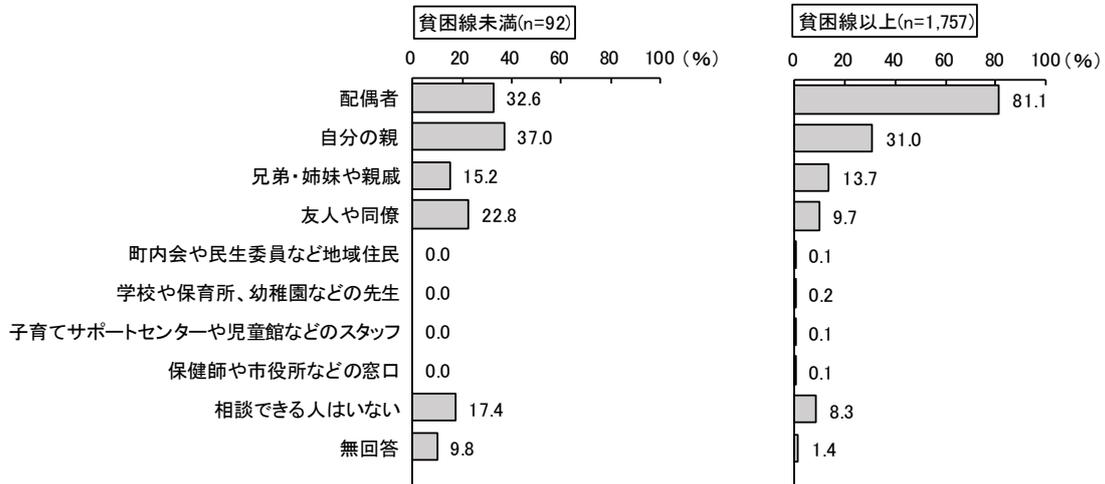
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「自分の親」が 44.6%、『貧困線以上』では「配偶者」が 79.5%と最も多くなっています。

【お金の相談・家計管理】



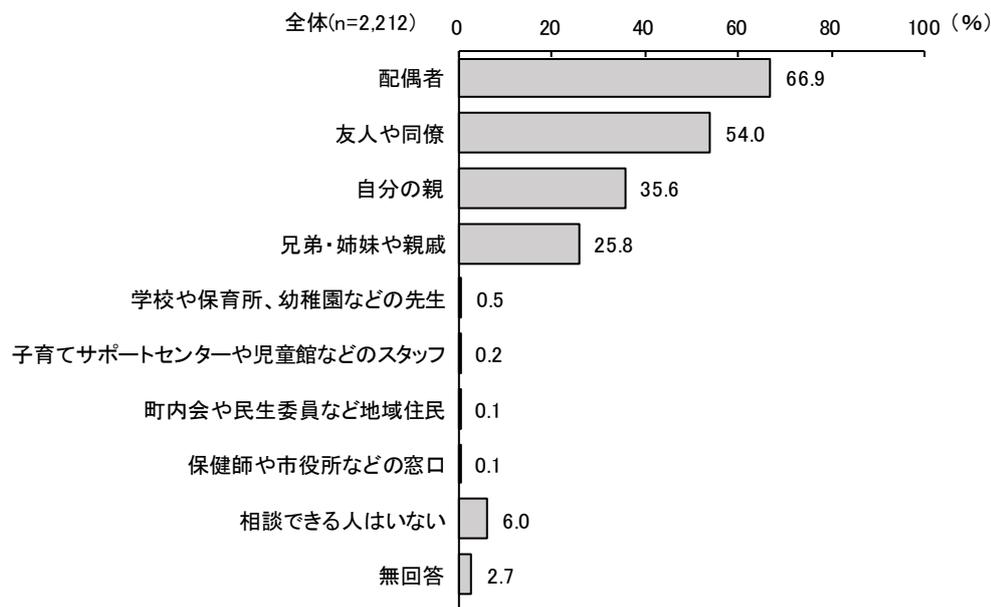
お金の相談・家計管理に関する悩みの相談先については、「配偶者」が76.3%と最も多く、以下「自分の親」(31.6%)、「兄弟・姉妹や親戚」(14.1%)、「友人や同僚」(10.6%)となっています。

【お金の相談・家計管理／貧困線別】



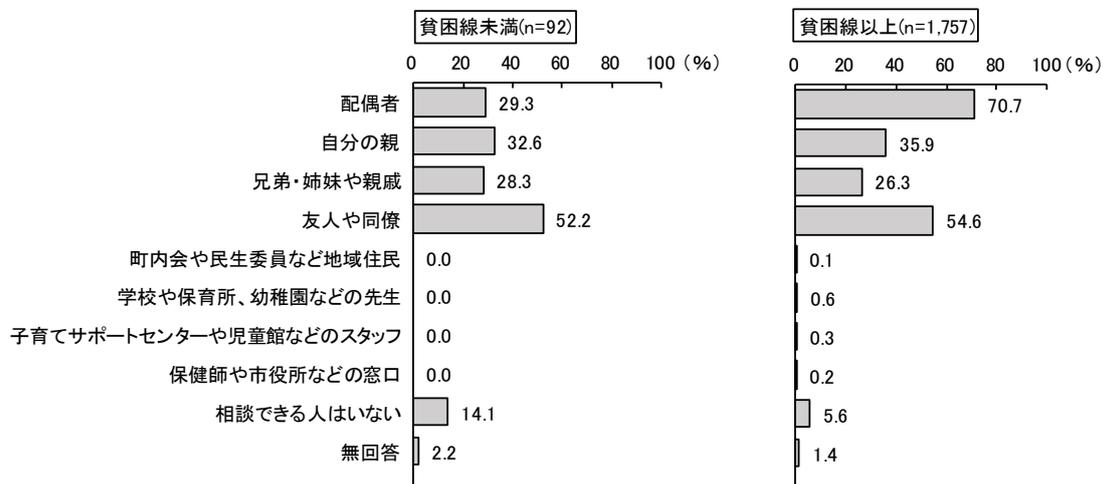
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「自分の親」が37.0%、『貧困線以上』では「配偶者」が81.1%と最も多くなっています。また、『貧困線未満』では「相談できる人がいない」が17.4%となっています。

【人間関係の悩み】



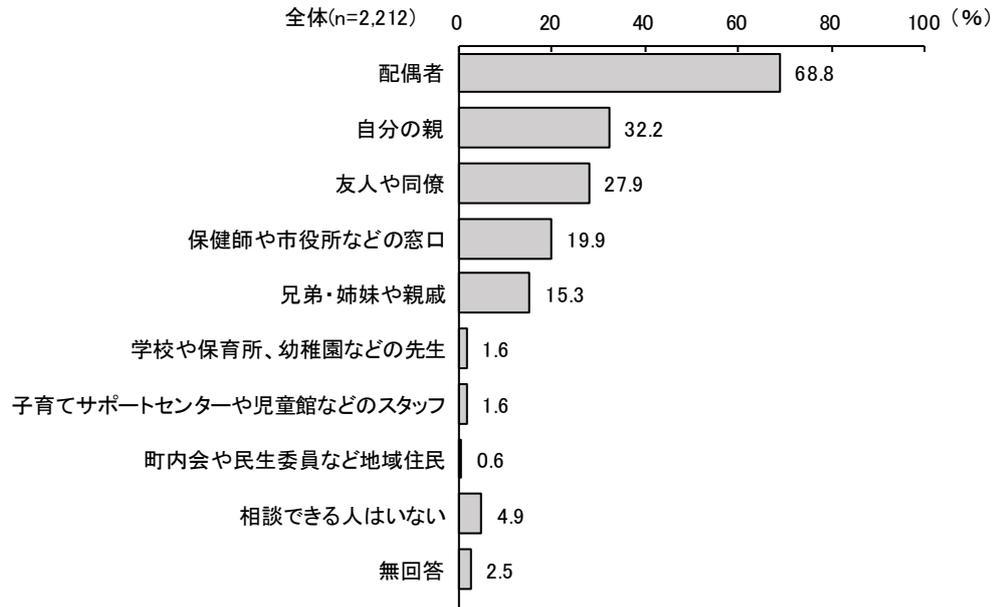
人間関係の悩みの相談先については、「配偶者」が66.9%と最も多く、以下「友人や同僚」(54.0%)、「自分の親」(35.6%)、「兄弟・姉妹や親戚」(25.8%)となっています。

【人間関係の悩み／貧困線別】



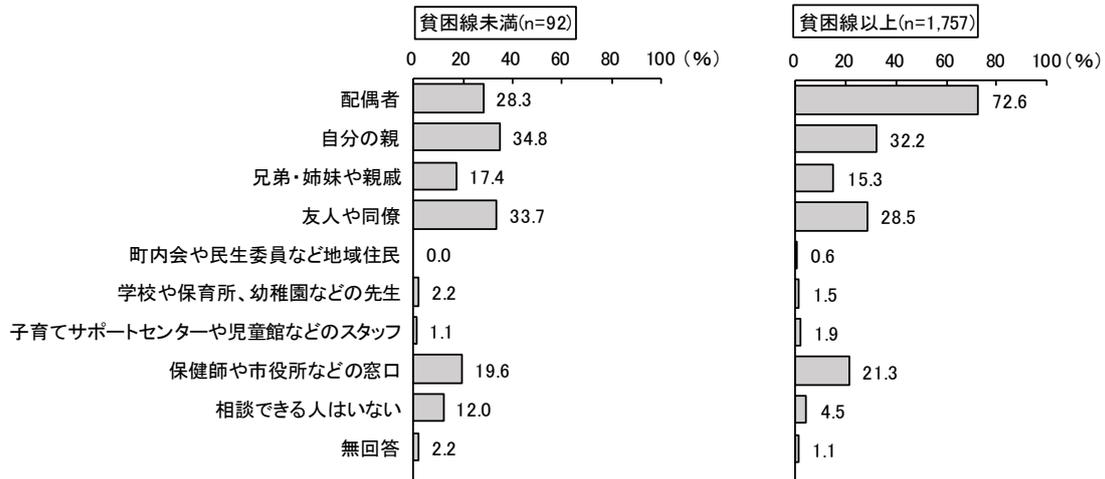
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「友人や同僚」が52.2%、『貧困線以上』では「配偶者」が70.7%と最も多くなっています。

【市役所などへの申請や手続きに関すること】



市役所などへの申請や手続きに関することの悩みの相談先については、「配偶者」が 68.8%と最も多く、以下「自分の親」(32.2%)、「友人や同僚」(27.9%)、「保健師や市役所などの窓口」(19.9%)となっています。

【市役所などへの申請や手続きに関すること／貧困線別】

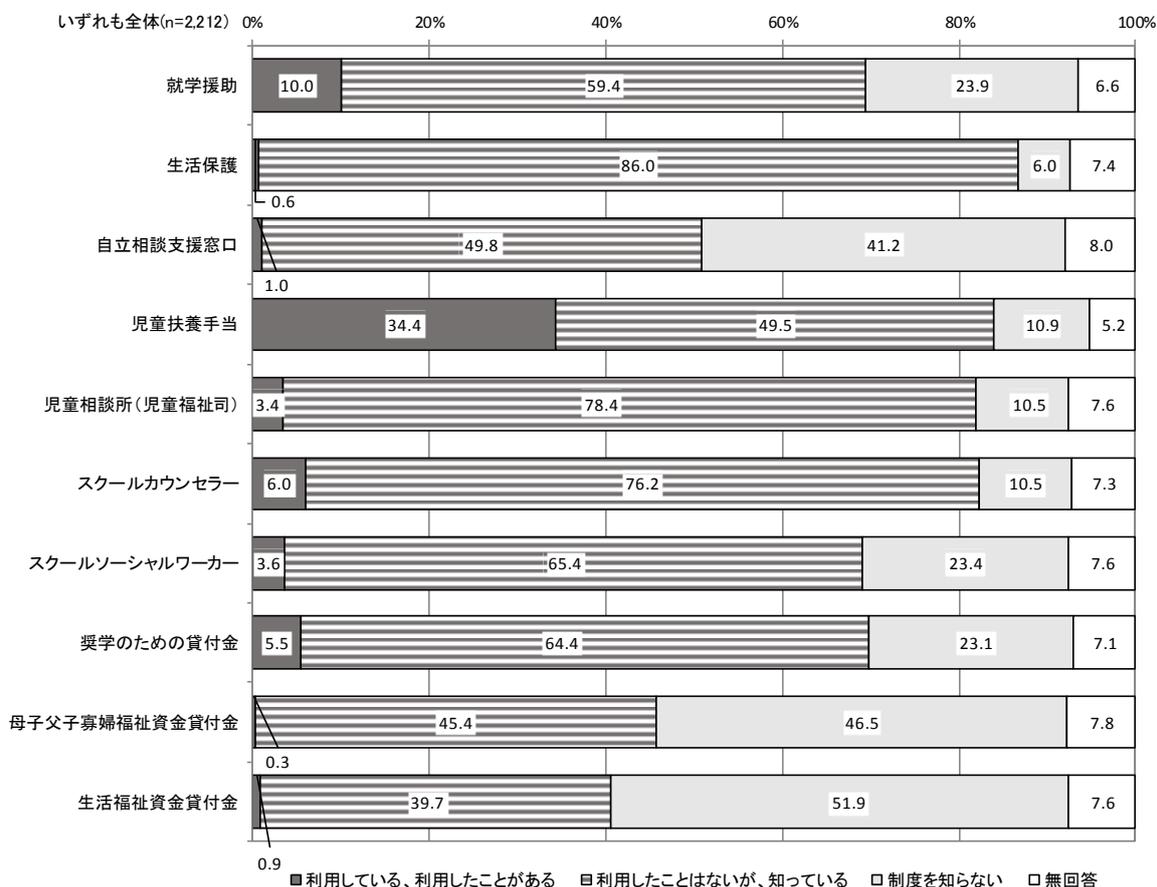


貧困線別にみると、『貧困線未満』では「自分の親」が 34.8%、『貧困線以上』では「配偶者」が 72.6%と最も多くなっています。

(8) 制度やサービス等について

① 公的制度やサービスの利用の有無

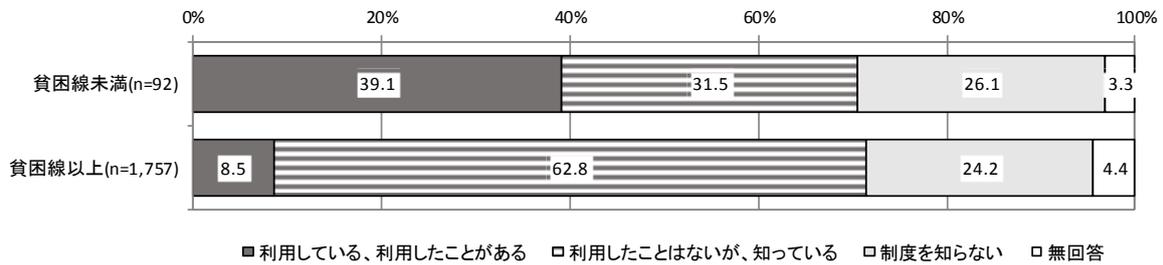
問 4 2 あなたは次の公的制度やサービスを利用した（または支援を受けた）ことがありますか。（それぞれ 1 つに○）



公的制度やサービスの利用の有無について、『利用している、利用したことがある』のは「児童扶養手当」が 34.4%と最も多く、以下「就学援助」(10.0%)、「スクールカウンセラー」(6.0%)、「奨学のための貸付金」(5.5%)となっています。『利用したことはないが、知っている』のは「生活保護」が 86.0%と最も多く、以下「児童相談所(児童福祉司)」(78.4%)、「スクールカウンセラー」(76.2%)、「スクールソーシャルワーカー」(65.4%) などとなっています。

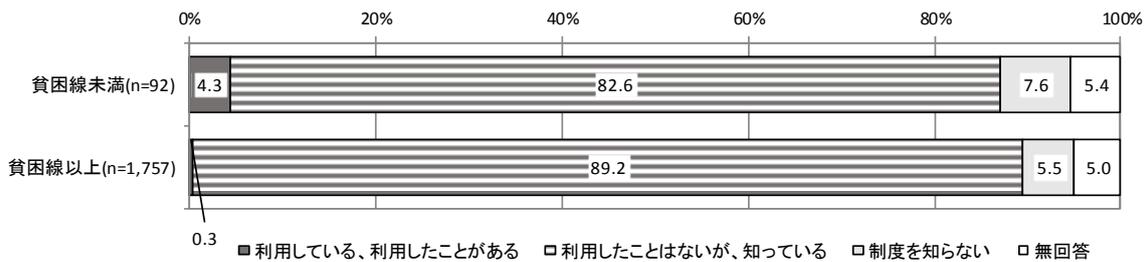
一方、『制度を知らない』ものは「生活福祉資金貸付金」が 51.9%と最も多く、以下「母子父子寡婦福祉資金貸付金」(46.5%)、「自立相談支援窓口」(41.2%) などとなっています。

【就学援助／貧困線別】



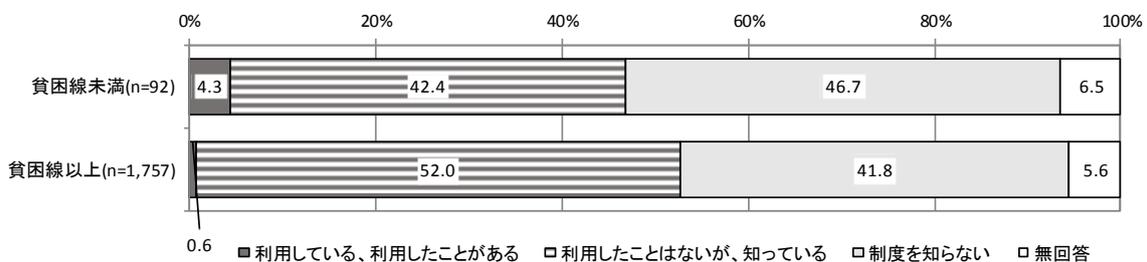
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「利用している、利用したことがある」が39.1%、『貧困線以上』では「利用したことはないが、知っている」が62.8%と最も多くなっています。

【生活保護／貧困線別】



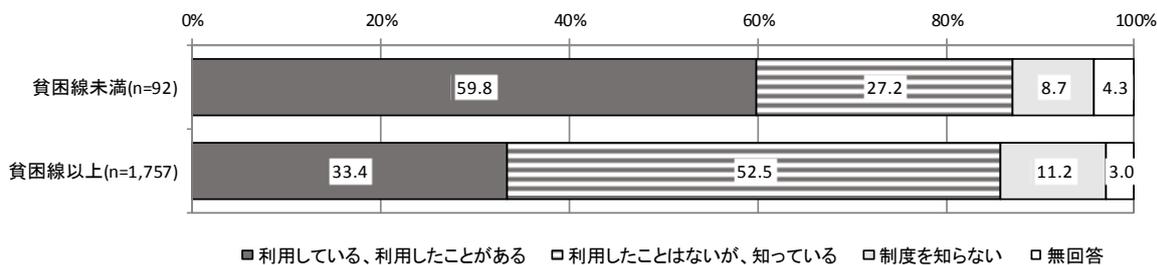
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「利用したことはないが、知っている」が最も多く、それぞれ82.6%、89.2%となっています。

【自立相談支援窓口／貧困線別】



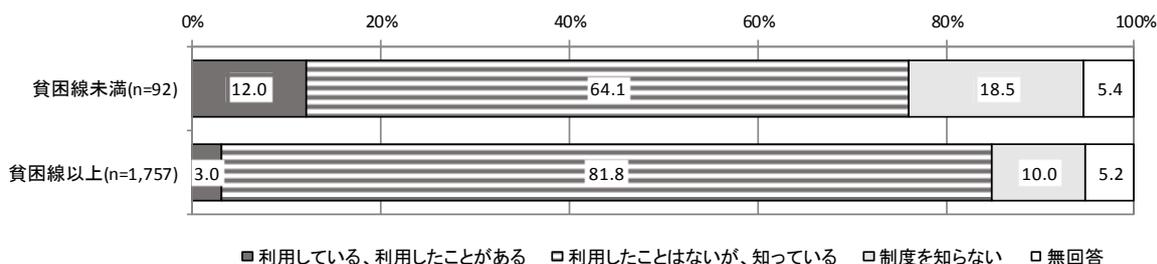
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「制度を知らない」が46.7%、『貧困線以上』では「利用したことはないが、知っている」が52.0%と最も多くなっています。

【児童扶養手当／貧困線別】



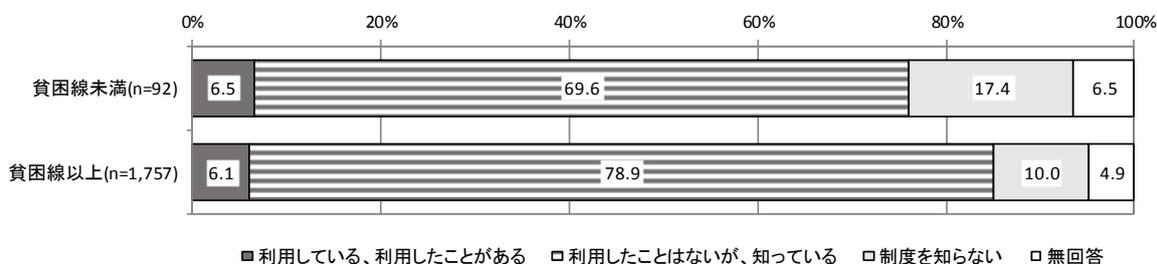
貧困線別にみると、『貧困線未満』では「利用している、利用したことがある」が59.8%、『貧困線以上』では「利用したことはないが、知っている」が52.5%と最も多くなっています。

【児童相談所（児童福祉司）／貧困線別】



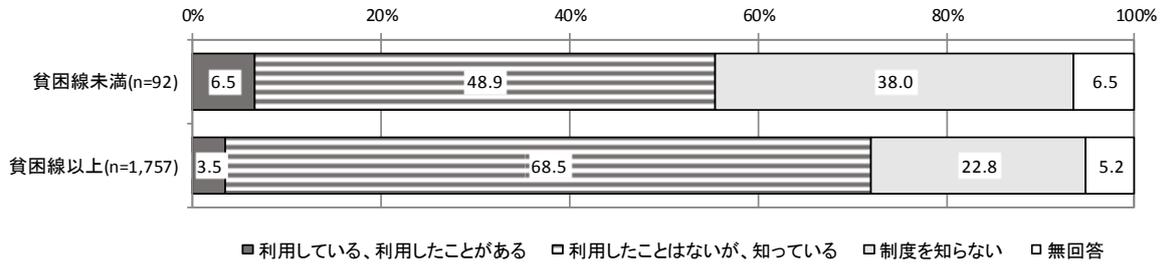
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「利用したことはないが、知っている」が最も多く、それぞれ64.1%、81.8%となっています。

【スクールカウンセラー／貧困線別】



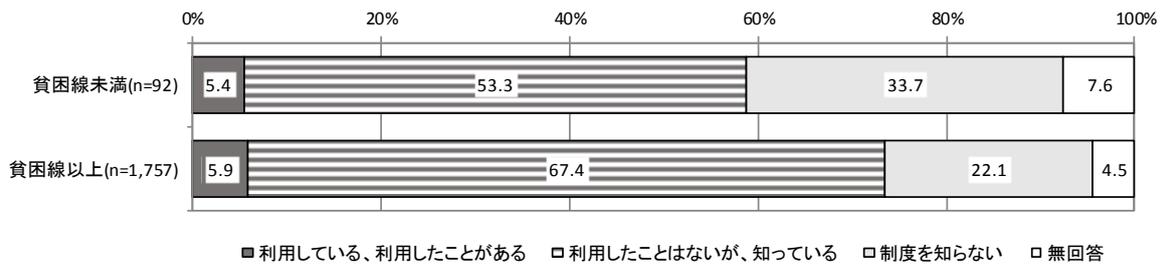
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「利用したことはないが、知っている」が最も多く、それぞれ69.6%、78.9%となっています。

【スクールソーシャルワーカー／貧困線別】



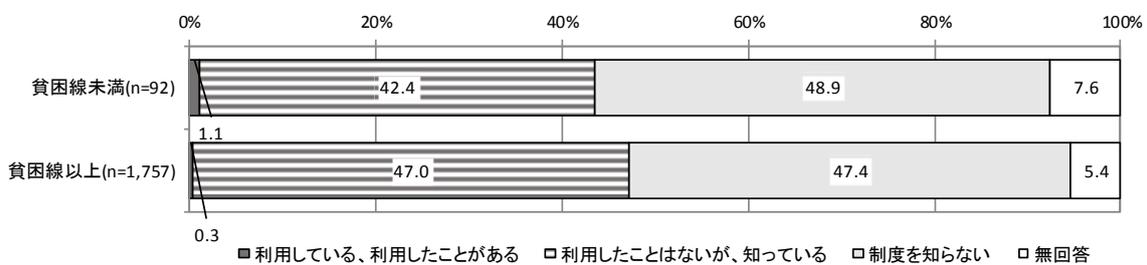
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「利用したことはないが、知っている」が最も多く、それぞれ48.9%、68.5%となっています。

【奨学のための貸付金／貧困線別】



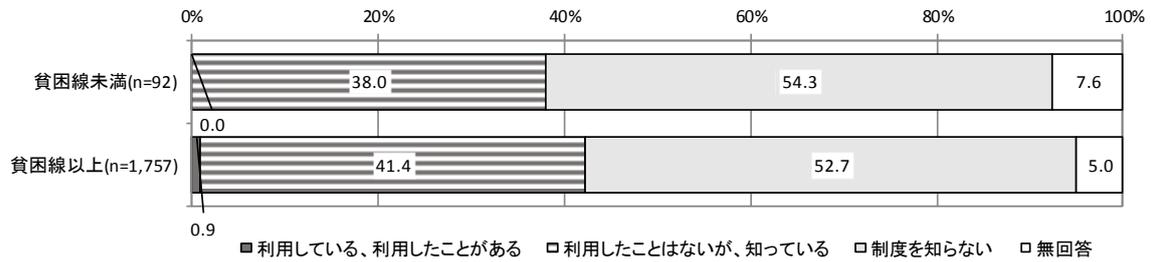
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「利用したことはないが、知っている」が最も多く、それぞれ53.3%、67.4%となっています。

【母子父子寡婦福祉資金貸付金／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「制度を知らない」が最も多く、それぞれ48.9%、47.4%となっています。

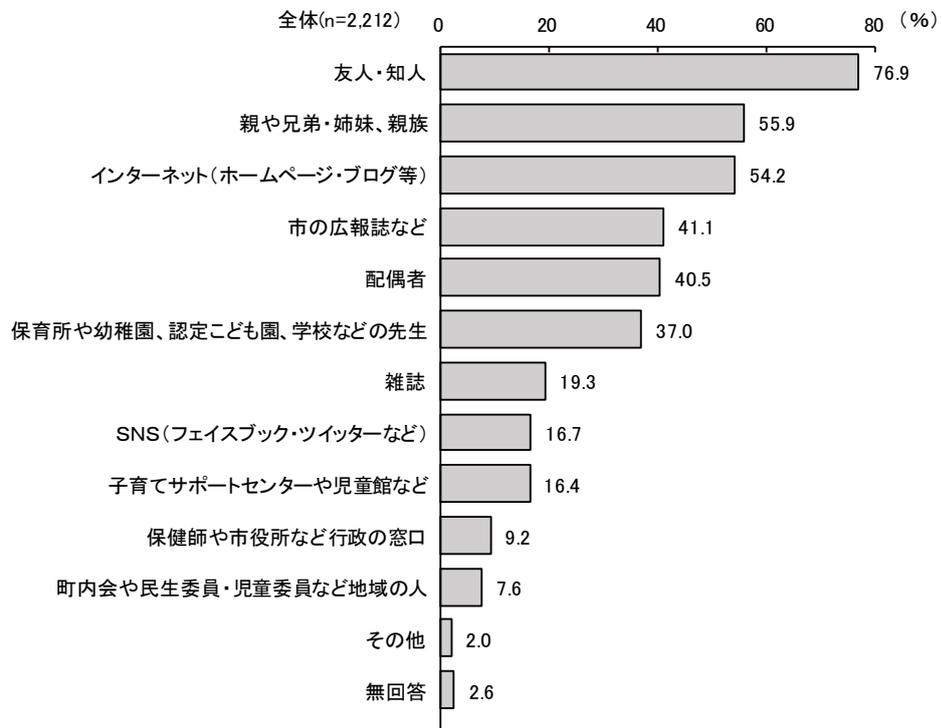
【生活福祉資金貸付金／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「制度を知らない」が最も多く、それぞれ54.3%、52.7%となっています。

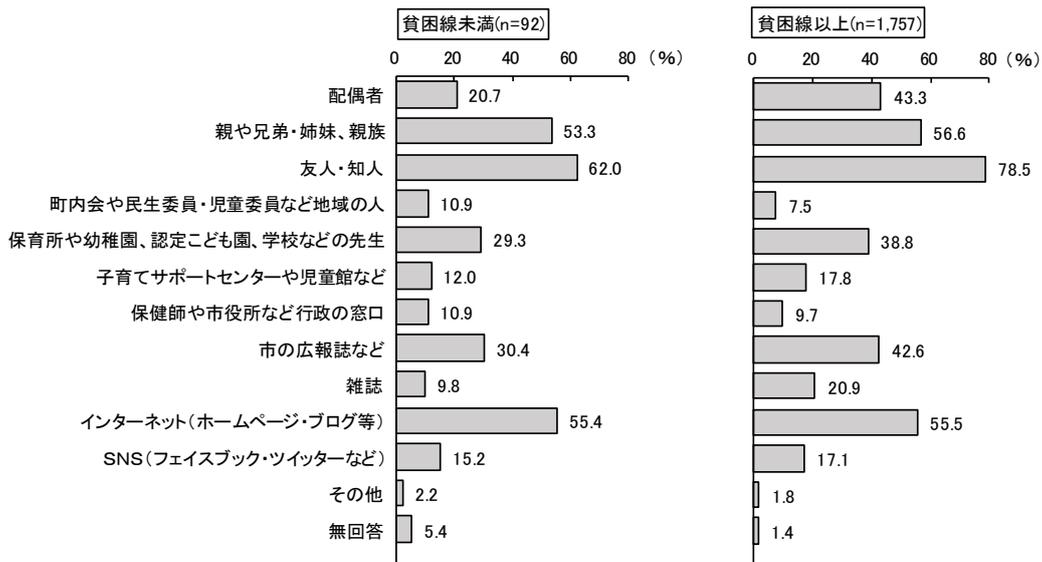
②子育てに関する情報の入手先

問43 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)



子育てに関する情報の入手先については、「友人・知人」が76.9%と最も多く、以下「親や兄弟・姉妹、親族」(55.9%)、「インターネット(ホームページ・ブログ等)」(54.2%)、「市の広報誌など」(41.1%)となっています。

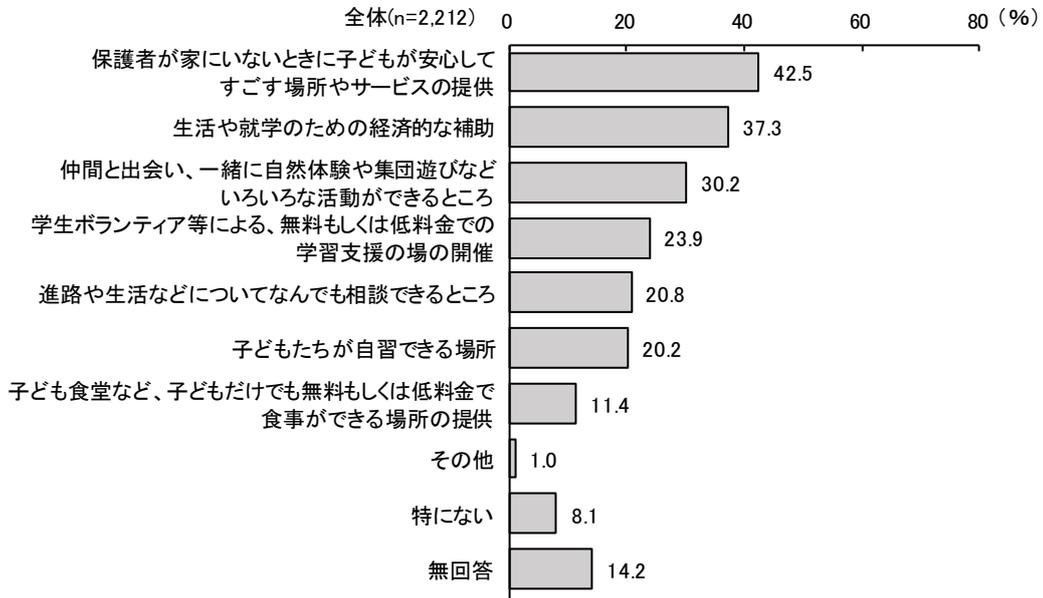
【子育てに関する情報の入手先／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「友人・知人」が最も多く、それぞれ62.0%、78.5%となっています。

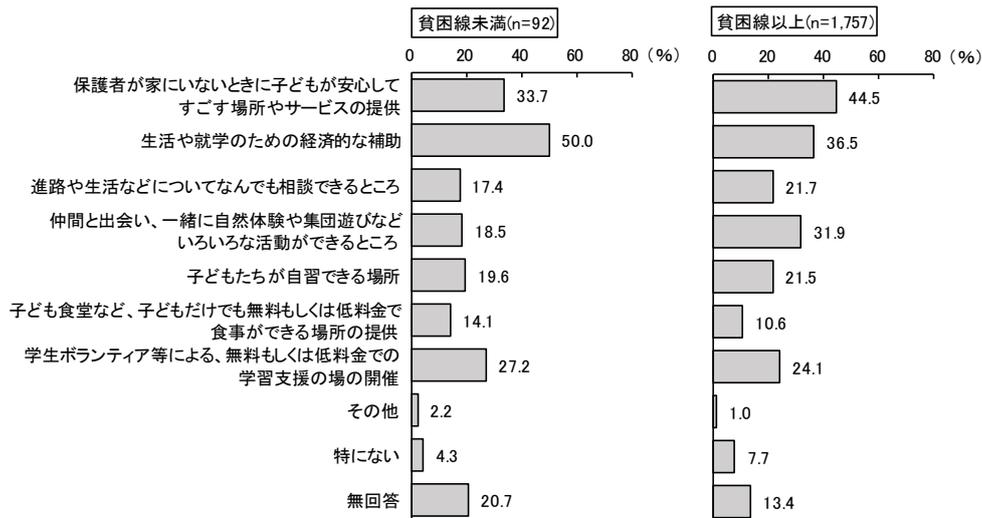
③現在または将来的に利用したい支援

問 4 4 お子さんにとって、現在または将来的に、次のような支援があった場合、利用したいと思いますか。利用したいと思うもの上位3つを教えてください。(あてはまるもの3つまで○)



現在または将来的に利用したい支援については、「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごす場所やサービスの提供」が 42.5%と最も多く、以下「生活や就学のための経済的な補助」(37.3%)、「仲間と出会い、一緒に自然体験や集団遊びなどいろいろな活動ができる場所」(30.2%)、「学生ボランティア等による、無料もしくは低料金での学習支援の場の開催」(23.9%)となっています。

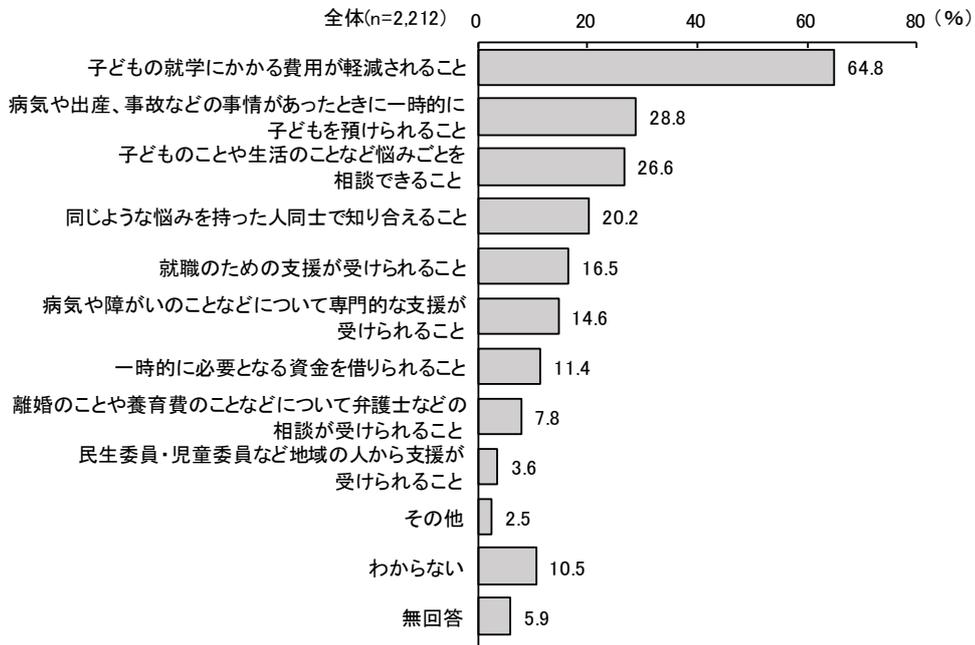
【現在または将来的に利用したい支援／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「生活や就学のための経済的な補助」が 50.0%、『貧困線以上』では「保護者が家にいないときに子どもが安心して過ごす場所やサービスの提供」が 44.5%と最も多くなっています。

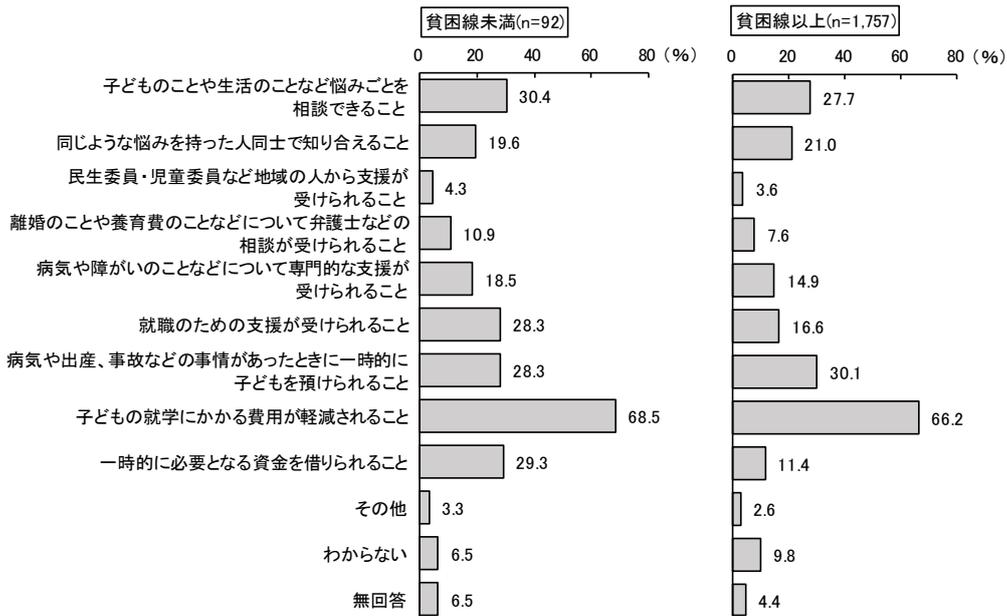
④現在必要としていること、重要だと思う支援

問45 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどうなものですか。(あてはまるものすべてに○)



現在必要としていること、重要だと思う支援については、「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が64.8%と最も多く、以下「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」(28.8%)、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」(26.6%)、「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」(20.2%)となっています。

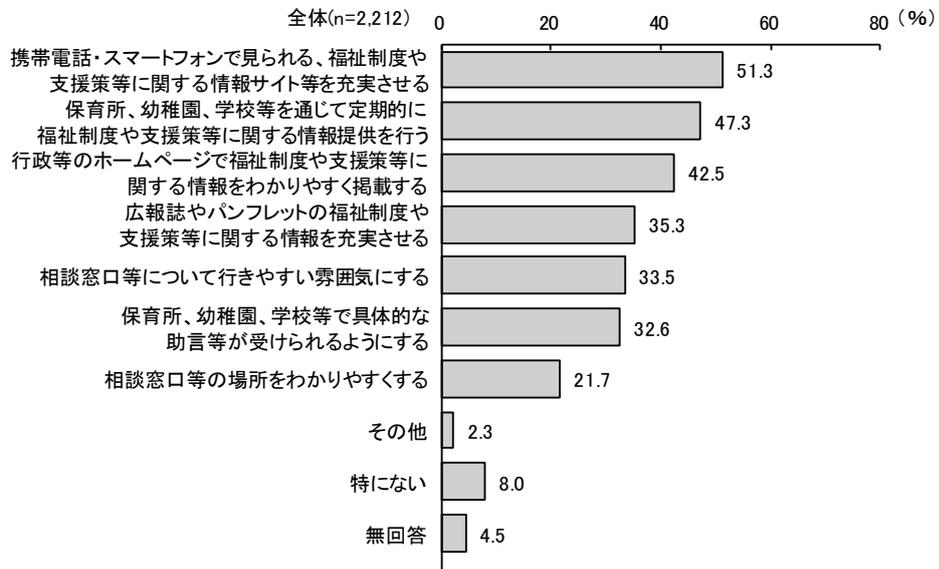
【現在必要としていること、重要だと思う支援／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」が最も多く、それぞれ68.5%、66.2%となっています。

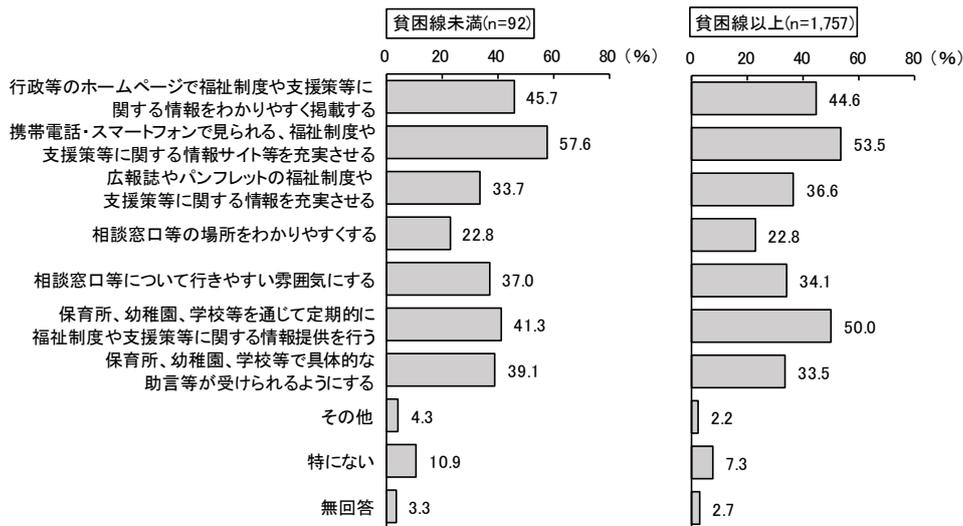
⑤必要な支援を受けられるようにするために重要なこと

問46 子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことはなんですか。(あてはまるものすべてに○)



子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことについては、「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」が51.3%と最も多く、以下「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う」(47.3%)、「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」(42.5%)、「広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる」(35.3%)となっています。

【必要な支援を受けられるようにするために重要なこと／貧困線別】

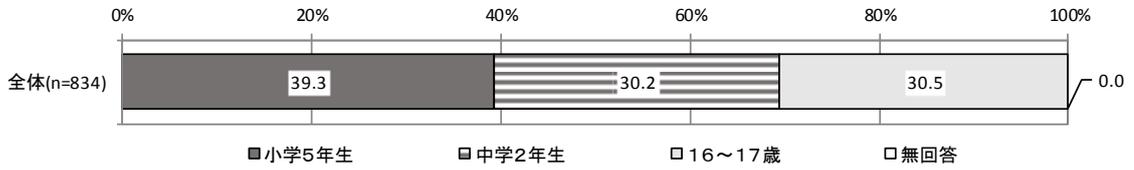


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」が最も多く、それぞれ57.6%、53.5%となっています。

2. 子ども

(1) 回答者の状況

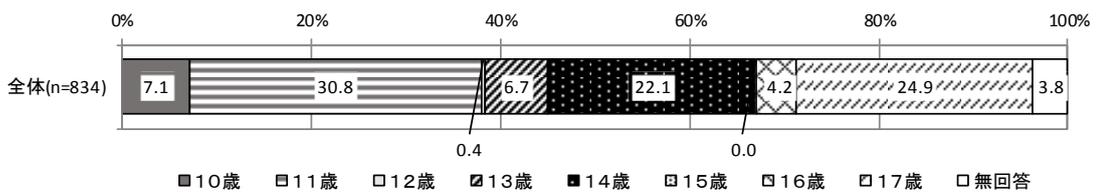
①回答者



回答者については、「小学5年生」が39.3%と最も多く、以下「16~17歳」(30.5%)、「中学2年生」(30.2%) となっています。

②年齢

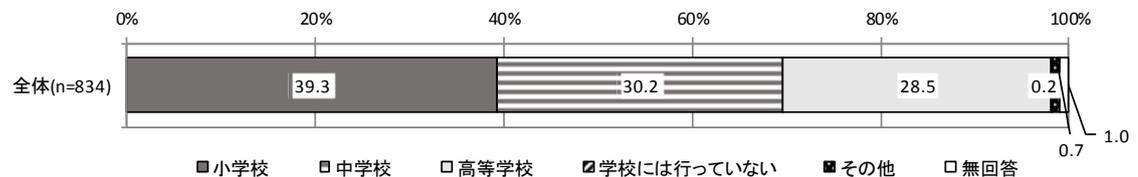
問1 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)



年齢については、「11歳」が30.8%と最も多く、以下「17歳」(24.9%)、「14歳」(22.1%)、「10歳」(7.1%) となっています。

③通っている学校

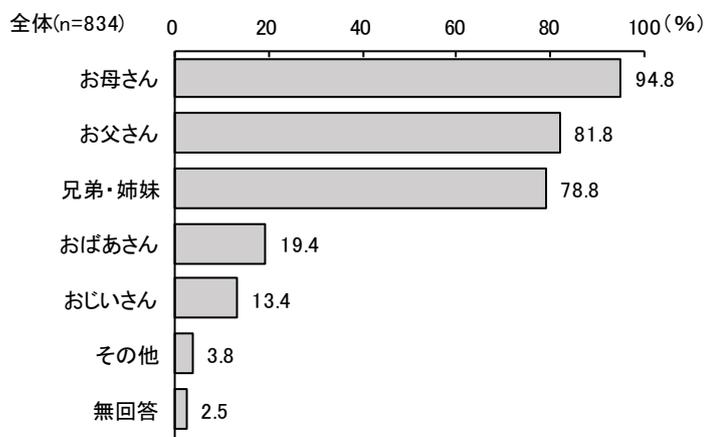
問2 あなたの通っている学校などを教えてください。(1つに○)



通っている学校については、「小学校」が39.3%と最も多く、以下「中学校」(30.2%)、「高等学校」(28.5%) となっています。

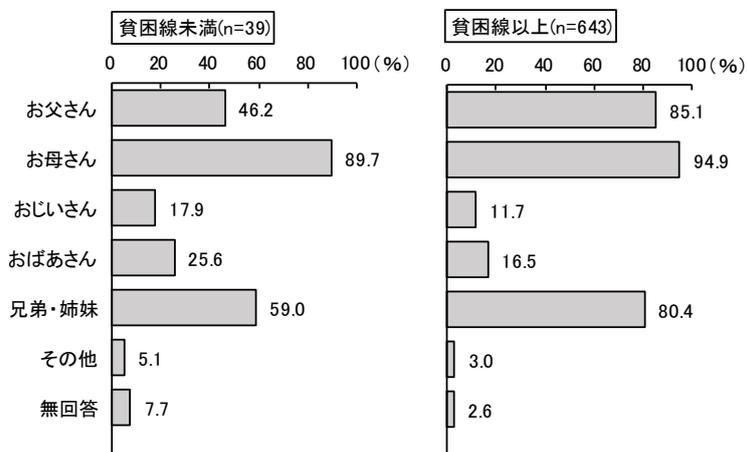
④一緒に住んでいる人

問3 あなたと現在いっしょに住んでいる人を教えてください。(あてはまるものすべてに○)



一緒に住んでいる人については、「お母さん」が94.8%と最も多く、以下「お父さん」(81.8%)、「兄弟・姉妹」(78.8%)、「おばあさん」(19.4%)となっています。

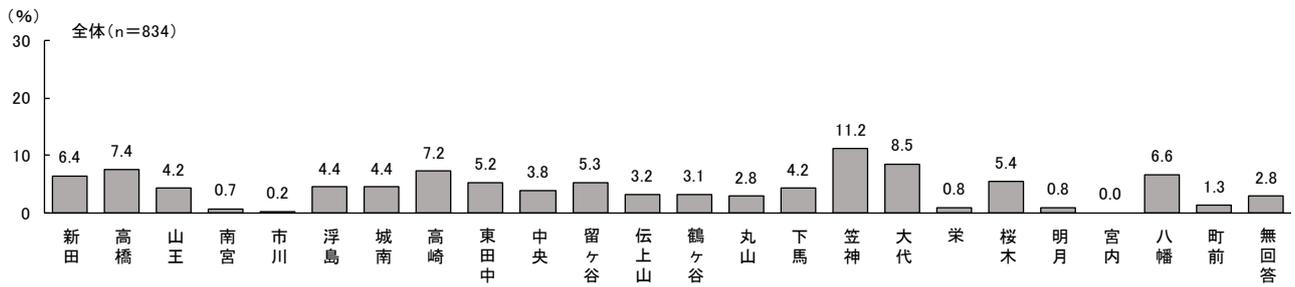
【一緒に住んでいる人／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「お母さん」が最も多く、それぞれ89.7%、94.9%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「お父さん」が38.9ポイント少なくなっています。

⑤居住地域

問4 あなたがお住まいの地域を教えてください。(1つに○)

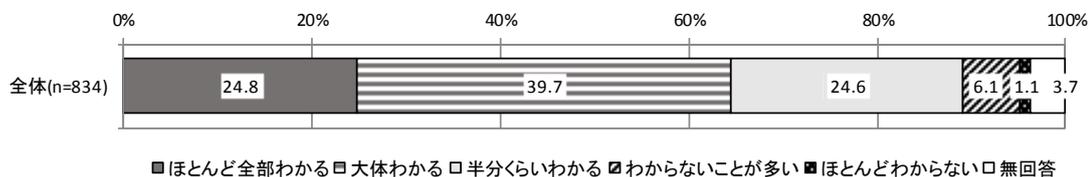


居住地域については、「笠神」が11.2%と最も多く、以下「大代」(8.5%)、「高橋」(7.4%)、「高崎」(7.2%)となっています。

(2) 学校の授業、進学について

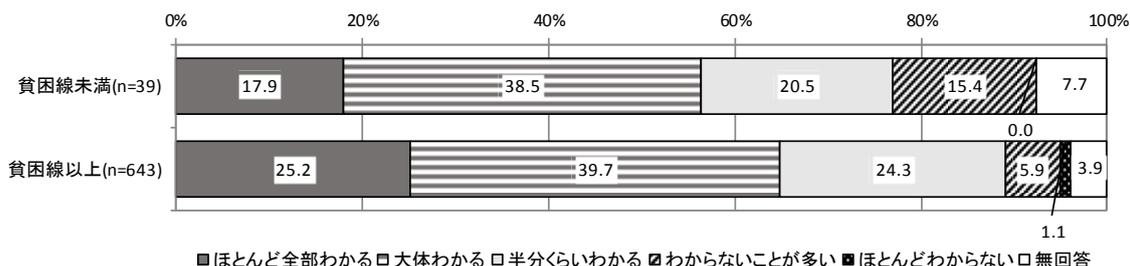
①授業の理解度

問5 あなたは、学校の授業がどのくらいよくわかりますか。(1つに○)



授業の理解度については、「大体わかる」が39.7%と最も多く、以下「ほとんど全部わかる」(24.8%)、「半分くらいわかる」(24.6%)、「わからないことが多い」(6.1%)となっています。

【授業の理解度／貧困線別】

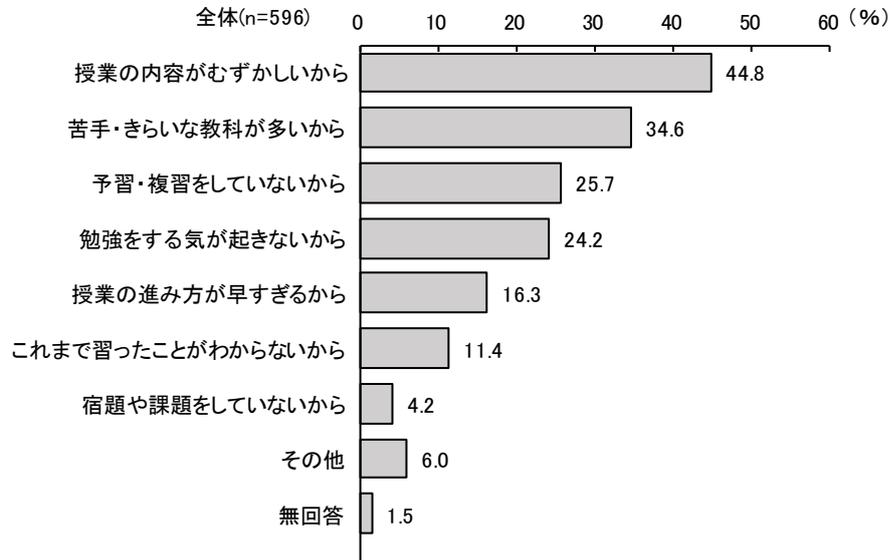


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「大体わかる」が最も多く、それぞれ38.5%、39.7%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「わからないことが多い」が9.5ポイント多くなっています。

②授業がわからない理由

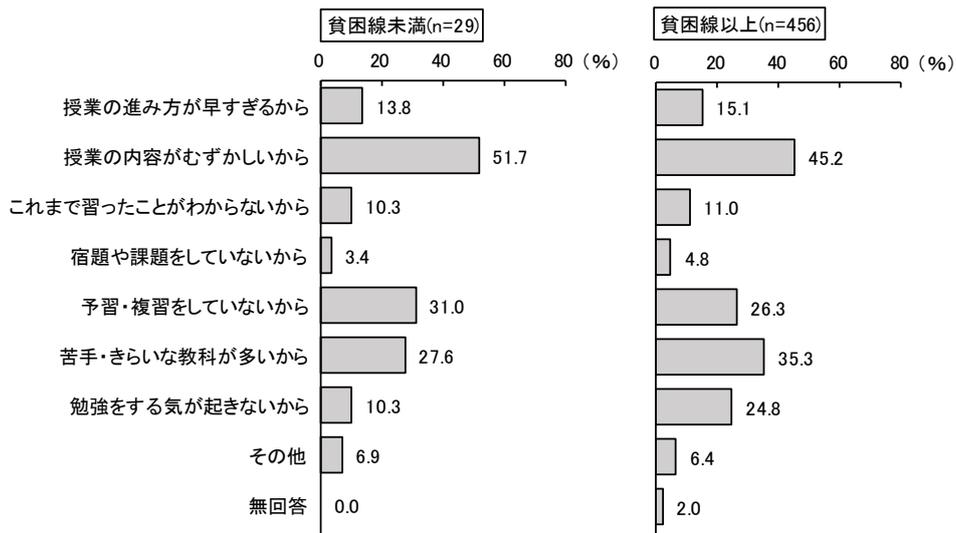
問5-1 授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※問5で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



授業がわからない理由については、「授業の内容がむずかしいから」が44.8%と最も多く、以下「苦手・きらいな教科が多いから」(34.6%)、「予習・復習をしていないから」(25.7%)、「勉強をする気が起きないから」(24.2%)となっています。

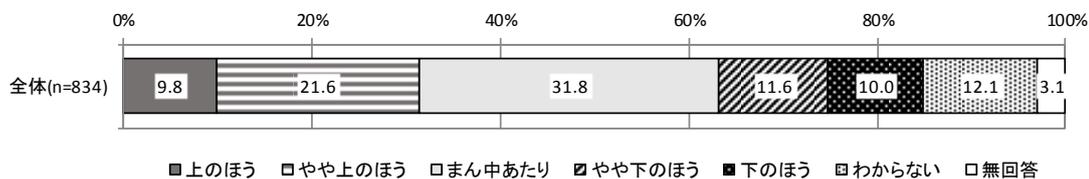
【授業がわからない理由／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「授業の内容がむずかしいから」が最も多く、それぞれ51.7%、45.2%となっています。

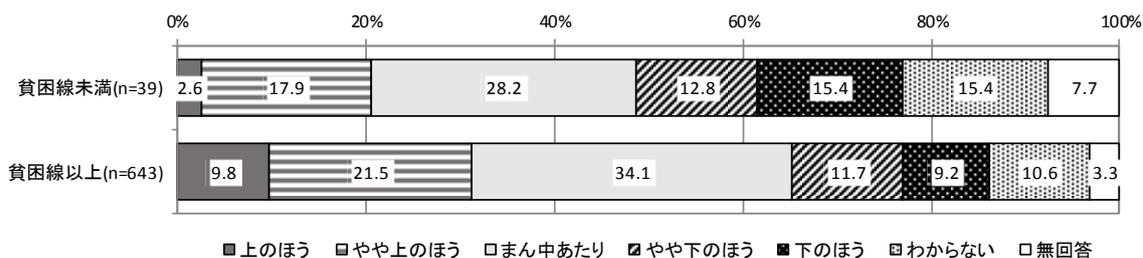
③学校での成績

問6 あなたの成績は、学年の中でどれくらいですか。(1つに○)



学校の成績が学年の中でどれくらいかについては、「まん中あたり」が31.8%と最も多く、以下「やや上のほう」(21.6%)、「わからない」(12.1%)、「やや下のほう」(11.6%)となっています。

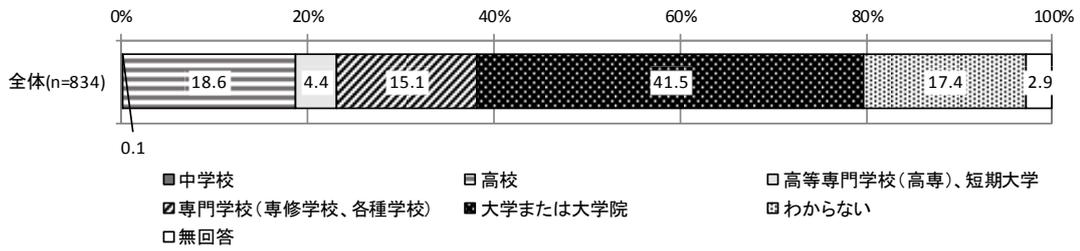
【学校での成績／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「まん中あたり」が最も多く、それぞれ28.2%、34.1%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「下のほう」が6.2ポイント多くなっています。

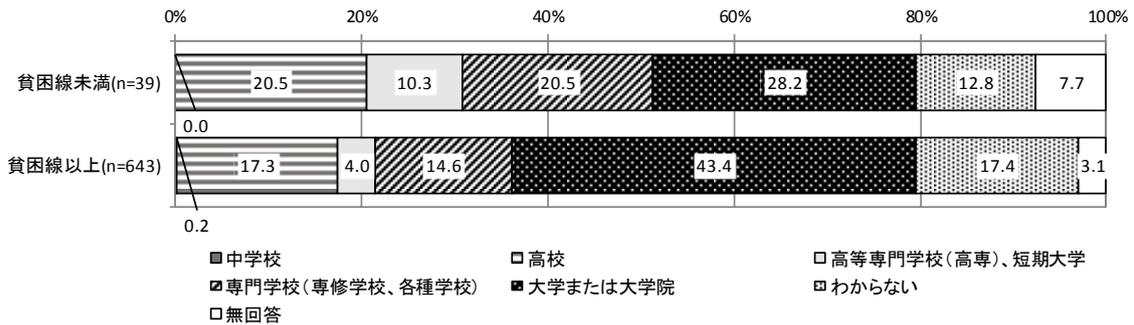
④進学希望

問7 あなたは、将来どの学校まで進学したいと思いますか。(1つに○)



将来どの学校まで進学したいかについては、「大学または大学院」が41.5%と最も多く、以下「高校」(18.6%)、「専門学校(専修学校、各種学校)」(15.1%)、「高等専門学校(高専)、短期大学」(4.4%)となっています。

【将来どの学校まで進学したいか／貧困線別】



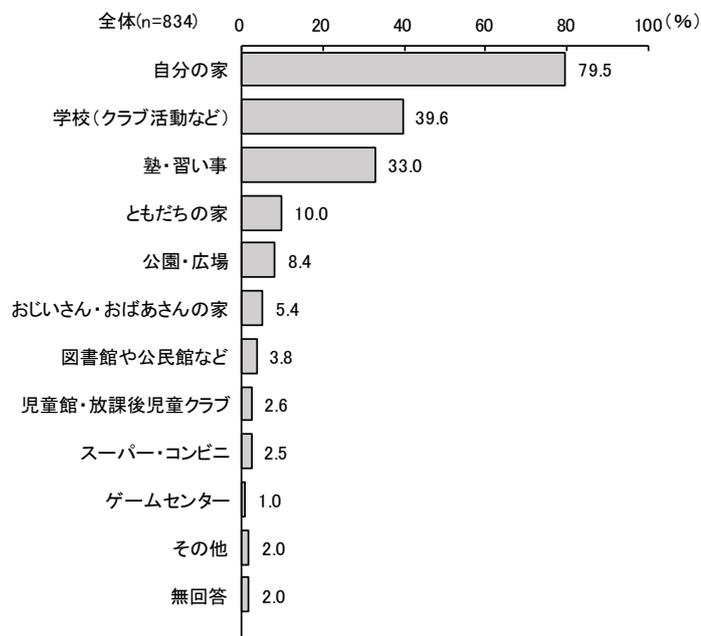
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「大学または大学院」が最も多く、それぞれ28.2%、43.4%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「大学または大学院」が15.2ポイント少なくなっています。

(3) 普段の生活について

①ふだん放課後を過ごしている場所

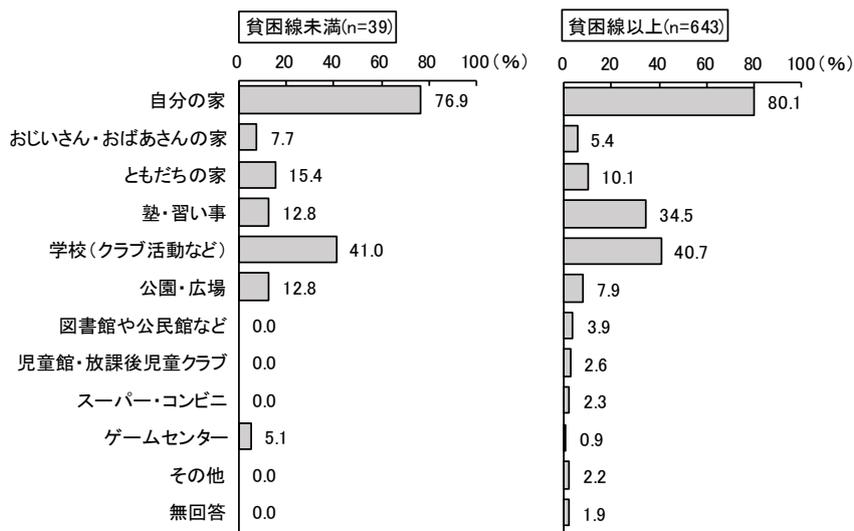
問8 あなたは、ふだん（月～金）の放課後、どこで過ごしますか。（あてはまるものすべてに○）

※問5で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



ふだん放課後を過ごしている場所については、「自分の家」が 79.5%と最も多く、以下「学校（クラブ活動など）」（39.6%）、「塾・習い事」（33.0%）、「ともだちの家」（10.0%）となっています。

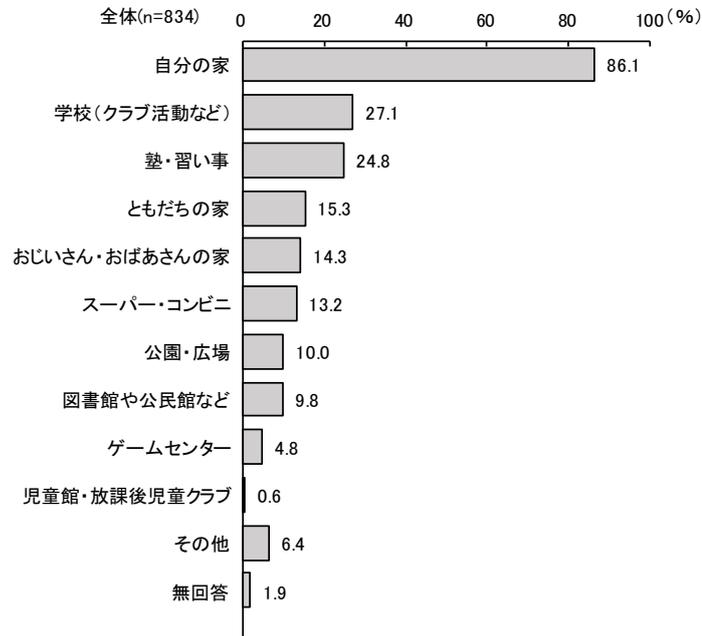
【ふだん放課後を過ごしている場所／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「自分の家」が最も多く、それぞれ 76.9%、80.1%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「塾・習い事」が 21.7 ポイント少なくなっています。

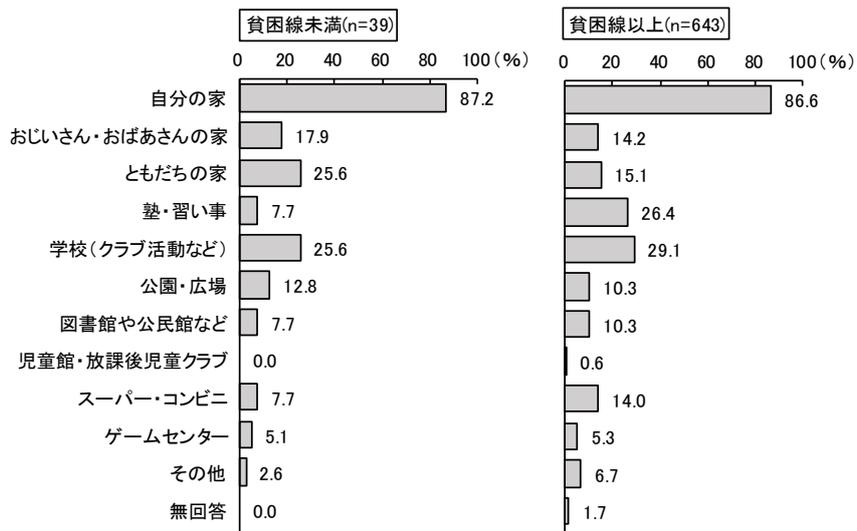
②休日を過ごしている場所

問9 あなたは、休日（学校がお休みの日）は、どこで過ごしますか。（あてはまるものすべてに○）



休日を過ごしている場所については、「自分の家」が 86.1%と最も多く、以下「学校（クラブ活動など）」(27.1%)、「塾・習い事」(24.8%)、「ともだちの家」(15.3%) となっています。

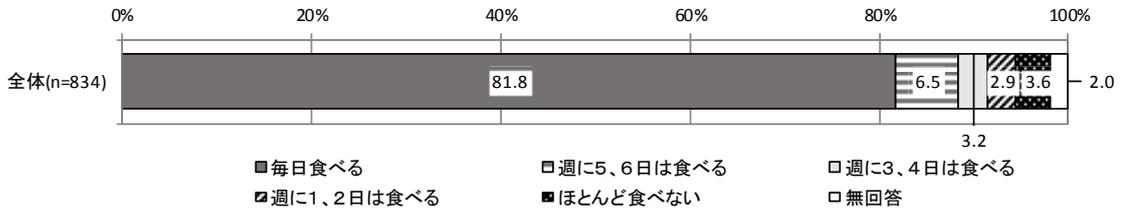
【休日を過ごしている場所／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「自分の家」が最も多く、それぞれ 87.2%、86.6% となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「塾・習い事」が 18.7 ポイント少なくなっています。

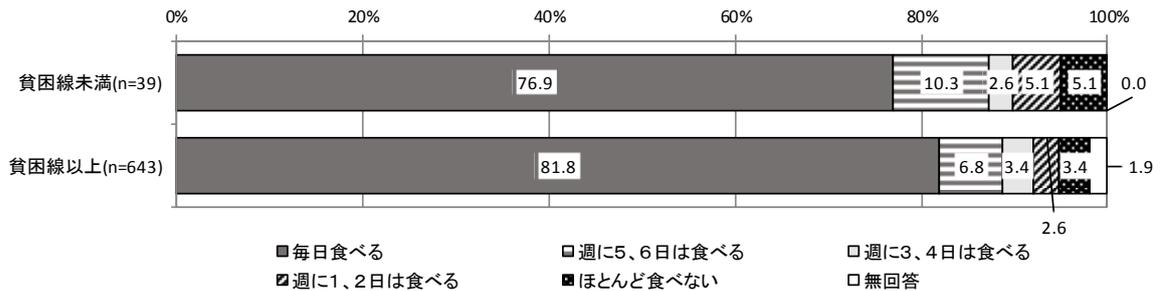
③朝食を食べる頻度

問10 あなたは、朝ごはんをいつも食べていますか。(1つに○)



朝食を食べる頻度については、「毎日食べる」が81.8%と最も多く、以下「週に5、6日は食べる」(6.5%)、「ほとんど食べない」(3.6%)、「週に3、4日は食べる」(3.2%)となっています。

【朝食を食べる頻度／貧困線別】

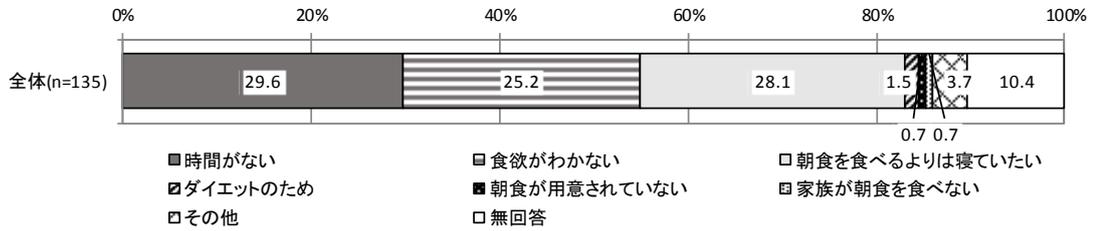


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「毎日食べる」が最も多く、それぞれ76.9%、81.8%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「毎日食べる」が4.9ポイント少なくなっています。

④朝食を毎日食べない理由

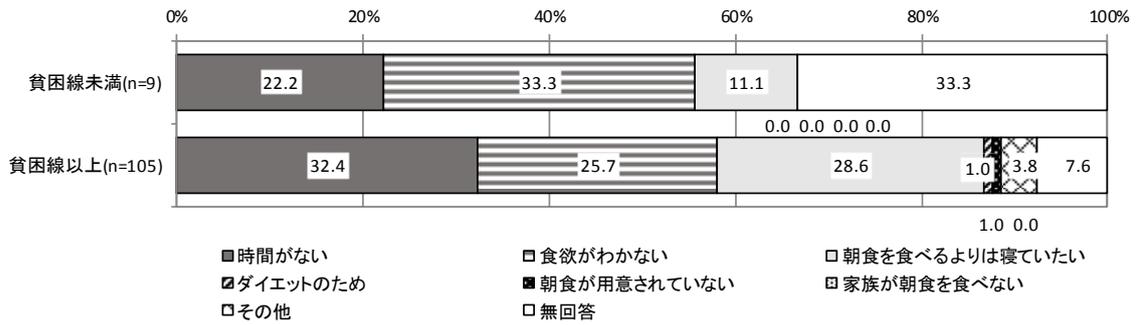
問10-1 毎日朝ごはんを食べない最も大きな理由はなんですか。(1つに○)

※問10で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



朝食を毎日食べない理由については、「時間がない」が29.6%と最も多く、以下「朝食を食べるよりは寝ていたい」(28.1%)、「食欲がわかない」(25.2%)、「その他」(3.7%)となっています。

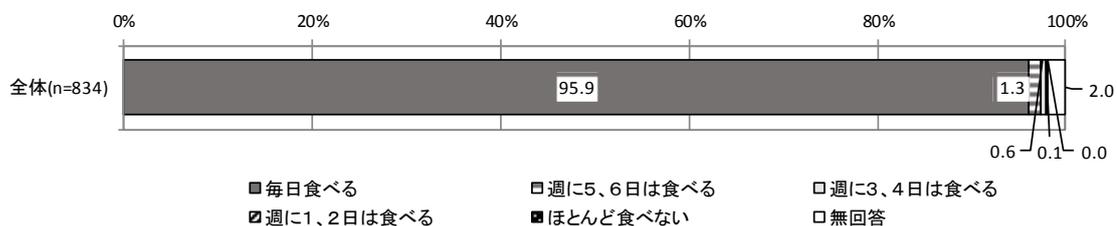
【朝食を毎日食べない理由／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「食欲がわかない」が33.3%、『貧困線以上』では「時間がない」が32.4%と最も多くなっています。

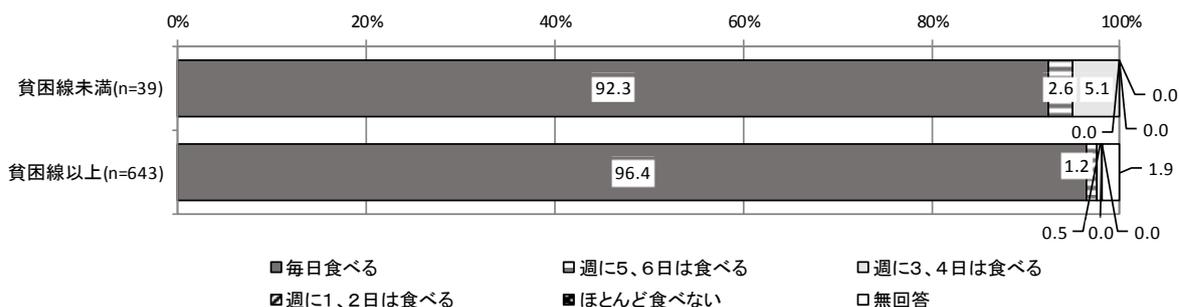
⑤夕食を食べる頻度

問 1 1 あなたは、夕ごはんをいつも食べていますか。(1つに○)



夕食を食べる頻度については、「毎日食べる」が 95.9%と最も多く、以下「週に 5、6日は食べる」(1.3%)、「週に 3、4日は食べる」(0.6%)、「週に 1、2日は食べる」(0.1%) となっています。

【夕食を食べる頻度／貧困線別】

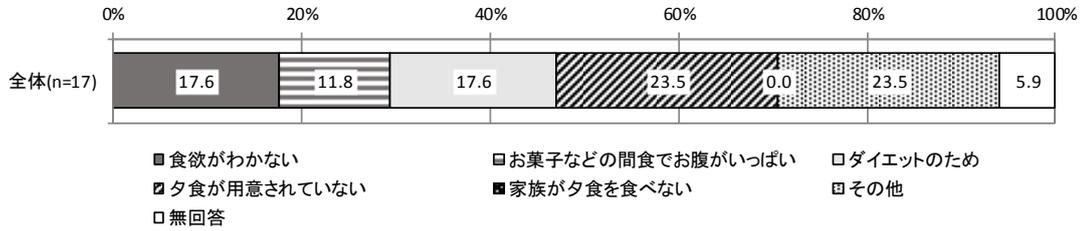


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「毎日食べる」が最も多く、それぞれ 92.3%、96.4%となっています。

⑥夕食を毎日食べない理由

問11-1 毎日夕ごはんを食べない最も大きな理由はなんですか。(1つに○)

※問11で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



夕食を毎日食べない理由については、「夕食が用意されていない」が23.5%と最も多く、以下「食欲がわからない」と「ダイエットのため」(ともに17.6%)、「お菓子の間食でお腹がいっぱい」(11.8%)となっています。

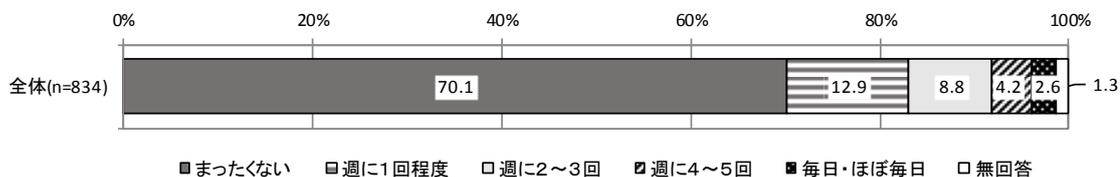
【夕食を毎日食べない理由／貧困線別】

【夕食を毎日食べない理由／可処分所得別・ひとり親世帯別・年齢別】

調査数が少ないため省略。

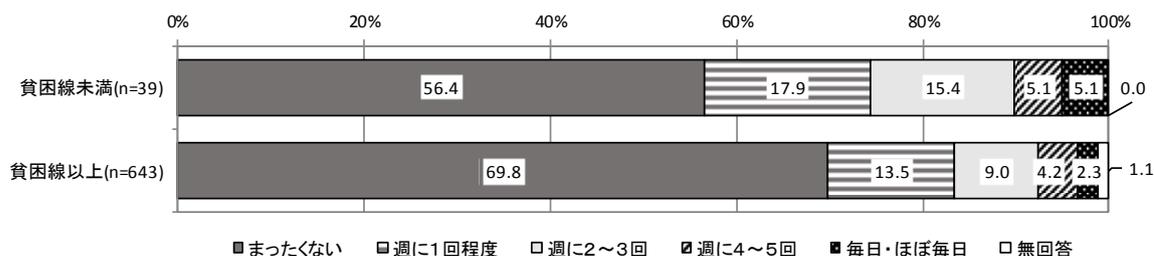
⑦家でひとりでごはんを食べること

問12 あなたは、家でひとりでごはんを食べることがありますか。(1つに○)



家でひとりでごはんを食べることがあるかについては、「まったくない」が70.1%と最も多く、以下「週に1回程度」(12.9%)、「週に2~3回」(8.8%)、「週に4~5回」(4.2%)となっています。

【家でひとりでごはんを食べることがあるか／貧困線別】

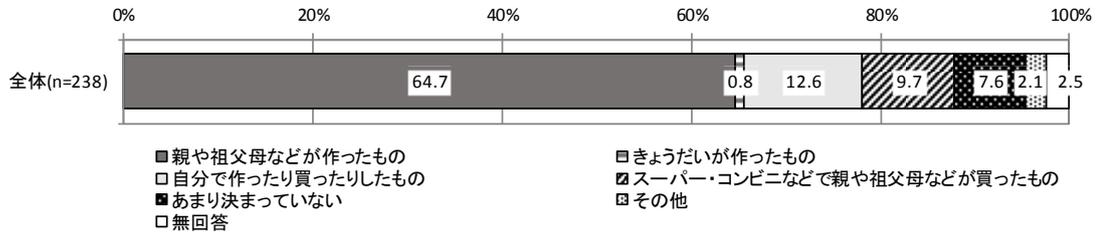


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「まったくない」が最も多く、それぞれ56.4%、69.8%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「まったくない」が13.4ポイント少なくなっています。

⑧ひとりでごはんを食べるときによく食べているもの

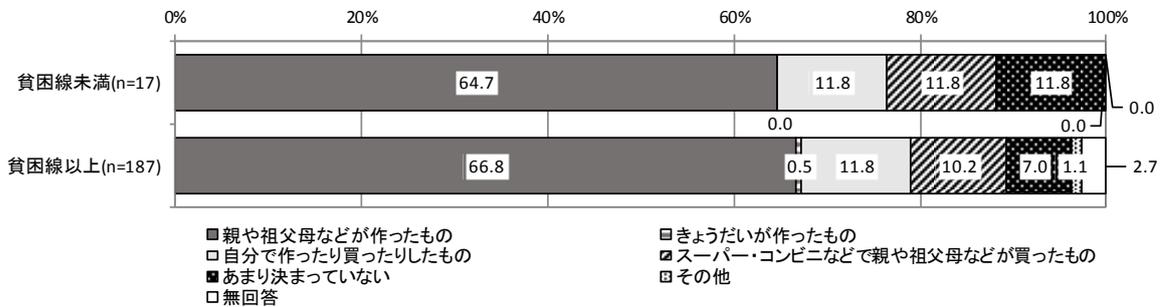
問12-1 ひとりでごはんを食べるとき、何をよく食べていますか。特によく食べているものを1つ教えてください。(1つに〇)

※問12で「2」～「5」のいずれかに回答した方のみ



ひとりでごはんを食べるときによく食べているものについては、「親や祖父母などが作ったもの」が64.7%と最も多く、以下「自分で作ったり買ったりしたもの」(12.6%)、「スーパー・コンビニなどで親や祖父母などが買ったもの」(9.7%)、「あまり決まっていない」(7.6%)となっています。

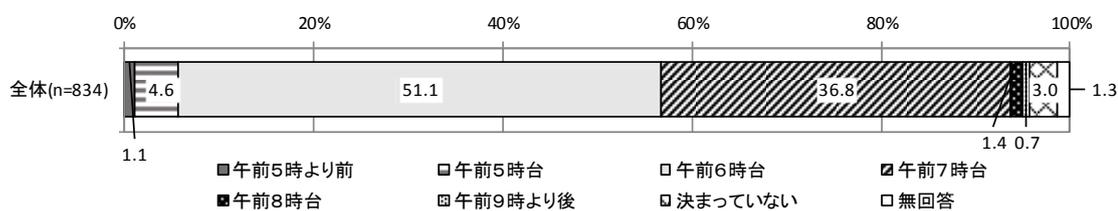
【ひとりでごはんを食べるときによく食べているもの／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「親や祖父母などが作ったもの」が最も多く、それぞれ64.7%、66.8%となっています。

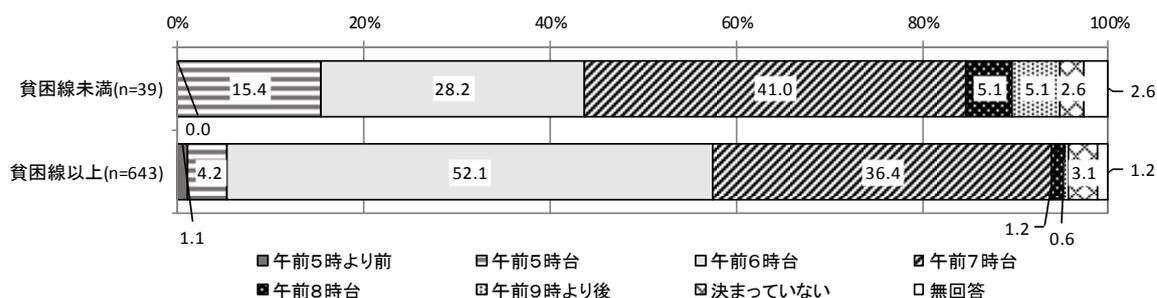
⑨平日の起床時刻

問13 平日の朝は、およそ何時ごろに起きますか。(1つに○)



平日の起床時刻については、「午前6時台」が51.1%と最も多く、以下「午前7時台」(36.8%)、「午前5時台」(4.6%)、「決まっていない」(3.0%)となっています。

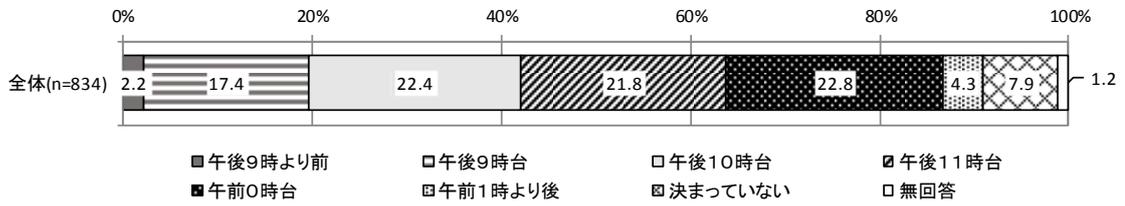
【平日の起床時刻／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「午前7時台」が41.0%、『貧困線以上』では「午前6時台」が52.1%と最も多くなっています。

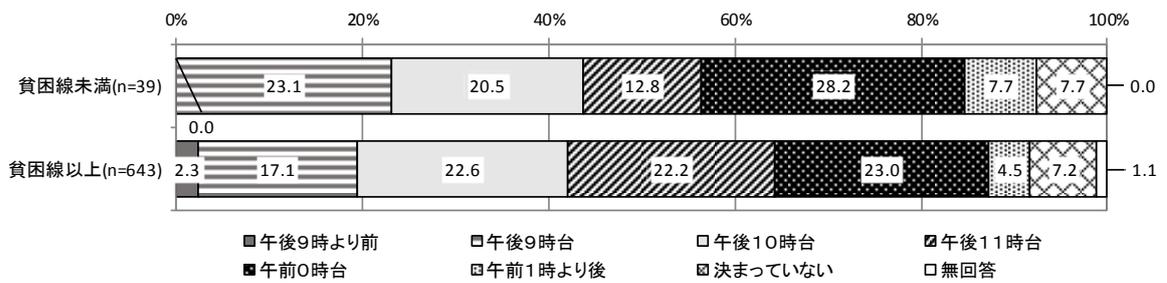
⑩平日の就寝時刻

問 1 4 平日の夜は、およそ何時ごろに寝ますか。(1つに○)



平日の就寝時刻については、「午前0時台」が22.8%と最も多く、以下「午後10時台」(22.4%)、「午後11時台」(21.8%)、「午後9時台」(17.4%)となっています。

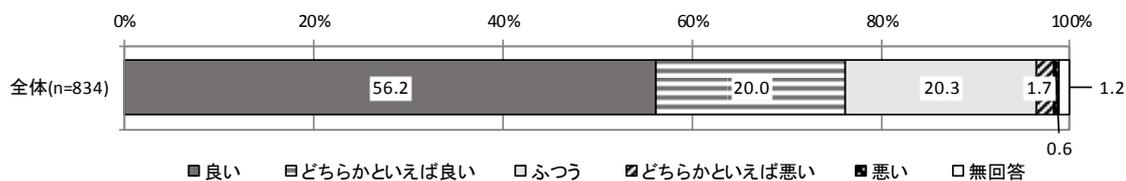
【平日の就寝時刻／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「午前0時台」が最も多く、それぞれ28.2%、23.0%となっています。

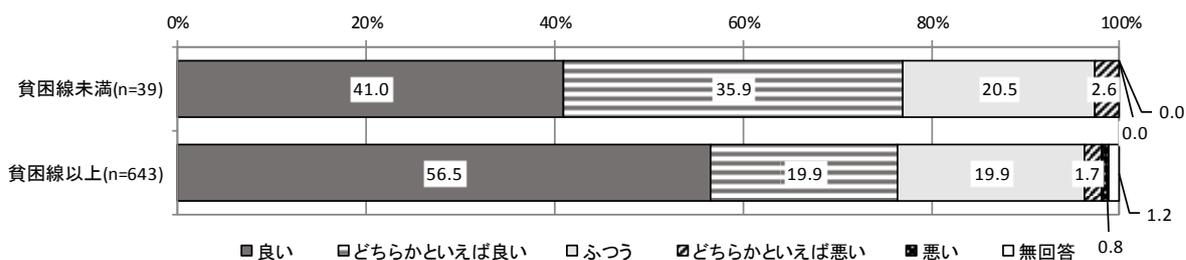
⑪健康状態

問15 あなたの健康はどうですか。(1つに○)



健康状態については、「良い」が56.2%と最も多く、以下「ふつう」(20.3%)、「どちらかといえば良い」(20.0%)、「どちらかといえば悪い」(1.7%)となっています。

【健康状態／貧困線別】

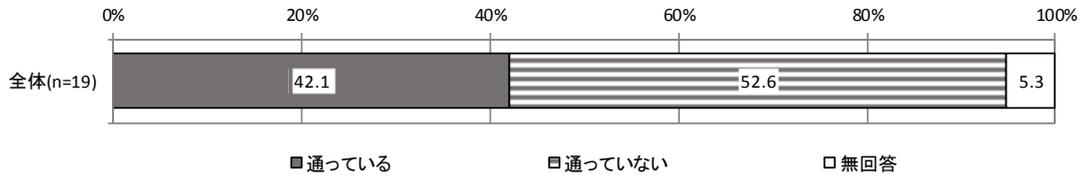


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「良い」が最も多く、それぞれ41.0%、56.5%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「良い」が15.5ポイント少なくなっています。

⑫通院しているか

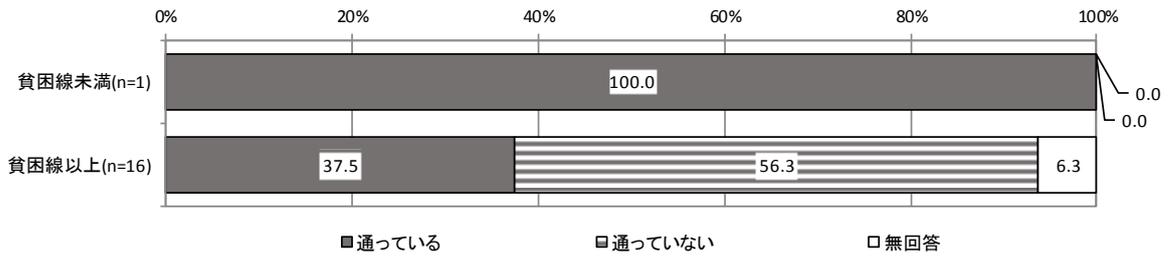
問15-1 あなたは、現在、病院などに通っていますか。(1つに○)

※問15で「4」～「5」のいずれかに回答した方のみ



現在通院しているかについては、「通っていない」が 52.6%、「通っている」が 42.1%となっています。

【通院しているか／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「通っている」が最も多く、それぞれ 100.0%、56.3%となっています。

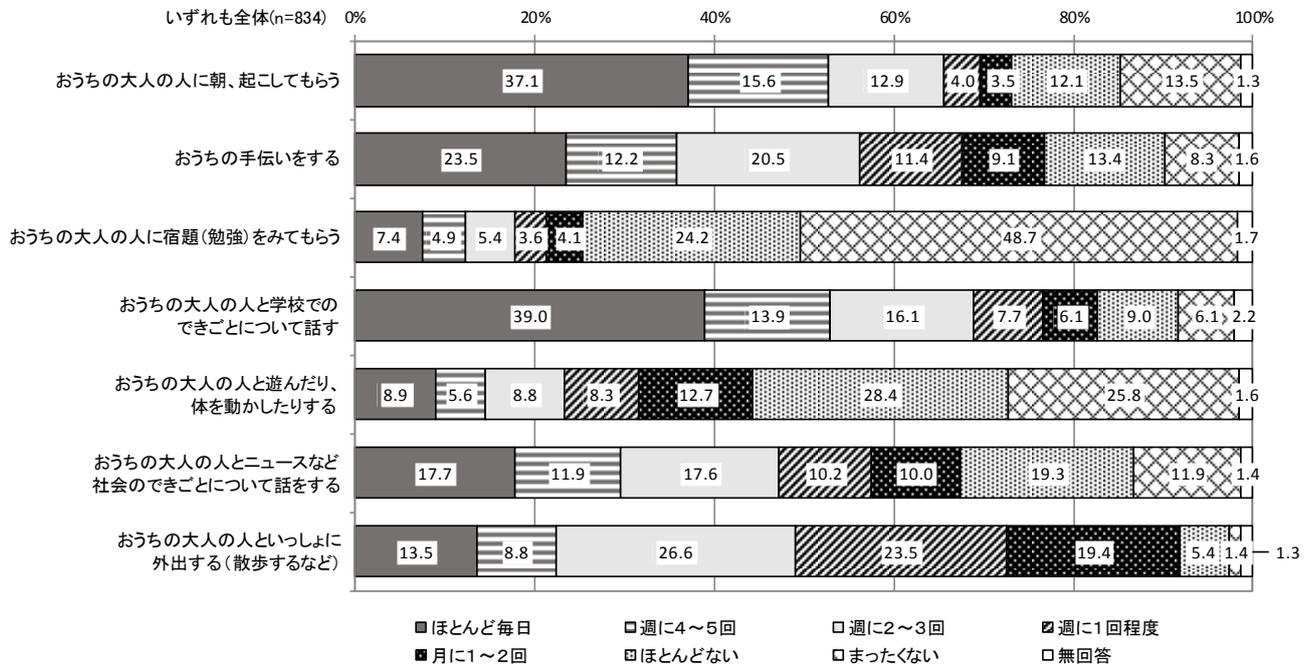
【通院しているか／可処分所得別・ひとり親世帯別・年齢別】

調査数が 19 件のため省略。

(4) 家での生活

①家でやっていること

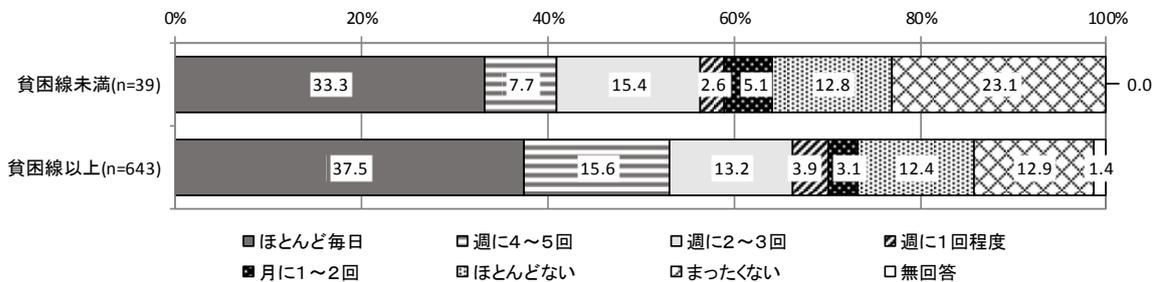
問16 あなたは、次のようなことをどれくらいしていますか。(それぞれ1つに○)



家でやっていることについて、『ほとんど毎日』していることは、「おうちの大人の人と学校でのできごとについて話す」が39.0%と最も多く、以下「おうちの大人の人に朝、起こしてもらう」(37.1%)、「おうちの手伝いをする」(23.5%)となっています。

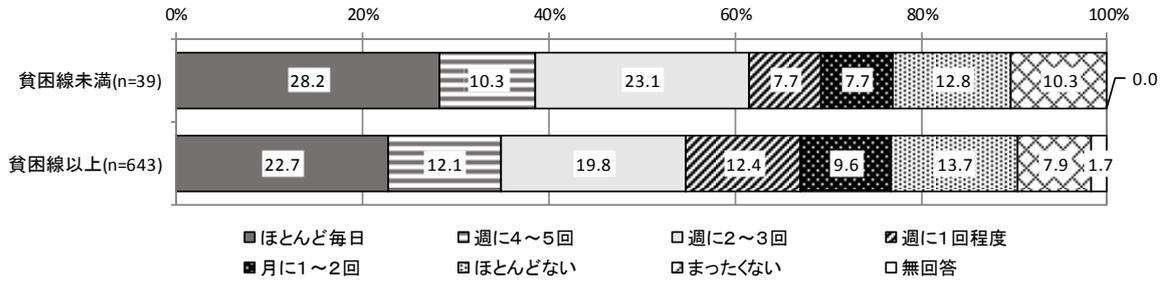
一方、『まったくない』ことは、「おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらう」が48.7%と最も多く、以下「おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする」(25.8%)、「おうちの大人の人に朝、起こしてもらう」(13.5%)となっています。

【おうちの大人の人に朝、起こしてもらう／貧困線別】



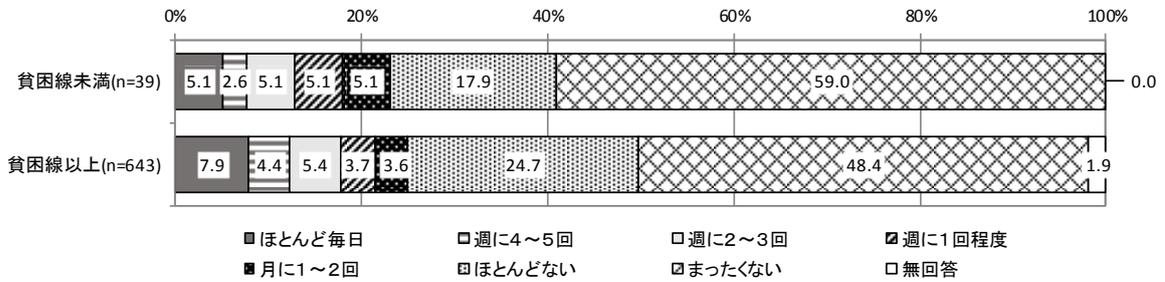
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ほとんど毎日」が最も多く、それぞれ33.3%、37.5%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「まったくない」が10.2ポイント多くなっています。

【おうちの手伝いをする／貧困線別】



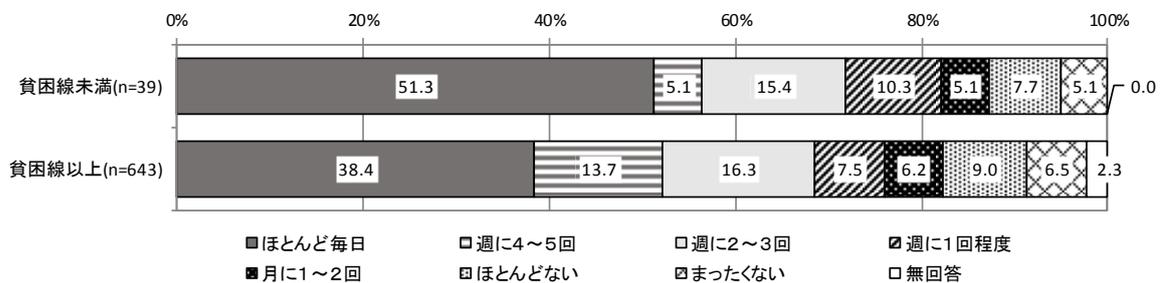
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ほとんど毎日」が最も多く、それぞれ 28.2%、22.7%となっています。

【おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらう／貧困線別】



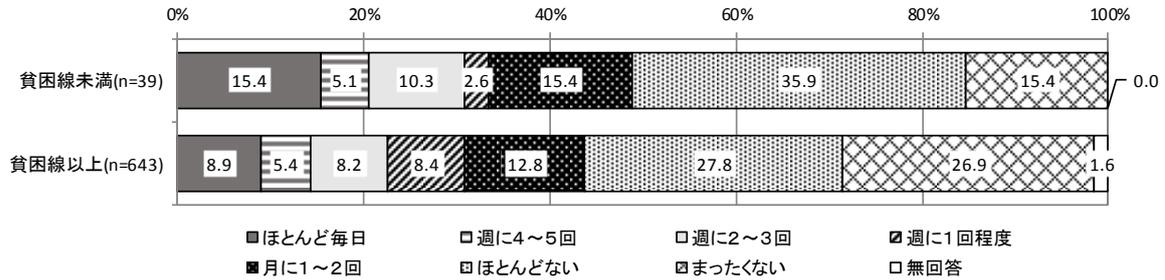
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「まったくない」が最も多く、それぞれ 59.0%、48.4%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「まったくない」が 10.6 ポイント多くなっています。

【おうちの大人の人と学校のできごとについて話す／貧困線別】



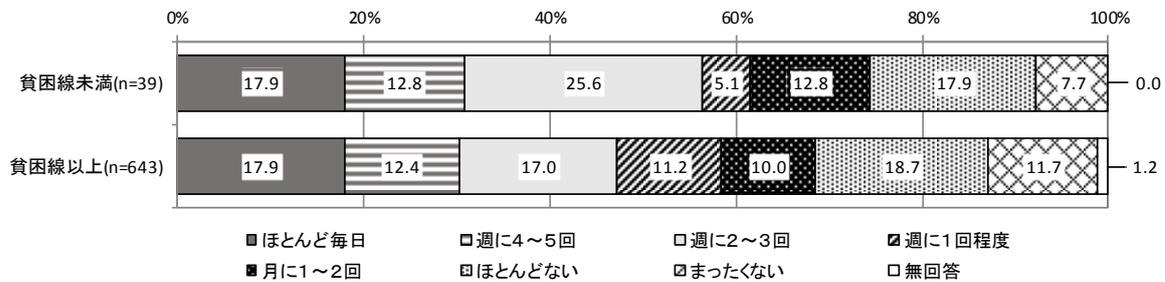
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ほとんど毎日」が最も多く、それぞれ 51.3%、38.4%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「ほとんど毎日」が 12.9 ポイント多くなっています。

【おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりする／貧困線別】



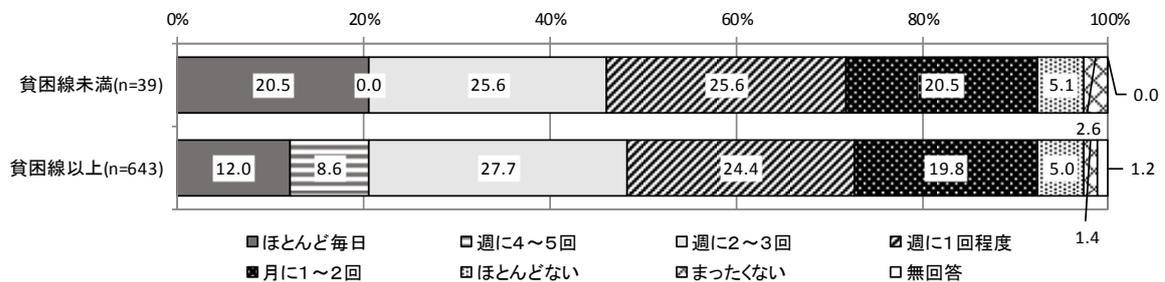
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ほとんどない」が最も多く、それぞれ 35.9%、27.8%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「まったくない」が 11.5 ポイント少なくなっています。

【おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をする／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「週に2～3回」が 25.6%、『貧困線以上』では「ほとんどない」が 18.7%と最も多くなっています。

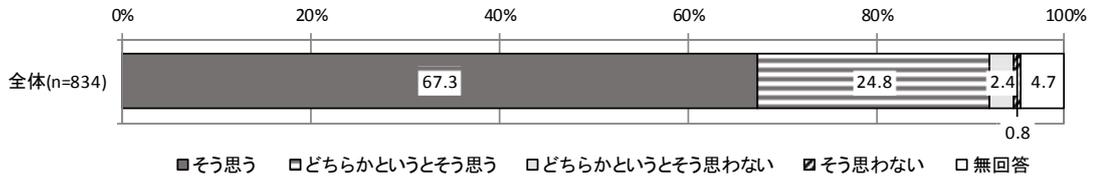
【おうちの大人の人といっしょに外出する（散歩するなど）／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「週に2～3回」が最も多く、それぞれ 25.6%、27.7%となっています。『貧困線未満』では「週に1回程度」も同率で多くなっています。

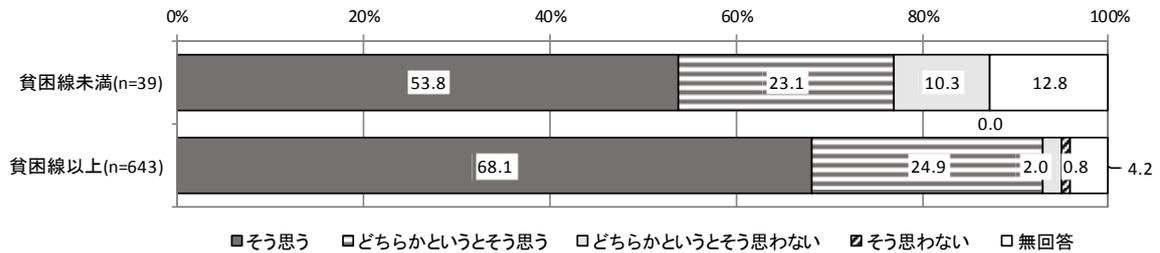
②家は居心地がよいか

問 17 自分の家は居心地がよいと感じますか。(1つに○)



自分の家は居心地がよいかについては、「そう思う」が 67.3%と最も多く、以下「どちらかというと思う」(24.8%)、「どちらかというと思わない」(2.4%)、「そう思わない」(0.8%) となっています。

【自分の家は居心地がよいか／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「そう思う」が最も多く、それぞれ 53.8%、68.1%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「そう思う」が 14.3 ポイント少なくなっています。

③家の居心地がよくない理由

問17-1 その理由はどうしてですか。(自由記述)

※問17で「3」～「4」のいずれかに回答した方のみ

家の居心地がよくないと回答した方に、その具体的な理由を尋ねたところ23件の回答を得ました。住宅に関すること8件、親や家族に関すること11件、その他4件となっています。以下、主なものを掲載します。

《住宅に関すること》

- ・アパートだから。
- ・家が狭い。早く自立したい。
- ・散らかっている。
- ・広すぎる。
- ・寒い、不便、暑い。
- ・家族に問題ないが、家が古すぎて嫌になる。でも、引越できない…。
- ・自分の部屋が狭いから。
- ・Wi-Fiがつかないから。

《親や家族に関すること》

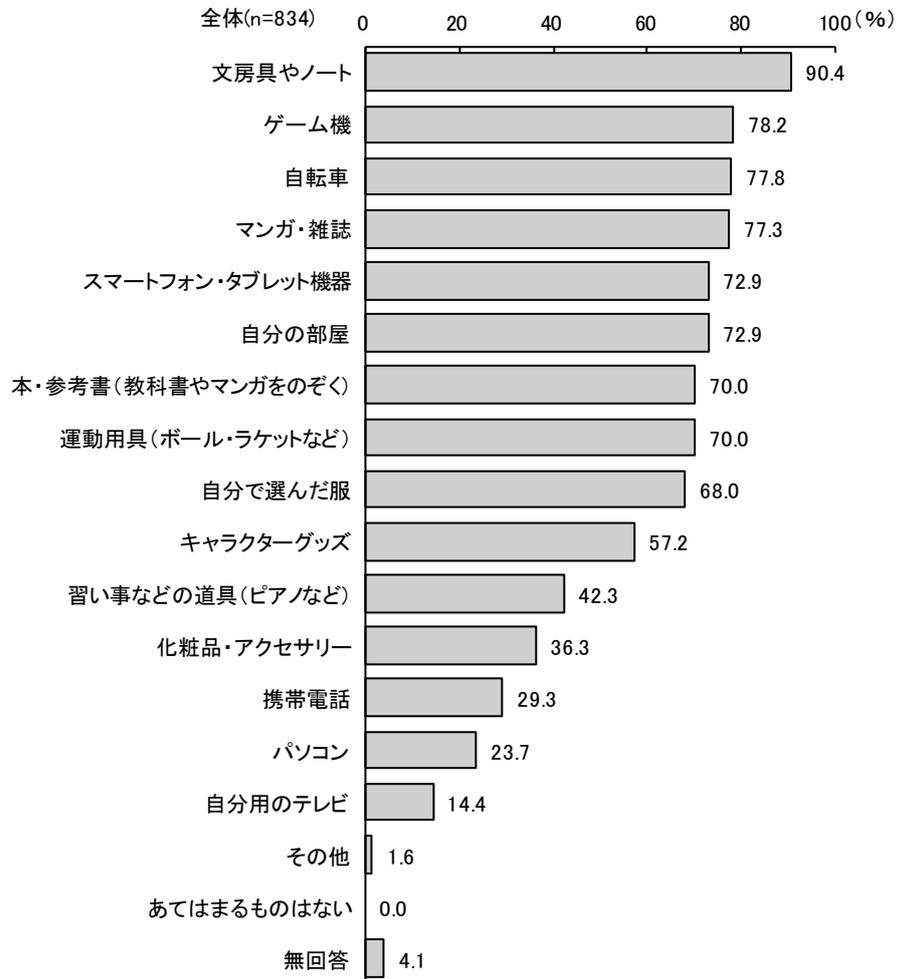
- ・親が不仲だから。
- ・親がめんどくさい。
- ・両親が怒りやすく、いつ怒られるかと思いながら生活しているから。心が休まる時間が少ないから。
- ・祖母の暴言がひどくて、家にいるのが辛い。
- ・家族が嫌い。
- ・自分が満足する暮らしをしていない。家族の中に嫌な人がいる。
- ・自分が話してもほとんどスルーか無視するから。
- ・兄弟がうるさいから。
- ・親は良いが、性格の悪い兄が嫌だ。
- ・同居者に不満をもっているから。

《その他》

- ・居心地悪いぐらいが丁度いい。リラックスしすぎない。
- ・少なくとも勉強がしやすいというわけでもなく、むしろそういう面でみたら居心地がいいとは感じないのかなと思う。

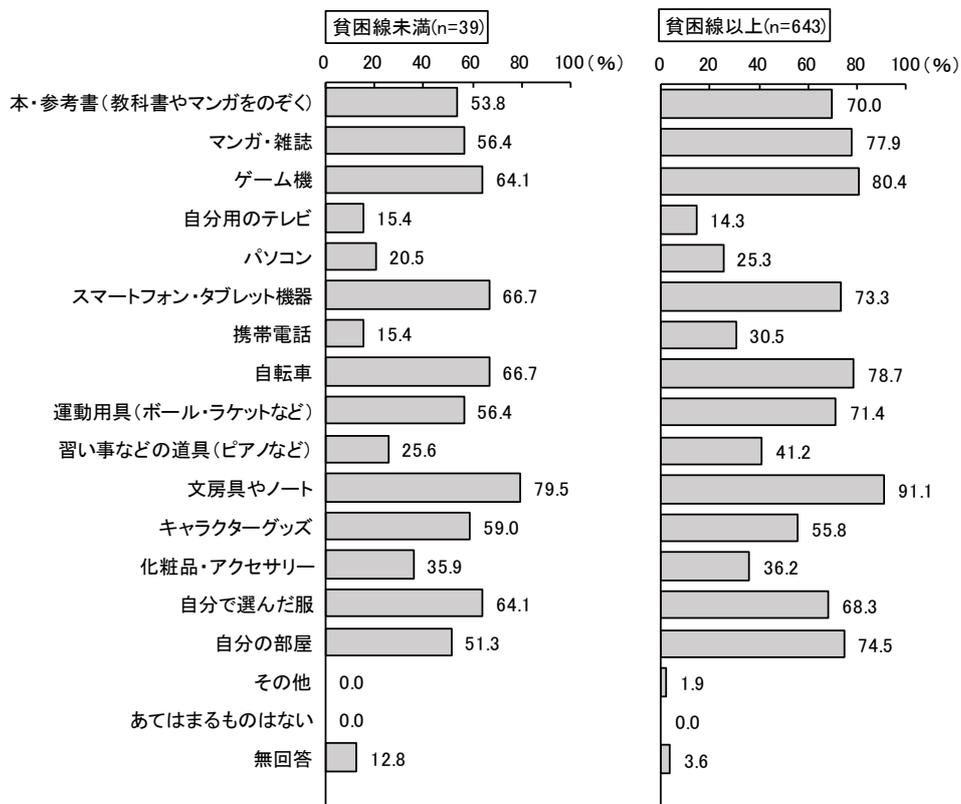
④持っているものや使うことができるもの

問18 あなたが持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)



持っているものや使うことができるものについては、「文房具やノート」が 90.4%と最も多く、以下「ゲーム機」(78.2%)、「自転車」(77.8%)、「マンガ・雑誌」(77.3%)、「スマートフォン・タブレット機器」と「自分の部屋」(ともに72.9%)となっています。

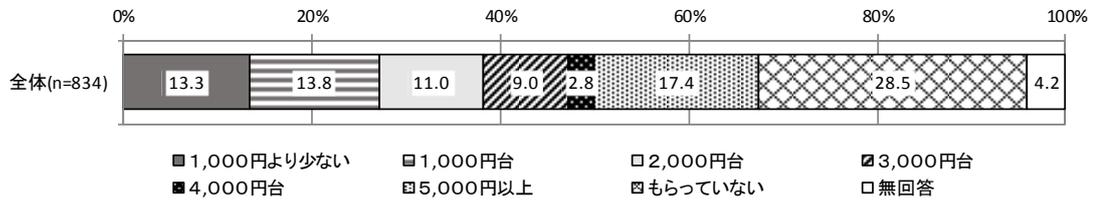
【持っているものや使うことができるもの／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「文房具やノート」が最も多く、それぞれ79.5%、91.1%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では持っているものや使うことができるものの割合が低い傾向にあります。

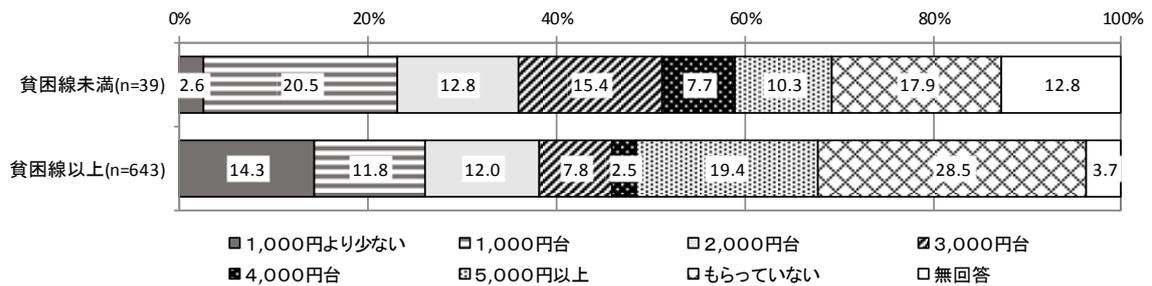
⑤毎月のおこづかい

問19 おこづかいについておたずねします。あなたの毎月のおこづかいはいくらですか。(1つに○)



毎月のおこづかいについては、「5,000円以上」が17.4%と最も多く、以下「1,000円台」(13.8%)、「1,000円より少ない」(13.3%)、「2,000円台」(11.0%)となっています。なお、「もらっていない」は28.5%となっています。

【毎月のおこづかい／貧困線別】

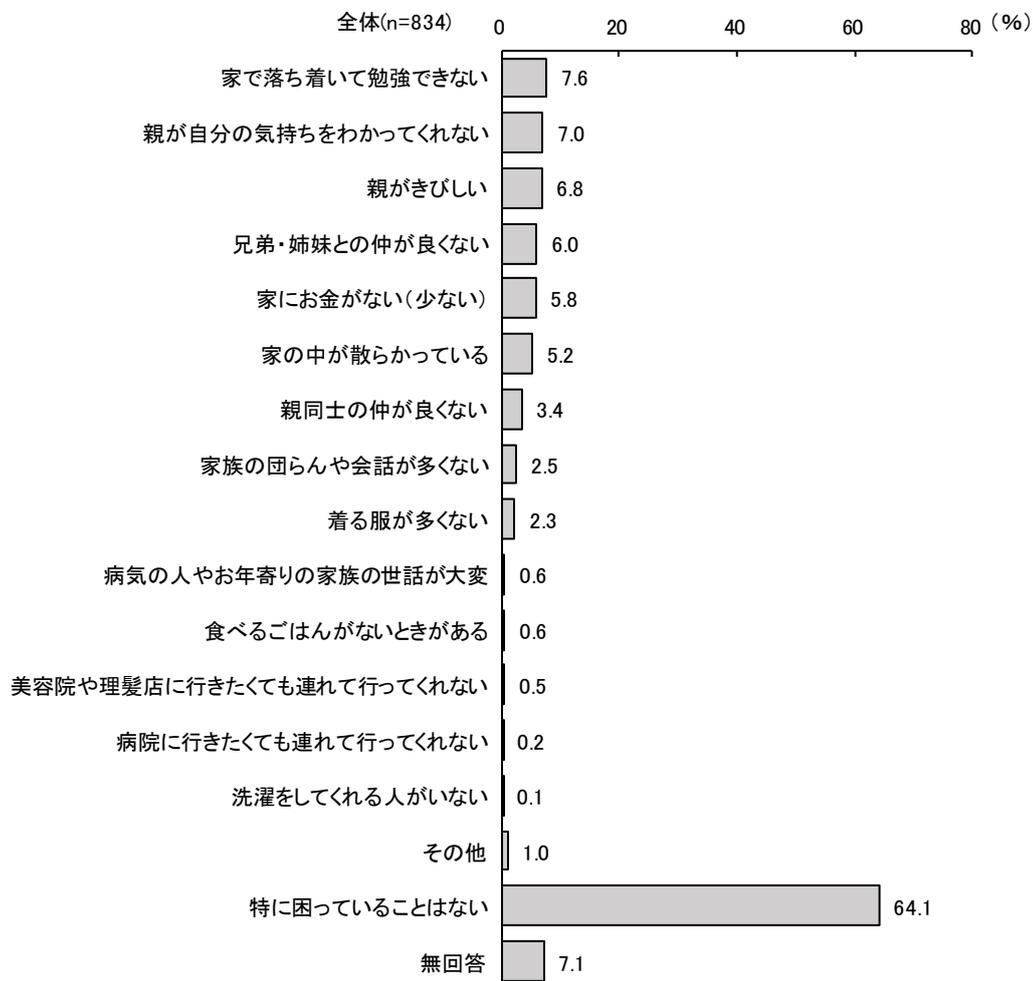


貧困線別にみると、『貧困線未満』では「1,000円台」が20.5%、『貧困線以上』では「もらっていない」が28.5%と最も多くなっています。

(5) 悩んでいること

①家族のことで困っていること、心配なこと

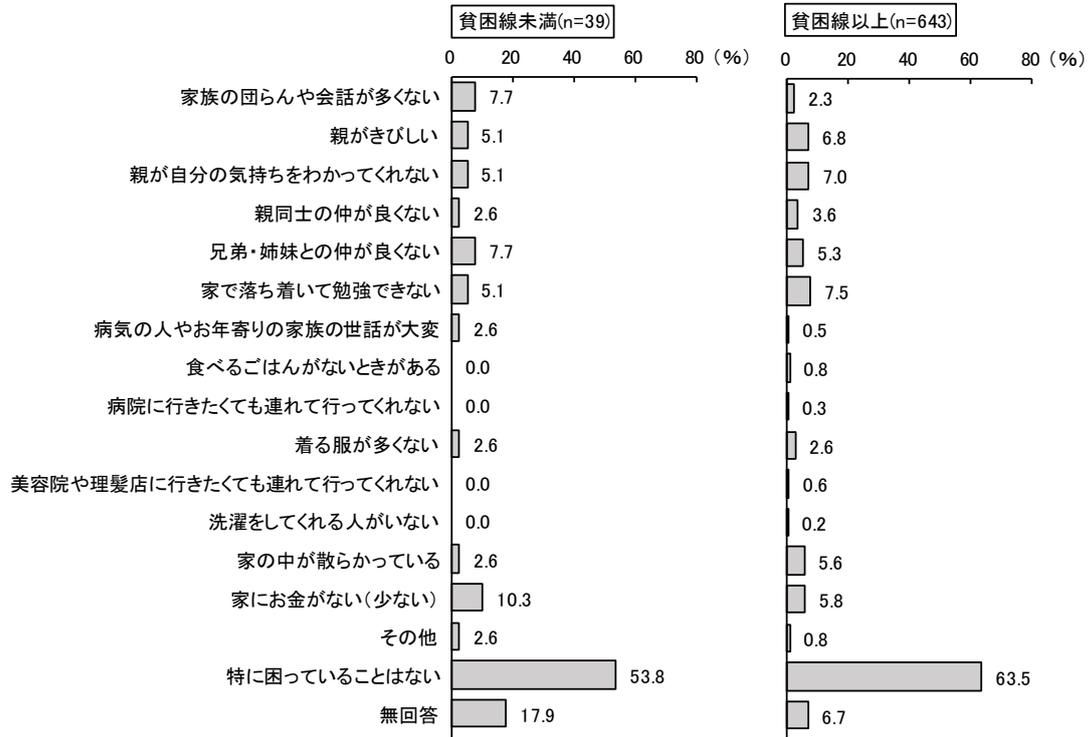
問20 あなたは、家族のことなどで、なにか困っていることや、心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)



家族のことで困っていること、心配なことについては、「家で落ち着いて勉強できない」が7.6%と最も多く、以下「親が自分の気持ちをわかってくれない」(7.0%)、「親がきびしい」(6.8%)、「兄弟・姉妹との仲が良くない」(6.0%)となっています。

なお、「特に困っていることはない」は64.1%となっています。

【家族のことで困っていること、心配なこと／貧困線別】

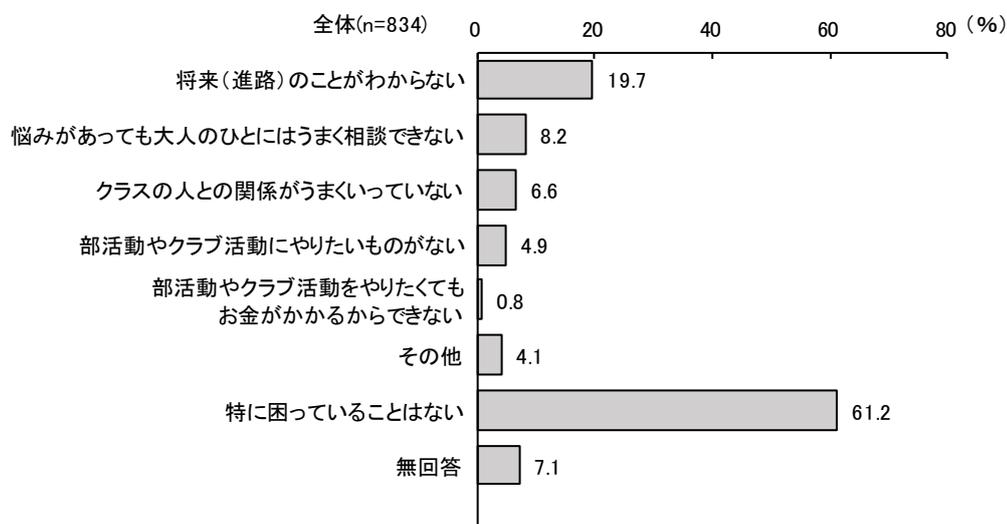


貧困線別にみると、『貧困線未満』では「家にお金がない(少ない)」が10.3%と最も多く、以下「家族の団らんや会話が多くない」、「兄弟・姉妹との仲が良くない」(ともに7.7%)、「親がきびしい」、「親が自分の気持ちをわかってくれない」、「家で落ち着いて勉強できない」(ともに5.1%)となっています。

『貧困線以上』では「家で落ち着いて勉強できない」が7.5%と最も多く、以下「親が自分の気持ちをわかってくれない」(7.0%)、「親がきびしい」(6.8%)となっています。

②学校のことで困っていること

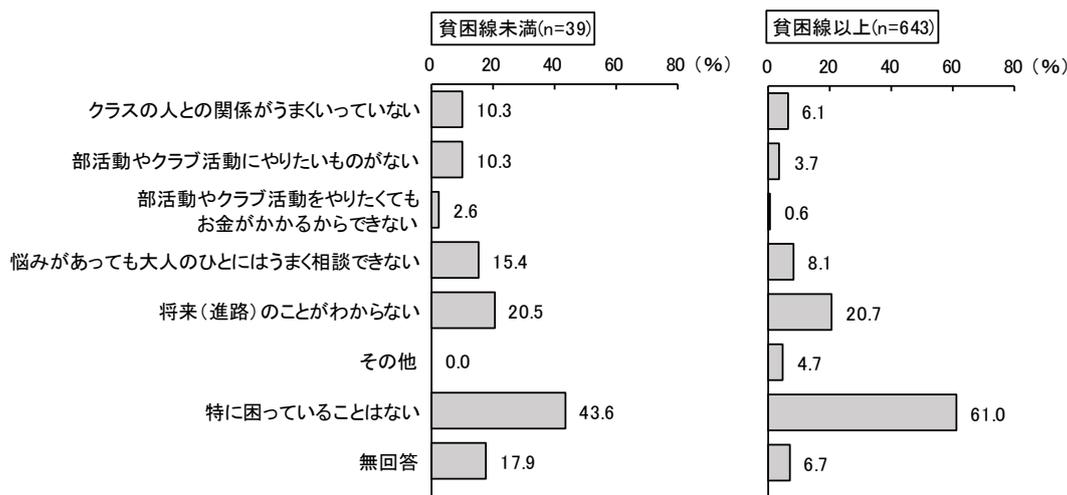
問 2 1 あなたは、学校のことで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)



学校のことで困っていることについては、「将来(進路)のことがわからない」が19.7%と最も多く、以下「悩みがあっても大人のひとにはうまく相談できない」(8.2%)、「クラスの人との関係がうまくいっていない」(6.6%)、「部活動やクラブ活動にやりたいものがない」(4.9%)となっています。

なお、「特に困っていることはない」は61.2%となっています。

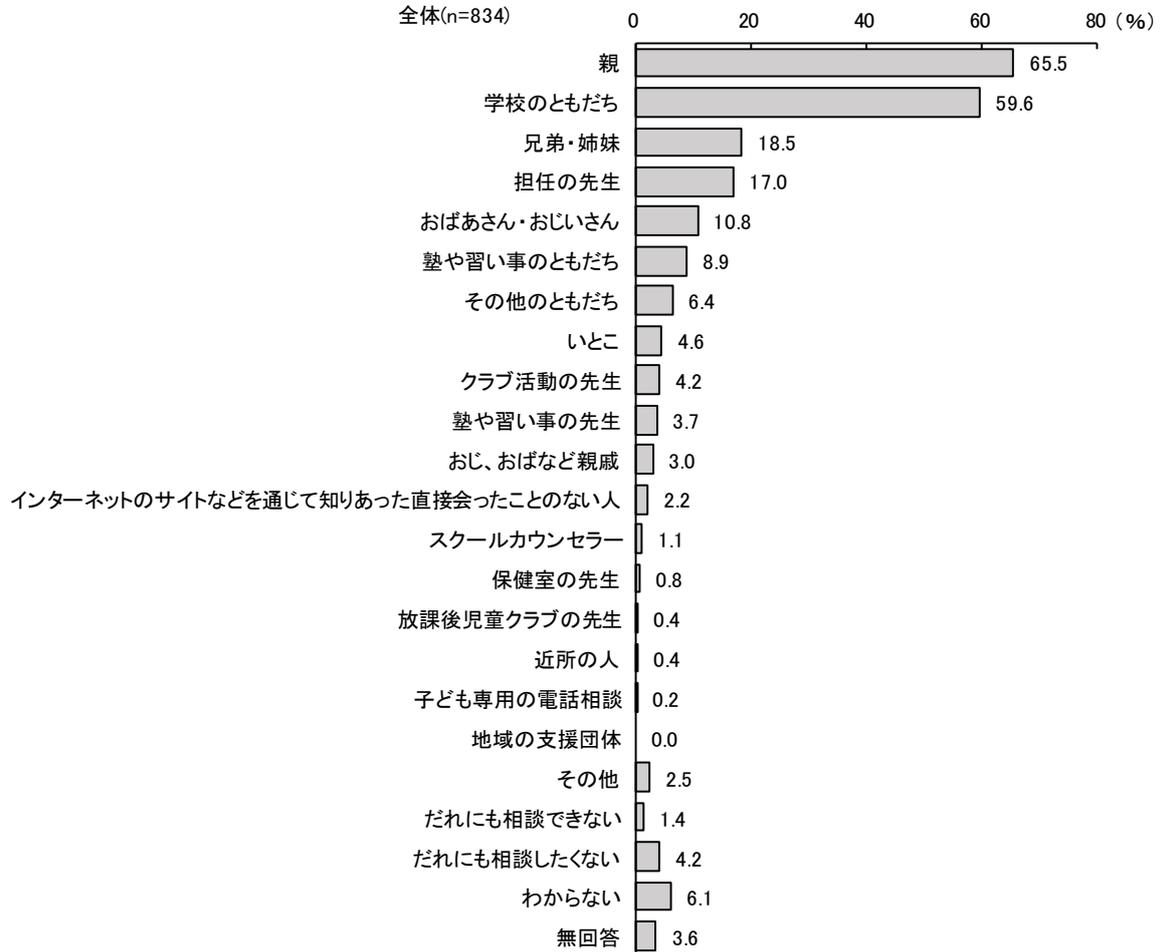
【学校のことで困っていること／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「将来(進路)のことがわからない」が最も多く、それぞれ20.5%、20.7%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では困っていることの割合が高い傾向にあります。

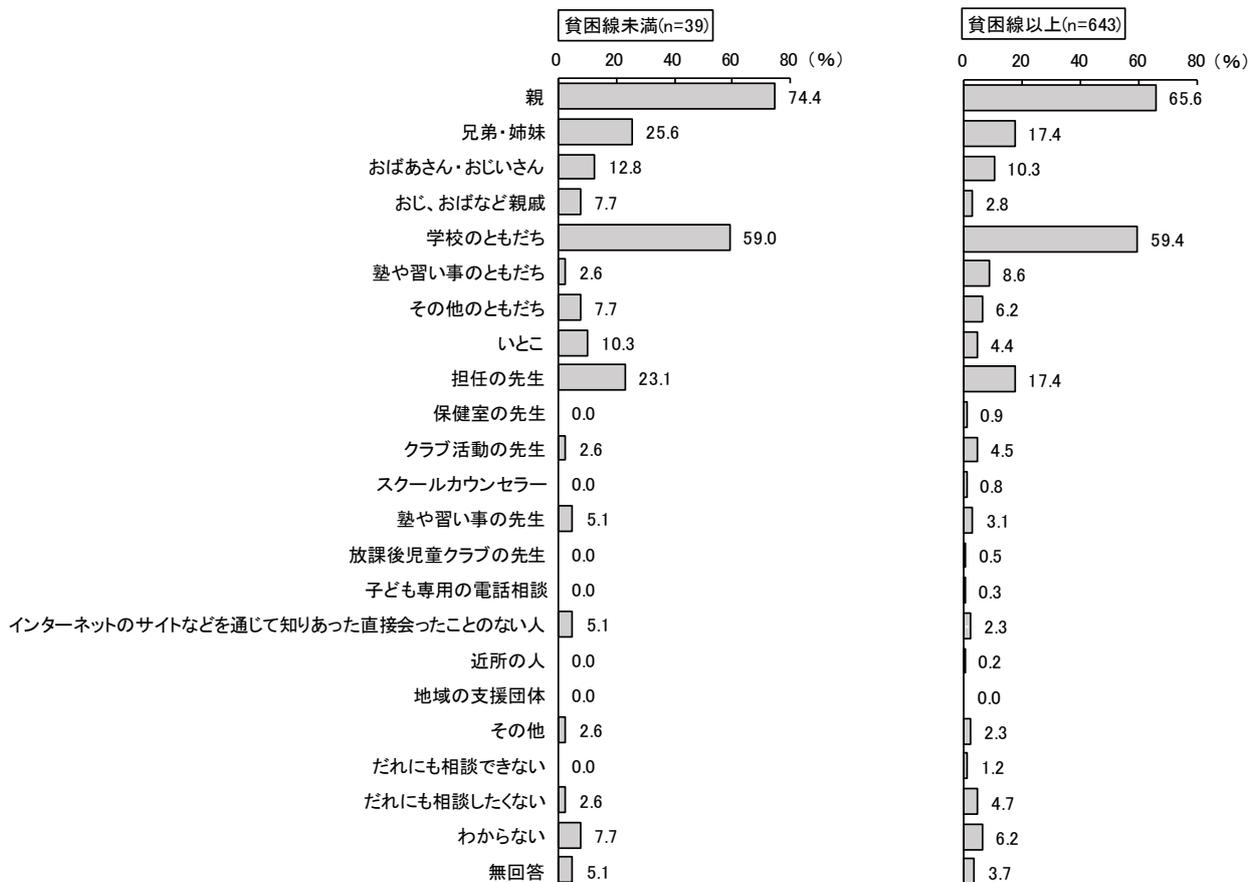
③悩みの相談先

問22 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか。(あてはまるものすべてに○)



悩みの相談先については、「親」が65.5%と最も多く、以下「学校のともだち」(59.6%)、「兄弟・姉妹」(18.5%)、「担任の先生」(17.0%)となっています。

【悩みの相談先／貧困線別】

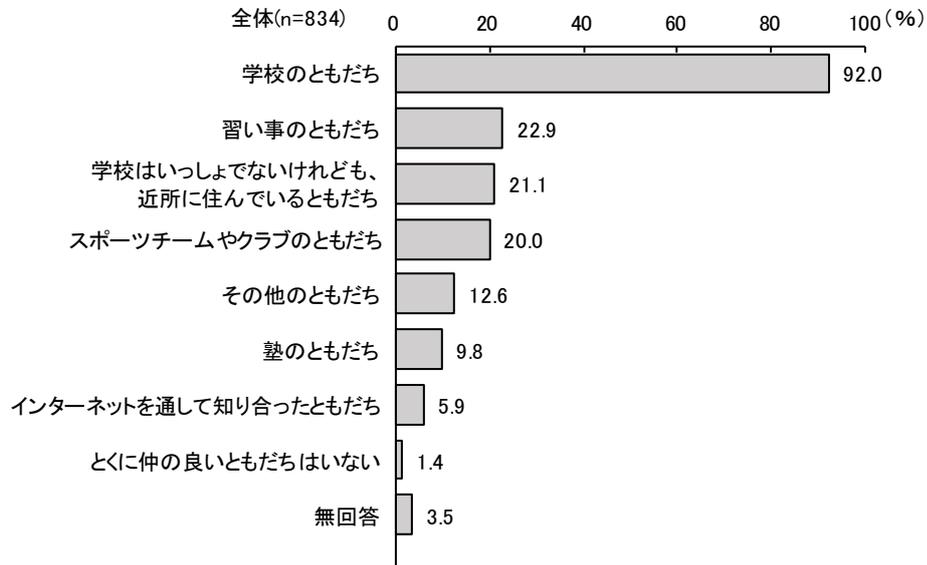


貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「親」が最も多く、それぞれ74.4%、65.6%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「親」、「兄弟・姉妹」、「担任の先生」など、身近な大人や家族に相談する割合が高くなっています。

(6) 友人や自分自身のことについて

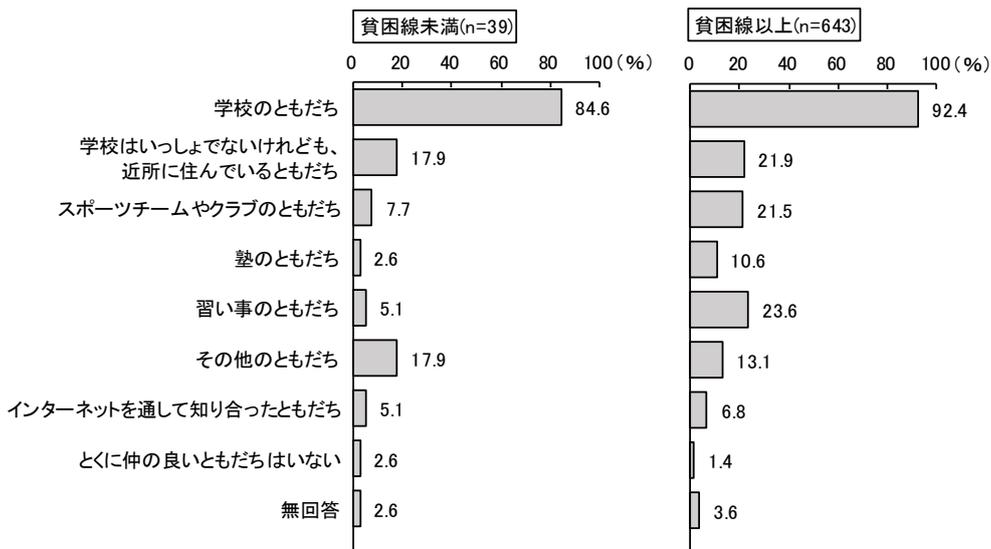
①仲が良い友達

問23 あなたの仲が良いともだちは、どのようなともだちですか。(あてはまるものすべてに○)



仲が良い友達については、「学校のともだち」が92.0%と最も多く、以下「習い事のともだち」(22.9%)、「学校はいっしょでないけれども、近所に住んでいるともだち」(21.1%)、「スポーツチームやクラブのともだち」(20.0%) となっています。

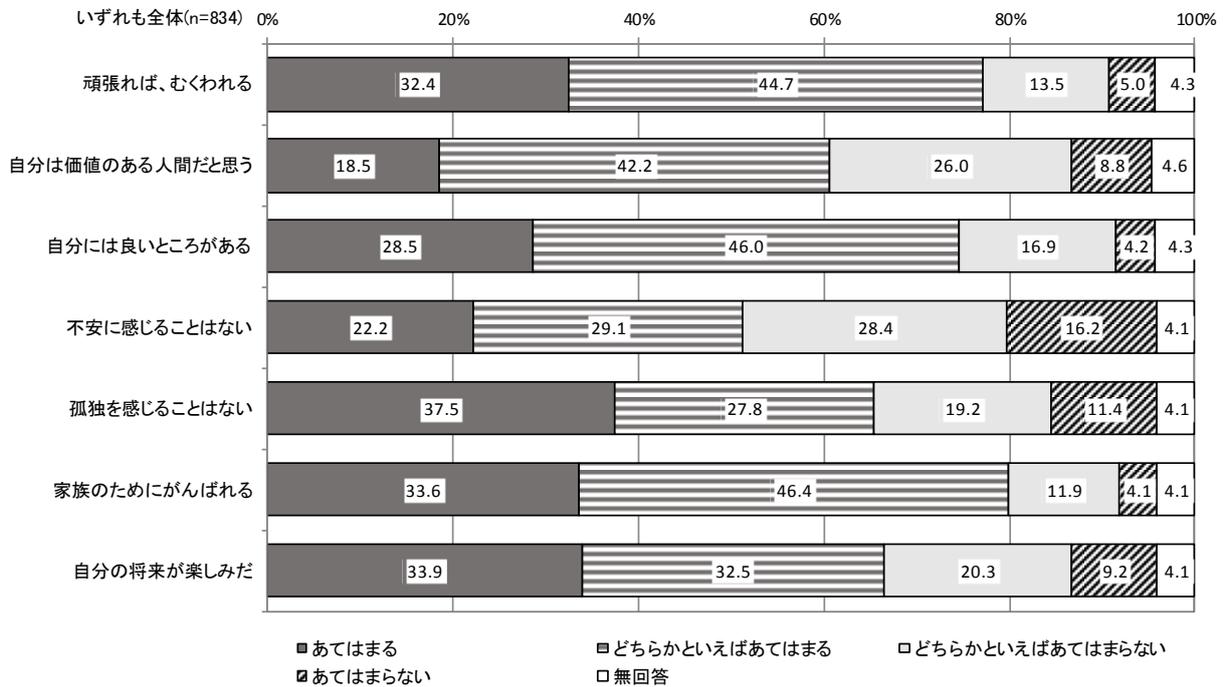
【仲が良い友達／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「学校のともだち」が最も多く、それぞれ84.6%、92.4%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「スポーツチームやクラブのともだち」が13.8ポイント、「習い事のともだち」が18.5ポイント少なくなっています。

②自分自身について

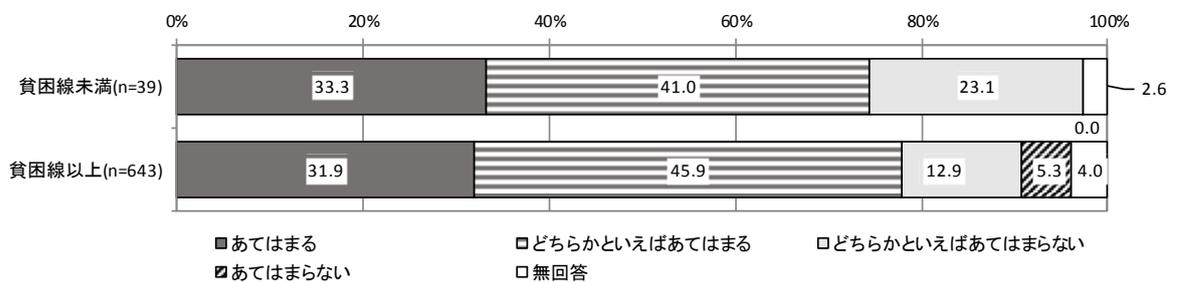
問 2 4 あなたは、自分自身のことをどう思いますか。(それぞれ1つに○)



自分自身をどう思うかについて、『あてはまる』では「孤独を感じることはない」が37.5%、『どちらかといえばあてはまる』では、「家族のためにがんばれる」が46.4%と最も多くなっています。

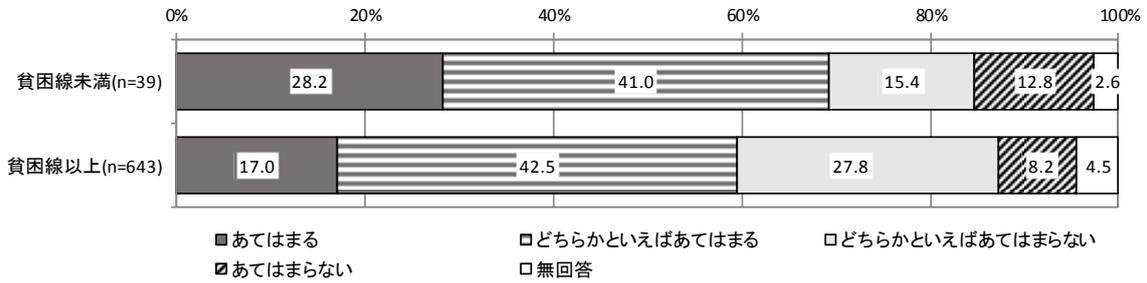
一方、『どちらかといえばあてはまらない』、『あてはまらない』では「不安を感じることはない」がそれぞれ28.4%、16.2%と最も多くなっています。

【頑張れば、むくわれる／貧困線別】



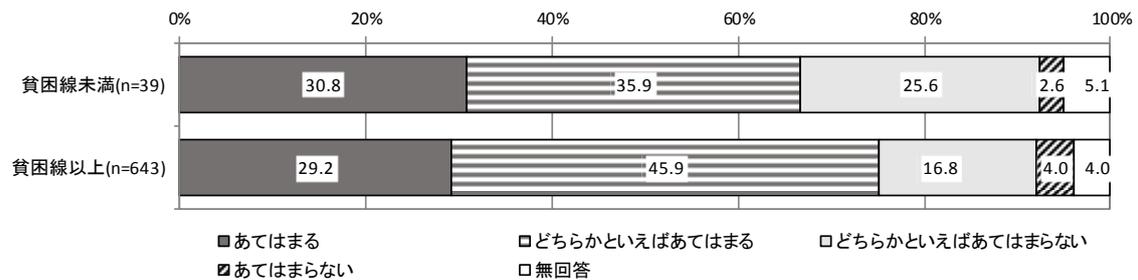
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多く、それぞれ41.0%、45.9%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまらない」が10.2ポイント多くなっています。

【自分は価値のある人間だと思う／貧困線別】



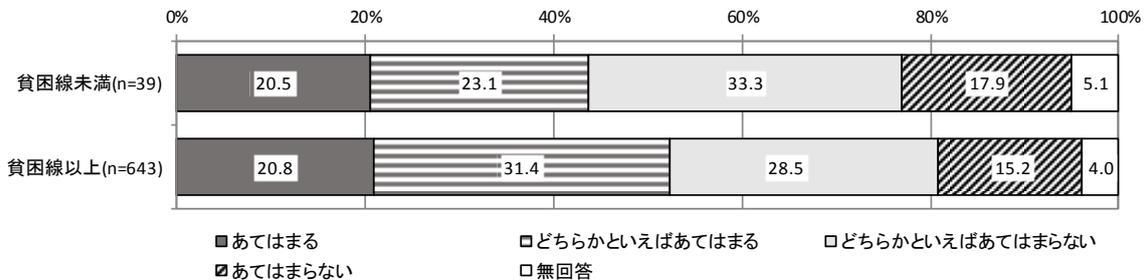
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多く、それぞれ 41.0%、42.5%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「あてはまる」が 11.2 ポイント多くなっています。

【自分には良いところがある／貧困線別】



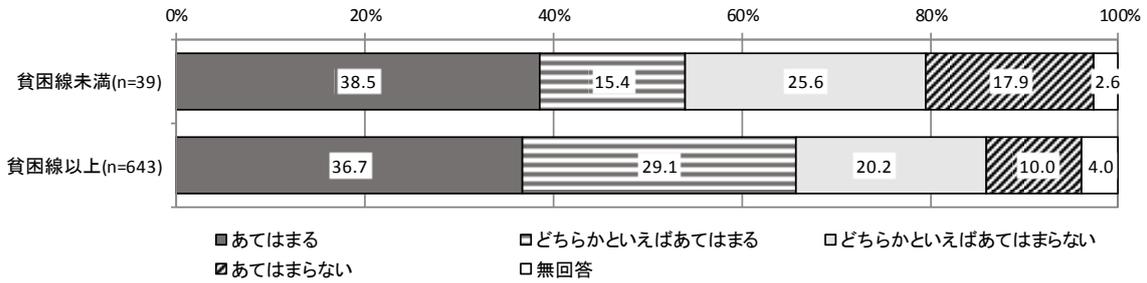
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまる」が最も多く、それぞれ 35.9%、45.9%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまらない」が 8.8 ポイント多くなっています。

【不安に感じることはない／貧困線別】



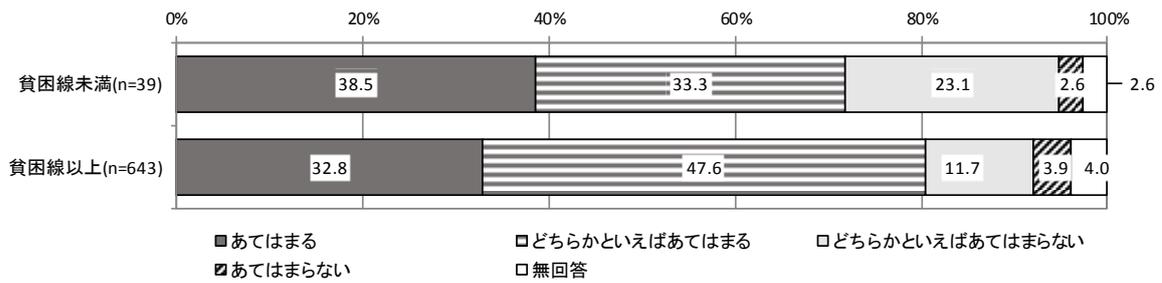
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「どちらかといえばあてはまらない」が最も多く、それぞれ 33.3%、28.5%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまる」が 8.0 ポイント少なくなっています。

【孤独を感じることはない／貧困線別】



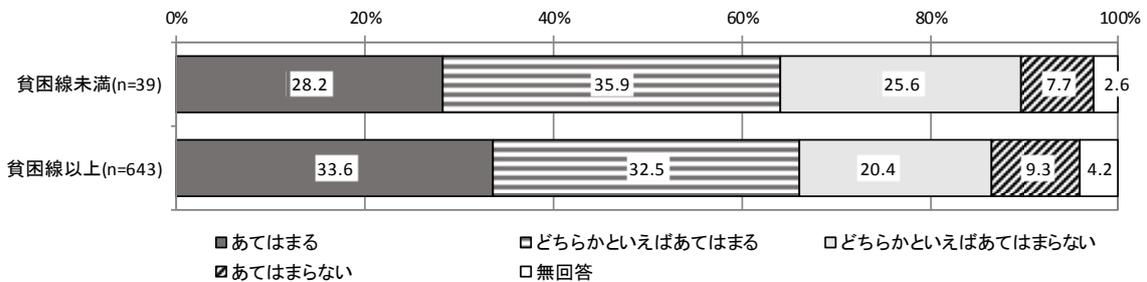
貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「あてはまる」が最も多く、それぞれ38.5%、36.7%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまる」が13.7ポイント少なくなっています。

【家族のためにがんばれる／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「あてはまる」が38.5%、『貧困線以上』では「どちらかといえばあてはまる」が47.6%と最も多くなっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまらない」が11.4ポイント多くなっています。

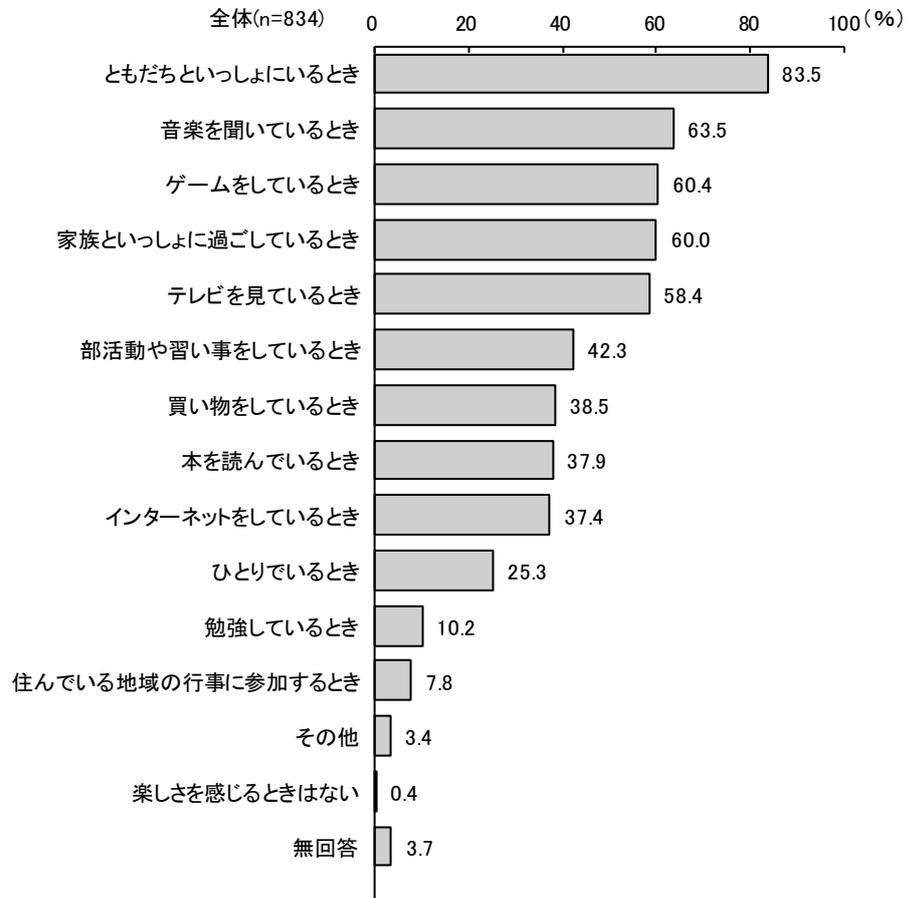
【自分の将来が楽しみだ／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』では「どちらかといえばあてはまる」が35.9%、『貧困線以上』では「あてはまる」が33.6%と最も多くなっています。

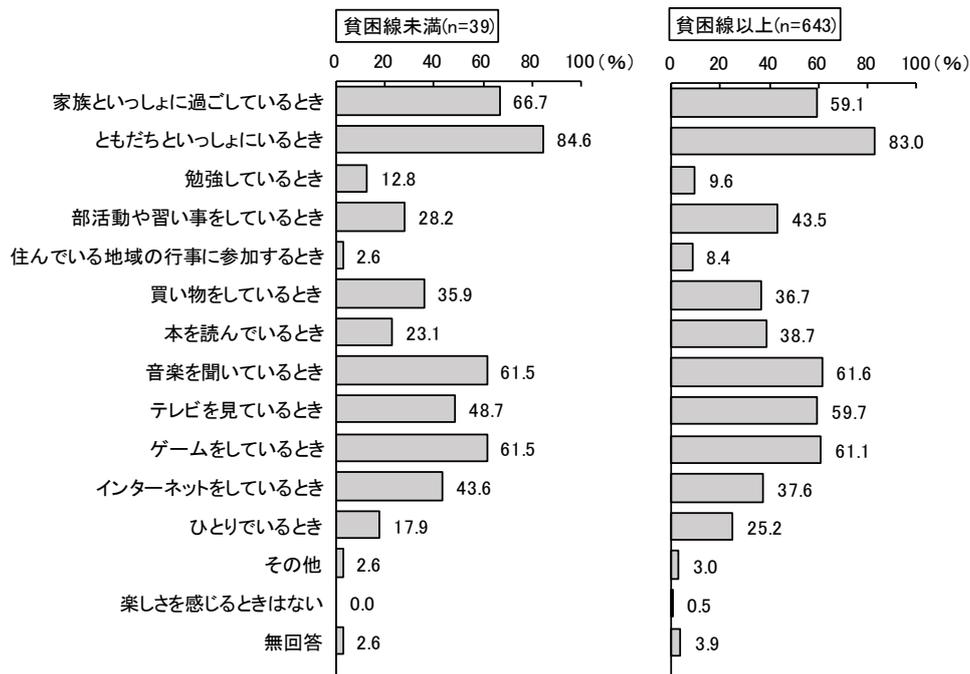
③どんな時に楽しさを感じるか

問25 あなたは、どんな時に楽しさを感じますか。(それぞれ1つに○)



どんな時に楽しさを感じるかについては、「ともだちといっしょにいるとき」が83.5%と最も多く、以下「音楽を聞いているとき」(63.5%)、「ゲームをしているとき」(60.4%)、「家族といっしょに過ごしているとき」(60.0%)となっています。

【どんな時に楽しさを感じるか／貧困線別】



貧困線別にみると、『貧困線未満』、『貧困線以上』ともに「ともだちといっしょにいるとき」が最も多く、それぞれ84.6%、83.0%となっています。『貧困線以上』に比べ、『貧困線未満』では「部活動や習い事をしているとき」が15.3ポイント、「本を読んでいるとき」が15.6ポイント、「ひとりであるとき」が7.3ポイント少なくなっています。

IV. 自由意見

IV 自由意見

アンケートの感想や悩みごと、市に対する要望など、保護者 459 人から回答がありました。

記入された内容の主旨から分類したところ、「金銭面に関すること」94 件、「制度に関すること」155 件、「子育て（支援）に関すること」60 件、「子育て環境、生活環境について」161 件、「医療や保健に関すること」112 件、「窓口・行政に関すること」59 件、「アンケートに関すること」119 件、「学校生活・先生について」24 件、「その他」14 件となりました（重複あり）。

また、同じく、アンケートの感想や悩みごと、大人に言いたいこと等について、子ども 78 人から回答がありました。記入された内容の主旨から分類したところ、「学校生活に関すること」17 件、「家庭生活に関すること」4 件、「悩みについて」8 件、「友人や自分自身のことについて」18 件、「地域や社会に関すること」17 件、「アンケートに関すること」29 件となりました（重複あり）。

以下、抜粋意見を掲載します。

1. 保護者の自由意見

◆金銭面に関すること

- ・震災で原発被害にあい、家賃補助も打ち切れ、引っ越し資金もなく、毎日の生活が苦しい。
- ・私立高校の学費の高さに困っている。
- ・2人目の子どもを望んでいるが、現状の生活水準では経済的に苦しくなりそうで踏み切れない。

◆制度に関すること

- ・児童扶養手当の年収限度額をあげてほしい。
- ・市営住宅について、所得額によって家賃額が変わることに困る。
- ・所得が増える事で、母子家庭の制度も停止され困る。
- ・母子父子家庭で利用できる制度が色々ある事を知らなかった。
- ・母子家庭だが、定年を迎え再雇用で働いている祖父と同居しているので母子家庭支援を受けられないので、改善を希望する。

◆子育て（支援）に関すること

- ・発達障害の子どもたちに対する学校の支援をもっと充実してほしい。
- ・共働きで、どうしても仕事を休めない場合に、病気をして熱を出している子どもを預かってもらえる場所を希望する。
- ・ワンオペ育児で悩んでいるため、土日などに同じような悩みを持つ人達が集まって話しが出来るような場所を希望する。

◆子育て環境、生活環境について

- ・公園以外にも、子どもたちが安心して遊べる、活動できる場所を増やして欲しい。
- ・市で、幼稚園児、小学生を対象としたイベント（学び、遊び）を開催し、子ども同士が触れ合う場を設けてほしい。
- ・小学校の各教室にエアコンを取りつけて欲しい。
- ・子ども達の通学路の街灯の少なさが気になる。
- ・仕事のため、子どもを遅くまで預けることができる場所を希望する。
- ・学童保育の充実を図ってもらいたい。（学童中の習い事の様なものや、長期休みの合宿など民間学童の様に充実してほしい。）

◆医療や保健に関すること

- ・医療費助成の対象の範囲を広げてほしい。
- ・インフルエンザ予防接種の費用を一部負担してほしい。
- ・医療費助成について、対象年齢の引き上げより所得制限を緩和する方が有効と思う。

◆窓口・行政に関すること

- ・窓口相談について、これからも相談しやすい雰囲気であってほしい。
- ・もう少し子どもの教育（学習面）に力を入れてほしい。
- ・市がどのような子育て支援施策を打出しているか説明資料が不足している。行政としてどのような子育て事業を推進していきたいのかビジョンが見えない。
- ・子育て支援に限らず、HPの内容が古いままの部分などがあるので毎年点検して更新してほしい。

◆アンケートに関すること

- ・収入について、詳しく記入するには抵抗があった。
- ・アンケートを通して毎日の生活を振り返るきっかけになった。
- ・調査結果が公開されるのかどうか、公開される場合どのような形となるか、アンケートの趣旨に記載して欲しかった。
- ・このアンケート結果が、どのように施策に反映されるのか知りたい。

◆学校生活・先生について

- ・不登校について、もっと取り組んでほしい。
- ・もう少しボリュームのある給食を提供してほしい。
- ・勉強も大事だが、人を傷つけない発言、伝え方を子どもに学ばせる必要がある。

2. 子どもの自由意見

◆学校生活に関すること

- ・小学校すべてにエアコンをつけてほしい。
- ・トイレを改修してほしい。

◆家庭生活に関すること

- ・何かしたくてもお金がかかるので、我慢している。
- ・私は、父、母、兄、姉みんな大好きです。この家に生まれてきてよかったと思います。

◆悩みについて

- ・クラスにあまり友達がいない。
- ・子どもの受験の志望校を親が勝手に決めないで、子どもにも聞いてほしい。

◆友人や自分自身のこと

- ・自分たちでできることもたくさんあるから、もっと自由にさせてほしい。
- ・改めて、自分が恵まれた環境にいることを実感した。

◆地域や社会に関すること

- ・税金の無駄遣いはなくしてください。
- ・中高生が楽しめる施設を作してほしい。

◆アンケートについて

- ・答えづらい質問が多かった気がする。
- ・家族や自分の将来について考えることのできるものばかりで、自分を見直す機会になった。

V. 資料編

V 資料編

1. 参考資料

子どもの貧困を改善するためには、単一の施策及び事業によるものではなく、経済的支援、教育的支援をはじめとした、様々な事業による総合的な支援が必要とされており、平成 26 年に国が定めた「子どもの貧困対策の推進に関する法律」（以下「法律」という。）及び「子供の貧困対策に関する大綱」において、具体的な取組みが示されているところです。

これを受けて、宮城県では平成 28 年 3 月に「宮城県子供の貧困対策計画」（以下「県計画」という。）を定め、法律及び大綱に示された 4 つの施策に、東日本大震災関連施策を独自に加え、5 つの施策を柱として、それらに関連する事務事業を体系立てて、子どもの貧困に関する総合的な取組みの成果指標を取得し、進捗管理を図ることとしています。

また、法律では、「国、及び地方公共団体は、子どもの貧困対策を適正に策定し、及び実施するため、子どもの貧困に関する調査及び研究その他の必要な施策を講ずる」（第 14 条）と定めており、県計画でも同様にこれを掲げており、市町村との連携と取組みも求められています。

これらに基づき、本市においても、子どもの貧困対策を総合的かつ効果的に推進するにあたり、前述のとおり、貧困の状況にある子どもや家庭の実態と支援ニーズを把握するため、「子どもの生活に関する実態調査」（以下「調査」という。）を実施しました。

そこで、調査の結果を踏まえつつ、本市の実態にあった支援事業を検討する必要があることから、本市がすでに取り組んでいる事務事業を県計画に定めた 5 つの施策に関連付けた体系により整理しています。

また、調査に併せて、本市の子どもの貧困対策に関する支援者の皆様へ、支援ニーズを把握するため、平成 31 年 2 月 28 日から 3 月 16 日まで支援者アンケート調査を実施し、そのご意見等もまとめています。

(1) 平成30年度子どもの貧困対策関連事業

本市の子どもの貧困対策に係る事業は、以下のとおりです。

多賀城市の子どもの貧困対策に係る事務事業		(参考)宮城県・子どもの貧困対策計画関係施策 事業体系	
施策区分・事業名	多賀城市担当課	施策区分・事業名	宮城県担当課
1. 教育の支援		1. 教育の支援	
(1)「学校」をプラットフォームとした総合的な子供の貧困対策の展開		(1)「学校」をプラットフォームとした総合的な子供の貧困対策の展開	
①学校教育による学力保障		①学校教育による学力保障	
自主学習支援事業	学校教育課	学力向上推進事業(学び支援コーディネーター等配置事業)	義務教育課
		学級編制弾力化(少人数学級)事業	義務教育課
②学校を窓口とした福祉関連機関等との連携		②学校を窓口とした福祉関連機関等との連携	
青少年育成相談事業	生涯学習課	私立学校教育改革特別経費補助(教育相談体制の整備)	私学文書課
街頭巡回指導事業	生涯学習課	私立学校スクールカウンセラー等派遣事業	私学文書課
スクールソーシャルワーカー活用事業	学校教育課	子どもの心のケア推進事業	子育て支援課
		心のケア研修事業【教職員CUP事業】	教職員課
		学校復興支援対策教職員加配事業	教職員課
		みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業	義務教育課
子どもの心のケアハウス運営事業	学校教育課	教育相談充実事業	義務教育課
		生徒指導支援事業	義務教育課
		いじめ・不登校等対策推進事業	義務教育課
		いじめ・不登校等対策強化事業	高校教育課
		高等学校スクールカウンセラー活用事業	高校教育課
		総合教育相談事業	高校教育課
		学校・地域保健連携推進事業	スポーツ健康課
		スクールサポーター事業	少年課
③地域による学習支援		③地域による学習支援	
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	協働教育推進総合事業	生涯学習課
		放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
		地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業	生涯学習課
④高等学校等における就学継続のための支援		④高等学校等における就学継続のための支援	
		高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	子育て支援課
		高等学校等修学支援費(学び直しへの支援金)	高校教育課
(2)貧困の連鎖を防ぐための幼児教育の経済的負担の軽減及び幼児教育の質の向上		(2)貧困の連鎖を防ぐための幼児教育の経済的負担の軽減及び幼児教育の質の向上	
		私立学校授業料等軽減特別補助事業	私学文書課
幼稚園就園奨励費補助事業	教育総務課	東日本大震災みやぎこども育英基金事業(未就学児支援金)	子育て支援課
		幼稚園就園奨励補助事業	教育庁総務課
		被災幼児就園支援事業	教育庁総務課
(3)就学支援の充実		(3)就学支援の充実	
①義務教育段階の就学支援の充実		①義務教育段階の就学支援の充実	
		私立学校授業料等軽減特別補助事業(再掲)	私学文書課
		被災児童生徒就学支援事業(私立小中学校)	私学文書課
		東日本大震災みやぎこども育英基金事業(奨学金)	教育庁総務課
		就学援助事業	義務教育課
		被災児童生徒就学支援事業	義務教育課
		交通遺児等対策費	スポーツ健康課
②「高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)制度」などによる経済的負担の軽減		②「高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)制度」などによる経済的負担の軽減	
		私立高校授業料軽減補助	私学文書課
		私立学校等就学支援事業	私学文書課
		私立学校授業料等軽減特別補助事業	私学文書課
		高校生等奨学給付金(私立学校)	私学文書課
		高校生等奨学給付金(国公立学校)	高校教育課
		高等学校等育英奨学資金貸付事業	高校教育課
		高等学校等就学支援金事業	高校教育課
		<small>高等学校定時制課程教科書給付事業 高等学校定時制課程教科書及び通信制課程教科書学習書給付費助成事業</small>	高校教育課
		高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸付事業	高校教育課
		夜間定時制高等学校夜食実施費	スポーツ健康課

多賀城市の子どもの貧困対策に関する事務事業		(参考)宮城県・子どもの貧困対策計画関係施策 事業体系	
施策区分・事業名	多賀城市担当課	施策区分・事業名	宮城県担当課
③特別支援教育に関する支援の充実		③特別支援教育に関する支援の充実	
		私立幼稚園特別支援教育教育費補助	私学文書課
		私立学校特別支援教育費補助	私学文書課
特別支援教育支援事業(小学校)	学校教育課		
特別支援教育支援事業(中学校)	学校教育課		
		就学奨励費	特別支援教育室
		被災児童生徒等特別支援教育就学奨励事業	特別支援教育室
(4)大学等進学に対する教育機会の提供		(4)大学等進学に対する教育機会の提供	
①高等教育の機会を保障するような奨学金制度等の経済的支援の充実		①高等教育の機会を保障するような奨学金制度等の経済的支援の充実	
		母子父子寡婦福祉資金(修学資金・就学支度資金)貸付事業	子育て支援課
②大学生・専門学校生等に対する経済的支援		②大学生・専門学校生等に対する経済的支援	
		公立大学法人宮城大学被災学生支援事業費助成事業	私学文書課
		私立学校授業料等軽減特別補助事業(再掲)	私学文書課
		児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	子育て支援課
		公立専修学校授業料等減免事業	教育庁総務課外
(5)生活困窮世帯等への学習支援		(5)生活困窮世帯等への学習支援	
		生活困窮者学習支援事業	社会福祉課
放課後子ども教室推進事業(再掲)	生涯学習課	放課後子ども教室推進事業(再掲)	生涯学習課
(6)その他の教育支援		(6)その他の教育支援	
①子供の食事・栄養状態の確保		①子供の食事・栄養状態の確保	
		フードバンク支援事業	社会福祉課
		食生活改善普及事業	健康推進課
②多様な体験活動の機会の提供		②多様な体験活動の機会の提供	
		協働教育推進総合事業(再掲)	生涯学習課
		地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業(再掲)	生涯学習課
子育てサポートセンター運営管理事業	子育て支援課		
児童館運営管理事業	子育て支援課		
大代地区公民館管理運営事業	生涯学習課		
山王地区公民館教育事業	山王地区公民館		
ジュニアリーダー支援事業	中央公民館		
次世代リーダー育成研修事業	中央公民館		
中央公民館教育事業	中央公民館		
視聴覚ライブラリー運営事業	中央公民館		
2. 生活の支援		2. 生活の支援	
(1)保護者の生活支援		(1)保護者の生活支援	
①保護者の自立支援		①保護者の自立支援	
		生活困窮者自立支援事業	社会福祉課
生活保護扶助事業	生活支援課		
生活保護適正実施推進事業	生活支援課		
家庭相談事業	子育て支援課		
		ひとり親家庭支援員設置事業	子育て支援課
		ひとり親家庭及び寡婦に対する情報発信の充実	子育て支援課
		ひとり親家庭等日常生活支援事業	子育て支援課
		母子父子家庭等電話相談事業	子育て支援課
		母子父子家庭等特別相談事業	子育て支援課
		母子父子家庭等就業・自立支援センター事業	子育て支援課
②保育等の確保		②保育等の確保	
		私立幼稚園預かり保育等推進事業補助	私学文書課
公立保育所運営管理事業	保育課		
桜木保育所指定管理事業	保育課		
教育・保育施設等特別保育促進事業	保育課		
認可外保育所運営補助事業	保育課		
子育てサポートセンター運営管理事業(再掲)	子育て支援課		
ファミリーサポートセンター事業	子育て支援課		
放課後児童健全育成事業	子育て支援課		
		私立学校教育改革推進特別経費補助(子育て支援推進事業)	私学文書課
施設型給付費等支給事業	保育課	施設型給付費負担金	子育て支援課
		地域型保育給付費負担金	子育て支援課
		待機児童解消推進事業	子育て支援課
教育・保育施設等子ども・子育て支援事業	保育課	地域子ども・子育て支援事業	子育て支援課

多賀城市の子どもの貧困対策に関する事務事業		(参考)宮城県・子どもの貧困対策計画関係施策 事業体系	
施策区分・事業名	多賀城市担当課	施策区分・事業名	宮城県担当課
②親の支援のない子ども等への就職支援		②親の支援のない子ども等への就職支援	
		若年者の就職支援のためのワンストップセンター事業	雇用対策課
③定時制高校に通学する子供の就職支援		③定時制高校に通学する子供の就職支援	
		高卒就職者援助事業	雇用対策課
		進路達成支援事業	高校教育課
		新規高卒未就職者対策事業	高校教育課
④高校中退者等への就職支援		④高校中退者等への就職支援	
		若年者の就職支援のためのワンストップセンター事業(再掲)	雇用対策課
(5) 支援する人員の確保等		(5) 支援する人員の確保等	
①社会的養護施設の体制整備、児童相談所の相談機能強化		①社会的養護施設の体制整備、児童相談所の相談機能強化	
		里親支援機関事業(再掲)	子育て支援課
		専門性強化事業	子育て支援課
		社会的養護拡充事業	子育て支援課
		里親等支援センター事業	子育て支援課
②相談職員の資質向上		②相談職員の資質向上	
		心のケア研修事業【教職員CUP事業】(再掲)	教職員課
(6) その他の生活支援		(6) その他の生活支援	
①住宅支援		①住宅支援	
		生活困窮者自立支援事業(住宅確保給付金)	社会福祉課
		母子父子寡婦福祉資金(住宅資金・転宅資金)貸付事業	子育て支援課
市営住宅管理運営事業	都市計画課	県営住宅入居の優遇措置	住宅課
3. 保護者に対する就労の支援		3. 保護者に対する就労の支援	
①親の就労支援		①親の就労支援	
男女共同参画推進事業	地域コミュニティ課	いきいき男女共同参画推進事業	共同参画社会推進課
教育・保育施設等特別保育促進事業(再掲)	保育課		
教育・保育施設等子ども・子育て支援事業(再掲)	保育課		
公立保育所運営管理事業(再掲)	保育課		
桜木保育所指定管理事業(再掲)	保育課		
施設型給付費等支給事業(再掲)	保育課		
認可外保育所運営補助事業(再掲)	保育課		
放課後児童健全育成事業(再掲)	子育て支援課		
生活保護適正実施推進事業(再掲)	生活支援課	生活保護受給者等就労自立促進事業	社会福祉課
多賀城市地域職業相談室管理運営事業	商工観光課	ひとり親家庭支援員設置事業(再掲)	子育て支援課
家庭相談事業(再掲)	子育て支援課	自立支援プログラム策定事業	子育て支援課
		母子父子家庭等就業・自立支援センター事業(再掲)	子育て支援課
		育児・介護休業者生活資金融資	雇用対策課
		高等職業訓練促進給付金事業	子育て支援課
		ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	子育て支援課
②親の学び直しの支援		②親の学び直しの支援	
ひとり親家庭自立支援給付金事業	子育て支援課	自立支援教育訓練給付金事業	子育て支援課
		高等職業訓練促進給付金等事業	子育て支援課
③就労機会の確保		③就労機会の確保	
		事業主への啓発活動及び雇用の促進	子育て支援課

多賀城市の子どもの貧困対策に関する事務事業		(参考)宮城県・子どもの貧困対策計画関係施策 事業体系	
施策区分・事業名	多賀城市担当課	施策区分・事業名	宮城県担当課
4. 経済的支援		4. 経済的支援	
①児童扶養手当等の経済的支援の実施		①児童扶養手当等の経済的支援の実施	
児童手当支給事業	子育て支援課	児童手当給付事業	子育て支援課
児童扶養手当支給事業	子育て支援課	児童扶養手当給付事業	子育て支援課
特別児童扶養手当支給事業	子育て支援課	特別児童扶養手当給付事業	子育て支援課
小学校入学応援事業	子育て支援課	母子父子家庭医療費助成事業	国保年金課
子ども医療費助成事業	国保年金課		
母子父子家庭医療費助成事業	国保年金課		
勤労者生活安定支援事業	商工観光課		
特別障害者手当等支給事業	社会福祉課		
②ひとり親家庭の支援施策についての調査・研究の実施に向けた検討		②ひとり親家庭の支援施策についての調査・研究の実施に向けた検討	
		ひとり親世帯等実態調査	子育て支援課
③母子父子寡婦福祉資金貸付事業等の円滑な実施		③母子父子寡婦福祉資金貸付事業等の円滑な実施	
		母子父子寡婦福祉資金貸付事業	子育て支援課
④障害のある児童・生徒のいる家庭への経済的支援の実施(項目追加)		④障害のある児童・生徒のいる家庭への経済的支援の実施(項目追加)	
特別支援教育就学奨励事業(小学校)	学校教育課		
特別支援教育就学奨励事業(中学校)	学校教育課		
心身障害者医療費助成事業	国保年金課		
障害者自立支援医療(育成医療)給付事業	社会福祉課		
5教育扶助の支給方法		5教育扶助の支給方法	
就学援助事業(小学校)	学校教育課	就学援助事業(小学校)生活保護(教育扶助)に係る取扱	社会福祉課
就学援助事業(中学校)	学校教育課	就学援助事業(中学校)生活保護(教育扶助)に係る取扱	社会福祉課
⑥健やかに育てるための支援(項目追加)		⑥健やかに育てるための支援(項目追加)	
出産育児一時金給付事業(国民健康保険)	国保年金課		
子ども医療費助成事業(再掲)	国保年金課		
母子父子家庭医療費助成事業(再掲)	国保年金課		
心身障害者医療費助成事業(再掲)	国保年金課		
インフルエンザ予防接種助成事業	国保年金課		
乳幼児、児童、生徒等予防接種事業	健康課		
乳児一般健康診査事業	健康課		
未熟児養育医療給付事業	健康課		
障害者自立支援医療(育成医療)給付事業(再掲)	社会福祉課		
⑦生活保護世帯の子供の進学時の支援		⑦生活保護世帯の子供の進学時の支援	
⑧養育費の確保に関する支援		⑧養育費の確保に関する支援	
		養育費に係る情報発信・啓発活動の推進	子育て支援課
		母子父子家庭等特別相談事業(再掲)	子育て支援課

多賀城市の子どもの貧困対策に関する事務事業		(参考)宮城県・子どもの貧困対策計画関係施策 事業体系	
施策区分・事業名	多賀城市担当課	施策区分・事業名	宮城県担当課
5. 東日本大震災被災児童への支援		5. 東日本大震災被災児童への支援	
① 教育の支援及び福祉関連機関との連携による支援		① 教育の支援及び福祉関連機関との連携による支援	
		私立学校スクールカウンセラー等派遣事業(再掲)	私学文書課
		子どもの心のケア推進事業(再掲)	子育て支援課
		震災遺児家庭等支援事業	子育て支援課
		里親等支援センター事業	子育て支援課
		心のケア研修事業【教職員CUP事業】(再掲)	教職員課
		学校復興支援対策教職員加配事業(再掲)	教職員課
		みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業(再掲)	義務教育課
		学力向上推進事業(学び支援コーディネーター等配置事業)(再掲)	義務教育課
		教育相談充実事業(再掲)	義務教育課
		生徒指導支援事業(再掲)	義務教育課
		登校支援ネットワーク事業	義務教育課
		生徒指導対策強化事業	高校教育課
		高等学校スクールカウンセラー活用事業(再掲)	高校教育課
		総合教育相談事業(再掲)	高校教育課
② 就学支援		② 就学支援	
		私立学校授業料等軽減特別補助事業(再掲)	私学文書課
		被災児童生徒就学支援事業(私立小中学校)(再掲)	私学文書課
		公立大学法人宮城大学被災学生支援事業費助成事業(再掲)	私学文書課
		東日本大震災みやぎ子ども育英基金事業(未就学児支援金)	子育て支援課
		保育所保育料減免事業	子育て支援課
		被災幼児就園支援事業(再掲)	教育庁総務課
		東日本大震災みやぎ子ども育英基金事業(奨学金)(再掲)	教育庁総務課
		公立専修学校授業料等減免事業(再掲)	教育庁総務課外
		被災児童生徒就学支援事業(再掲)	義務教育課
		被災児童生徒等特別支援教育就学奨励事業	特別支援教育室
		高等学校等育英奨学資金貸付事業(再掲)	高校教育課
③ 住宅の支援(項目追加)			
被災者住宅再建補助事業	生活支援課		
④ 相談体制(項目追加)			
復興支えあい事業	生活支援課		
被災者健康支援事業	社会福祉課		
被災者支援総合事業	生活支援課		

(2) 子どもの貧困対策に関する支援者アンケート結果

市内で活動する6団体からの回答を、次のとおりまとめました。

- 貧困の状態にある子どもの数が増えていると回答した団体が多い。
- 支援している子どもは家庭がどんな状況にあるかについては、「保護者が不安定な就労状態にある。」が最も多く、次いで「両親が離婚または死別している。」が多い。
- 支援している子どもの生育上の経験については、「不登校またはその経験がある。」が多く、次いで「学校の授業が理解できない。」が多い。
- 貧困の状態にある子どもの抱えている困難については、「生活習慣・食習慣」が多く、次いで「こころの状態の安定性、心身の健康」「コミュニケーション能力」が多い。
- 貧困の状態におかれた子どもや家族への支援にあたって、どのような支援が必要・重要かについては、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「就職のための支援が受けられること」が多く、次いで「離婚のことや養育費のことなどについて弁護士などの相談が受けられること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」「一時的に必要な資金を借りられること」が多い。
- 子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことについては、「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる。」「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う。」が多く、次いで「相談窓口等について行きやすい雰囲気にする。」が多い。

問1	
貧困の状態にある子どもの数	回答数
1. 増えている	5
2. 減っている	0
3. 変わらない	1
4. 分からない	0

貧困の状態にある子どもの数が「増えている」と回答した団体は5団体、「変わらない」は1団体となっている。

問2	
支援している子どもは家庭がどんな状況にあるか	回答数
1. 保護者が不安定な就労状態にある。	5
2. 保護者の養育能力が乏しい。	2
3. 両親が離婚または死別している。	4
4. 両親が不仲である。	1
5. 家族全体が社会的に孤立している。	2
6. 保護者がアルコールやギャンブルに依存している。	2
7. 保護者が病気や障がいを抱えている。	1
8. 保護者が被虐待経験を有している。	1
9. 家庭崩壊の状況にある。	1
10. 保護者が多重債務状態である。	2
11. 保護者のしつけが必要以上にきびしい。	0
12.その他	1

支援している子どもは家庭がどんな状況にあるかについては、「保護者が不安定な就労状態にある。」が最も多く、次いで「両親が離婚または死別している。」が多い。

問3	
支援している子どもの生育上の経験	回答数
1. 不登校またはその経験がある。	4
2. 学校の授業が理解できない。	2
3. 非行や非行につながる問題行動がある。	0
4. 自傷行為がある。	1
5. 家族から暴力を受けている。	0
6. 子どもによる家庭内暴力がある。	0
7. 家庭内暴力を目撃している。	0
8. その他	1

支援している子どもの生育上の経験については、「不登校またはその経験がある。」が多く、次いで「学校の授業が理解できない。」が多い。

問4	
貧困の状態にある子どもの抱えている困難	回答数
1. こころの状態の安定性、心身の健康	3
2. 生活習慣・食習慣	4
3. 読み書き、計算などの基礎的な学力	2
4. 生活自立能力	2
5. 意欲、チャレンジ精神	0
6. 認知（ものの見方、考え方、価値観）	1
7. 自己肯定感（自尊心）	2
8. コミュニケーション能力	3
9. 家族への信頼感	0
10. 社会（他者）への信頼感	2
11. 周囲の多世代の人との関わり	3
12. 同世代との交友関係	0
13. その他	0

貧困の状態にある子どもの抱えている困難については、「生活習慣・食習慣」が多く、次いで「こころの状態の安定性、心身の健康」「コミュニケーション能力」が多い。

問5	
市に求めるものがあるか	回答数
1. ある	4
2. ない	2

支援を行う上で市に求めるものについて「ある」と回答した団体は4団体、「ない」は2団体となっている。

問6
問5で「ある」と答えた内容
中学校時代に不登校となり、卒業後に進学や就職をしない、又は高校へ進学したものの中途退学してしまい、所属先がない人に対し、社会とのつながりを絶やさないための対応が必要だと思う。例えば、相談できるための専門の受け皿等（ひきこもりケースを含む。）
食材寄付のお話があれば、つないでいただけるとありがたいです。参加者で気になる子どもがいる際に、いつもしていただいておりますが、引き続きお話をきいていただけると助かります。
財政的支援：施設（会場）の無償または低額提供、運営必要経費（光熱費、教材費、事務消耗品等支援） 目的を同一にする団体（学習支援・子ども食堂等）との懇談・交流 市、学校、社会福祉協議会等の連携、宣伝等の協力
貧困を対象にしている団体ではありませんが、ボランティア活動ですので、公民館を利用していますが、公民館料金を半額でもよいので、市に少し負担をお願いできればと思っています。ボランティア活動をして下さっている人達の中には、貧困を対象に活動している方もいるので、情報交換・食料品の寄付等につながっています。

問7	
必要な支援、重要な支援	
1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること	4
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること	2
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	2
4. 離婚のことや養育費のことなどについて弁護士などの相談が受けられること	3
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	2
6. 就職のための支援が受けられること	4
7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること	3
8. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること	1
9. 一時的に必要な資金を借りられること	3
10. その他	0
11. わからない	0

貧困の状態におかれた子どもや家族への支援にあたって、どのような支援が必要・重要かについては、「子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること」「就職のための支援が受けられること」が多く、次いで「離婚のことや養育費のことなどについて弁護士などの相談が受けられること」「病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること」「一時的に必要な資金を借りられること」が多い。

問8	
必要な支援を受けられるようにするために重要なこと	
1. 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する。	2
2. 携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる。	6
3. 広報誌やパンフレットで福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる。	4
4. 相談窓口等の場所をわかりやすくする。	3
5. 相談窓口等について行きやすい雰囲気にする。	5
6. 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う。	6
7. 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする。	4
8. その他	1
9. 特になし	0

子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことについては、「携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる。」「保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う。」が多く、次いで「相談窓口等について行きやすい雰囲気にする。」が多い。

問9
自由意見
いつも御苦労様です。本来はこのような活動が必要ない世の中が良いと思いますが、現実には、このような活動を必要としている親御さんや子どもたちがいますので、私たちも私たちのできる範囲で支援させていただきま
す。
高校生時代の相談先が不足。特に18歳になった時点で終了してしまう支援機関が多いので、この年代が相談できる先を明確にしてはどうか。
困りごとは抱えているが、周りに相談する人がいないこと、支援や場はあっても連れていく人、案内する人がいない等に対応するため、地域のネットワークが活用できる。
子どもの貧困は、家族・家庭の貧困です。子どもや家族に責任はないと思います。国として貧困とよばれる格差を生まない施策を願います。義務教育の無償の完全化等。
学習支援（主に義務教育に目を向けて）をしています。本来、学校（内）教育で担うものです。学校教育の中で、しっかりとした学力をつける方策を考えてほしいです。点数や成績に左右されず、本来の学力をつけるための教育を望みます。
子ども食堂イコール子どもの貧困と結びますが、趣旨は特に貧困を対象としているわけではなく、みんなで仲良く一緒に温かいごはんを食べようという会です。貧困に重点を置いて活動しておりませんので、このアンケートの内容に適切に解答できませんが、多賀城市内で助産師として開業しておりますので、来院されている母親の中には大変そうなお方に出会います。活動を通して、お米を寄付してくださる知人・友人がおりますので、貧困を対象にしている団体に寄付をしています。横のつながりもとても大切だと実感しております。

2. 調査票

(1) 保護者票

(2) 子ども票

(3) 子どもの貧困対策に関する支援者アンケート

多賀城市 子どもの生活に関する実態調査

— 保護者用 —

●調査ご協力のお願い●

日ごろから多賀城市政にご協力をいただきありがとうございます。

この調査は、保護者の方に家庭状況をお聞きし、多賀城市の子どものための支援策に役立てるために実施します。

調査の結果を踏まえながら、今後の施策の充実について検討してまいりますので、ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

多賀城市長 菊地 健次郎

記入にあたってのお願い

- この調査は、市内の未就学、小学1～5年生、中学2年生、16～17歳のいずれかのお子さんをお持ちの保護者の方を平成30年12月1日時点の住民基本台帳から無作為に抽出させていただき、調査のご協力をお願いするものです。
- この調査票は、平成31年1月1日現在の状況について、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 特にことわりのある場合以外、郵送で届いた場合は、封筒の宛名のお子さんについて、学校を通じて届いた場合は、封筒を学校から持ち帰られたお子さんについて、ご記入ください。
- お子さんが小学5年生、中学2年生、16～17歳の方は、お子さんにも調査票がありますので、子ども用の調査票をお子さんにお渡しください。
- 質問文を読み、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
- 1つに○、あてはまるものすべてに○、など回答数の指示があります。よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内には、具体的に考えや意見をご記入ください。
- 必ず鉛筆か、黒または青のボールペンで記入をお願いします。
- 回答は無記名でお願いします（住所や氏名のご記入は必要ありません。）。
回答内容から個人が特定されることは絶対にありません。
- お子さんにも調査票が届いた方は、お子さんの調査票と一緒に提出してください。
- 記入済みの調査票は、**1月29日(火)まで**に提出してください。学校で配付された方は、封筒に戻して学校へ提出してください。郵便で届いた方は同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です。）。

【お問い合わせ先】

多賀城市 保健福祉部子育て支援課

住所：〒985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目1番1号

電話：022-368-1141 内線 671、672

最初に、調査に回答いただく方(あなた)やご家族についておたずねします

問1 お子さんからみた、あなた(回答者)の続柄について教えてください。

(1つに○)

- | | |
|-------|------------|
| 1. 母親 | 4. 祖父 |
| 2. 父親 | 5. その他 () |
| 3. 祖母 | |

問2 あなたの世帯の世帯主の方の生年月(西暦)を教えてください。

西暦

年

月

問3 お子さんの生年月(西暦)を教えてください。

西暦

年

月

問4 お子さんが現在通っている学校教育機関等を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1. 未就園・未入所 | 6. 高校 |
| 2. 教育・保育施設等
(認定こども園を含む) | 7. 専門学校 |
| 3. 幼稚園 | 8. 学校には行っていない |
| 4. 小学校 | 9. わからない |
| 5. 中学校 | |

問5 あなたがお住まいの地域を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|-------|---------|--------|
| 1. 新田 | 9. 東田中 | 17. 大代 |
| 2. 高橋 | 10. 中央 | 18. 栄 |
| 3. 山王 | 11. 留ヶ谷 | 19. 桜木 |
| 4. 南宮 | 12. 伝上山 | 20. 明月 |
| 5. 市川 | 13. 鶴ヶ谷 | 21. 宮内 |
| 6. 浮島 | 14. 丸山 | 22. 八幡 |
| 7. 城南 | 15. 下馬 | 23. 町前 |
| 8. 高崎 | 16. 笠神 | |

問 17 あなたの世帯全体の、平成 30 年における年間の手取り収入（可処分所得）について教えてください。（回答欄におおよその金額を記入）

* 世帯全体の 1 年間（平成 30 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の収入は、給与や事業の売上、年金や各種の給付・手当などの収入の総計から、所得税や住民税等の税金、健康保険料や年金保険料等の社会保険料などを除いた、手取り収入（可処分所得）になります。

* (2) (3) に該当する収入が無い場合は、(2) (3) の回答欄は空欄でも構いません。

	年間金額
(1) 主たる生計維持者の年収	万円
(2) その他の収入を得ている 18 歳以上の家族の年収合計	万円
(3) その他の収入（各種給付・手当、実家からの仕送り、年金など）の合計	万円
世帯収入の合計（(1) + (2) + (3)）	万円

問 18 あなたの世帯の、平成 30 年 12 月における 1 か月分の収入（額面）について教えてください。（回答欄におおよその金額を記入）

【記入の方法】

- ・収入は、世帯収入について、税金と社会保険料を引く前の総額（額面）をご記入ください。
- ・児童扶養手当については、直近の支給月の支給金額（4 か月分）を 1 か月分に割ったものをご記入ください。
- * 「その他の手当」：児童手当、生活保護費、遺族年金、障害年金など。12 月が支給月でないものについては、概ね 1 か月分の金額をご記入ください。

平成 30 年 12 月分	世帯収入合計（額面）
ご自身の就労収入	万円
ご家族の就労収入	万円
ご自身やご家族のボーナス等の通常以外の収入	万円
児童扶養手当	万円
その他の手当*	万円
非同居の家族からの援助	万円
養育費	万円
借入	万円
貯金の取り崩し	万円
その他	万円

問 19 あなたの世帯では、概ね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をしたことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 電気・ガスなどが止められた | 9. 冠婚葬祭のつきあいを控えた |
| 2. クレジットカードの利用が停止になった | 10. 医療機関の受診を控えた |
| 3. 国民健康保険税や国民年金保険料の支払いが滞った | 11. 理髪店や美容院に行くのを控えた |
| 4. 電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った | 12. スマートフォンへの切替・利用を断念した |
| 5. 家賃や住宅ローンの支払いが滞った | 13. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した |
| 6. 食費を切りつめた | 14. 趣味やレジャーの出費を減らした |
| 7. 新しい衣服や靴を買うのを控えた | 15. 金融機関などから借入れをした |
| 8. 新聞や雑誌を買うのを控えた | 16. 1～15の項目には、どれにもあてはまらない |

問 20 あなたの世帯には、次のような借入金がありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|------------------------------------|
| 1. 住宅のローン | 6. 自治体などからの借入金 |
| 2. 車など高額物品購入のローン | 7. その他の借入金（ ） |
| 3. 奨学金などの教育のための借入金 | 8. わからない |
| 4. 親族からの借入金 | 9. 借入金はない |
| 5. 友達、知人からの借入金 | |

お子さんの進学等についておたずねします

問 21 あなたは、お子さんに、理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。
(1つに○)

1. 中学校まで	5. 大学まで
2. 高等学校まで	6. 大学院まで
3. 専門学校まで(高等学校卒業後に進学するもの)	7. その他 ()
4. 高等専門学校・短期大学まで	8. 特に理想はない

問 22 お子さんが塾や通信教育などで学びたいと考えたら、学ばせたいと思いますか。
(1つに○)

1. そう思う	3. あまりそう思わない
2. ややそう思う	4. 思わない
	5. どちらともいえない

↓

【問 22 で「3」～「4」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 22-1 学ばせたいと思わない理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 必要ないため	3. 費用が高いため
2. 塾などの施設が近くにないため	4. その他 ()

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問 23 あなたの世帯では、経済的な理由により、お子さんが進学を諦めたり、学校を中退したことがある、または、今後その可能性があると思いますか。(1つに○)

1. 子どもが進学をあきらめたことがある
2. 子どもが学校を中退したことがある
3. これまでにはなかったが、今後、その可能性があると思う
4. これまでにもなかったし、今後もその可能性は低い

お子さんの普段の生活についておたずねします

問 24 あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。（それぞれ1つに○）

(1) あなたの健康状態

1. 良い
2. どちらかといえば良い
3. 普通
4. どちらかといえば悪い
5. 悪い

(2) お子さんの健康状態

1. 良い
2. どちらかといえば良い
3. 普通
4. どちらかといえば悪い
5. 悪い

【問 24 (1) で「4」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 24-1 あなたは、現在、病院や専門的な機関などに、治療や療養のために通っていますか。（1つに○）

1. 通っている
2. 通っていない

1. 通っている
2. 通っていない

問 25 お子さんは朝食を食べていますか。（1つに○）

1. 毎日食べる
2. 週に5、6日は食べる
3. 週に3、4日は食べる
4. 週に1、2日は食べる
5. ほとんど食べない

【問 25 で「2」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 25-1 お子さんが朝食を毎日食べない理由はなんですか。（1つに○）

1. 子どもが食べる時間がない	4. 食べる習慣がない
2. 自分が朝食を準備したり、食べさせる時間がない	5. その他（ ）
3. 子どもがお腹がすいていないと言う	

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問 26 お子さんの夕食はいつもどのように食事をしていますか。（1つに○）

1. 家族そろって食べる	4. 一人で食べる
2. 大人の家族の誰かと食べる	5. その他（ ）
3. 子どもだけで食べる	6. ほとんど食べない

問 27 お子さんはむし歯はありますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ある (未治療) | 4. ない |
| 2. ある (治療中) | 5. わからない |
| 3. あった (治療済) | |

【問 27 で「1. ある (未治療)」と回答された方におうかがいします】

問 27-1 治療していない理由はなんですか。(1つに○)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 治療予定 | 4. 治療する必要がない |
| 2. 治療に行く時間がない | 5. 特に理由はない |
| 3. 経済的に困難 | 6. その他 () |

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問 28 お子さんの状況についておうかがいします。過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思っただが、実際には受診させなかったことがありましたか。

(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【問 28 で「1. ある」と回答された方におうかがいします】

問 28-1 受診させなかった理由はなんですか。(1つに○)

- | |
|------------------------------------------------|
| 1. 医療機関での自己負担金を支払うことができなかったため |
| 2. 子ども本人が (行くのが) 嫌だと言ったため |
| 3. 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため |
| 4. 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため |
| 5. 最初は受診させようと思っただが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため |
| 6. 公的医療保険に加入しておらず、保険証がなかったため |
| 7. その他 () |

問 29 お子さんは地域の活動※に参加していますか (したことがありますか)。(1つに○)

※ここでは、町内会や子ども会の活動、地域ボランティア等で行われる非営利の目的の趣味やスポーツ活動のことを指します。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 積極的に参加している (していた) | 3. あまり参加していない (したことがない) |
| 2. 機会があれば参加している (していた) | 4. 参加していない (したことがない) |

お子さんとの関わりや悩み等についておたずねします

問 30 あなたがお子さんと一緒に何かしたり、相手をしたりしている時間は、平日・休日それぞれ1日あたりどれくらいですか。(それぞれ1つに○)

(1) 平日

- | |
|--------------|
| 1. 0～15分未満 |
| 2. 15～30分未満 |
| 3. 30～1時間未満 |
| 4. 1時間～2時間未満 |
| 5. 2時間～3時間未満 |
| 6. 3時間～4時間未満 |
| 7. 4時間以上 |

(2) 休日

- | |
|--------------|
| 1. 0～15分未満 |
| 2. 15～30分未満 |
| 3. 30～1時間未満 |
| 4. 1時間～2時間未満 |
| 5. 2時間～3時間未満 |
| 6. 3時間～4時間未満 |
| 7. 4時間以上 |

問 31 お子さんとの会話について教えてください。(それぞれ1つに○)

	よくする	するときどき	少ない	ほとんど	まったくない
(1) 幼稚園や保育所、学校などでの出来事について	1	2	3	4	
(2) 友達のことについて	1	2	3	4	
(3) 将来や進路について	1	2	3	4	
(4) 勉強や成績について	1	2	3	4	
(5) 社会の出来事やニュースについて	1	2	3	4	

問 32 あなたは子育てで、今後も含めて子どものどのような力を伸ばしたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. うそをつかないようにすること | 7. やりたいことを自分で見つけること |
| 2. 社会規範・マナーを守れること | 8. コミュニケーション能力を伸ばすこと |
| 3. 規則正しい生活リズムを守れること | 9. 学力を伸ばすこと |
| 4. 他人を思いやる気持ちを持つこと | 10. 運動・スポーツの能力を伸ばすこと |
| 5. 自己肯定感を持つこと | 11. その他 () |
| 6. 努力を続ける力を持つこと | 12. 特にない・よくわからない |

問 33 あなたを含めた、ご家族とお子さんとの関係についておうかがいします。あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。（それぞれ1つに○）

	ほ ぼ 毎 日	3 週 に 4 回	1 週 に 3 回	1 月 に 2 回	な め い っ た に
(1) お子さんの勉強をみている	1	2	3	4	5
(2) お子さんと一緒に外で遊ぶ	1	2	3	4	5
(3) お子さんと一緒に家の中で遊ぶ	1	2	3	4	5
(4) お子さんと学校生活やテレビ番組、 ニュースなどの話をする	1	2	3	4	5
(5) お子さんと一緒に料理をする	1	2	3	4	5
(6) お子さんと一緒に外出する（買い物含む）	1	2	3	4	5

問 34 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。（それぞれ1つに○）

	し て い る	し て い な い	
		必 要 だ と 思 わ な い	経 済 的 に で き な い
(1) 毎月おこづかいを渡す	1	2	3
(2) 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
(3) 習い事（音楽・スポーツ・習字等）に通わせる	1	2	3
(4) 学習塾に通わせる	1	2	3
(5) お誕生日のお祝いをする	1	2	3
(6) 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
(7) クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
(8) 医者に行く（医療機関での健診を含む）	1	2	3
(9) 歯医者に行く（歯科医での健診を含む）	1	2	3
(10) 子どもの学校行事などへ保護者が参加する	1	2	3

問 35 過去 1 年間に、お子さんと出かけたことがある場所について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

1. キャンプや海水浴	10. 親戚の家
2. 図書館や博物館、美術館	11. 子育てサポートセンターや 児童館など
3. 動物園や水族館	12. コンビニエンスストアやスーパー、 ドラッグストア
4. 映画館や音楽会などの鑑賞	13. デパートやショッピングセンター
5. スポーツ施設 (プール・スキー場・ スケート場など)	14. ゲームセンター
6. 外食 (ファミリーレストラン、 回転寿司、食堂など)	15. カラオケ
7. 近くの公園	16. 居酒屋
8. 遊園地	17. その他 ()
9. 自分や子どもの友人宅	18. ここに記載しているところに 出かけたことはない

問 36 あなたには以下にあげるような友人・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 近くに住んでいる仲の良い友人	6. 気軽に話せる職場の同僚
2. 遠方に住んでいるが連絡を取り合う 仲の良い友人	7. SNS・チャット・掲示板等の インターネットを通じた知人
3. 町内会や地域の集まりなどで親しく 話せる知人	8. その他 ()
4. 子どもの学校や保育所等の保護者 (子育て) 仲間	9. 特に仲の良い友人・知人はいない
5. 趣味のサークルなどの仲間	

問 37 あなたは、隣近所や町内会の人との付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

1. よく付き合っている	3. あいさつをする程度
2. 立ち話しをする程度	4. まったく付き合っていない

問 41 あなたが次のことで相談できる人は誰ですか。

(それぞれあてはまるものすべてに○)

	配偶者	自分の親	兄弟・姉妹や親戚	友人や同僚	町内会や民生委員 など地域住民	幼稚園などの先生	学校や保育所、幼 稚園などの先生	子育てサポートセ ンターや児童館な どのスタッフ	保健師や市役所な どの窓口	相 談 で き る 人 は い な い
(1) 子どもの教育・学習・成績	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(2) 子どもの生活態度やしつけ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(3) 子どもの健康・発育	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(4) 看病、介護、子どもの世話	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(5) 自分の仕事に関すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(6) 自分の健康や病気に関すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(7) お金の相談・家計管理	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(8) 人間関係の悩み	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
(9) 市役所などへの申請や手続きに関すること	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

制度やサービス等についておたずねします

問 42 あなたは次の公的制度やサービスを利用した（または支援を受けた）ことがありますか。（それぞれ1つに○）

	利用している、 利用したことがある	利用したことは ないが、知っている	制度を 知らない
(1) 就学援助	1	2	3
(2) 生活保護	1	2	3
(3) 自立相談支援窓口	1	2	3
(4) 児童扶養手当	1	2	3
(5) 児童相談所（児童福祉司）	1	2	3
(6) スクールカウンセラー	1	2	3
(7) スクールソーシャルワーカー	1	2	3
(8) 奨学のための貸付金	1	2	3
(9) 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3
(10) 生活福祉資金貸付金	1	2	3

問 45 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて弁護士などの相談が受けられること
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就職のための支援が受けられること
7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9. 一時的に必要な資金を借りられること
10. その他 ()
11. わからない

問 46 子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する
2. 携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる
3. 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる
4. 相談窓口等の場所をわかりやすくする
5. 相談窓口等について行きやすい雰囲気にする
6. 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う
7. 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする
8. その他 ()
9. 特にない

多賀城市 子どもの生活に関する実態調査

— 子ども用 —

●調査に協力してください●

この調査は、みなさまの日常生活のことについてお聞きするものです。
ご協力よろしく願いいたします。

平成31年1月

多賀城市長 菊地 健次郎

記入にあたってのお願い

- この調査票は、小学5年生または中学2年生の方、16～17歳の方が書いてください。
- 質問文を読み、あてはまる番号を○でかこんでください。
- 答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- 1つに○、あてはまるものすべてに○、など答え方の決まりがあります。よく読んでお答えください。
- その他の（ ）内には、具体的に考えや意見を書いてください。
- テストではありませんので、思ったとおりに答えてください。おうちの方に見せる必要はありません。
- 必ず鉛筆か、黒または青のボールペンで書いてください。
- 名前は書かないでください。
書いたことが、あなたの答えだと他の人に知られることはぜったいにありません。
- 書き終わった調査票は、おうちの方の調査票と一緒に、**1月29日(火)まで**に提出してください。学校で配付された方は、封筒に戻して学校へ提出してください。郵便で届いた方は同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストにご投函ください（切手は不要です）。

【お問い合わせ先】

多賀城市 保健福祉部子育て支援課

住所：〒985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目1番1号

電話：022-368-1141 内線 671、672

あなたの学校のことについておたずねします

問5 あなたは、学校の授業がどのくらいよくわかりますか。(1つに○)

1. ほとんど全部わかる
2. 大体わかる
3. 半分くらいわかる
4. わからないことが多い
5. ほとんどわからない

【問5で「2」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問5-1 授業がわからない理由は何ですか(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 授業の進み方が早すぎるから | 5. 予習・復習をしていないから |
| 2. 授業の内容がむずかしいから | 6. 苦手・きらいな教科が多いから |
| 3. これまで習ったことがわからないから | 7. 勉強をする気が起きないから |
| 4. 宿題や課題をしていないから | 8. その他() |

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問6 あなたの成績は、学年の中でどれくらいですか。(1つに○)

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 上のほう | 4. やや下のほう |
| 2. やや上のほう | 5. 下のほう |
| 3. まん中あたり | 6. わからない |

問7 あなたは、将来どの学校まで進学したいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 中学校 | 4. 専門学校(専修学校、各種学校) |
| 2. 高校 | 5. 大学または大学院 |
| 3. 高等専門学校(高専)、短期大学 | 6. わからない |

あなたのふだんの生活のことについておたずねします

問 10 あなたは、朝ごはんをいつも食べていますか。（1つに○）

1. 毎日食べる
2. 週に5、6日は食べる
3. 週に3、4日は食べる
4. 週に1、2日は食べる
5. ほとんど食べない

【問 10 で「2」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 10-1 毎日朝ごはんを食べない最も大きな理由は何ですか。（1つに○）

1. 時間がない
2. 食欲がわからない
3. 朝食を食べるよりは寝ていたい
4. ダイエットのため
5. 朝食が用意されていない
6. 家族が朝食を食べない
7. その他（ ）

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問 11 あなたは、夕ごはんをいつも食べていますか。（1つに○）

1. 毎日食べる
2. 週に5、6日は食べる
3. 週に3、4日は食べる
4. 週に1、2日は食べる
5. ほとんど食べない

【問 11 で「2」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 11-1 毎日夕ごはんを食べない最も大きな理由は何ですか。（1つに○）

1. 食欲がわからない
2. お菓子などの間食でお腹がいっぱい
3. ダイエットのため
4. 夕食が用意されていない
5. 家族が夕食を食べない
6. その他（ ）

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問 12 あなたは、家でひとりでごはんを食べることがありますか。（1つに○）

1. まったくない	4. 週に4～5回
2. 週に1回程度	5. 毎日・ほぼ毎日
3. 週に2～3回	（理由： _____）

【問 12 で「2」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 12-1 ひとりでごはんを食べるとき、何をよく食べていますか。特によく食べているものを1つ教えてください。（1つに○）

1. 親や祖父母などが作ったもの	4. スーパー・コンビニなどで親や祖父母などが買ったもの
2. きょうだい作ったもの	5. あまり決まっていない
3. 自分で作ったり買ったりしたもの	6. その他（ _____ ）

【ふたたび、すべての方におうかがいします】

問 13 平日の朝は、およそ何時ごろに起きますか。（1つに○）

1. 午前5時より前	5. 午前8時台
2. 午前5時台	6. 午前9時より後
3. 午前6時台	7. 決まっていない
4. 午前7時台	

問 14 平日の夜は、およそ何時ごろに寝ますか。（1つに○）

1. 午後9時より前	5. 午前0時台
2. 午後9時台	6. 午前1時より後
3. 午後10時台	7. 決まっていない
4. 午後11時台	

問 15 あなたの健康はどうか。(1つに○)

1. 良い	4. どちらかといえば悪い 5. 悪い
2. どちらかといえば良い	
3. ふつう	

【問 15 で「4」～「5」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 15-1 あなたは、現在、病院などに通っていますか。(1つに○)

1. 通っている	2. 通っていない
----------	-----------

問 16 あなたは、次のようなことをどのくらいしていますか。(それぞれ1つに○)

	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	週に1回程度	月に1～2回	ほとんどない	まったくない
(1) おうちの大人の人に朝、起こしてもらいますか	1	2	3	4	5	6	7
(2) おうちの手伝いをしますか	1	2	3	4	5	6	7
(3) おうちの大人の人に宿題(勉強)をみてもらいますか	1	2	3	4	5	6	7
(4) おうちの大人の人と学校のできごとについて話しますか	1	2	3	4	5	6	7
(5) おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりしますか	1	2	3	4	5	6	7
(6) おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話をしますか	1	2	3	4	5	6	7
(7) おうちの大人の人といっしょに外出しますか(散歩する・買い物に出かける・外食をするなど)	1	2	3	4	5	6	7

問 17 自分の家は居心地がいいと感じますか。(1つに○)

1. そう思う	3. どちらかというと思わない
2. どちらかというと思おう	4. そう思わない

【問 17 で「3」～「4」のいずれかに回答した方におうかがいします】

問 17-1 その理由はどうしてですか。(自由記述)

--

問 18 あなたが持っているものや、あなたが使うことができるものを選んでください。
(あてはまるものすべてに○)

1. 本・参考書(教科書やマンガをのぞく)	10. 習い事などの道具(ピアノなど)
2. マンガ・雑誌	11. 文房具やノート
3. ゲーム機	12. キャラクターグッズ
4. 自分用のテレビ	13. 化粧品・アクセサリ
5. パソコン	14. 自分で選んだ服
6. スマートフォン・タブレット機器	15. 自分の部屋
7. 携帯電話	16. その他()
8. 自転車	17. あてはまるものはない
9. 運動用具(ボール・ラケットなど)	

問 19 おこづかいについておたずねします。あなたの毎月のこづかいはいくらですか。
(時々もらう場合は、1か月あたりにするとどのくらいか。ただしお年玉は除く)
(1つに○)

1. 1,000円より少ない	5. 4,000円台
2. 1,000円台	6. 5,000円以上
3. 2,000円台	7. もらっていない
4. 3,000円台	

あなたの悩みや相談相手などについておたずねします

問 20 あなたは、家族のことなどで、なにか困っていることや、心配なことはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------|----------------------------------|
| 1. 家族の団らんや会話が多くない | 9. 病院に行きたくても連れて行って
くれない |
| 2. 親がきびしい | 10. 着る服が多くない |
| 3. 親が自分の気持ちをわかって
くれない | 11. 美容院や理髪店に行きたくても
連れて行ってくれない |
| 4. 親同士の仲が良くない | 12. 洗濯をしてくれる人がいない |
| 5. 兄弟・姉妹との仲が良くない | 13. 家の中が散らかっている |
| 6. 家で落ち着いて勉強できない | 14. 家にお金がない (少ない) |
| 7. 病気の人やお年寄りの家族の世話
が大変 | 15. その他 () |
| 8. 食べるごはんがないときがある | 16. 特に困っていることはない |

問 21 あなたは、学校のことなどで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1. クラスの人との関係がうまくいっていない |
| 2. 部活動やクラブ活動にやりたいものがない |
| 3. 部活動やクラブ活動をやりたくてもお金がかかるからできない |
| 4. 悩みがあっても大人のひとにはうまく相談できない |
| 5. 将来 (進路) のことがわからない |
| 6. その他 () |
| 7. 特に困っていることはない |

問 22 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか（だれに話しますか）。（あてはまるものすべてに○）

1. 親	12. スクールカウンセラー
2. 兄弟・姉妹	13. 塾や習い事の先生
3. おばあさん・おじいさん	14. 放課後児童クラブの先生
4. おじ、おばなど親戚	15. 子ども専用の電話相談
5. 学校のともだち	16. インターネットのサイトなどを通じて知りあった直接会ったことのない人
6. 塾や習い事のともだち	17. 近所の人
7. その他のともだち	18. 地域の支援団体 (学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもの集まるところの人)
8. いとこ	19. その他 ()
9. 担任の先生	20. だれにも相談できない
10. 保健室の先生	21. だれにも相談したくない
11. クラブ活動の先生	22. わからない

問 23 あなたの仲が良いともだちは、どのようなともだちですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 学校のともだち	5. 習い事のともだち
2. 学校はいっしょでないけれども、近所に住んでいるともだち	6. その他のともだち
3. スポーツチームやクラブのともだち	7. インターネットを通して知り合ったともだち
4. 塾のともだち	8. とくに仲の良いともだちはいない

子どもの貧困対策に関する支援者アンケート

記入者（団体）名： _____

問1 これまでの経験から見て、貧困の状態におかれた子どもの数は増えていると感じますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 増えている
2. 減っている
3. 変わらない
4. 分からない

問2 これまでの経験から見て、支援している子どもは、家庭がどんな状況にあることが多いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください

1. 保護者が不安定な就労状態にある。
2. 保護者の養育能力が乏しい。
3. 両親が離婚または死別している。
4. 両親が不仲である。
5. 家族全体が社会的に孤立している。
6. 保護者がアルコールやギャンブルに依存している。
7. 保護者が病気や障がいを抱えている。
8. 保護者が被虐待経験を有している。
9. 家庭崩壊の状況にある。
10. 保護者が多重債務状態である。
11. 保護者のしつけが必要以上にきびしい。
12. その他（ _____ ）

問3 これまでの経験から見て、支援している子どもは、生育上どのような経験をしていることが多いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください

1. 不登校またはその経験がある。
2. 学校の授業が理解できない。
3. 非行や非行につながる問題行動がある。
4. 自傷行為がある。
5. 家族から暴力を受けている。
6. 子どもによる家庭内暴力がある。
7. 家庭内暴力を目撃している。
8. その他（ _____ ）

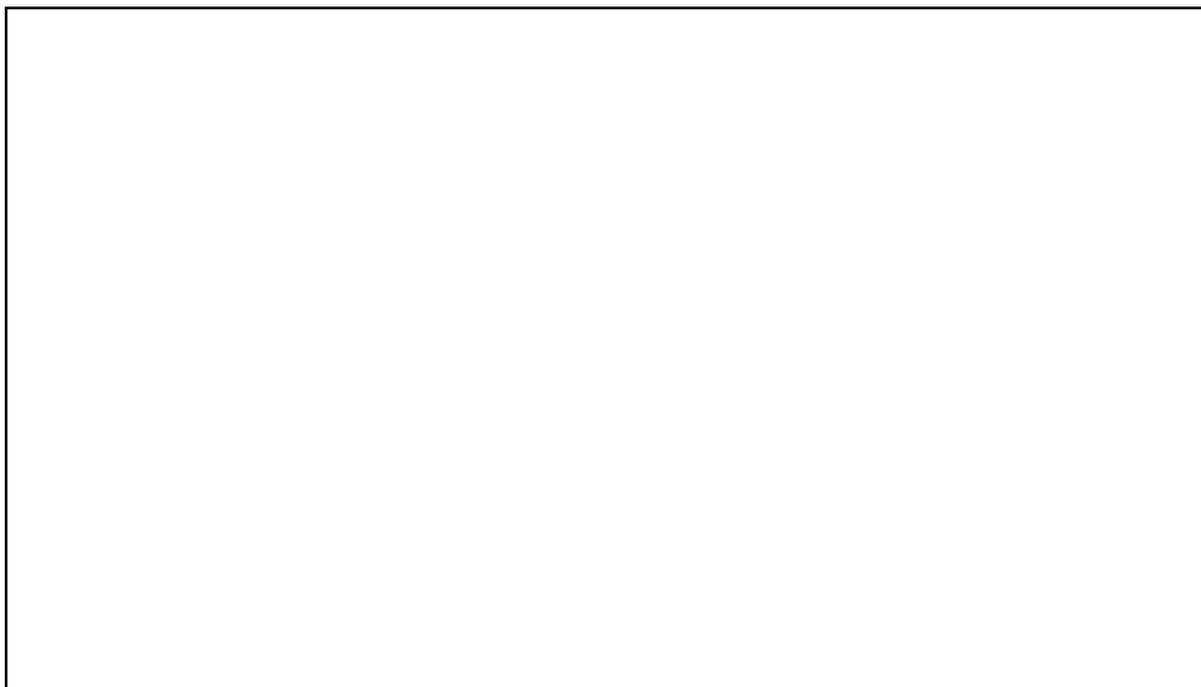
問7 貴団体で実際に取り組まれている支援内容いかんに関わらず、貧困の状態におかれた子どもやその家族への支援にあたっては、どのような支援が必要あるいは重要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて弁護士などの相談が受けられること
5. 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就職のための支援が受けられること
7. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
8. 子どもの就学にかかる費用が軽減されること
9. 一時的に必要な資金を借りられること
10. その他 ()
11. わからない

問8 子どものための必要な支援を受けられるようにするために重要だと思うことはなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する。
2. 携帯電話・スマートフォンで見られる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる。
3. 広報誌やパンフレットで福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる。
4. 相談窓口等の場所をわかりやすくする。
5. 相談窓口等について行きやすい雰囲気にする。
6. 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う。
7. 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする。
8. その他 ()
9. 特にない。

問9 子どもの貧困やその対策に対するご意見等をご自由にお聞かせください。



お忙しいところ、調査にご協力をいただき、ありがとうございました。
3月16日（土）までに、返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください。

子どもの生活に関する実態調査 報告書

平成 31 年 3 月

多賀城市保健福祉部子育て支援課

〒985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目 1 番 1 号

TEL 022-368-1141 (代表)

FAX 022-368-1747